

北本市子どもの権利に関する市民意識調査  
報告書

令和5年3月  
北本市



## ■目次

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査項目	1
3	調査設計	1
4	報告書の見方	2
II	小学生調査結果	3
1	あなた自身についておたずねします	3
2	あなたの今のようすについておたずねします	4
3	生活の場についておたずねします	12
4	「子どもの権利」についておたずねします	15
III	中学生調査結果	21
1	あなた自身についておたずねします	21
2	あなたの今のようすについておたずねします	22
3	生活の場についておたずねします	28
4	「子どもの権利」についておたずねします	30
IV	高校生相当年齢調査結果	37
1	あなた自身についておたずねします	37
2	あなたの今のようすについておたずねします	38
3	生活の場についておたずねします	48
4	「子どもの権利」についておたずねします	51
V	大人調査結果	67
1	あなた自身についておたずねします	67
2	子どもの状況についておたずねします	69
3	子どもの生活の場についておたずねします	85
4	「子どもの権利」についておたずねします	104
VI	調査間比較	135



# I 調査概要

## 1 調査の目的

北本市では、令和3年度に北本市子どもの権利に関する条例を制定し、この条例に基づき、子どもの権利に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための「北本市子どもの権利に関する行動計画」を策定することとなりました。

計画の策定に当たって、子どもを含む市民の皆様の状況を把握するため、市民意識調査を実施しました。

## 2 調査項目

①回答者ご自身について

②子どもの状況について（大人）

あなたの今のようすについて（小学生・中学生・高校生相当年齢）

③子どもの生活の場について（大人）

生活の場について（小学生・中学生・高校生相当年齢）

④「子どもの権利」について

自由回答

## 3 調査設計

項目	①小学生	②中学生	③高校生相当年齢	④大人
調査対象者 （抽出）	市立小学校に通 う4～6年生	市立中学校に通 う1～2年生	15～18歳の高校 生相当年齢の市民	19歳以上の市民
調査期間	令和4年12月1日～令和4年12月19日			
調査方法	学校を通じて配 布、郵送回収ま たはWEBでの 回答	学校を通じて配 布、郵送回収ま たはWEBでの 回答	郵送配付、郵送回 収またはWEBで の回答	学校を通じて配 布（②③の保護 者向け）及び郵 送配付、郵送回 収またはWEB での回答
配布数	653件	515件	500件	1,515件
有効回収数	336件（郵送 170件、 WEB166件）	244件（郵送 104件、 WEB140件）	171件（郵送73 件、WEB98件）	743件（郵送 363件、 WEB380件）
有効回収率	51.5%	47.4%	34.2%	49.0%

## 4 報告書の見方

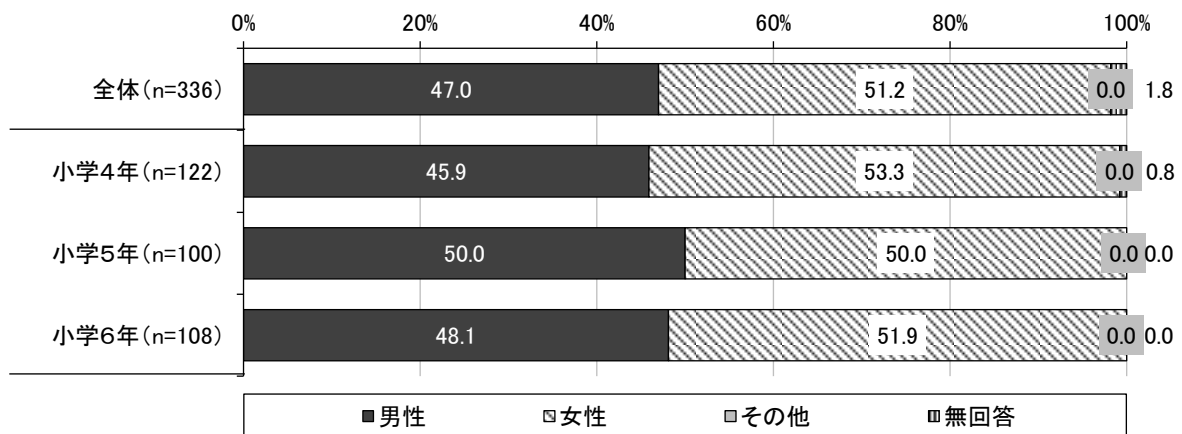
- ◇回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ◇複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ◇図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ◇図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ◇グラフ及び表中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載しています。ただし、長い文は簡略化している場合があります。
- ◇年齢別のクロス集計で、【③高校生相当年齢】の15歳、【④大人】の19～29歳はサンプル数が少ないことから「参考値」として掲載し、分析には反映していません。

## Ⅱ 小学生調査結果

### 1 あなた自身についておたずねします

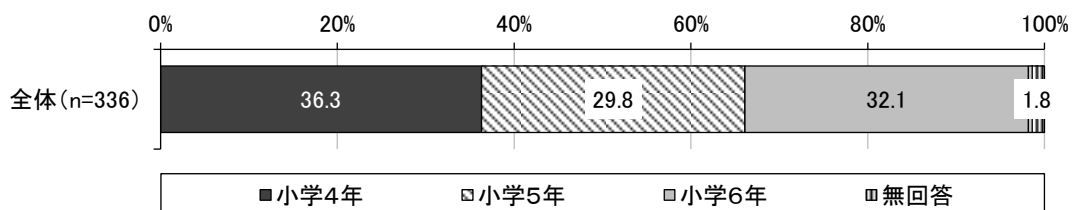
問1 あなたの性別について、教えてください。(○は1つ)

性別については、「女性」が51.2%と、「男性」の47.0%を上回っています。  
学年別にみると、大きな差は見られません。



問2 あなたの今の学年について、教えてください。(○は1つ)

学年については、「小学4年」が36.3%と最も多く、次いで「小学6年」が32.1%、「小学5年」が29.8%となっています。



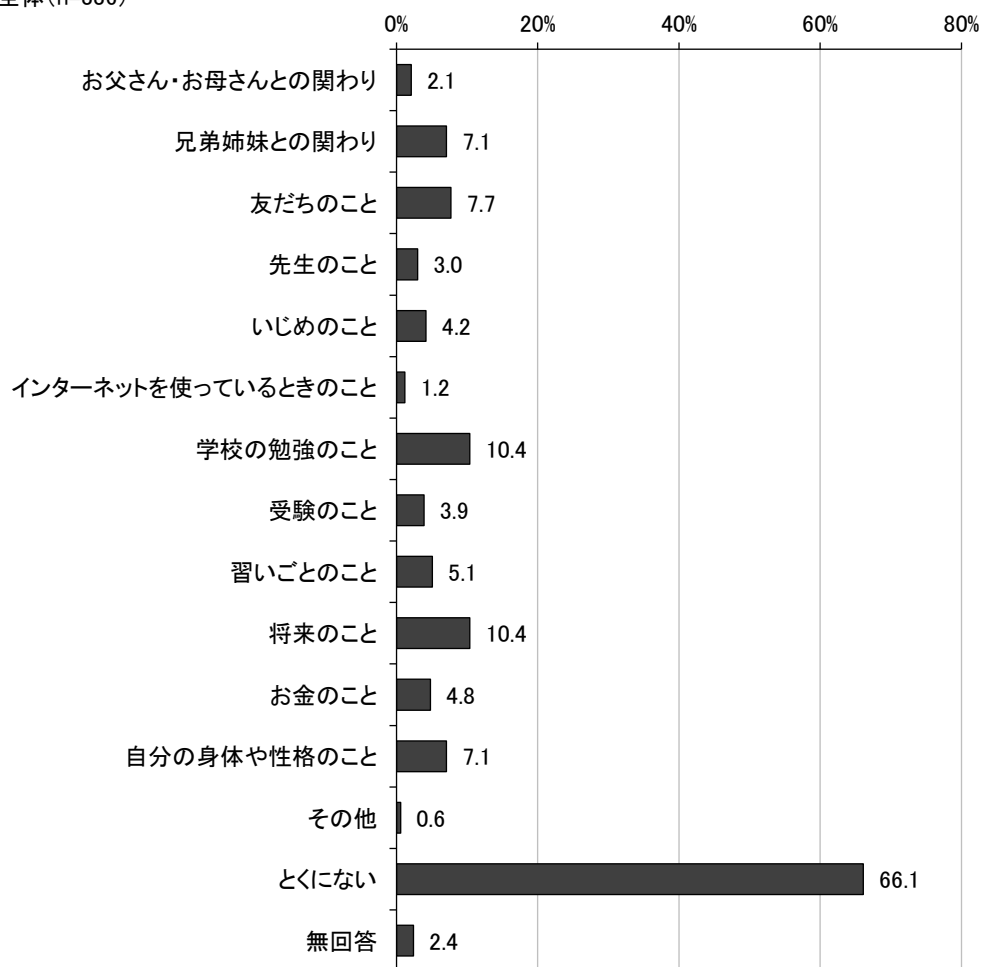
## 2 あなたの今のようすについておたずねします

問3 あなたは、ふだんの生活の中で何かこまっていることやなやんでいることはありますか。(〇はいくつでも)

普段の生活の中で困っていることや悩んでいることについては、「とくにない」が66.1%と最も多く、次いで「学校の勉強のこと」と「将来のこと」が10.4%となっています。

学年別にみると、小学6年では「友だちのこと」が11.1%、「学校の勉強のこと」が13.0%、「将来のこと」が13.9%と、他の学年に比べてやや高くなっています。

全体(n=336)



### ■クロス集計 学年別

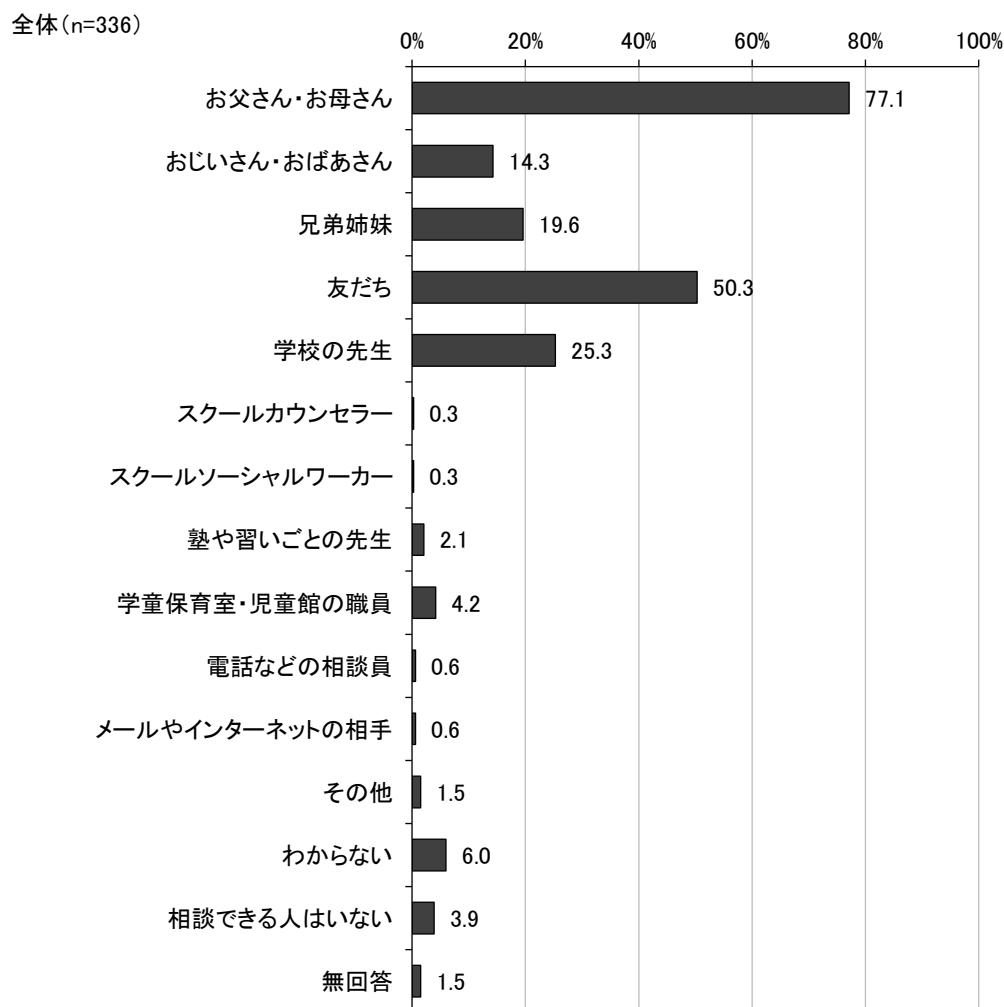
単位: %		お父さん・お母さんとの関わり	兄弟姉妹との関わり	友だちのこと	先生のこと	いじめのこと	インターネットを使っているときのこと	学校の勉強のこと	受験のこと	習いごとのこと	将来のこと	お金のこと	自分の身体や性格のこと	その他	とくにない	無回答
学年別	小学4年(n=122)	2.5	8.2	7.4	0.0	6.6	0.8	11.5	2.5	8.2	9.8	4.1	7.4	0.8	62.3	1.6
	小学5年(n=100)	0.0	5.0	5.0	5.0	1.0	1.0	7.0	4.0	1.0	8.0	8.0	7.0	1.0	70.0	2.0
	小学6年(n=108)	3.7	8.3	11.1	4.6	4.6	1.9	13.0	5.6	5.6	13.9	2.8	7.4	0.0	68.5	0.0



#### 問4 あなたは、なやみごとをだれに相談しますか。(○はいくつでも)

悩みごとの相談相手については、「お父さん・お母さん」が77.1%と最も多く、次いで「友だち」が50.3%、「学校の先生」が25.3%となっています。

学年別にみると、小学6年では「兄弟姉妹」が25.9%と、他の学年に比べて割合が高くなっています。



#### ■クロス集計 学年別

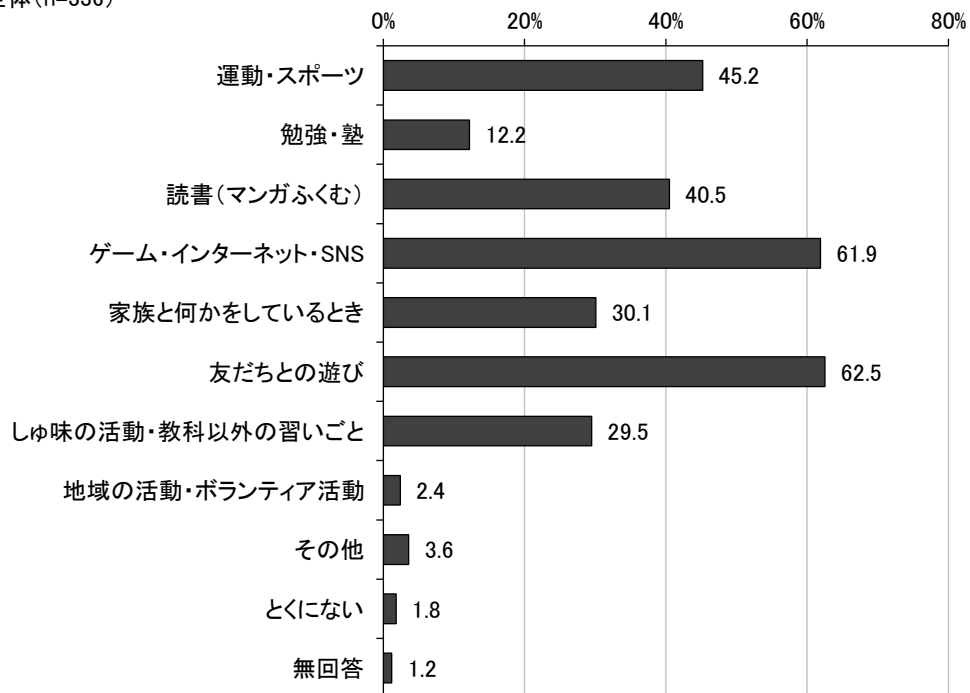
単位: %		お父さん・お母さん	おじいさん・おばあさん	兄弟姉妹	友だち	学校の先生	スクールカウンセラー	スクールソーシャルワーカー	塾や習いごとの先生	学童保育室・児童館の職員	電話などの相談員	メールやインターネットの相手	その他	わからない	相談できる人はいない	無回答
学年別	小学4年(n=122)	77.9	13.9	16.4	47.5	30.3	0.0	0.0	4.1	9.0	0.8	0.8	3.3	4.1	1.6	0.0
	小学5年(n=100)	81.0	17.0	17.0	48.0	26.0	1.0	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0	1.0	6.0	2.0	1.0
	小学6年(n=108)	75.9	13.0	25.9	58.3	20.4	0.0	0.0	0.9	2.8	0.0	0.9	0.0	8.3	7.4	0.0

## 問5 あなたが、今夢中になれることは何ですか。(○はいくつでも)

夢中になれることについては、「友だちとの遊び」が62.5%と最も多く、次いで「ゲーム・インターネット・SNS」が61.9%、「運動・スポーツ」が45.2%となっています。

学年別にみると、小学4・5年では「友だちとの遊び」が、小学6年では「ゲーム・インターネット・SNS」が最も多くなっています。

全体(n=336)



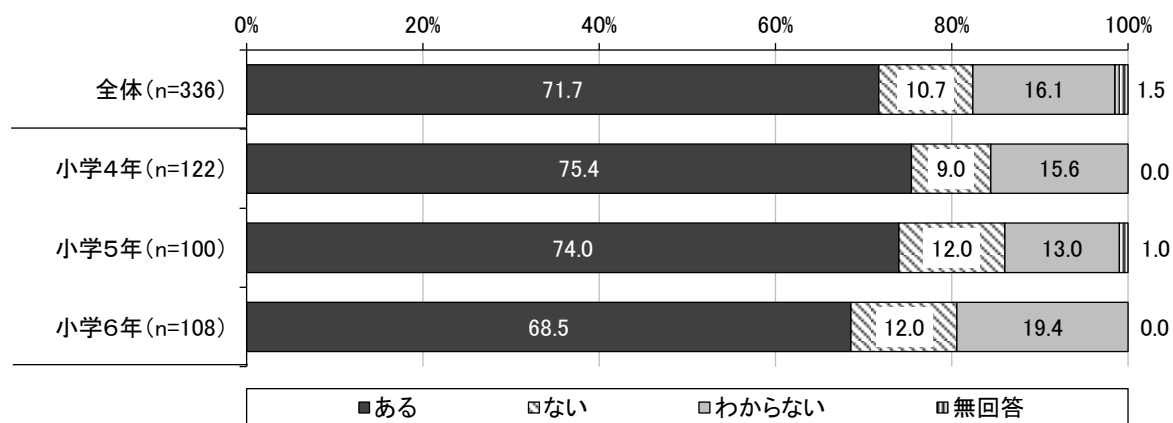
### ■クロス集計 学年別

単位: %		運動・スポーツ	勉強・塾	読書(マンガふくむ)	ゲーム・インターネット	家族と何かをしているとき	友だちとの遊び	しゅ味の活動・教科以外の習いごと	地域の活動・ボランティア	その他	とくにない	無回答
学年別	小学4年(n=122)	46.7	13.1	43.4	<b>57.4</b>	31.1	<b>58.2</b>	24.6	3.3	4.9	0.8	0.0
	小学5年(n=100)	45.0	11.0	41.0	<b>62.0</b>	30.0	<b>65.0</b>	32.0	1.0	3.0	4.0	0.0
	小学6年(n=108)	45.4	13.0	37.0	<b>70.4</b>	29.6	<b>67.6</b>	34.3	2.8	2.8	0.9	0.0

## 問6 あなたは、将来なりたいものがありますか。(○は1つ)

将来なりたいものがあるかについては、「ある」が71.7%と最も多く、次いで「わからない」が16.1%、「ない」が10.7%となっています。

学年別にみると、大きな差は見られません。

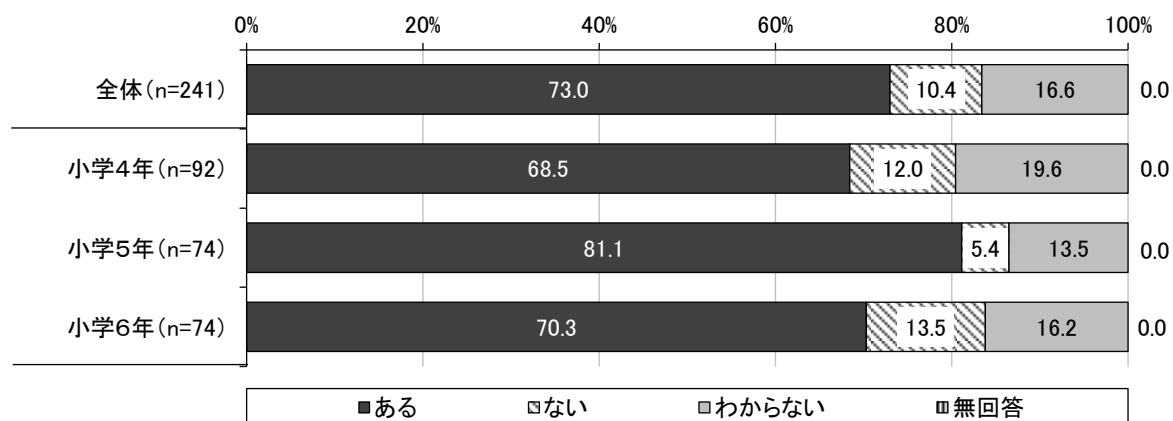


### 【問6で「1」をえらんだ方のみ】

## 問6—1 あなたは、将来なりたいもののために、努力していることはありますか。(○は1つ)

将来なりたいもののために努力していることがあるかについては、「ある」が73.0%と最も多く、次いで「わからない」が16.6%、「ない」が10.4%となっています。

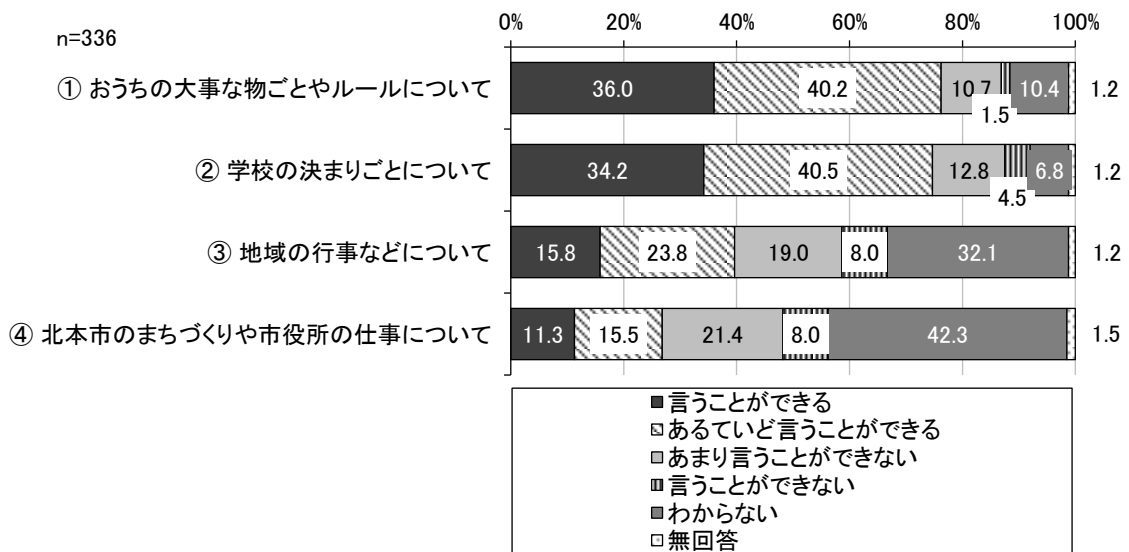
学年別にみると、小学5年で「ある」が81.1%と、他の学年に比べて割合が高くなっています。



問7 あなたは、次のことについて自分の考えや思いがあるときに、それを言うことができますか。(○はそれぞれ1つ)

自分の考えや思いがあるときに、それを言うことができるかについては、「言うことができる」と「あるていど言うことができる」を合わせた“言うことができる”が、<① おうちの大事な物ごとやルールについて>と<② 学校の決まりごとについて>で7割台となっています。

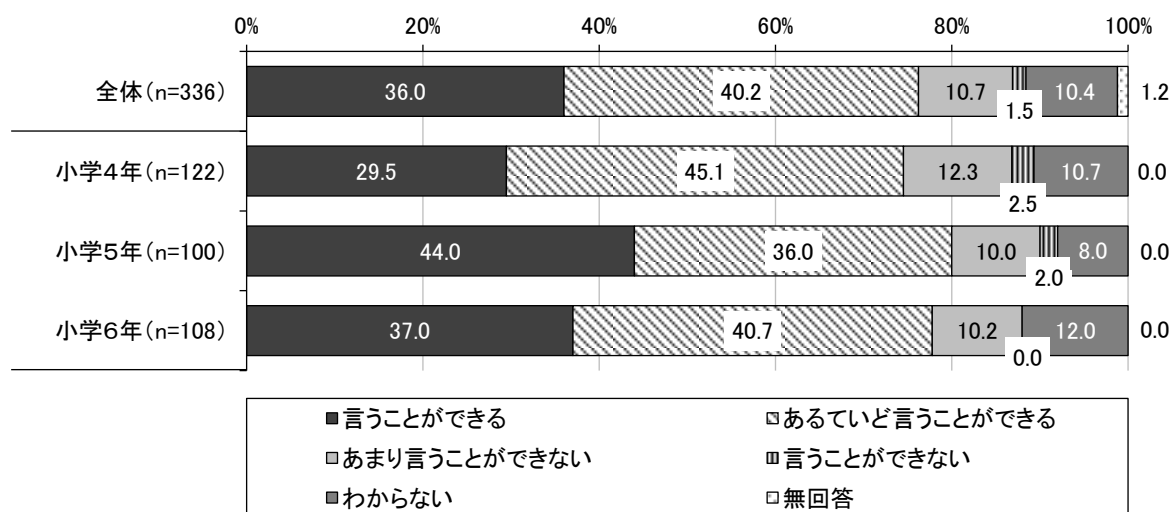
また、<④ 北本市のまちづくりや市役所の仕事について>で「わからない」が42.3%と他の項目に比べて割合が高くなっています。



### ① おうちの大事な物ごとやルールについて

家庭における大事な物事やルールについて、自分の考えや思いを言うことができるかについては、「あるていど言うことができる」が40.2%と最も多く、次いで「言うことができる」が36.0%となっています。また、「言うことができる」と「あるていど言うことができる」を合わせた“言うことができる”が76.2%と、「あまり言うことができない」と「言うことができない」を合わせた“言うことができない”の12.2%を64.0ポイント上回っています。

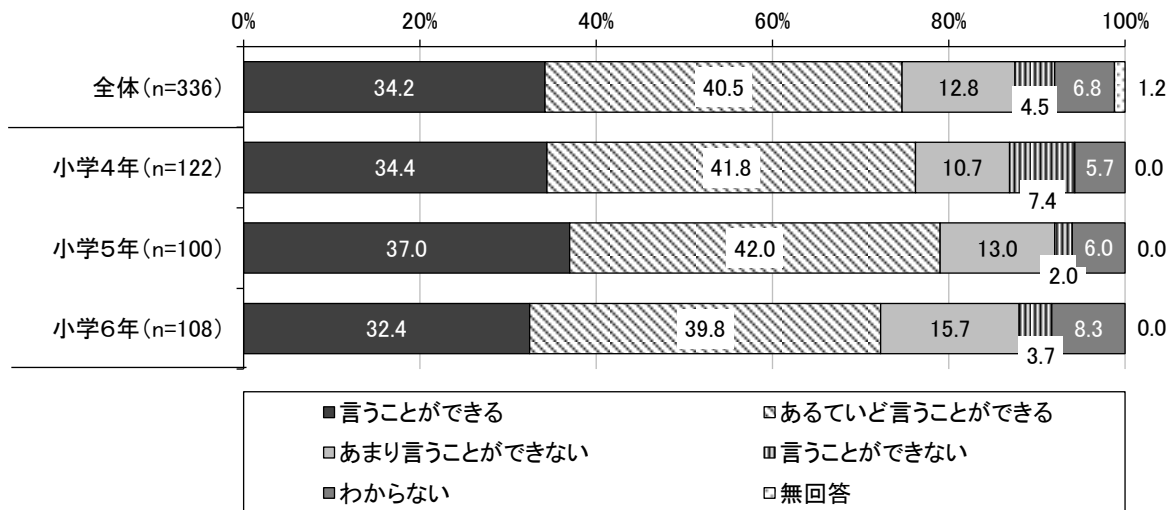
学年別にみると、小学5年では「言うことができる」が44.0%と、他の学年に比べて割合が高くなっています。



## ② 学校の決まりごとについて

学校の決まりごとについて、自分の考えや思いを言うことができるかについては、「あるていど言うことができる」が40.5%と最も多く、次いで「言うことができる」が34.2%となっています。また、「言うことができる」が74.7%と、「言うことができない」の17.3%を57.4ポイント上回っています。

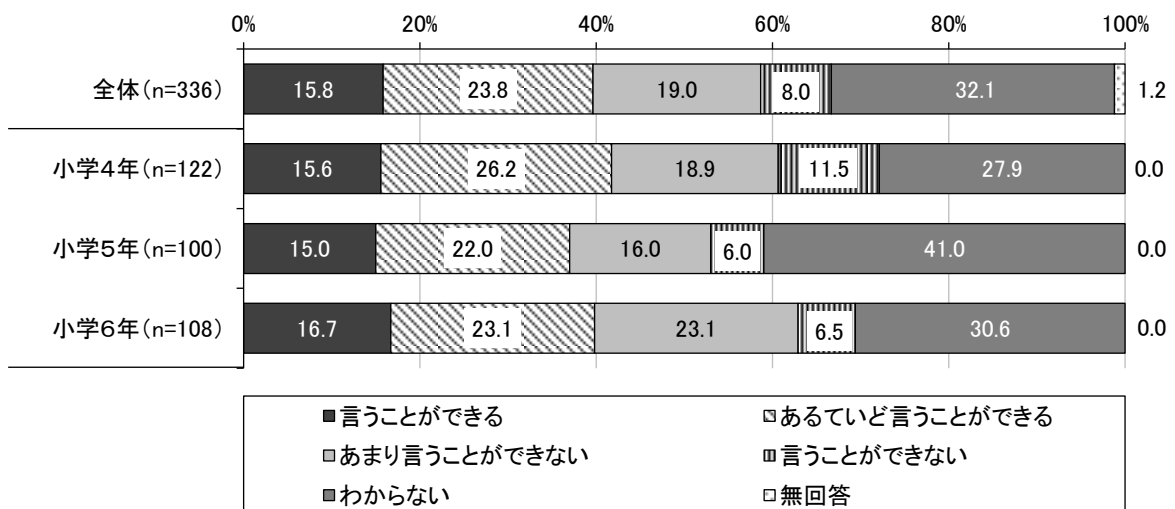
学年別にみると、大きな差は見られません。



## ③ 地域の行事などについて

地域の行事などについて、自分の考えや思いを言うことができるかについては、「わからない」が32.1%と最も多く、「あるていど言うことができる」が23.8%となっています。また、「言うことができる」が39.6%と、「言うことができない」の27.0%を12.6ポイント上回っています。

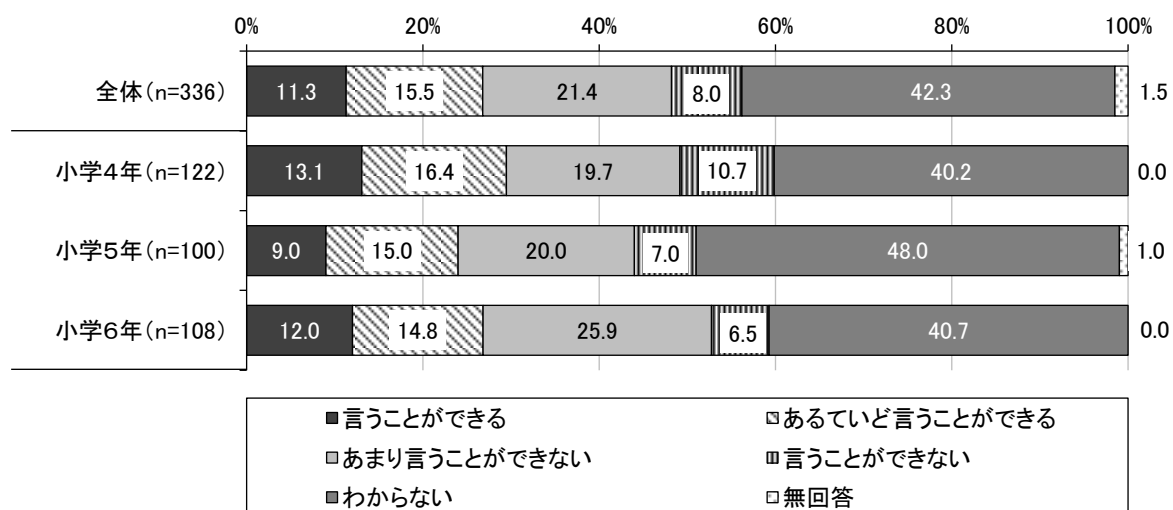
学年別にみると、小学5年では「わからない」が41.0%と、他の学年に比べて割合が高くなっています。



#### ④ 北本市のまちづくりや市役所の仕事について

北本市のまちづくりや市役所の仕事について、自分の考えや思いを言うことができるかについては、「わからない」が42.3%と最も多く、「あまり言うことができない」が21.4%となっています。また、「言うことができない」が29.4%、「言うことができる」が26.8%となっています。

学年別にみると、大きな差は見られません。



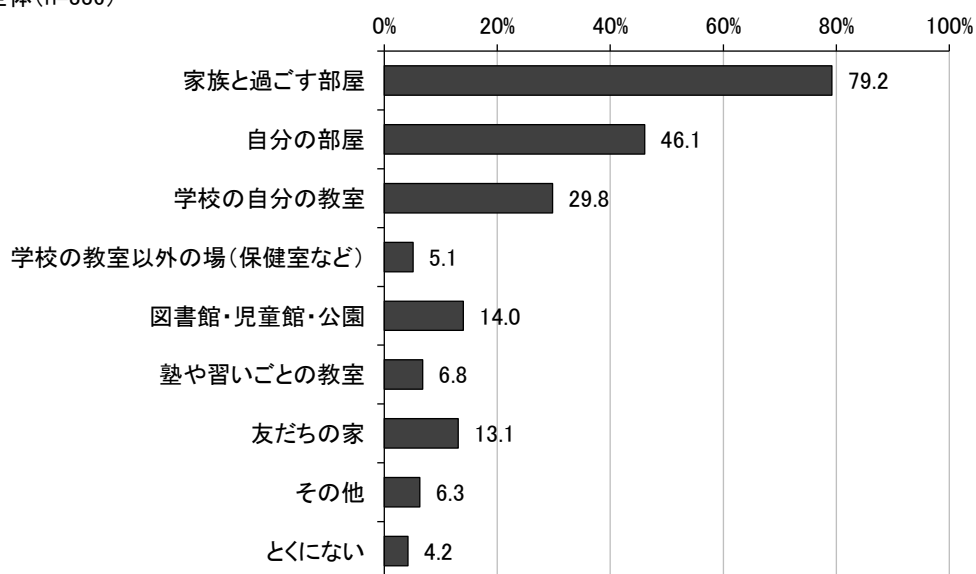
### 3 生活の場についておたずねします

問8 あなたが、ふだんの生活の中で、ホッとでき、安心していられる場所はどこだと感じていますか。(〇はいくつでも)

普段の生活の中で、ホッとでき、安心していられる場所については、「家族と過ごす部屋」が79.2%と最も多く、次いで「自分の部屋」が46.1%、「学校の自分の教室」が29.8%となっています。

学年別にみると、小学6年では「自分の部屋」が61.1%、「友だちの家」が18.5%と、他の学年に比べて割合が高くなっています。

全体(n=336)



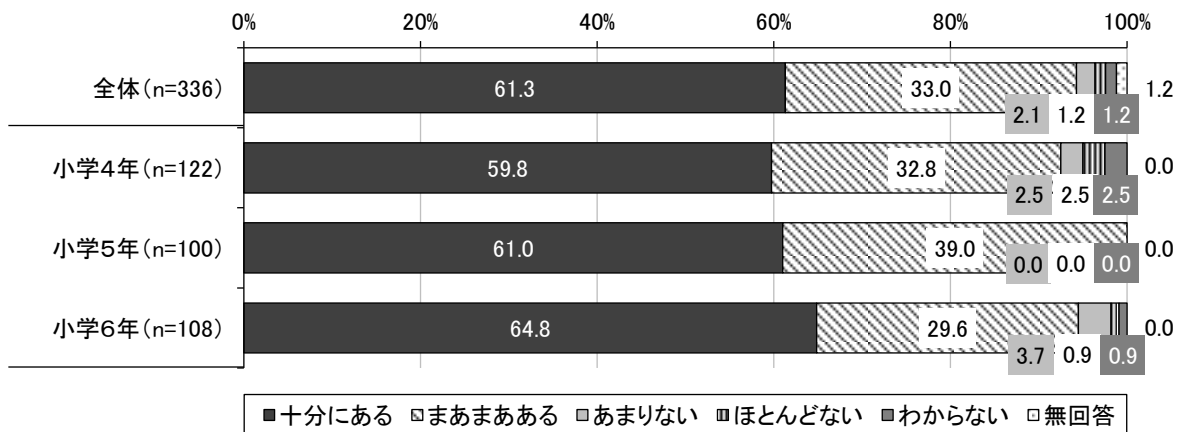
#### ■クロス集計 学年別

単位: %		家族と過ごす部屋	自分の部屋	学校の自分の教室	学校の教室以外の場(保健室など)	図書館・児童館・公園	塾や習いごとの教室	友だちの家	その他	とくにない	無回答
学年別	小学4年(n=122)	80.3	40.2	36.1	3.3	13.1	8.2	9.0	4.1	4.9	0.8
	小学5年(n=100)	85.0	39.0	27.0	7.0	16.0	5.0	13.0	4.0	3.0	0.0
	小学6年(n=108)	75.0	61.1	25.0	5.6	13.9	6.5	18.5	10.2	4.6	0.9



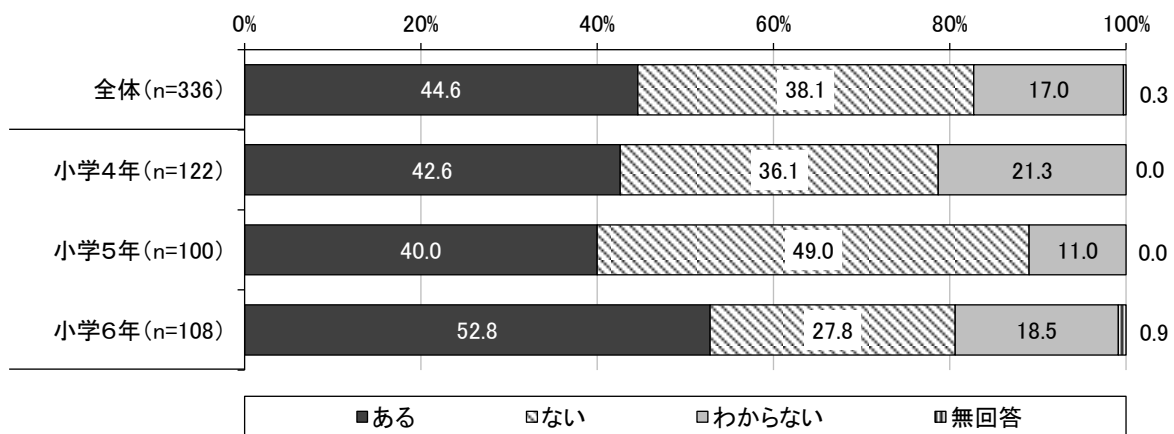
問9 ふだんの生活の中で、遊び、休けいなど、自分の好きなことをする時間や場所が十分にあると思いますか。(○は1つ)

普段の生活の中で、遊び、休憩など、自分の好きなことをする時間や場所については、「十分にある」が61.3%と最も多く、次いで「まあまあある」が33.0%となっています。また、「十分にある」と「まあまあある」を合わせた“ある”は94.3%と、大多数を占めています。  
学年別にみると、大きな差は見られません。



問10 あなたは、これまで、人からされたことで「とてもいやな思い」をしたことがありますか。(○は1つ)

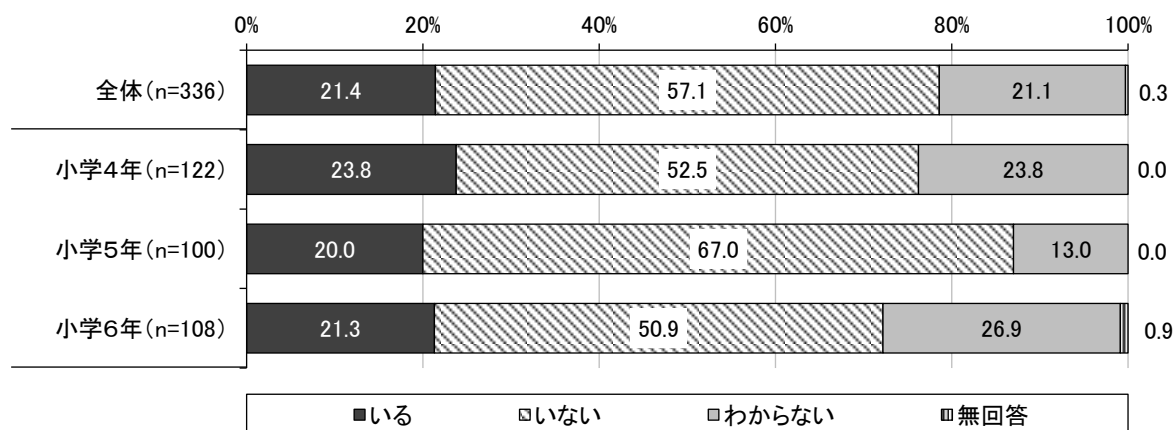
人からされたことで、「とても嫌な思い」をしたことがあるかについては、「ある」が44.6%と最も多く、次いで「ない」が38.1%、「わからない」が17.0%となっています。  
学年別にみると、小学6年では「ある」が52.8%と、他の学年に比べて割合が高くなっています。



### 問11 あなたを、言葉や力できずつける人はいますか。(○は1つ)

言葉や力で傷つける人がいるかについては、「いない」が57.1%と最も多く、次いで「いる」が21.4%、「わからない」が21.1%となっています。

学年別にみると、小学5年で「いない」が67.0%と、他の学年に比べて割合が高くなっています。

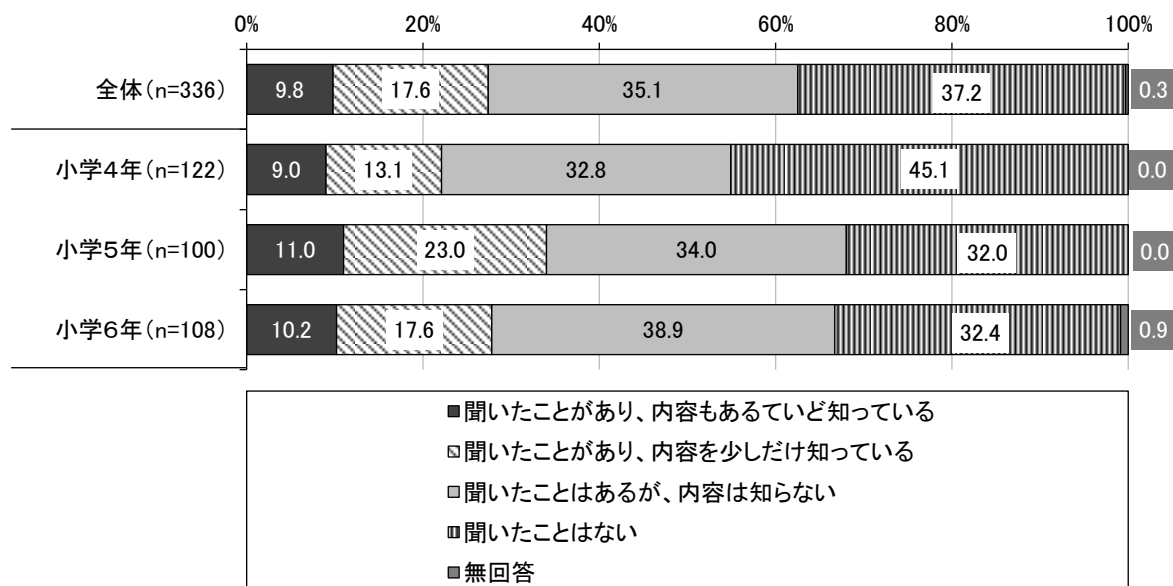


## 4 「子どもの権利」についておたずねします

問12 あなたは、「子どもの権利」について聞いたことがありますか。また、どのくらい知っていますか。(○は1つ)

「子どもの権利」について聞いたことがあるかについては、「聞いたことはない」が37.2%と最も多く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が35.1%となっています。また、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と「聞いたことはない」を合わせた“内容を知らない”72.3%と、「聞いたことがあり、内容もあるていど知っている」と「聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている」を合わせた“内容を知っている”の27.4%を44.9ポイント上回っています。

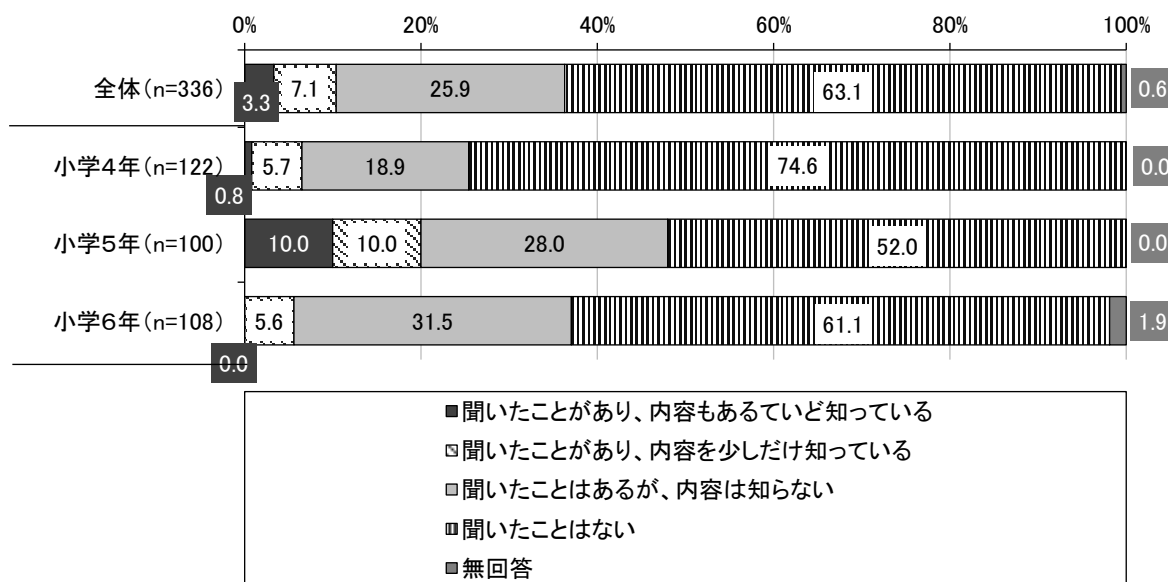
学年別にみると、小学4年では「聞いたことはない」が45.1%と、他の学年に比べて割合が高くなっています。



問13 あなたは、北本市が令和3年度につくった「子どもの権利条例」について聞いたことがありますか。また、どのくらい知っていますか。(○は1つ)

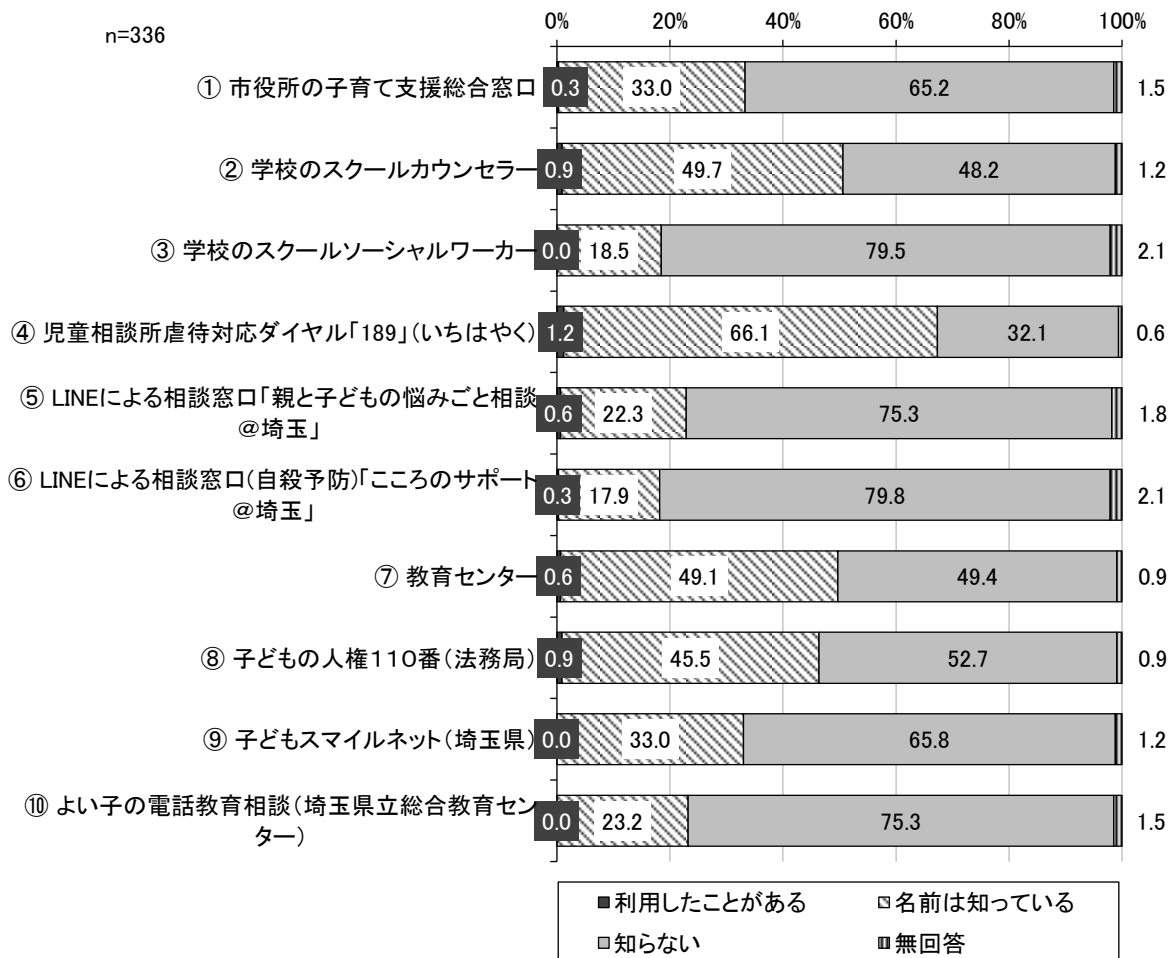
北本市が令和3年度に制定した「子どもの権利条例」について聞いたことがあるかについては、「聞いたことはない」が63.1%と最も多く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が25.9%となっています。また、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と「聞いたことはない」を合わせた“内容を知らない”が89.0%と、「聞いたことがあり、内容もあるていど知っている」と「聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている」を合わせた“内容を知っている”の10.4%を78.6ポイント上回っています。

学年別にみると、小学5年では“内容を知っている”が20.0%と、他の学年に比べて割合が高くなっています。



問14 次の子どもの相談先のうち、あなたが知っているところはどこですか。  
(○はそれぞれ1つ)

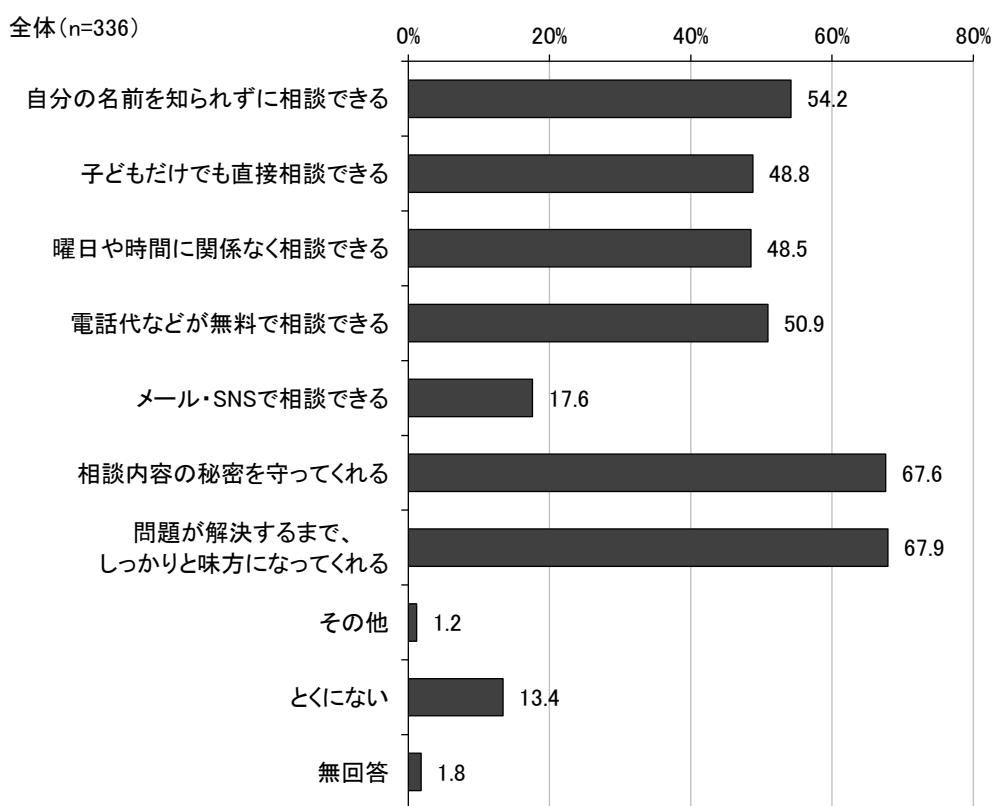
知っている相談先については、「名前は知っている」で<④ 児童相談所虐待対応ダイヤル「189」(いちはやく)>で6割台、<② 学校のスクールカウンセラー>、<⑦ 教育センター>と<⑧ 子どもの人権110番(法務局)>で4割台と高くなっています。  
一方、「知らない」では<③ 学校のスクールソーシャルワーカー>と<⑥ LINEによる相談窓口(自殺予防)「こころのサポート@埼玉」>で約8割と高くなっています。  
また、<⑪ その他>では「名前は知っている」に4.2%の回答がありました。(図省略)



問15 あなたが相談するときだいじだと思ふことは何ですか。(○はいくつでも)

相談するとき大事だと思ふことについては、「問題が解決するまで、しっかりと味方になってくれる」が67.9%と最も多く、次いで「相談内容の秘密を守ってくれる」が67.6%、「自分の名前を知られずに相談できる」が54.2%となっています。

学年別にみると、小学4・5年では「問題が解決するまで、しっかりと味方になってくれる」、小学6年では「相談内容の秘密を守ってくれる」が最も多くなっています。また、小学6年で「メール・SNSで相談できる」が約3割で他の学年に比べて割合が高くなっています。



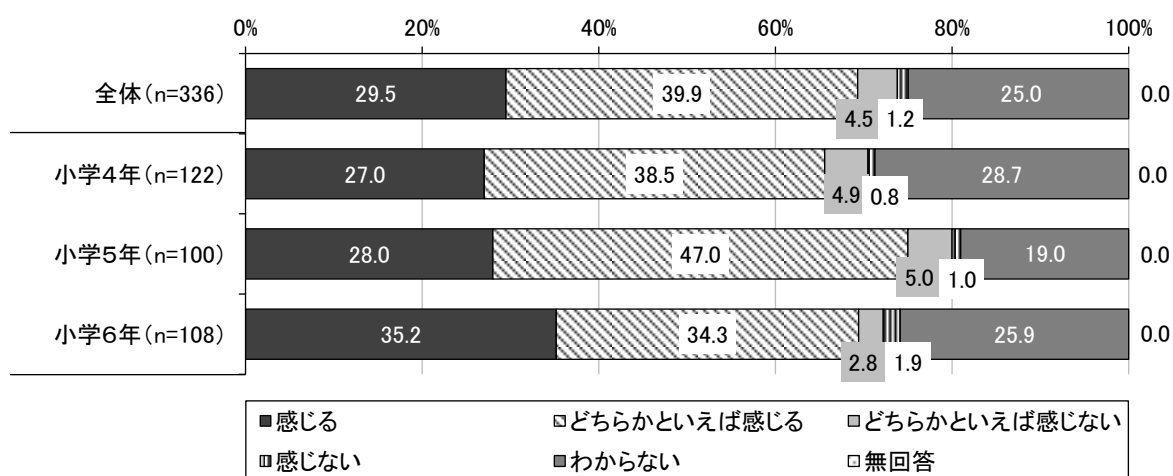
■クロス集計 学年別

単位: %		自分の名前を知られずに相談できる	子どもだけでも直接相談できる	曜日や時間に関係なく相談できる	電話代などが無料で相談できる	メール・SNSで相談できる	相談内容の秘密を守ってくれる	問題が解決するまで、しっかりと味方になってくれる	その他	とくにない	無回答
学年別	小学4年(n=122)	50.8	45.9	52.5	50.8	14.8	<b>62.3</b>	<b>65.6</b>	0.0	13.9	1.6
	小学5年(n=100)	52.0	45.0	46.0	44.0	8.0	<b>68.0</b>	<b>70.0</b>	1.0	12.0	3.0
	小学6年(n=108)	58.3	54.6	47.2	58.3	29.6	<b>74.1</b>	<b>69.4</b>	2.8	13.9	0.9

問16 あなたは、ふだんの生活の中で、子どもの権利が十分に守られていると感じますか。(○は1つ)

普段の生活の中で、子どもの権利が十分に守られていると感じるかについては、「どちらかといえば感じる」が39.9%と最も多く、次いで「感じる」が29.5%となっています。また、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた“感じる”が69.4%と、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合わせた“感じない”の5.7%を63.7ポイント上回っています。

学年別にみると、小学5年では“感じる”が7割台と他の学年に比べて割合が高くなっています。



問17 その他、ご意見などがあればご自由にお書きください。

7人の方から、7件のご意見をいただきました。

「環境の整備・要望について」、「相談できる場所の確保について」、「学校教育の充実・改善について」がそれぞれ2件、「子どもの権利について」が1件となっています。

以下にカテゴリごとに意見を掲載します。

カテゴリ	件数
環境の整備・要望について	2
○最近、児童館の利用者数が多くなってきて職員が大変と言っていた。もう少し、場所を増やしてほしい。あと、もう少し職員を増やしてほしい。 ○駅前にショッピングモールがほしい。	
相談できる場所の確保について	2
○相談先をあまり知らなかった。 ○親などの許可などを取らず、自由に相談できるようにしてほしい。	
学校教育の充実・改善について	2
○学校では先生が自分が絶対と、間違っていることを強制してくる。 ○2クラスにしてください。40人じゃ多い。	
子どもの権利について	1
○「安心して生きる権利」、「守られる権利」があって、北本市の人達は守ってくれているなと思った。	
合 計	7

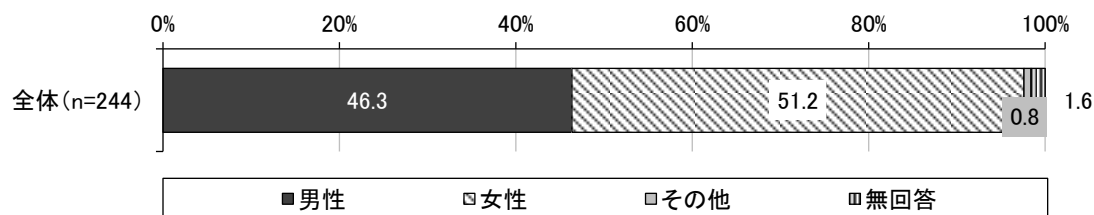


### Ⅲ 中学生調査結果

#### 1 あなた自身についておたずねします

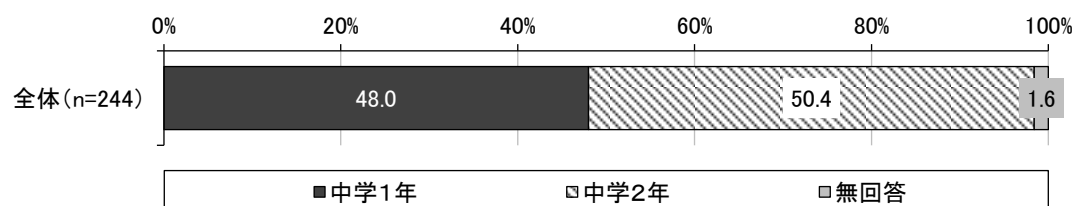
問1 あなたの性別について、お教えてください。(○は1つ)

性別については、「女性」が51.2%と、「男性」の46.3%を上回っています。



問2 あなたの今の学年について、お教えてください。(○は1つ)

学年については、「中学2年」が50.4%、「中学1年」が48.0%となっています。

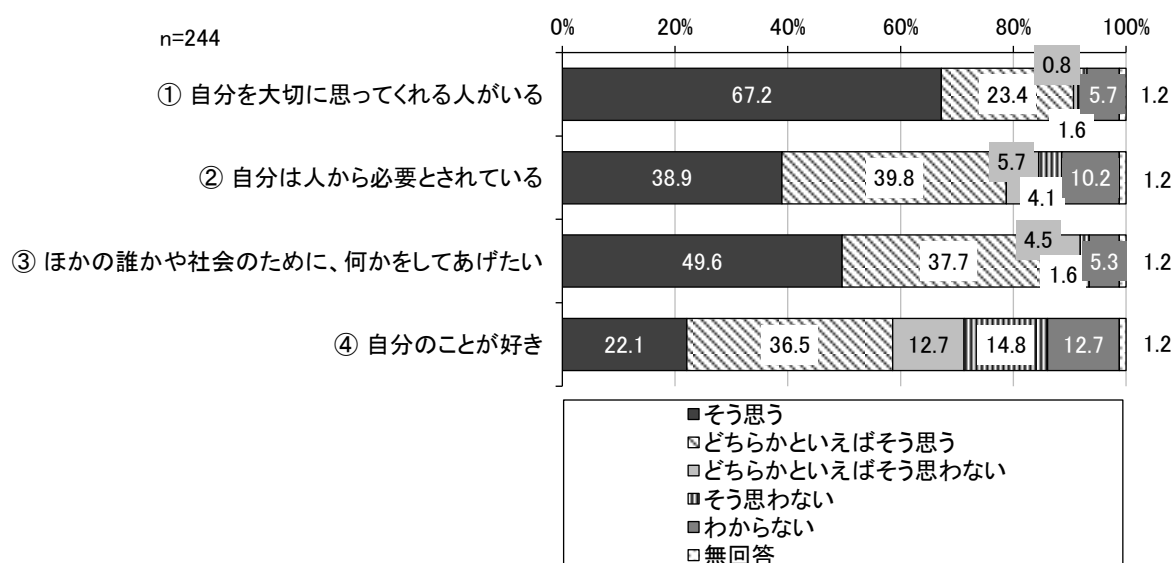


## 2 あなたの今のようすについておたずねします

問3 あなたは、自分自身についてどのように感じていますか。(○はそれぞれ1つ)

自分自身についてどのように感じているかについては、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”が<① 自分を大切に思ってくれる人がいる>で9割台、<③ ほかの誰かや社会のために、何かをしてあげたい>で8割台、<② 自分は人から必要とされている>で7割台となっています。

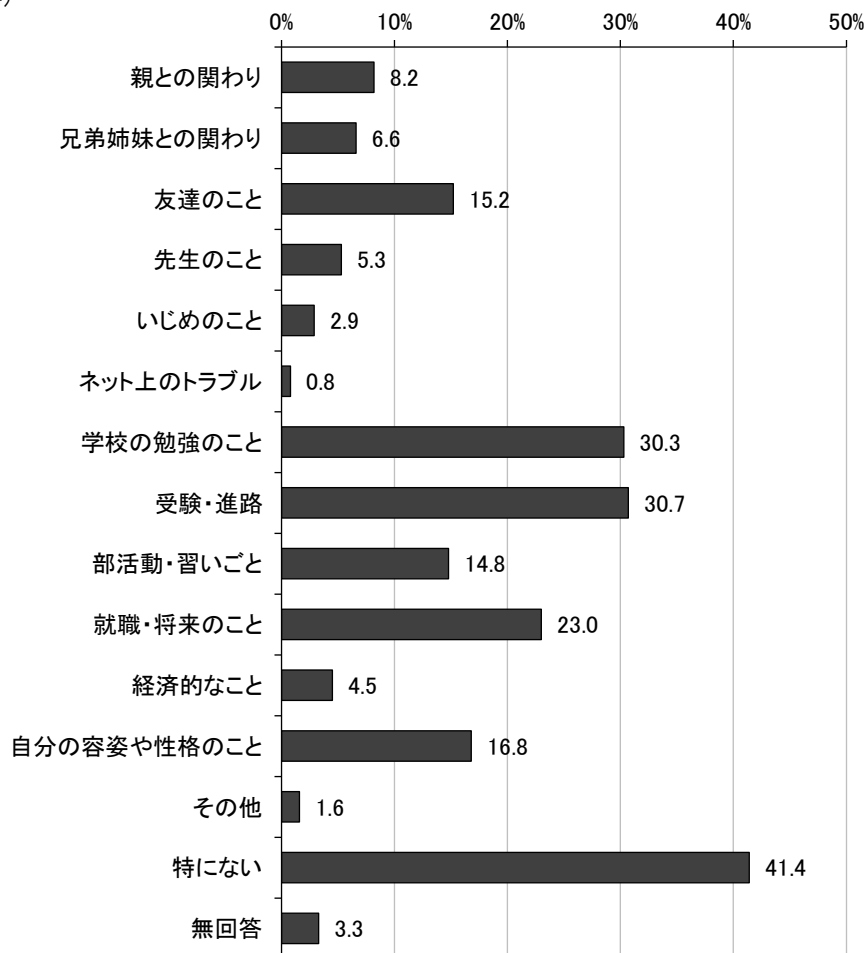
一方で、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”で、<④ 自分のことが好き>で約3割となっています。



問4 あなたは、ふだんの生活の中で何か困りごとや悩みごとはありますか。  
(○はいくつでも)

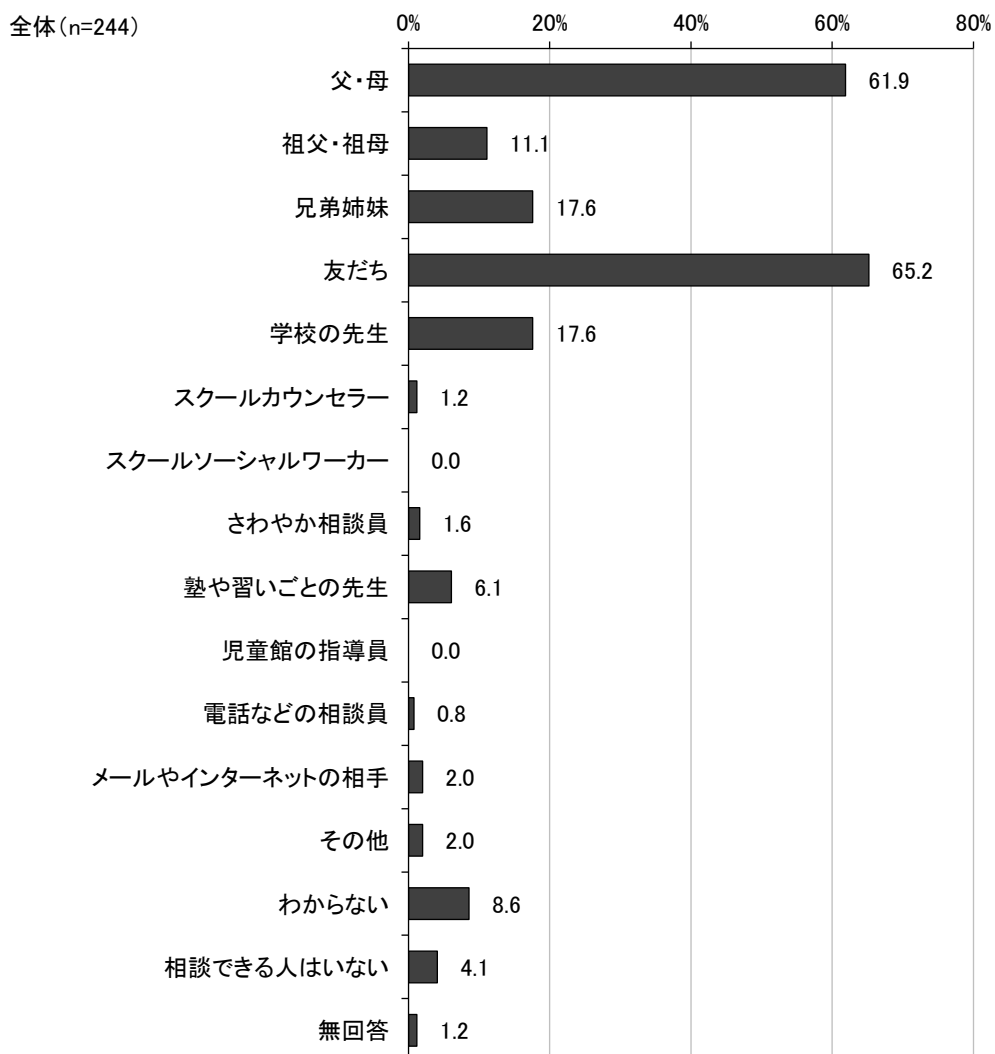
普段の生活の中での困りごとや悩みごとについては、「特にない」が41.4%と最も多く、次いで「受験・進路」が30.7%、「学校の勉強のこと」が30.3%となっています。

全体(n=244)



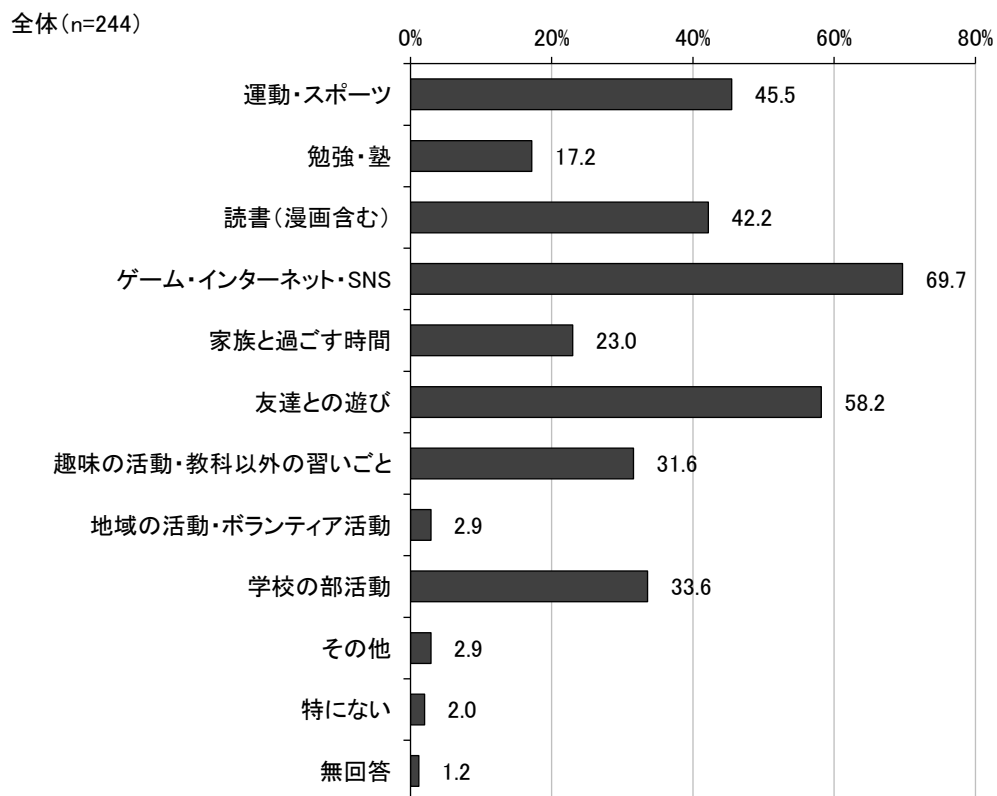
### 問5 あなたは、悩みごとを誰に相談しますか。(〇はいくつでも)

悩みごとの相談相手については、「友だち」が 65.2%と最も多く、次いで「父・母」が 61.9%、「兄弟姉妹」と「学校の先生」が 17.6%となっています。



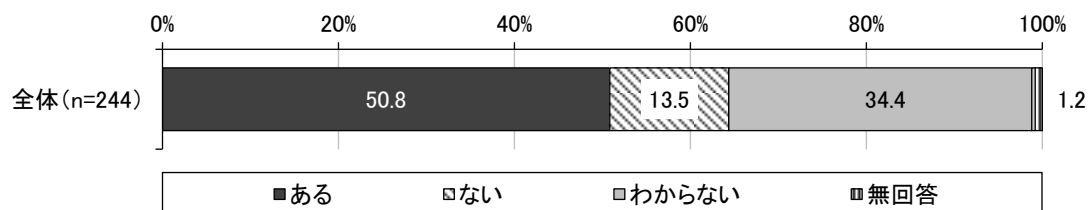
## 問6 あなたが、今夢中になれることは何ですか。(○はいくつでも)

夢中になれることについては、「ゲーム・インターネット・SNS」が69.7%と最も多く、次いで「友だちとの遊び」が58.2%、「運動・スポーツ」が45.5%となっています。



## 問7 あなたは、将来なりたいものはありますか。(○は1つ)

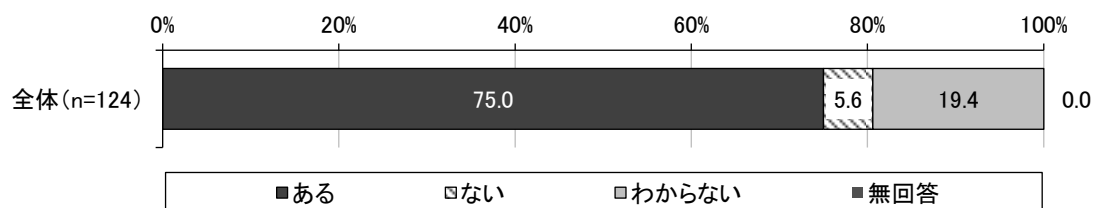
将来なりたいものについては、「ある」が50.8%と最も多く、次いで「わからない」が34.4%、「ない」が13.5%となっています。



### 【問7で「1」を選んだ方のみ】

## 問7-1 あなたは、将来なりたいもののために、努力していることはありますか。(○は1つ)

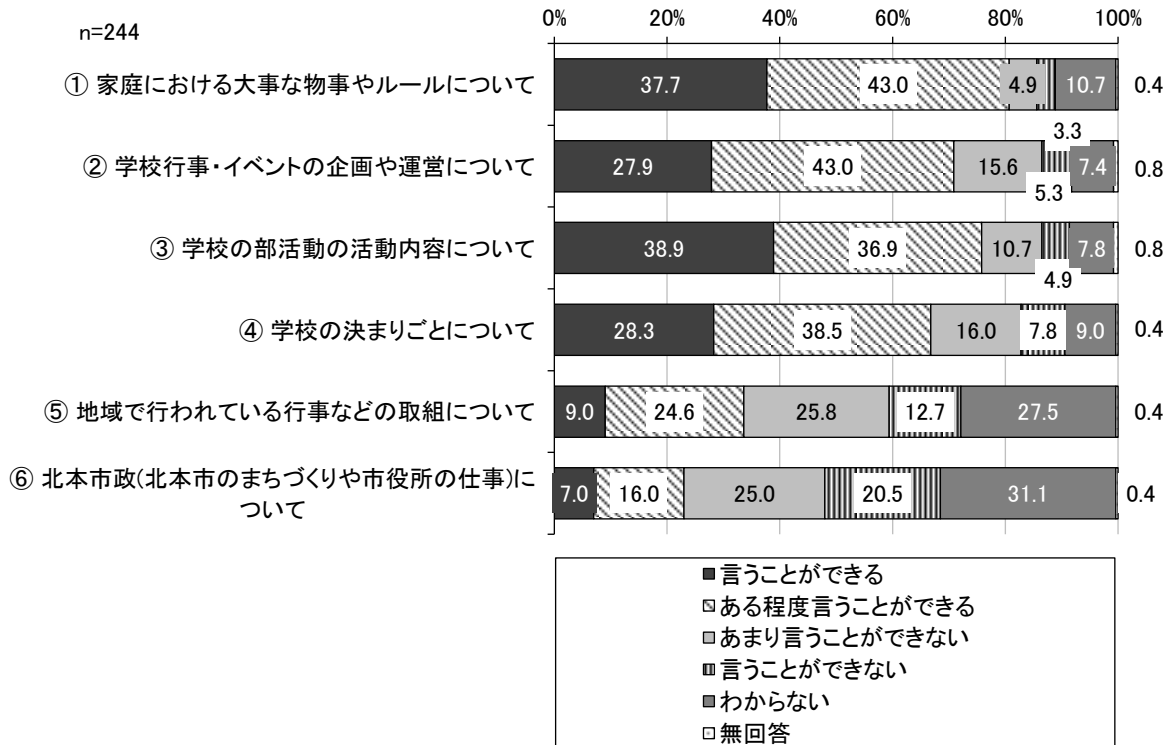
将来なりたいもののために、努力していることがあるかについては、「ある」が75.0%と最も多く、次いで「わからない」が19.4%、「ない」が5.6%となっています。



問8 あなたは、次のことについて自分の考えや思いがあるときに、それを言うことができますか。(○はそれぞれ1つ)

自分の考えや思いがあるときに、それを言うことができるかについては、「言うことができる」と「ある程度言うことができる」を合わせた“言うことができる”が<① 家庭における大事な物事やルールについて>で8割台、<② 学校行事・イベントの企画や運営について>と<③ 学校の部活動の活動内容について>で7割台となっています。

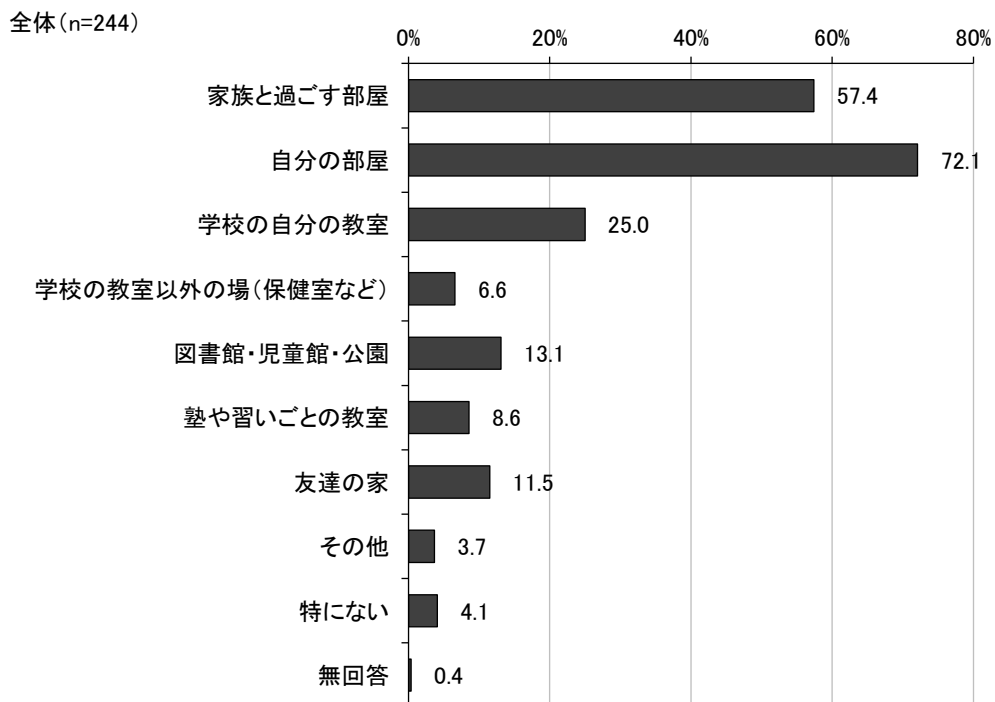
一方で、「わからない」で、<⑤ 地域で行われている行事などの取組について>と<⑥ 北本市政(北本市のまちづくりや市役所の仕事)について>で約3割となっています。



### 3 生活の場についておたずねします

問9 あなたが、ふだんの生活の中で、ホッとでき、安心していただける場所はどこだと感じていますか。(〇はいくつでも)

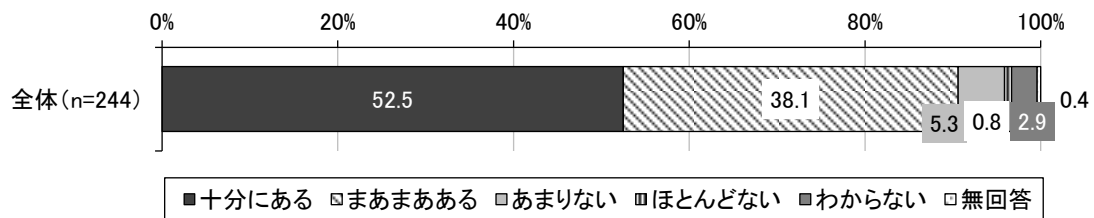
普段の生活の中で、ホッとでき、安心していただける場所については、「自分の部屋」が72.1%と最も多く、次いで「家族と過ごす部屋」が57.4%、「学校の自分の教室」が25.0%となっています。





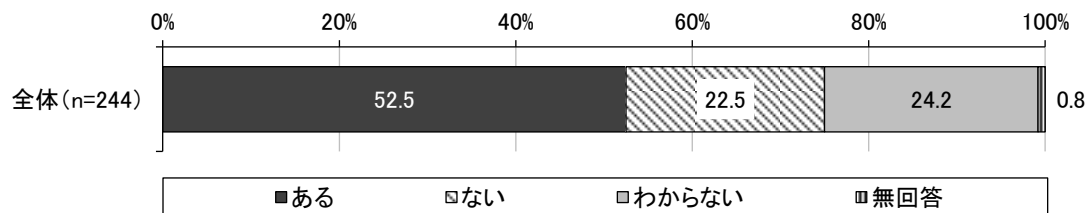
問10 ふだんの生活の中で、遊び、休息など、自分の好きなことをする時間や場所が十分にあると思いますか。(○は1つ)

普段の生活の中で、遊び、休息など、自分の好きなことをする時間や場所については、「十分にある」が52.5%と最も多く、次いで「まあまあある」が38.1%となっています。また、「十分にある」と「まあまあある」を合わせた“ある”が90.6%と、「あまりない」と「ほとんどない」を合わせた“ない”の6.1%を84.5ポイント上回っています。



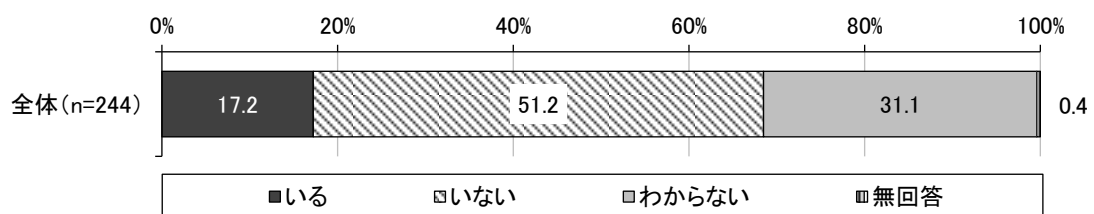
問11 あなたは、これまで、人からされたことで「とてもいやな思い」をしたことがありますか。(○は1つ)

人からされたことで、「とても嫌な思い」をしたことがあるかについては、「ある」が52.5%と最も多く、次いで「わからない」が24.2%、「ない」が22.5%となっています。



問12 あなたを、言葉や力で傷つける人はいますか。(○は1つ)

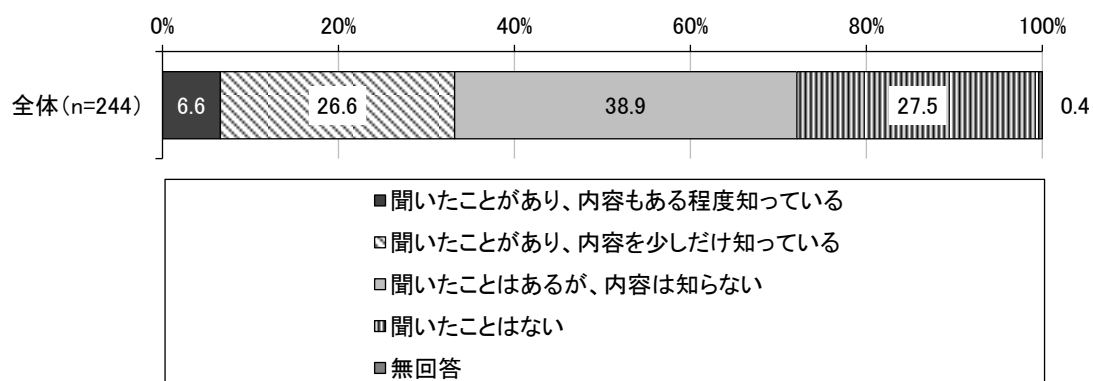
言葉や力で傷つける人がいるかについては、「いない」が51.2%と最も多く、次いで「わからない」が31.1%、「いる」が17.2%となっています。



## 4 「子どもの権利」についておたずねします

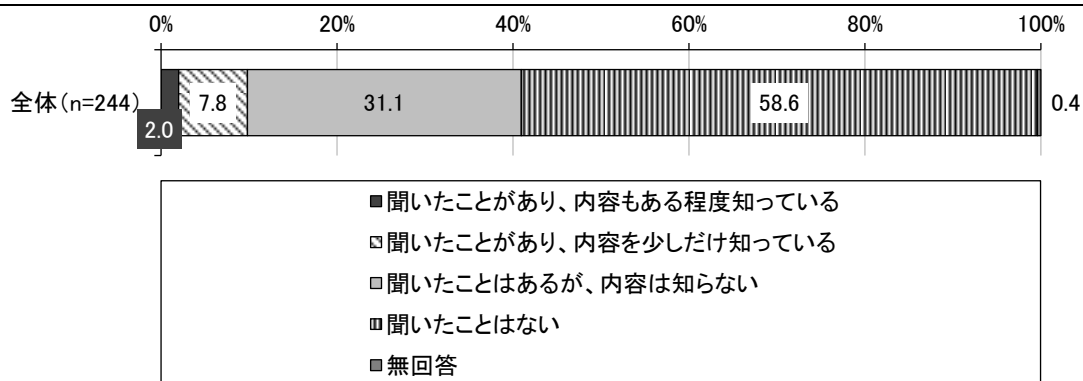
問13 あなたは、「子どもの権利」について聞いたことがありますか。また、内容をどの程度知っていますか。(○は1つ)

「子どもの権利」について聞いたことがあるかについては、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が38.9%と最も多く、「聞いたことはない」が27.5%となっています。また、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と「聞いたことはない」を合わせた“内容を知らない”が66.4%と、「聞いたことがあります、内容もある程度知っている」と「聞いたことがあります、内容を少しだけ知っている」を合わせた“内容を知っている”の33.2%を33.2ポイント上回っています。



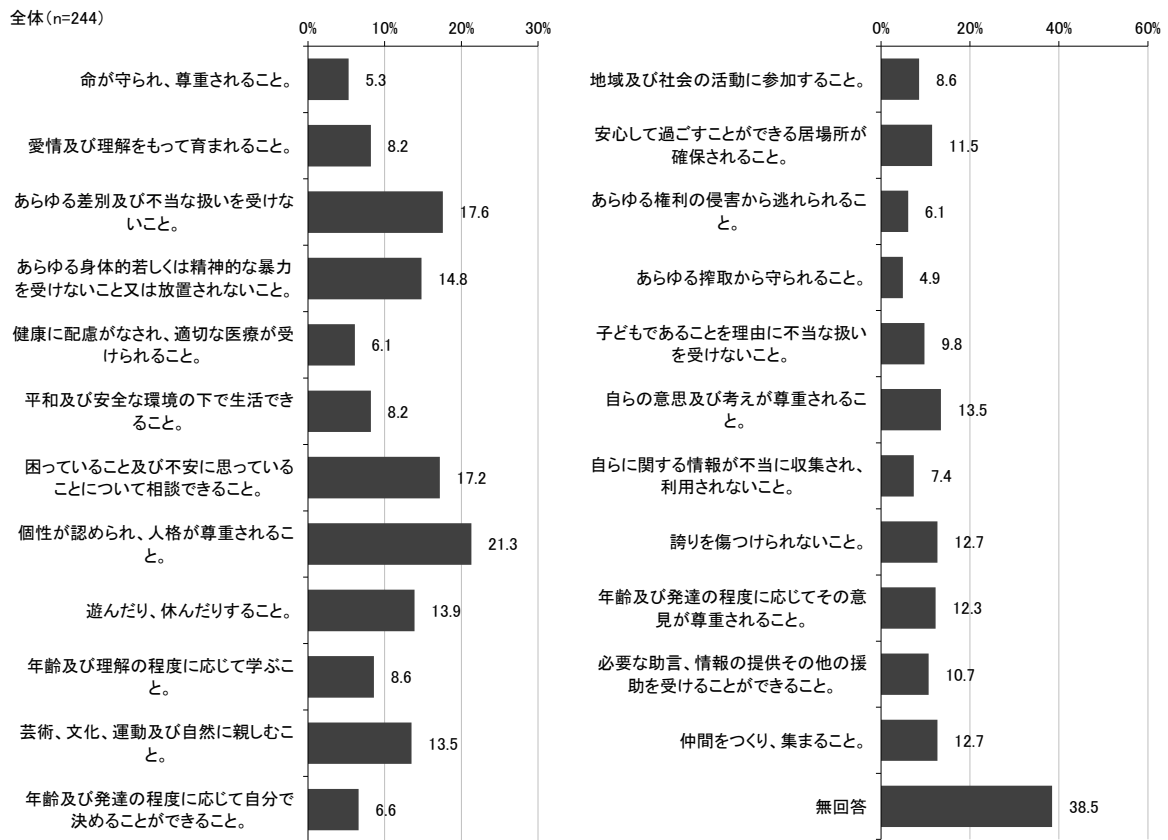
問14 あなたは、北本市が令和3年度に制定した「子どもの権利条例」について聞いたことがありますか。また、内容をどの程度知っていますか。(○は1つ)

北本市が令和3年度に制定した「子どもの権利条例」について聞いたことがあるかについては、「聞いたことはない」が58.6%と最も多く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が31.1%となっています。また、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と「聞いたことはない」を合わせた“内容を知らない”が89.7%と、「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」と「聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている」を合わせた“内容を知っている”の9.8%を79.9ポイント上回っています。



問15 「子どもの権利条例」では、保障されなければならない大切な子どもの権利として「安心して生きる権利」「自分らしく育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」の4つの権利と、23の項目を挙げています。あなたは、これらの中で、北本市でまだ十分ではないと感じるものはありますか。(〇はいくつでも)

「子どもの権利条例」で挙げられる、北本市でまだ十分でないと感じる項目については、「個性が認められ、人格が尊重されること」が21.3%と最も多く、次いで「あらゆる差別及び不当な扱いを受けないこと」が17.6%、「困っていること及び不安に思っていることについて相談できること」が17.2%となっています。

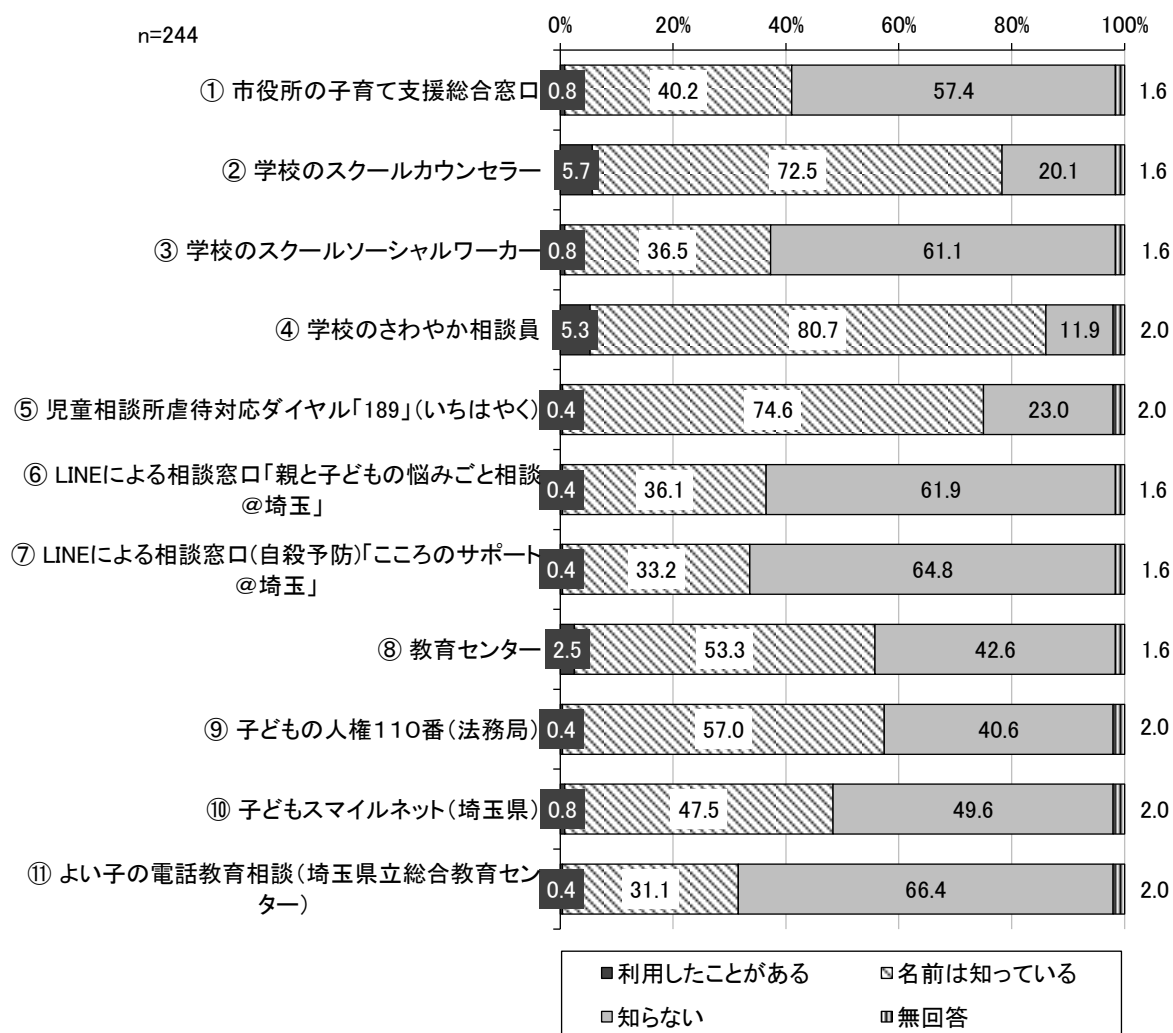


問16 次の子どもに関する相談先のうち、あなたが知っているところはどこですか。(○はそれぞれ1つ)

知っている相談先については、「名前は知っている」で<④ 学校のさわやか相談員>で8割台、<② 学校のスクールカウンセラー>と<⑤ 児童相談所虐待対応ダイヤル「189」(いちはやく)>で7割台と高くなっています。

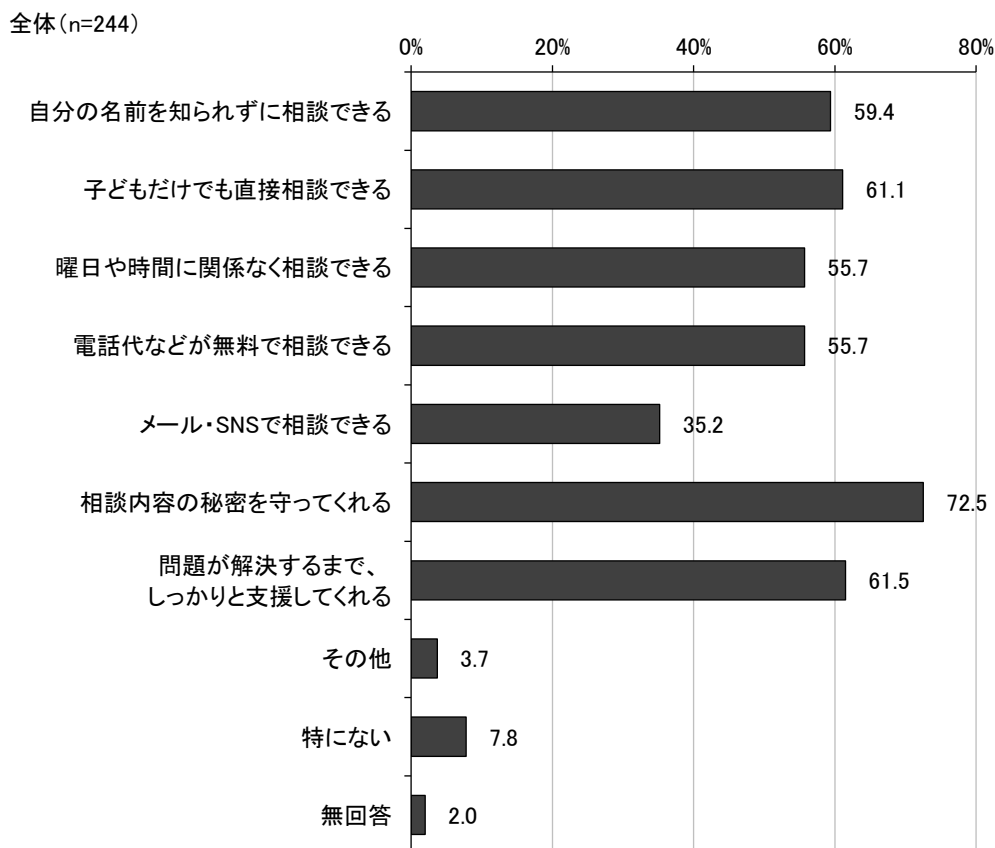
一方、「知らない」では<③ 学校のスクールソーシャルワーカー>、<⑥ LINEによる相談窓口「親と子どもの悩みごと相談@埼玉」>、<⑦ LINEによる相談窓口(自殺予防)「こころのサポート@埼玉」>と<⑪ よい子の電話教育相談(埼玉県立総合教育センター)>で6割台と高くなっています。

また、<⑫ その他>では「利用したことがある」に1.6%、「名前は知っている」に2.9%の回答がありました。(図省略)



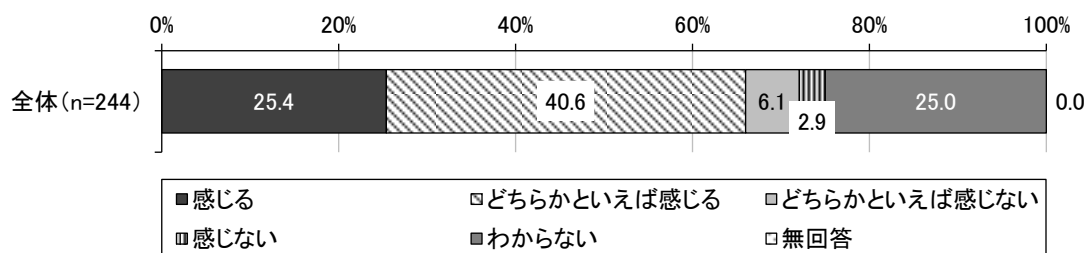
問17 あなたが相談するとき大事だと思うことは何ですか。(○はいくつでも)

相談するとき大事だと思うことについては、「相談内容の秘密を守ってくれる」が72.5%と最も多く、次いで「問題が解決するまで、しっかりと支援してくれる」が61.5%、「子どもだけでも直接相談できる」が61.1%となっています。



問18 あなたは、普段の生活の中で、子どもの権利が十分に守られていると感じますか。(○は1つ)

普段の生活の中で、子どもの権利が十分に守られていると感じるかについては、「どちらかといえば感じる」が40.6%と最も多く、次いで「感じる」が25.4%となっています。また、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた“感じる”が66.0%と、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合わせた“感じない”の9.0%を57.0ポイント上回っています。



問19 その他、ご意見などがあればご自由にお書きください。

9人の方から、11件のご意見をいただきました。

「学校教育の充実・改善について」が4件、「子どもの権利について」が3件、「環境の整備・要望」が3件、「その他」が1件となっています。

以下にカテゴリごとに意見を掲載します。

カテゴリ	件数
<b>学校教育の充実・改善について</b> <input type="checkbox"/> 部活が大変。部活を気転に変えられない。顧問の先生に怒られるのがびっくりで不満。 <input type="checkbox"/> ブラック校則(ツープロ、ポニテ×等)をなくしてほしい。校則をゆるくしてほしい。 <input type="checkbox"/> 学校でたまに、友達が先生に理不尽な怒られ方をされているのを見るのが少し悲しい。 <input type="checkbox"/> 中学校の部活の活動日数が多いので、部活動のテスト前の休止期間を増やしたり、一定の活動日数にしてほしい。	4
<b>子どもの権利について</b> <input type="checkbox"/> 自分の周りの人に自分の本音を話しても見捨てられなかったり、「じゃあもういいよ」などの冷たい言葉をかけられない世の中をつくることはできるか。 <input type="checkbox"/> 修学旅行を去年独断で中止にしましたが、他市は実行していた。これは子どもの権利が守られていると言えるのか。 <input type="checkbox"/> 選択肢が多く、今の子どもは疲れているように見える。	3
<b>環境の整備・要望について</b> <input type="checkbox"/> 北本市のコロナウイルスが収まってからイベントを増やしてほしい。 <input type="checkbox"/> 休みを増やしてほしい。 <input type="checkbox"/> 児童館などの体験イベントの定員が少なすぎる。	3
<b>その他</b> <input type="checkbox"/> 問題があった人(いじめをした人)を退学してほしい。	1
合 計	11

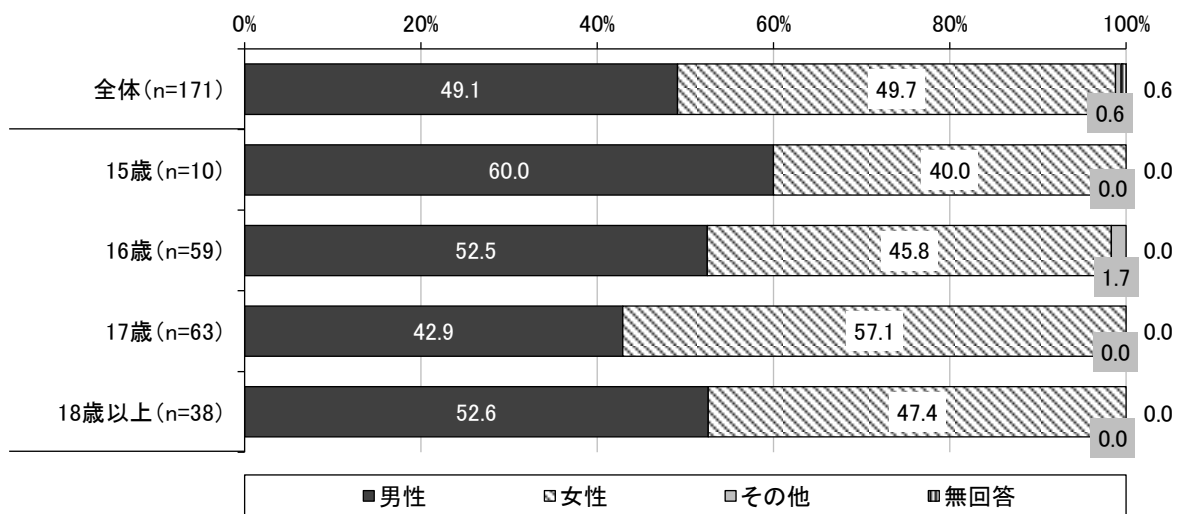


## IV 高校生相当年齢調査結果

### 1 あなた自身についておたずねします

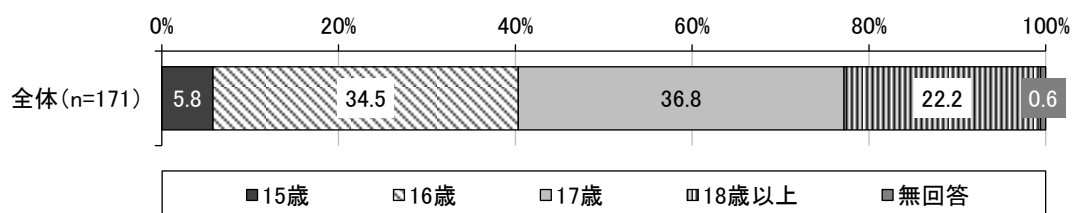
問1 あなたの性別について、お教えてください。(○は1つ)

性別については、「女性」が49.7%と、「男性」の49.1%を上回っています。  
年齢別にみると、16歳・18歳以上では「男性」が「女性」を上回っています。



問2 あなたの年齢（令和4年10月1日現在）について、お教えてください。  
(○は1つ)

年齢については、「17歳」が36.8%と最も多く、次いで「16歳」が34.5%、「18歳以上」が22.2%となっています。

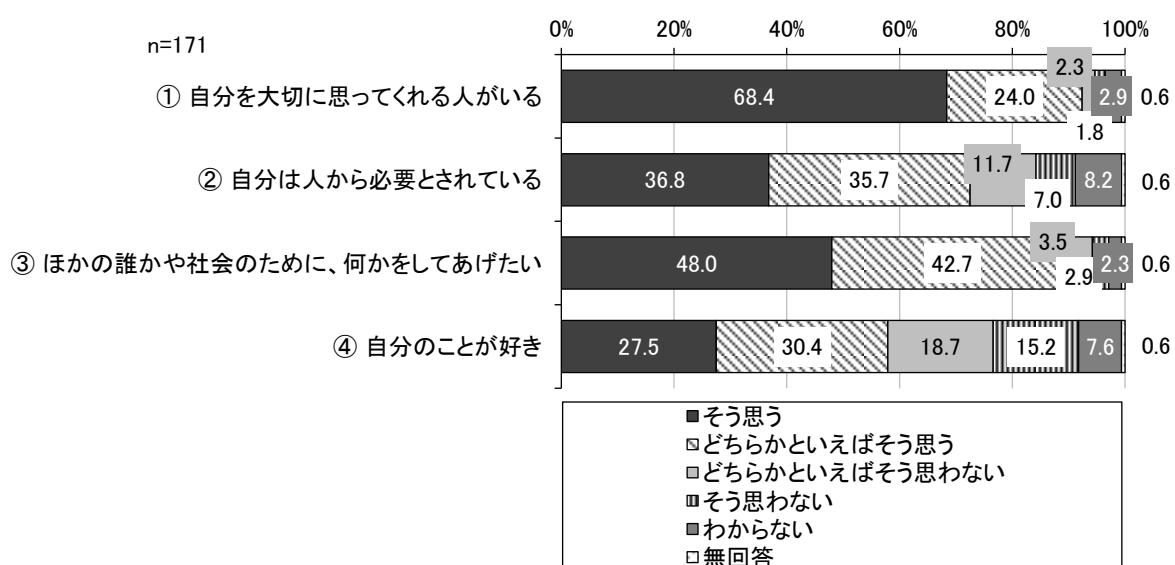


## 2 あなたの今のようすについておたずねします

問3 あなたは、自分自身についてどのように感じていますか。(○はそれぞれ1つ)

自分自身についてどのように感じているかについては、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”が<①自分を大切に思ってくれる人がいる>と<③ほかの誰かや社会のために、何かをしてあげたい>で9割台、<②自分は人から必要とされている>で7割台となっています。

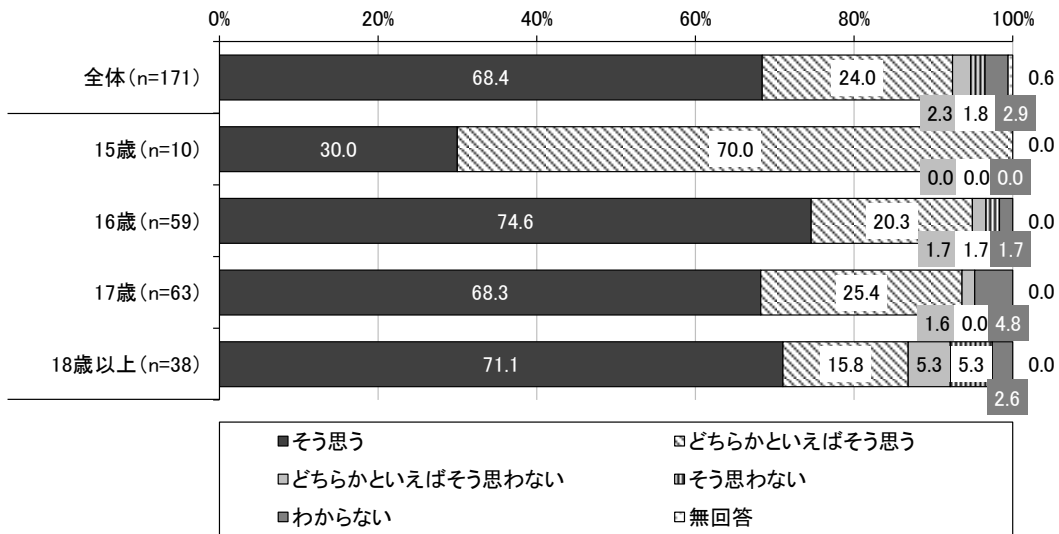
一方で、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”で、<④自分のことが好き>で約3割となっています。



① 自分を大切に思ってくれる人がいる

自分を大切に思ってくれる人がいると感じているかについては、「そう思う」が68.4%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が24.0%となっています。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”が92.4%と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の4.1%を88.3ポイント上回っています。

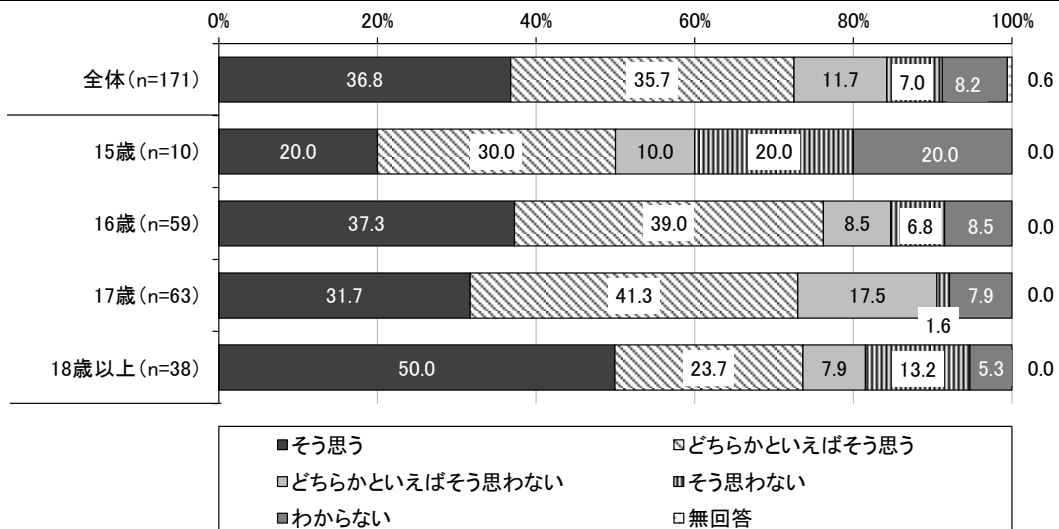
年齢別にみると、16歳では「そう思う」が7割半ばと、他の年齢に比べて割合が高くなっています。



② 自分は人から必要とされている

自分は人から必要とされていると感じているかについては、「そう思う」が36.8%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が35.7%となっています。また、“そう思う”が72.5%と、“そう思わない”の18.7%を53.8ポイント上回っています。

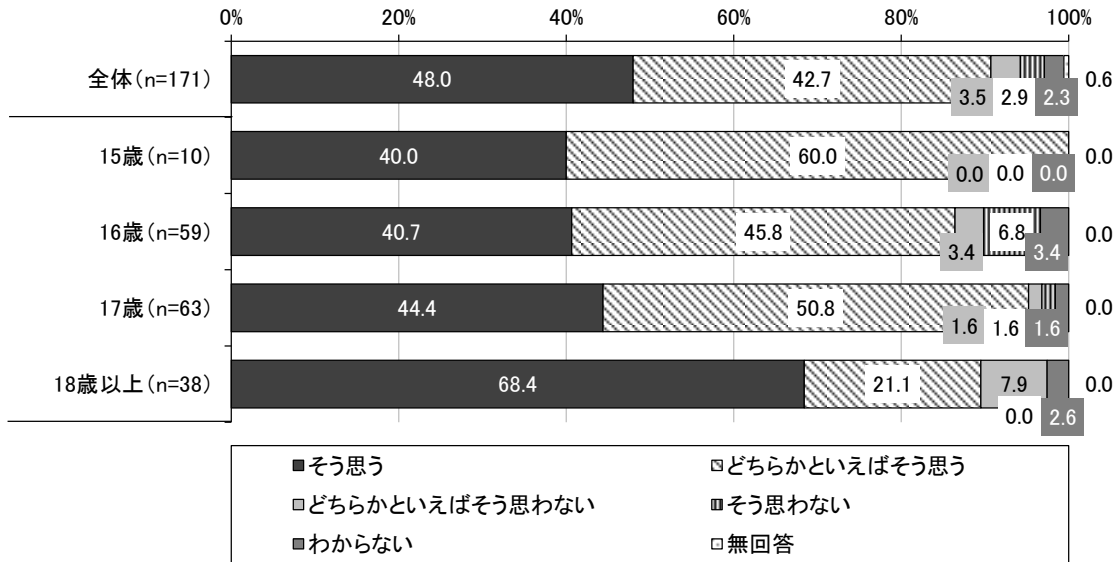
年齢別にみると、18歳では「そう思う」が50.0%と、他の年代に比べて割合が高くなっています。



### ③ ほかの誰かや社会のために、何かをしてあげたい

他の誰かや社会のために、何かをしてあげたいと感じているかについては、「そう思う」が48.0%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が42.7%となっています。また、「そう思う」が90.7%と、「そう思わない」の6.4%を84.3ポイント上回っています。

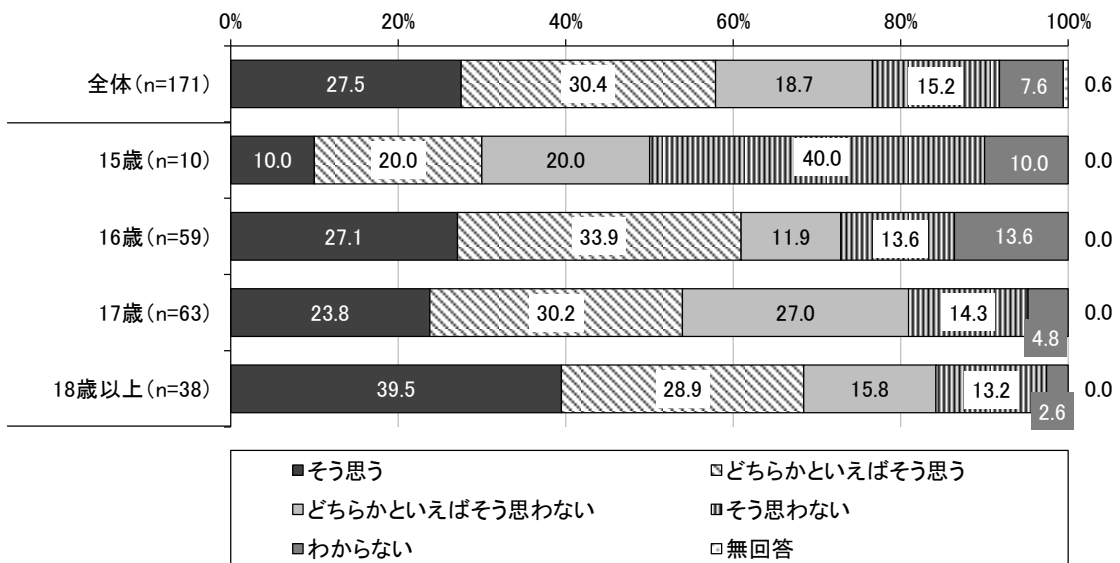
年齢別にみると、18歳以上では「そう思う」が68.4%と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。



### ④ 自分のことが好き

自分のことが好きと感じているかについては、「どちらかといえばそう思う」が30.4%と最も多く、次いで「そう思う」が27.5%となっています。また、「そう思う」が57.9%と、「そう思わない」の33.9%を24.0ポイント上回っています。

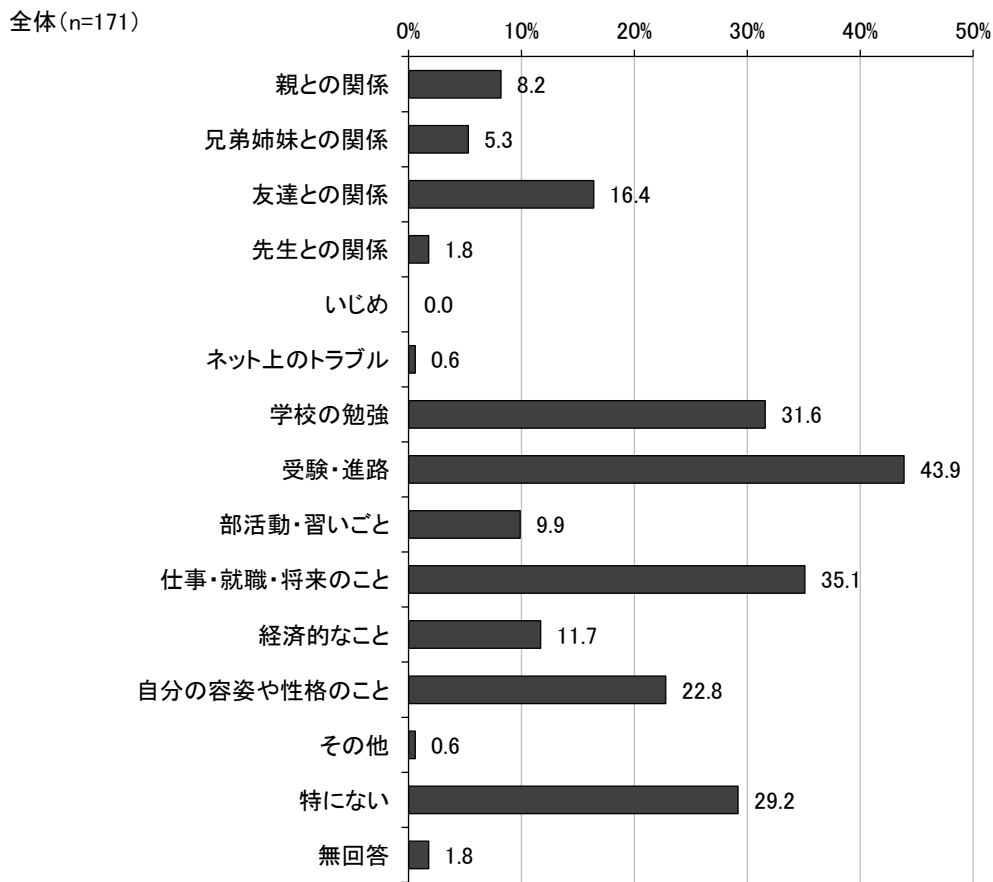
年齢別にみると、18歳以上では「そう思う」が39.5%と、他の年代に比べて割合が低くなっています。



問4 あなたは、普段の生活の中で何か困りごとや悩みごとはありますか。(〇はいくつでも)

普段の生活の中での困りごとや悩みごとについては、「受験・進路」が43.9%と最も多く、次いで「仕事・就職・将来のこと」が35.1%、「学校の勉強のこと」が31.6%となっています。

年齢別にみると、16歳では「学校の勉強」と「受験・進路」がともに最も多くなっています。また、17歳では「受験・進路」、18歳以上では「特にない」が39.5%と、最も多くなっています。



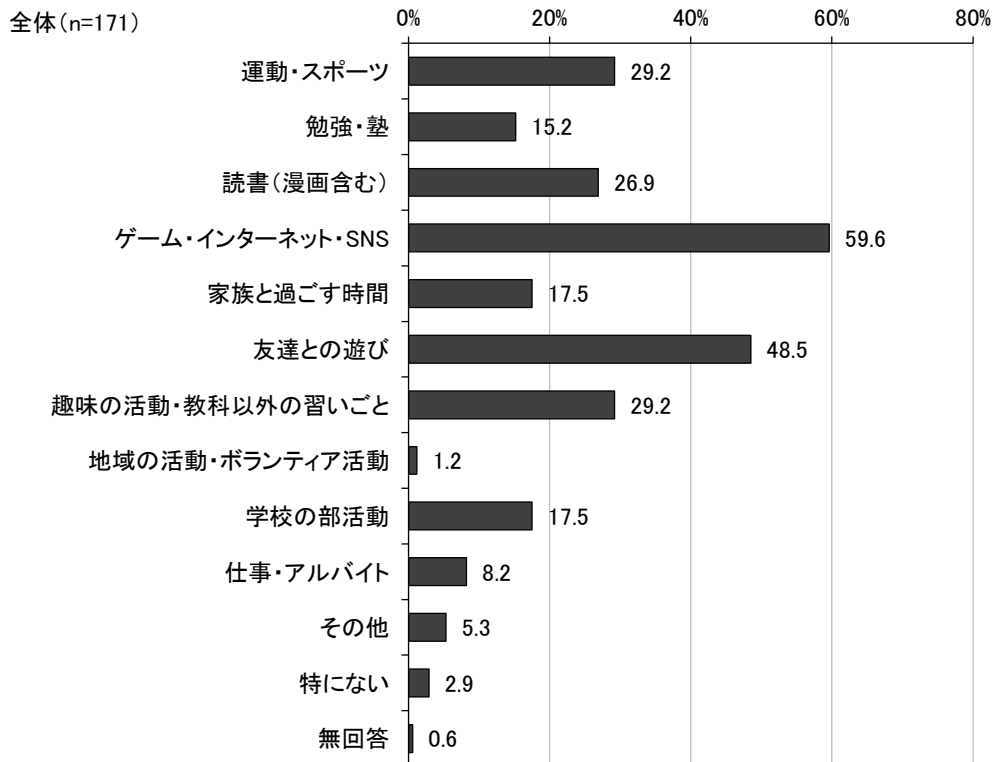
■クロス集計 年齢別

単位: %		親との関係	兄弟姉妹との関係	友達との関係	先生との関係	いじめ	ネット上のトラブル	学校の勉強	受験・進路	部活動・習いごと	仕事・就職・将来のこと	経済的なこと	自分の容姿や性格のこと	その他	特にない	無回答
年齢別	15歳(n=10)	0.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	30.0	50.0	0.0	50.0	20.0	10.0	0.0	20.0	0.0
	16歳(n=59)	8.5	3.4	18.6	0.0	0.0	0.0	40.7	40.7	13.6	35.6	6.8	23.7	1.7	32.2	1.7
	17歳(n=63)	3.2	1.6	14.3	1.6	0.0	0.0	30.2	54.0	11.1	31.7	9.5	28.6	0.0	22.2	1.6
	18歳以上(n=38)	18.4	13.2	15.8	5.3	0.0	2.6	21.1	31.6	5.3	36.8	21.1	15.8	0.0	39.5	0.0

## 問5 あなたが、今夢中になれることは何ですか。(〇はいくつでも)

夢中になれることについては、「ゲーム・インターネット・SNS」が59.6%と最も多く、次いで「友達との遊び」が48.5%、「運動・スポーツ」と「趣味の活動・教科以外の習いごと」が29.2%となっています。

年齢別にみると、いずれの年齢も「ゲーム・インターネット・SNS」が最も多くなっています。また、16歳・18歳以上では「運動・スポーツ」が3割半ばを超えて、他の年齢に比べて割合が高くなっています。



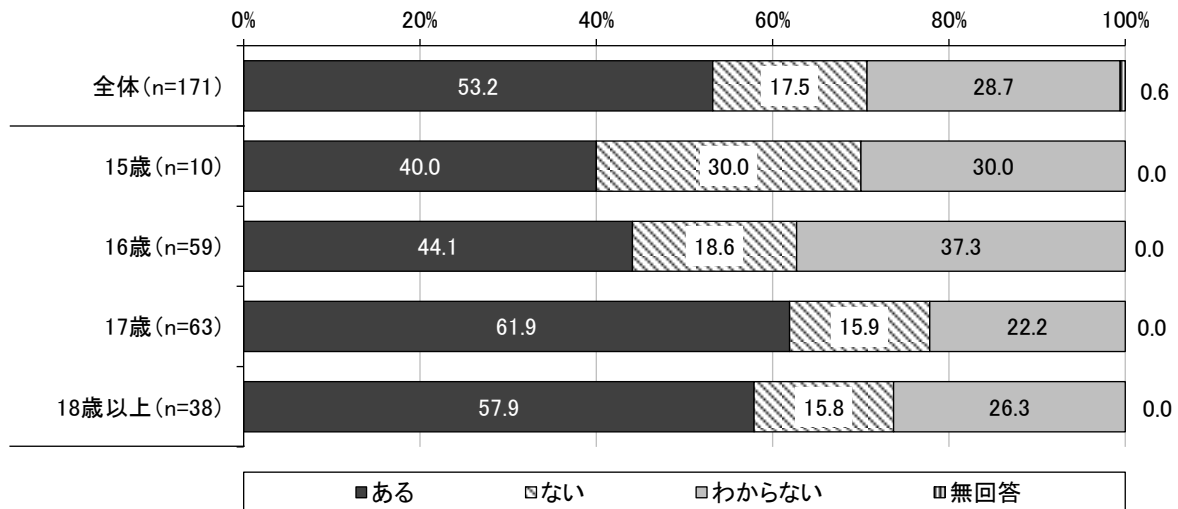
### ■クロス集計 年齢別

単位: %		運動・スポーツ	勉強・塾	読書(漫画含む)	ゲーム・インターネット・SNS	家族と過ごす時間	友達との遊び	趣味の活動・教科以外の習いごと	地域の活動・ボランティア活動	学校の部活動	仕事・アルバイト	その他	特にない	無回答
年齢別	15歳(n=10)	20.0	10.0	30.0	90.0	20.0	40.0	30.0	0.0	30.0	0.0	0.0	10.0	0.0
	16歳(n=59)	35.6	11.9	20.3	57.6	15.3	54.2	18.6	0.0	22.0	8.5	5.1	3.4	0.0
	17歳(n=63)	19.0	17.5	31.7	63.5	20.6	50.8	33.3	1.6	19.0	11.1	6.3	0.0	0.0
	18歳以上(n=38)	39.5	18.4	28.9	50.0	15.8	39.5	39.5	2.6	5.3	5.3	5.3	5.3	0.0

## 問6 あなたは、将来なりたいものはありますか。(○は1つ)

将来なりたいものについては、「ある」が53.2%と最も多く、次いで「わからない」が28.7%、「ない」が17.5%となっています。

年齢別にみると、17歳・18歳以上では「ある」が5割後半を、16歳では「わからない」が3割を超えており、他の年齢に比べて割合が高くなっています。

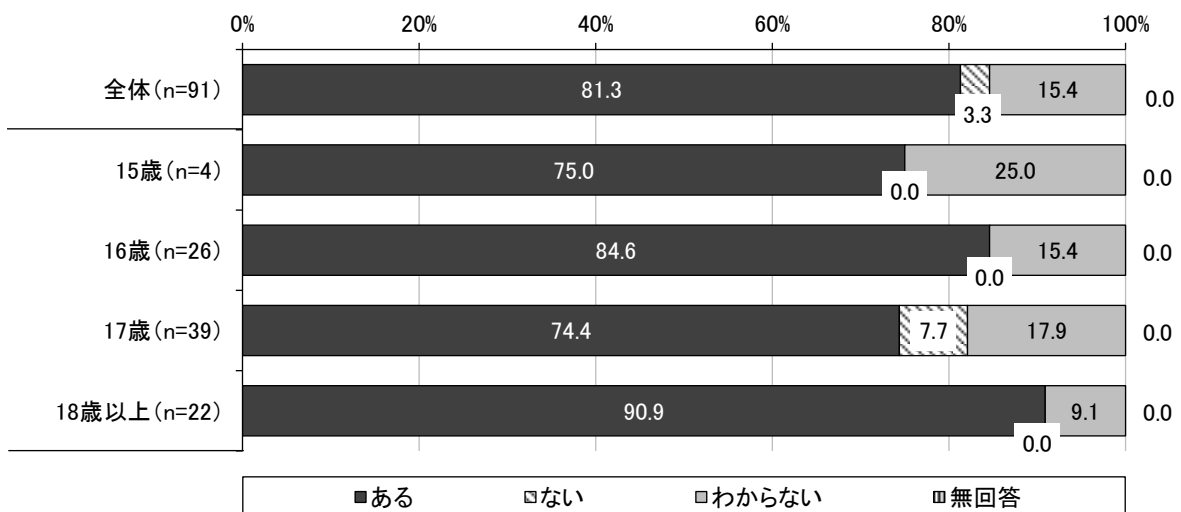


### 【問6で「1」を選択した方のみ】

## 問6-1 あなたは、将来なりたいもののために、努力していることはありますか。(○は1つ)

将来なりたいもののために、努力していることがあるかについては、「ある」が81.3%と最も多く、次いで「わからない」が15.4%、「ない」が3.3%となっています。

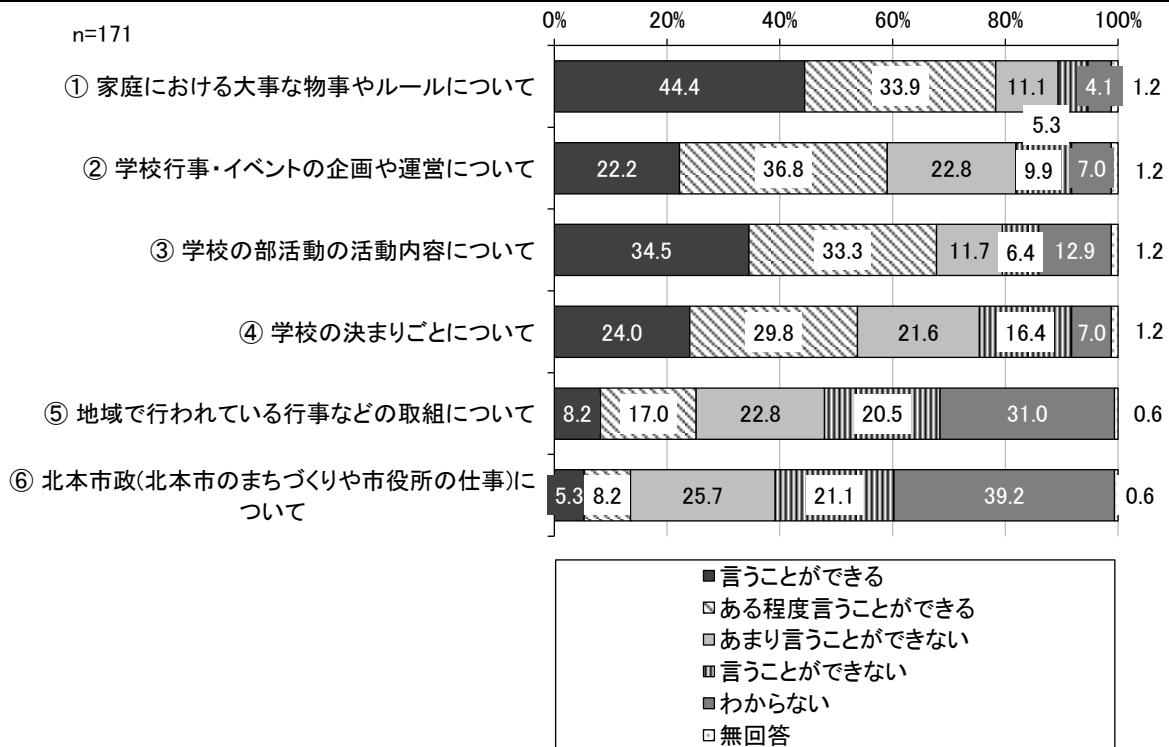
年齢別にみると、18歳以上では「ある」が90.9%と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。



問7 あなたは、次のことについて自分の考えや思いがあるときに、それを言うことができますか。(○はそれぞれ1つ)

自分の考えや思いがあるときに、それを言うことができるかについては、「言うことができる」と「ある程度言うことができる」を合わせた“言うことができる”が<① 家庭における大事な物事やルールについて>で7割台、<③ 学校の部活動の活動内容について>で6割台となっています。

一方で、「わからない」で、<⑤ 地域で行われている行事などの取組について>と<⑥ 北本市政(北本市のまちづくりや市役所の仕事)について>で3割台となっています。

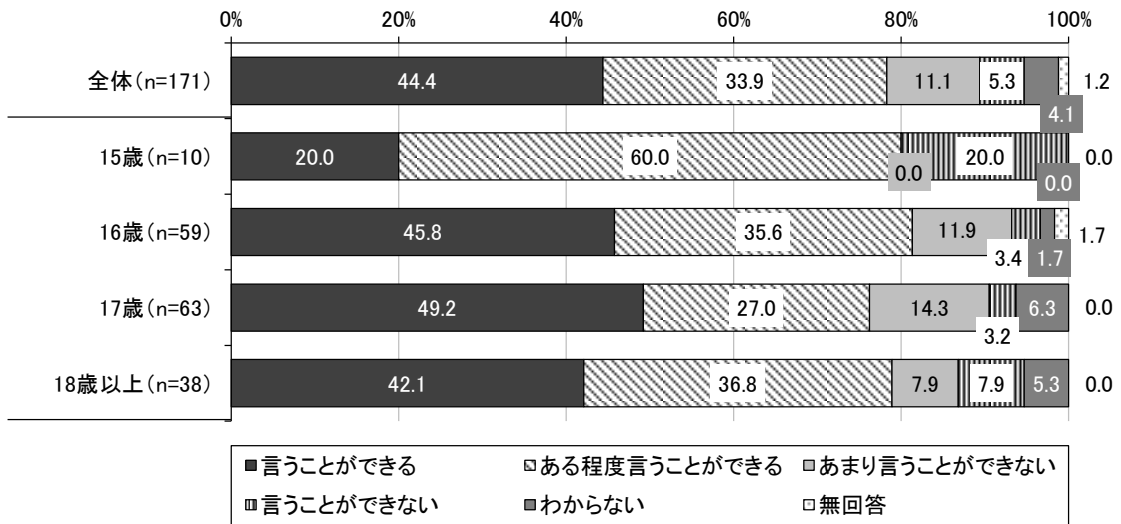




### ① 家庭における大事な物事やルールについて

家庭における大事な物事やルールについて、自分の考えや思いを言うことができるかについては、「言うことができる」が44.4%と最も多く、次いで「ある程度言うことができる」が33.9%となっています。また、「言うことができる」と「ある程度言うことができる」を合わせた“言うことができる”が78.3%と、「あまり言うことができない」と「言うことができない」を合わせた“言うことができない”の16.4%を61.9ポイント上回っています。

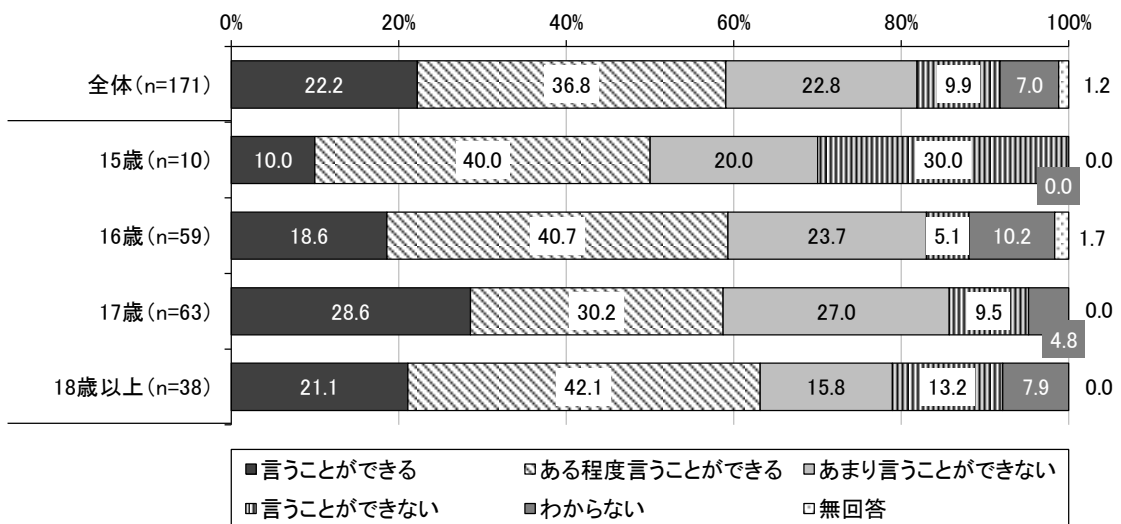
年齢別にみると、16歳では「言うことができる」が8割台と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。



### ② 学校行事・イベントの企画や運営について

学校行事・イベントの企画や運営について、自分の考えや思いを言うことができるかについては、「ある程度言うことができる」が36.8%と最も多く、次いで「あまり言うことができない」が22.8%となっています。また、「言うことができる」と「あまり言うことができない」の32.7%を26.3ポイント上回っています。

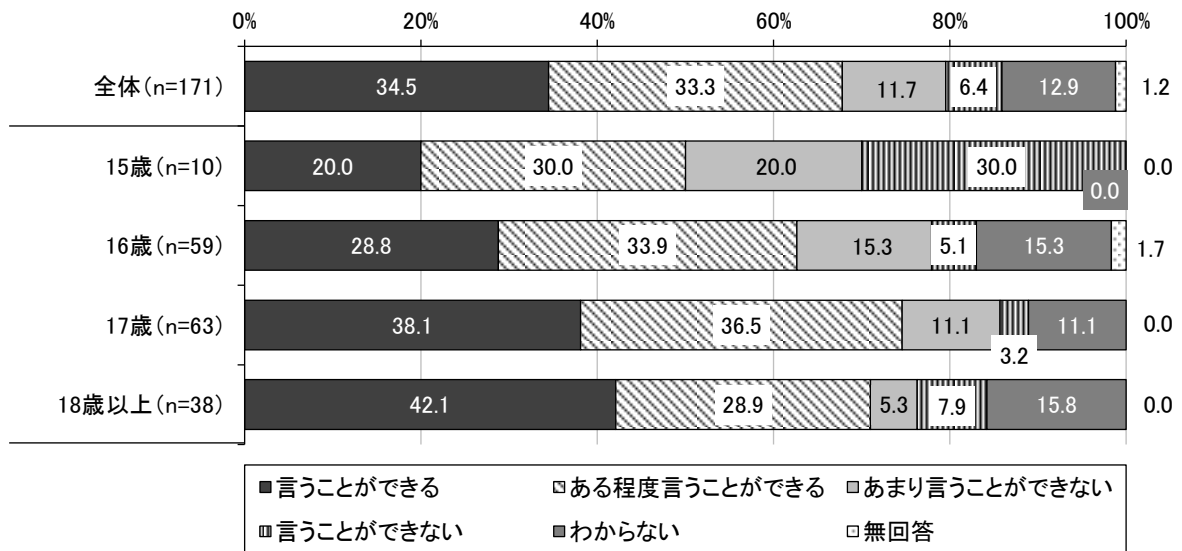
年齢別にみると、17歳では「言うことができる」が2割台後半と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。



### ③ 学校の部活動の活動内容について

学校の部活動の活動内容について、自分の考えや思いを言うことができるかについては、「言うことができる」が34.5%と最も多く、次いで「ある程度言うことができる」が33.3%となっています。また、「言うことができる」が67.8%と、「言うことができない」の18.1%を49.7ポイント上回っています。

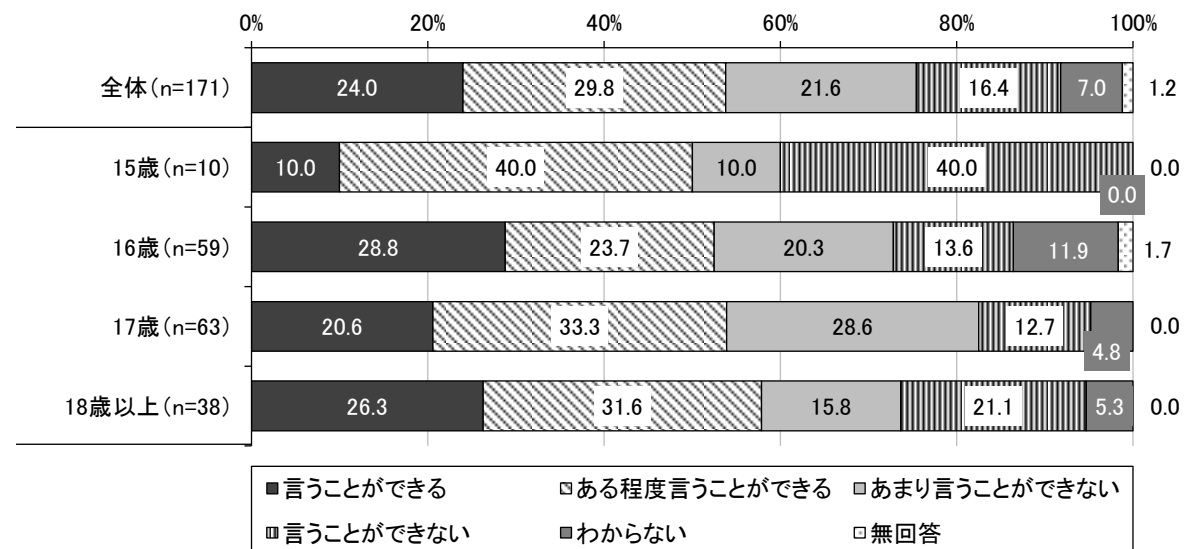
年齢別にみると、17歳以上では「言うことができる」が7割台と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。



### ④ 学校の決まりごとについて

学校の決まりごとについて、自分の考えや思いを言うことができるかについては、「ある程度言うことができる」が29.8%と最も多く、次いで「言うことができる」が24.0%となっています。また、「言うことができる」が53.8%と、「言うことができない」の38.0%を15.8ポイント上回っています。

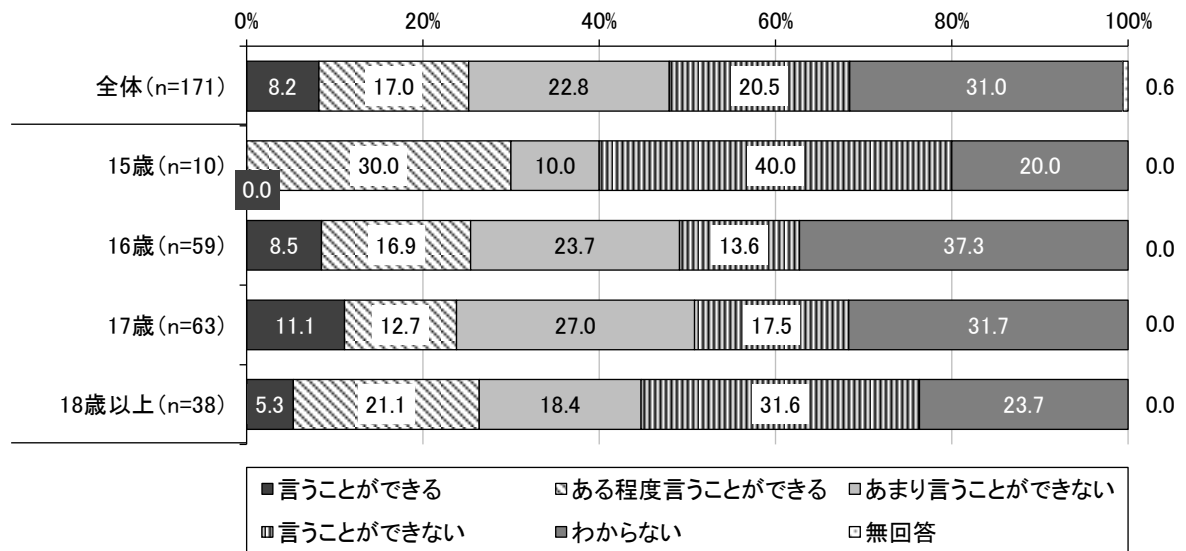
年齢別にみると、17歳では「言うことができない」が41.3%と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。



⑤ 地域で行われている行事などの取組について

地域で行われている行事などの取組について、自分の考えや思いを言うことができるかについては、「わからない」が31.0%と最も多く、次いで「あまり言うことができない」が22.8%となっています。また、「言うことができない」が43.3%と、「言うことができる」の25.2%を18.1ポイント上回っています。

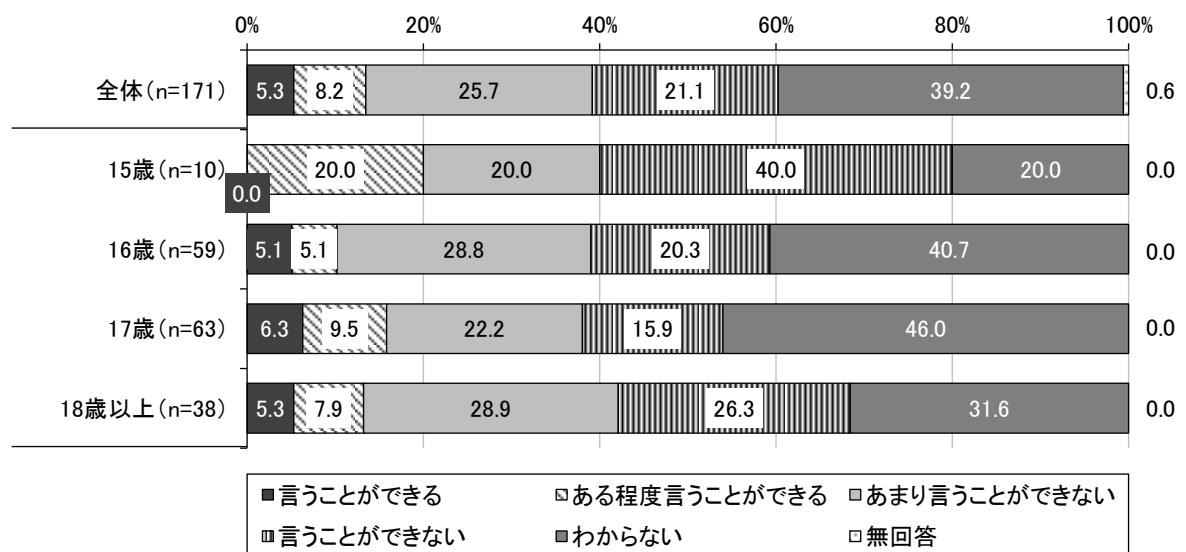
年齢別にみると、16歳・17歳では「わからない」が3割を超えており、他の年齢に比べて割合が高くなっています。



⑥ 北本市政（北本市のまちづくりや市役所の仕事）について

北本市政（北本市のまちづくりや市役所の仕事）について、自分の考えや思いを言うことができるかについては、「わからない」が39.2%と最も多く、次いで「あまり言うことができない」が25.7%となっています。また、「言うことができない」が46.8%と、「言うことができる」の13.5%を33.3ポイント上回っています。

年齢別にみると、16歳・17歳では「わからない」が4割を超えており、他の年齢に比べて割合が高くなっています。

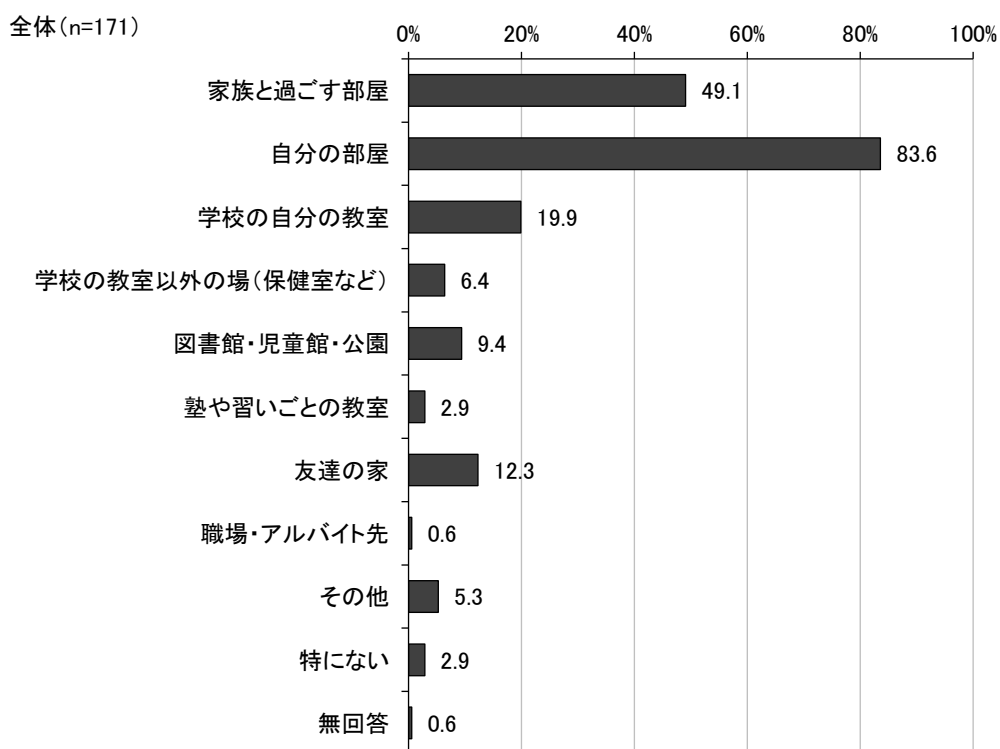


### 3 生活の場についておたずねします

問8 あなたが、普段の生活の中で、ホッとでき、安心していられる場所はどこだと感じていますか。(○はいくつでも)

普段の生活の中で、ホッとでき、安心していられる場所については、「自分の部屋」が83.6%と最も多く、次いで「家族と過ごす部屋」が49.1%、「学校の自分の教室」が19.9%となっています。

年齢別にみると、18歳以上では「図書館・児童館・公園」が15.8%と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。

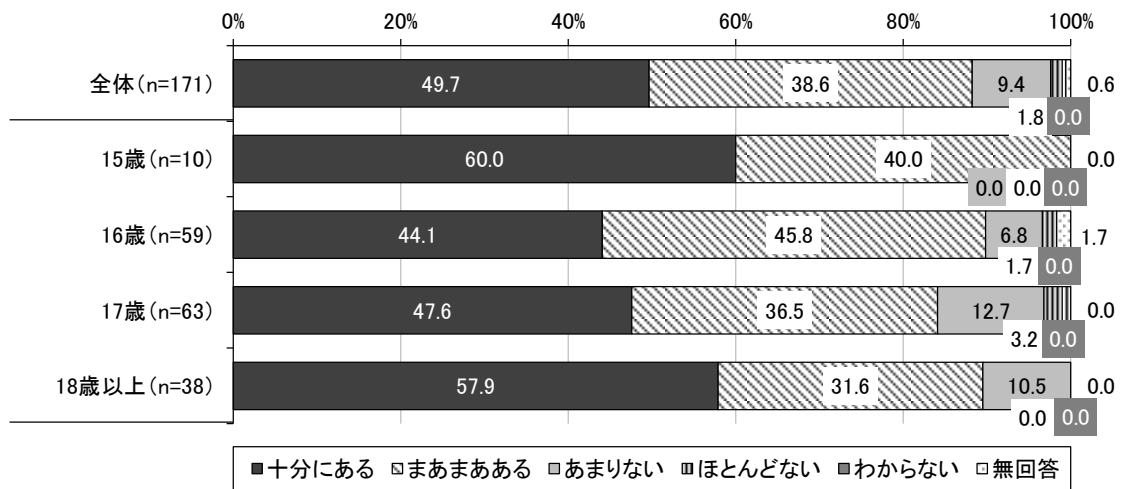


#### ■クロス集計 年齢別

単位: %		家族と過ごす部屋	自分の部屋	学校の自分の教室	学校の教室以外の場 (保健室など)	図書館・児童館・公園	塾や習いごとの教室	友達の家	職場・アルバイト先	その他	特にない	無回答
年齢別	15歳(n=10)	40.0	80.0	10.0	0.0	10.0	0.0	20.0	0.0	10.0	10.0	0.0
	16歳(n=59)	39.0	91.5	20.3	5.1	6.8	1.7	15.3	0.0	5.1	0.0	1.7
	17歳(n=63)	54.0	79.4	17.5	6.3	7.9	3.2	7.9	0.0	6.3	4.8	0.0
	18歳以上(n=38)	57.9	78.9	23.7	10.5	15.8	5.3	10.5	2.6	2.6	2.6	0.0

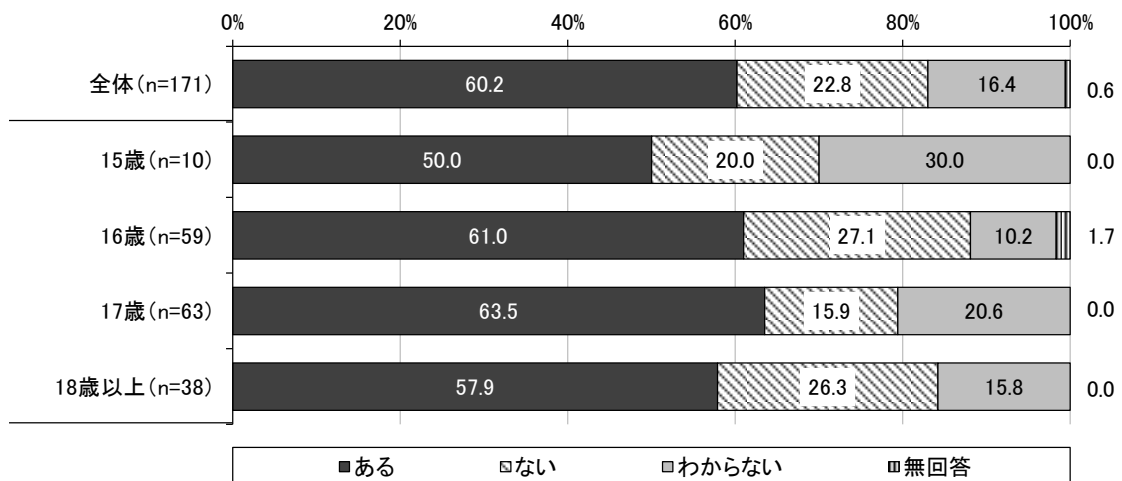
問9 普段の生活の中で、遊び、休息など、自分の好きなことをする時間や場所が十分にあると思いますか。(○は1つ)

普段の生活の中で、遊び、休息など、自分の好きなことをする時間や場所については、「十分にある」が49.7%と最も多く、次いで「まあまあある」が38.6%となっています。また、「十分にある」と「まあまあある」を合わせた“ある”が88.3%と、「あまりない」と「ほとんどない」を合わせた“ない”の11.2%を77.1ポイント上回っています。年齢別にみると、17歳では“ない”が15.9%と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。



問10 あなたは、これまで、人からされたことで「とてもいやな思い」をしたことがありますか。(○は1つ)

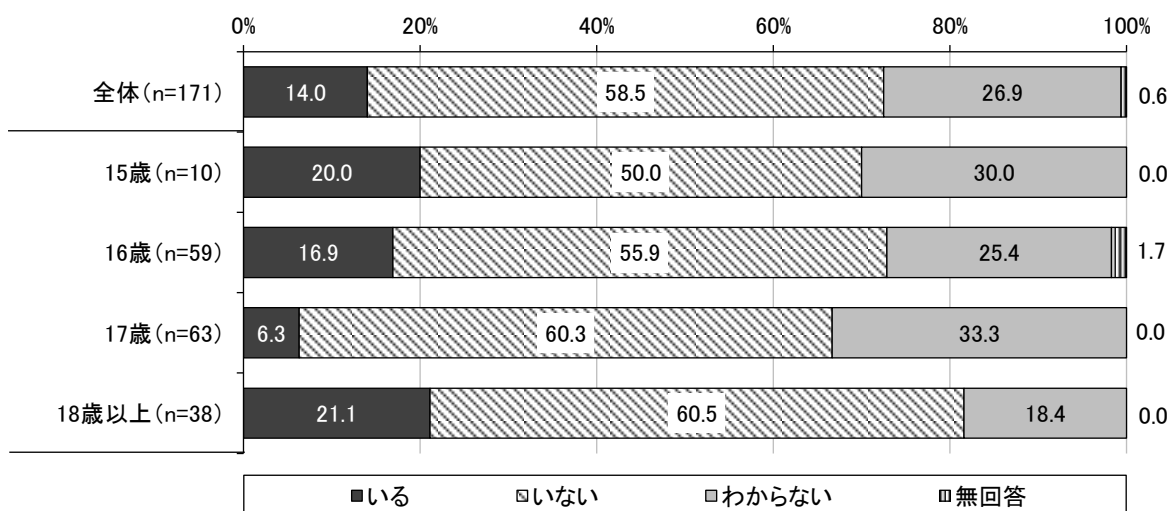
人からされたことで、「とても嫌な思い」をしたことがあるかについては、「ある」が60.2%と最も多く、次いで「ない」が22.8%、「わからない」が16.4%となっています。年齢別にみると、16歳・17歳では「ある」が6割台と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。



### 問 1 1 あなたを、言葉や力で傷つける人はいますか。(○は1つ)

言葉や力で傷つける人がいるかについては、「いない」が58.5%と最も多く、次いで「わからない」が26.9%、「いる」が14.0%となっています。

年齢別にみると、17歳では「いる」が6.3%と、他の年齢に比べて割合が低くなっています。

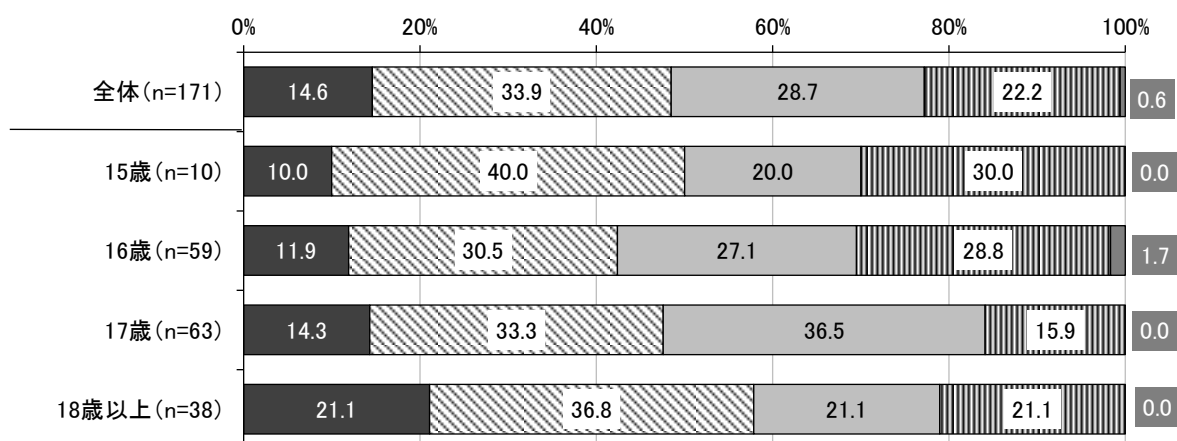


## 4 「子どもの権利」についておたずねします

問12 あなたは、「子どもの権利」について聞いたことがありますか。また、内容をどの程度知っていますか。(○は1つ)

「子どもの権利」について聞いたことがあるかについては、「聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている」が33.9%と最も多く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が28.7%となっています。また、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と「聞いたことはない」を合わせた“内容を知らない”が50.9%、「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」と「聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている」を合わせた“内容を知っている”が48.5%となっています。

年齢別にみると、18歳以上では“内容を知っている”が57.9%と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。

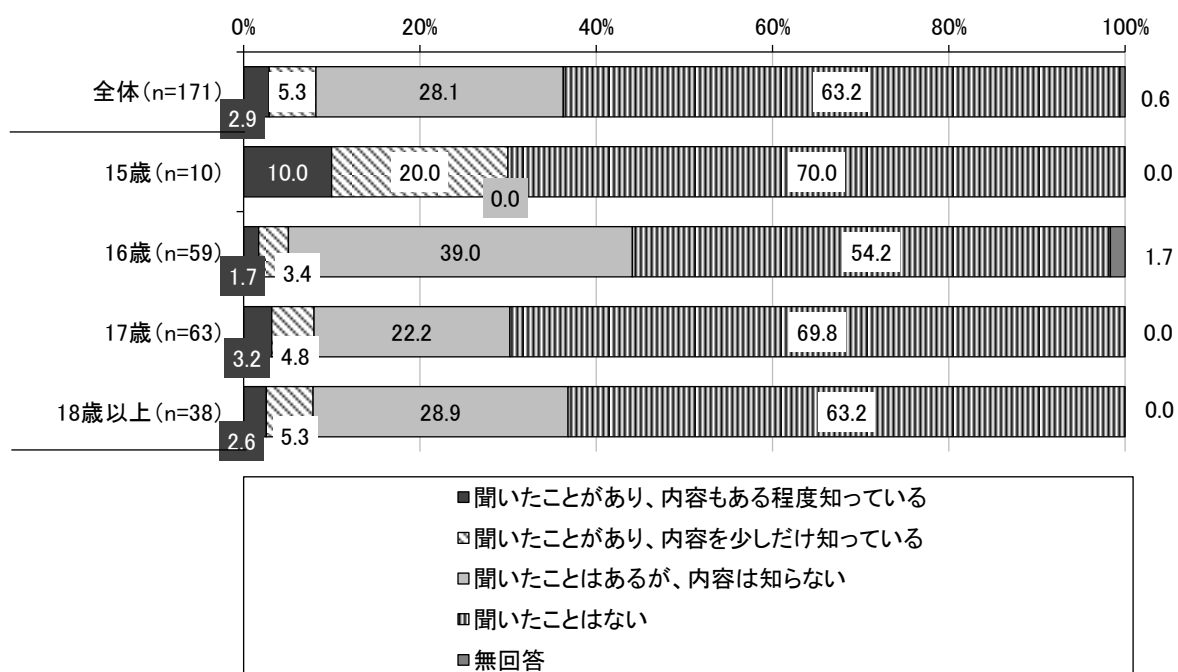


- 聞いたことがあり、内容もある程度知っている
- ▨ 聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている
- 聞いたことはあるが、内容は知らない
- ▩ 聞いたことはない
- 無回答

問13 あなたは、北本市が令和3年度に制定した「子どもの権利条例」について聞いたことがありますか。また、内容をどの程度知っていますか。(○は1つ)

北本市が令和3年度に制定した「子どもの権利条例」について聞いたことがあるかについては、「聞いたことはない」が63.2%と最も多く、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が28.1%となっています。また、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と「聞いたことはない」を合わせた“内容を知らない”が91.3%と、「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」と「聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている」を合わせた“内容を知っている”の8.2%を83.1ポイント上回っています。

年齢別にみると、17歳では「聞いたことはない」が69.8%と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。

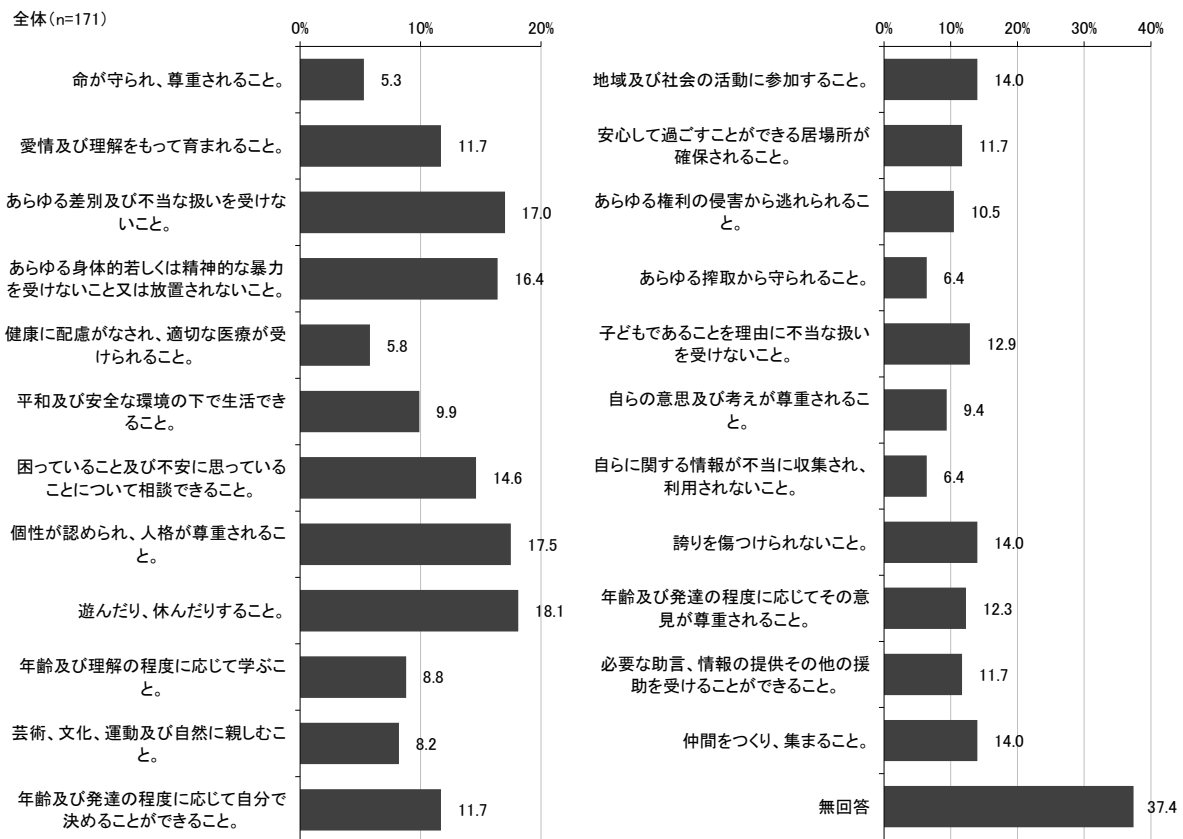




問14 「子どもの権利条例」では、保障されなければならない大切な子どもの権利として「安心して生きる権利」「自分らしく育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」の4つの権利と、23の項目を挙げています。あなたは、これらの中で、北本市でまだ十分ではないと感じるものはありますか。(〇はいくつでも)

「子どもの権利条例」で挙げられる、北本市でまだ十分でないと感じる項目については、「遊んだり、休んだりすること」が18.1%と最も多く、次いで「個性が認められ、人格が尊重されること」が17.5%、「あらゆる差別及び不当な扱いを受けないこと」が17.0%となっています。

年齢別にみると、16歳では「個性が認められ、人格が尊重されること」が18.6%、17歳では「あらゆる差別及び不当な扱いを受けないこと」が22.2%、18歳以上では「遊んだり、休んだりすること」が21.1%と、最も多くなっています。



■クロス集計 年齢別

単位：%		命が守られ、尊重されること。	愛情及び理解をもって育まれること。	あらゆる差別及び不当な扱いを受けないこと。	あらゆる身体的若しくは精神的な暴力を受けられないこと又は放置されないこと。	健康に配慮がなされ、適切な医療が受けられること。	平和及び安全な環境の下で生活できること。	困っていること及び不安に思っていることについて相談できること。	個性が認められ、人格が尊重されること。	遊んだり、休んだりすること。	年齢及び理解の程度に応じて学ぶこと。	芸術、文化、運動及び自然に親しむこと。	年齢及び発達に応じて自分で決めることができること。
年齢別	15歳 (n=10)	10.0	10.0	10.0	20.0	20.0	10.0	20.0	10.0	30.0	20.0	10.0	10.0
	16歳 (n=59)	5.1	10.2	11.9	16.9	5.1	11.9	10.2	18.6	13.6	8.5	6.8	10.2
	17歳 (n=63)	6.3	12.7	22.2	15.9	6.3	11.1	15.9	20.6	19.0	9.5	11.1	17.5
	18歳以上 (n=38)	2.6	13.2	18.4	15.8	2.6	5.3	18.4	13.2	21.1	5.3	5.3	5.3
単位：%		地域及び社会の活動に参加すること。	安心して過ごすことができる居場所が確保されること。	あらゆる権利の侵害から逃れられること。	あらゆる搾取から守られること。	子どもであることを理由に不当な扱いを受けられないこと。	自らの意思及び考えが尊重されること。	自らに関する情報が不当に収集され、利用されないこと。	誇りを傷つけられないこと。	年齢及び発達に応じてその意見が尊重されること。	必要な助言、情報の提供その他の援助を受けられること。	仲間をつくり、集まること。	無回答
年齢別	15歳 (n=10)	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	20.0	10.0	30.0	10.0	30.0
	16歳 (n=59)	16.9	5.1	10.2	6.8	15.3	10.2	3.4	16.9	13.6	6.8	13.6	42.4
	17歳 (n=63)	15.9	14.3	14.3	9.5	14.3	14.3	11.1	12.7	14.3	15.9	15.9	34.9
	18歳以上 (n=38)	5.3	18.4	5.3	0.0	7.9	0.0	2.6	10.5	7.9	7.9	13.2	34.2

### 【安心して生きる権利】

1. 命が守られ、尊重されること。
2. 愛情及び理解をもって育まれること。
3. あらゆる差別及び不当な扱いを受けないこと。
4. あらゆる身体的若しくは精神的な暴力を受けないこと又は放置されないこと。
5. 健康に配慮がなされ、適切な医療が受けられること。
6. 平和及び安全な環境の下で生活できること。
7. 困っていること及び不安に思っていることについて相談できること。

### 【自分らしく育つ権利】

8. 個性が認められ、人格が尊重されること。
9. 遊んだり、休んだりすること。
10. 年齢及び理解の程度に応じて学ぶこと。
11. 芸術、文化、運動及び自然に親しむこと。
12. 自らに関係することについて、必要な助言、情報の提供その他の援助を受け、年齢及び発達に応じて自分で決めることができること。
13. 地域及び社会の活動に参加すること。
14. 安心して過ごすことができる居場所が確保されること。

### 【守られる権利】

15. あらゆる権利の侵害から逃れられること。
16. あらゆる搾取から守られること。
17. 子どもであることを理由に不当な扱いを受けないこと。
18. 自らの意思及び考えが尊重されること。
19. 自らに関する情報が不当に収集され、利用されないこと。
20. 誇りを傷つけられないこと。

### 【参加する権利】

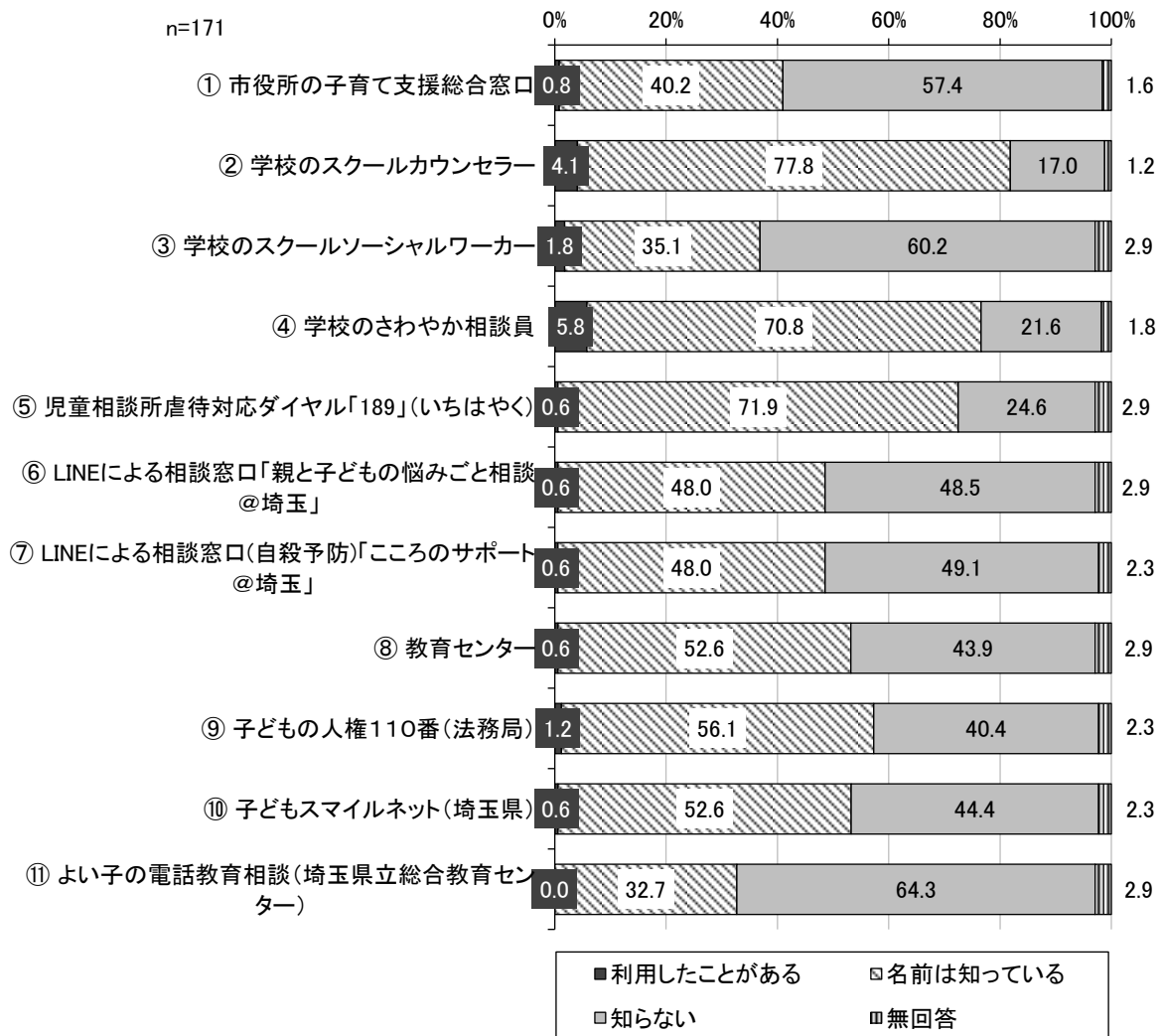
21. 自らの意見を表明することができ、その年齢及び発達に応じてその意見が尊重されること。
22. 自らの意見を表明するために、必要な助言、情報の提供その他の援助を受けることができること。
23. 仲間をつくり、集まること。

問15 次の子どもに関する相談機関のうち、あなたが知っているところはどこですか。(○はそれぞれ1つ)

知っている相談先については、「名前は知っている」で<② 学校のスクールカウンセラー>、<④ 学校のさわやか相談員>と<⑤ 児童相談所虐待対応ダイヤル「189」(いちはやく)>で7割台と高くなっています。

一方、「知らない」では<③ 学校のスクールソーシャルワーカー>と<⑪ よい子の電話教育相談(埼玉県立総合教育センター)>で6割台、<① 市役所の子育て支援総合窓口>で5割台と高くなっています。

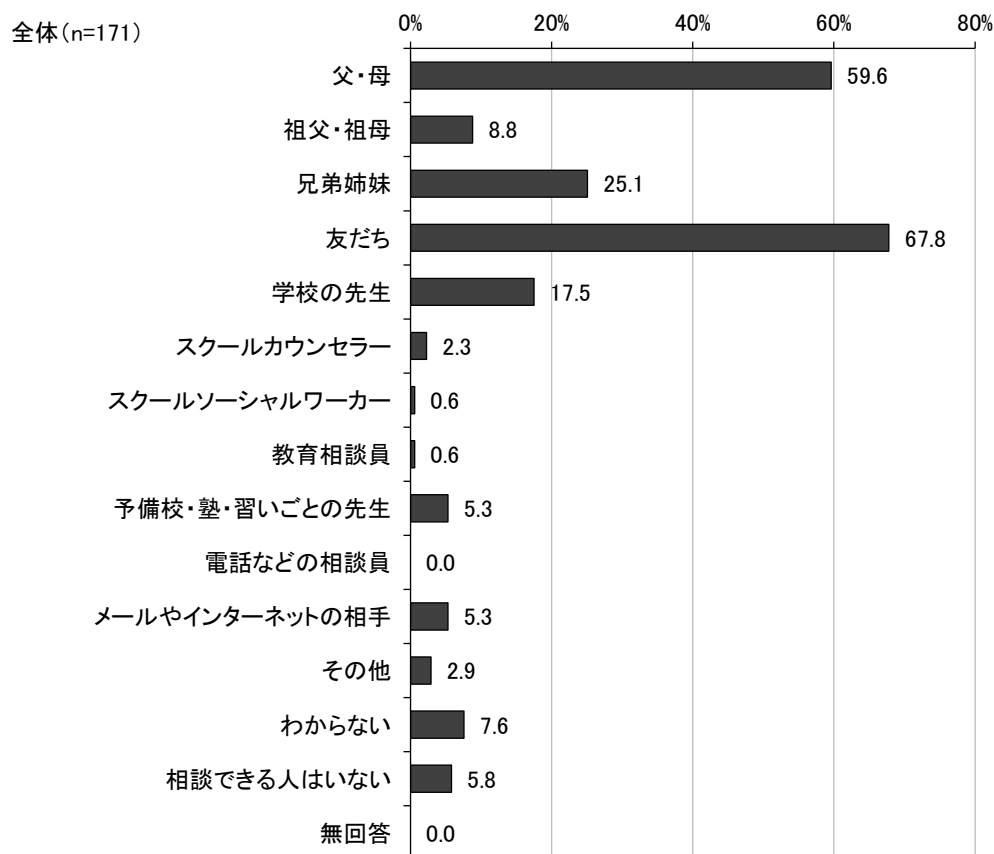
また、<⑫ その他>では「名前は知っている」に2.9%の回答がありました。(図省略)



## 問16 あなたは、悩みごとを誰に相談しますか。(〇はいくつでも)

悩みごとの相談相手については、「友だち」が67.8%と最も多く、次いで「父・母」が59.6%、「兄弟姉妹」が25.1%となっています。

年齢別にみると、17歳では「父・母」と「兄弟姉妹」が、18歳以上では「父・母」が、他の年齢に比べて割合が高くなっています。



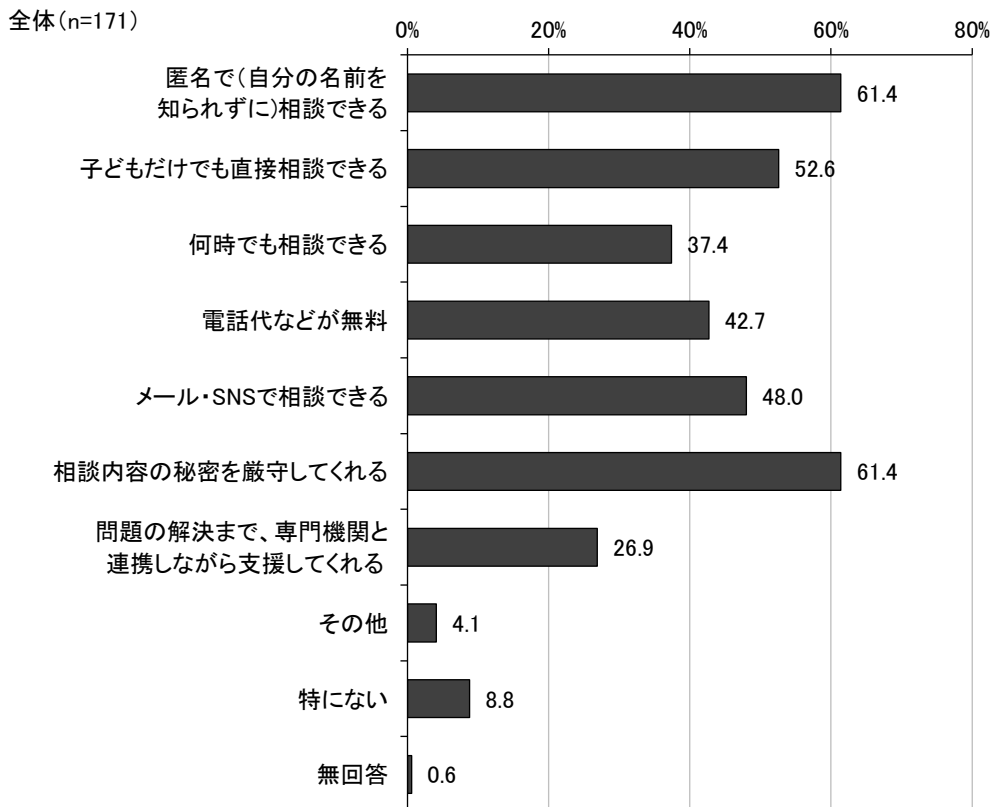
### ■クロス集計 年齢別

単位: %		父・母	祖父・祖母	兄弟姉妹	友だち	学校の先生	スクールカウンセラー	スクールソーシャルワーカー	教育相談員	予備校・塾・習いごとの先生	電話などの相談員	メールやインターネットの相手	その他	わからない	相談できる人はいない	無回答
年齢別	15歳(n=10)	50.0	0.0	10.0	80.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	16歳(n=59)	47.5	6.8	20.3	64.4	13.6	1.7	1.7	0.0	3.4	0.0	6.8	5.1	8.5	6.8	0.0
	17歳(n=63)	68.3	11.1	31.7	69.8	17.5	1.6	0.0	0.0	6.3	0.0	4.8	3.2	4.8	4.8	0.0
	18歳以上(n=38)	65.8	7.9	23.7	65.8	23.7	5.3	0.0	0.0	7.9	0.0	0.0	0.0	7.9	7.9	0.0

問17 あなたが相談するときには大事だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

相談するときには大事だと思うことについては、「匿名で（自分の名前を知られずに）相談できる」と「相談内容の秘密を厳守してくれる」が61.4%と最も多く、次いで、「子どもだけでも直接相談できる」が52.6%となっています。

年齢別にみると、16歳は「匿名で（自分の名前を知られずに）相談できる」が、17歳・18歳以上では「相談内容の秘密を厳守してくれる」が最も多くなっています。



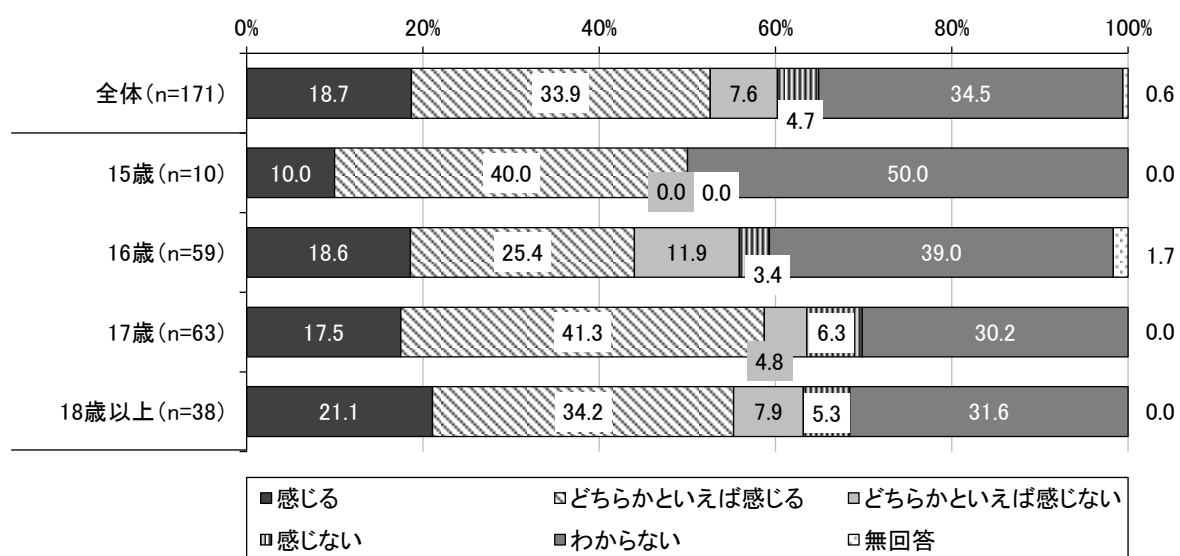
■クロス集計 年齢別

単位: %		匿名で(自分の名前を知られずに)相談できる	子どもだけでも直接相談できる	何時でも相談できる	電話代などが無料	メール・SNSで相談できる	相談内容の秘密を厳守	問題の解決まで、専門機関と連携しながら支援	その他	特にない	無回答
年齢別	15歳 (n=10)	80.0	30.0	20.0	50.0	40.0	50.0	0.0	10.0	10.0	0.0
	16歳 (n=59)	61.0	55.9	40.7	39.0	50.8	54.2	27.1	3.4	10.2	1.7
	17歳 (n=63)	60.3	52.4	36.5	42.9	50.8	69.8	30.2	4.8	9.5	0.0
	18歳以上 (n=38)	57.9	52.6	36.8	44.7	42.1	60.5	28.9	2.6	5.3	0.0

問18 あなたは、普段の生活の中で、子どもの権利が十分に守られていると感じますか。(○は1つ)

普段の生活の中で、子どもの権利が十分に守られていると感じるかについては、「わからない」が34.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば感じる」が33.9%となっています。また、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた“感じる”が52.6%と、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合わせた“感じない”の12.3%を40.3ポイント上回っています。

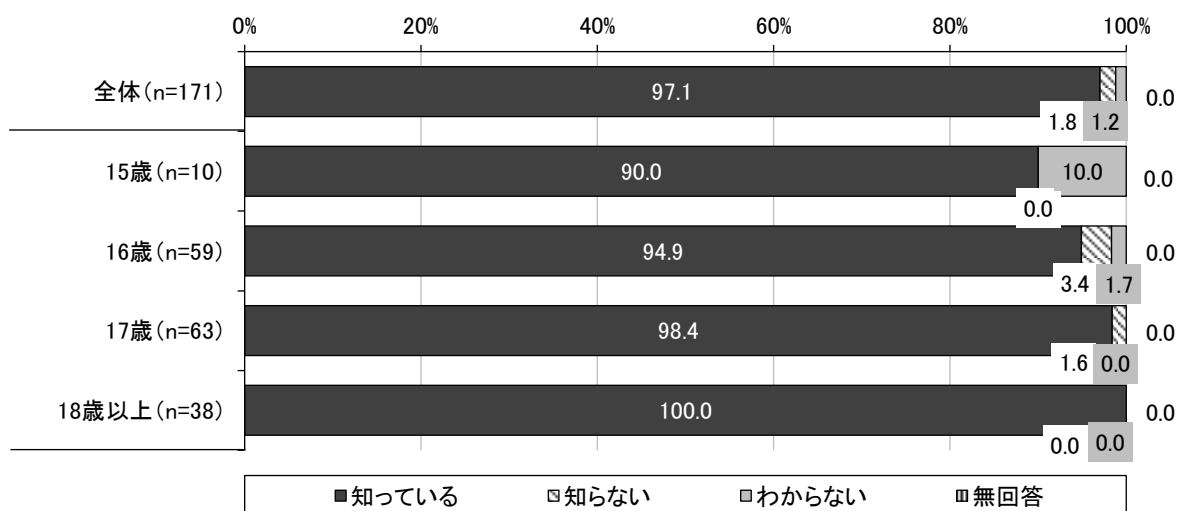
年齢別にみると、17歳では“感じる”が58.8%と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。



民法の一部改正により、令和4（2022）年4月1日から、日本の成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。

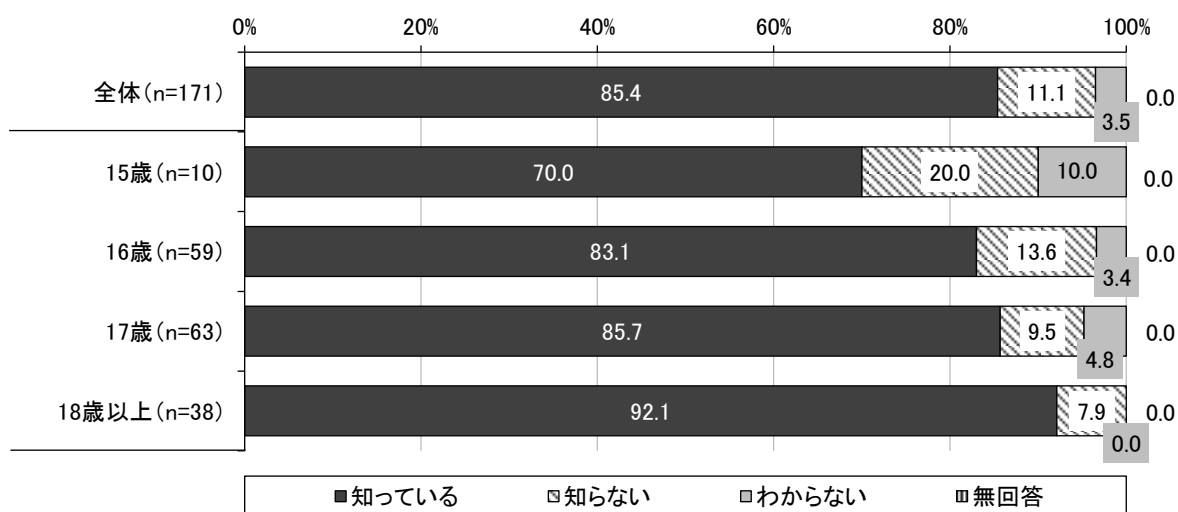
問19 あなたは、成年年齢が18歳に引き下げられたことを知っていますか。  
（○は1つ）

成年年齢が18歳に引き下げられたことを知っているかについては、「知っている」が97.1%と最も多く、次いで「知らない」が1.8%、「わからない」が1.2%となっています。  
年齢別にみると、大きな差は見られません。



問20 あなたは、成年年齢に達すれば、父母などの同意なく一人で契約できることを知っていますか。（○は1つ）

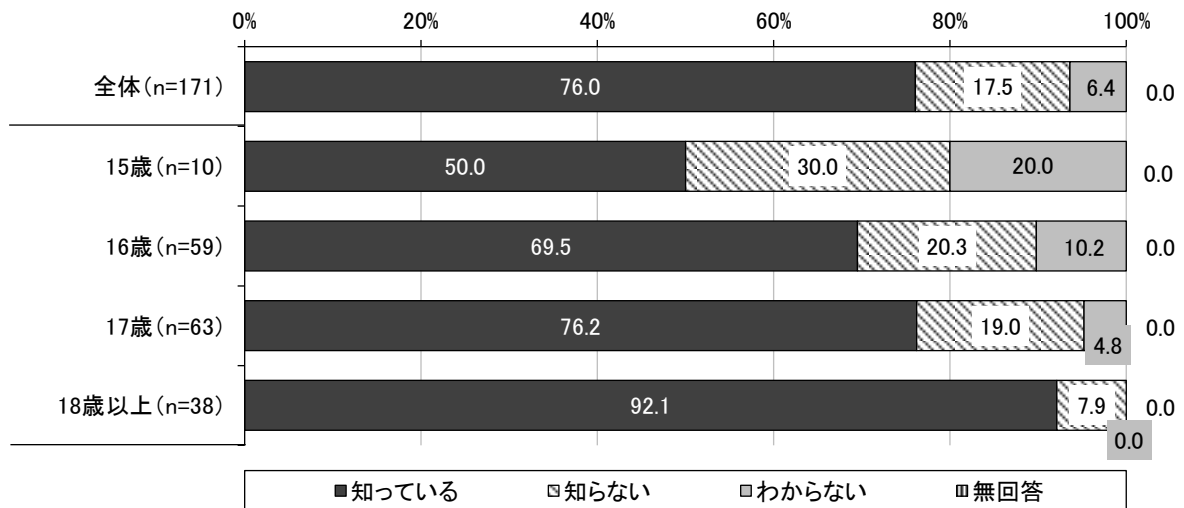
成年年齢に達すれば、父母などの同意なく一人で契約できることを知っているかについては、「知っている」が85.4%と最も多く、次いで「知らない」が11.1%、「わからない」が3.5%となっています。  
年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、「知っている」が増加傾向にあります。





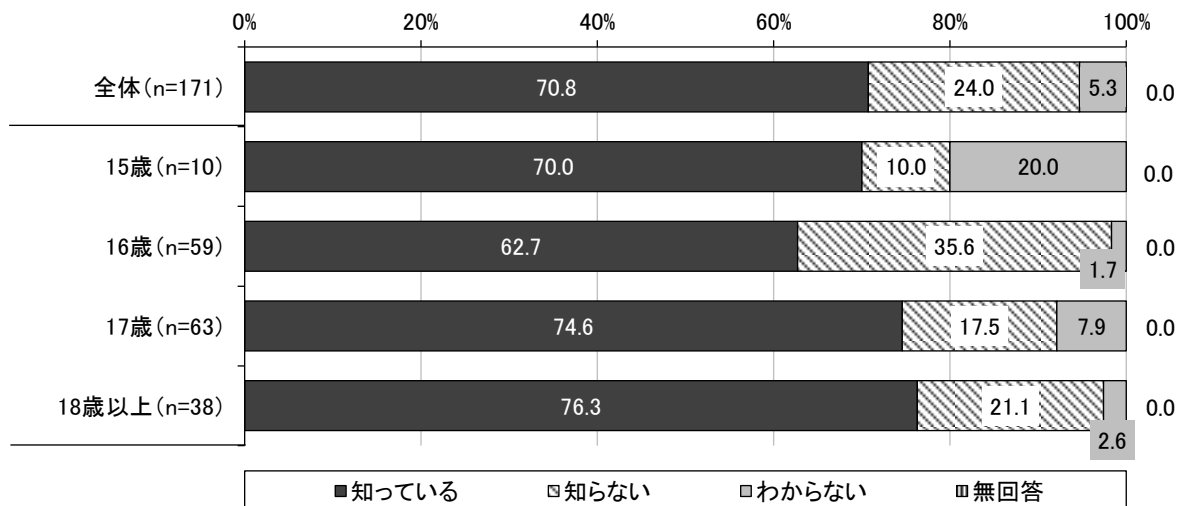
問2 1 あなたは、成年年齢が18歳に引き下げられた後、18歳、19歳の人が契約した場合は、未成年という理由では取り消せなくなることを知っていますか。(○は1つ)

成年年齢が18歳に引き下げられた後、18歳、19歳の人が契約した場合は、未成年という理由では取り消せなくなることを知っているかについては、「知っている」が76.0%と最も多く、次いで「知らない」が17.5%、「わからない」が6.4%となっています。  
年齢別にみると、年齢が上がるにつれ「知っている」が増加傾向にあります。



問2 2 あなたは、成年年齢に達すれば、父母などに従わなくても進学や就職を自分で決められ、財産も管理できることを知っていますか。(○は1つ)

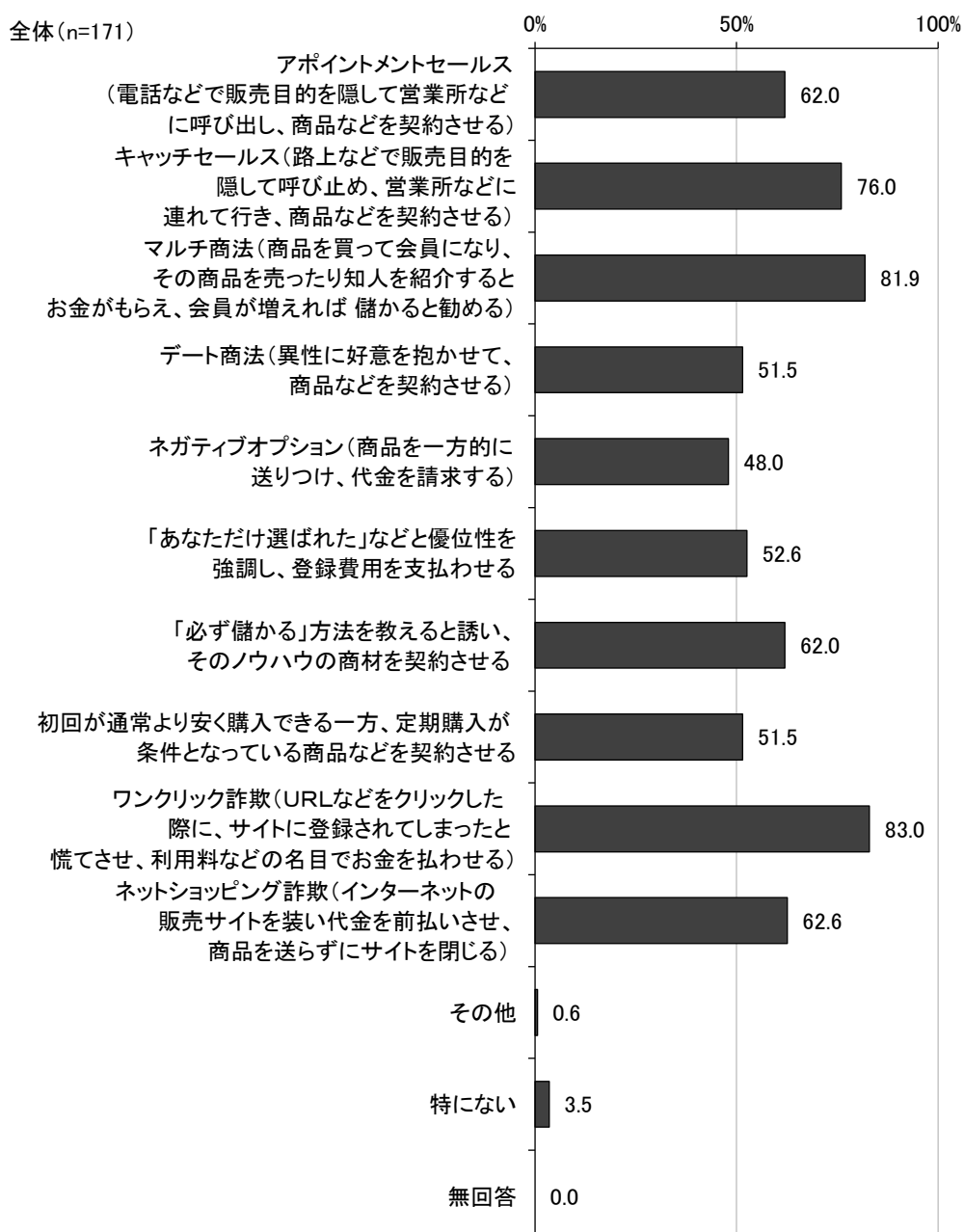
成年年齢に達すれば、父母などに従わなくても進学や就職を自分で決められ、財産も管理できることを知っているかについては、「知っている」が70.8%と最も多く、次いで「知らない」が24.0%、「わからない」が5.3%となっています。  
年齢別にみると、16歳では「知らない」が35.6%と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。



## 問23 トラブルのきっかけとなりやすい商法のうち、あなたが知っていることは次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

知っている、トラブルのきっかけとなりやすい商法については、「ワンクリック詐欺（URLなどをクリックした際に、サイトに登録されてしまったと慌てさせ、利用料などの名目でお金を払わせる）」が83.0%と最も多く、次いで「マルチ商法（商品を買って会員になり、その商品を買ったり知人を紹介するとお金がもらえ、会員が増えれば儲かると勧める）」が81.9%、「キャッチセールス（路上などで販売目的を隠して呼び止め、営業所などに連れて行き、商品などを契約させる）」が76.0%となっています。

年齢別にみると、16歳では「マルチ商法（商品を買って会員になり、その商品を買ったり知人を紹介するとお金がもらえ、会員が増えれば儲かると勧める）」、17歳・18歳以上で「ワンクリック詐欺（URLなどをクリックした際に、サイトに登録されてしまったと慌てさせ、利用料などの名目でお金を払わせる）」が最も多くなっています。



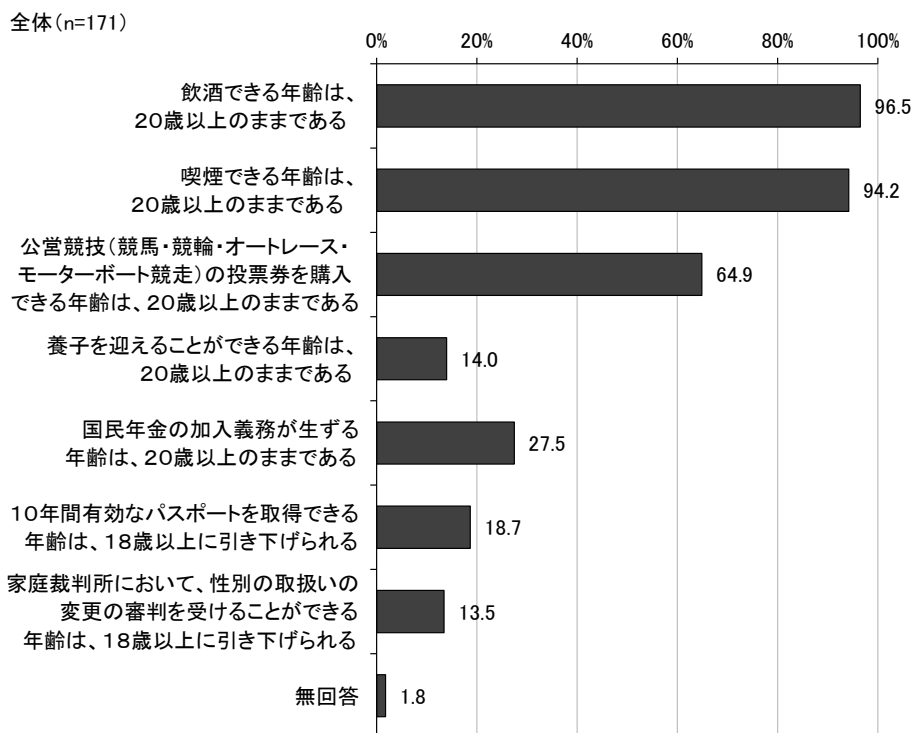
■クロス集計 年齢別

単位：%		アポイントメントセールス（電話などで販売目的を隠して営業所などに呼び出し、商品などを契約させる）	呼び止め、営業所などに連れて行き、商品などを契約させる	キャッチセールス（路上などで販売目的を隠して営業所などに呼び出し、商品などを契約させる）	マルチ商法（商品を買って会員になり、その商品が増えれば儲かると勧める）	デート商法（異性に好意を抱かせて、商品などを契約させる）	ネガティブオプション（商品を一方向的に送りつけ、代金を請求する）	「あなただけ選ばれた」などと優位性を強調し、登録費用を支払わせる	「必ず儲かる」方法を教えると誘い、そのノウハウの商材を契約させる	初回が通常より安く購入できる一方、定期購入が条件となっている商品などを契約させる	ワンクリック詐欺（URLなどをクリックした際に、サイトに登録されてしまったと慌てさせ、利用料などの名目でお金を払わせる）	ネットショッピング詐欺（インターネットの販売サイトを閉じる）	その他	特にない	無回答
年齢別	15歳(n=10)	40.0	<b>80.0</b>	<b>70.0</b>	50.0	40.0	<b>70.0</b>	<b>70.0</b>	60.0	<b>70.0</b>	60.0	0.0	0.0	0.0	
	16歳(n=59)	62.7	78.0	<b>88.1</b>	52.5	50.8	49.2	61.0	50.8	<b>84.7</b>	66.1	1.7	6.8	0.0	
	17歳(n=63)	61.9	69.8	<b>77.8</b>	52.4	44.4	50.8	57.1	54.0	<b>81.0</b>	61.9	0.0	1.6	0.0	
	18歳以上(n=38)	65.8	<b>81.6</b>	<b>81.6</b>	47.4	52.6	55.3	68.4	47.4	<b>86.8</b>	57.9	0.0	2.6	0.0	

問24 現在、年齢制限が20歳以上に設けられていることには、成年年齢の引下げとともに18歳以上になることと、20歳以上のままのことがあります。あなたが知っていることは次のうちどれですか。(○はいくつでも)

成年年齢の引き下げとともに18歳以上になることと、20歳以上のままのことで知っているものは、「飲酒できる年齢は、20歳以上のままである」が96.5%と最も多く、次いで「喫煙できる年齢は、20歳以上のままである」が94.2%、「公営競技（競馬・競輪・オートレース・モーターボート競走）の投票券を購入できる年齢は、20歳以上のままである」が64.9%となっています。

年齢別にみると、18歳以上で「国民年金の加入義務が生ずる年齢は、20歳以上のままである」が他の年齢に比べて割合が高くなっています。



■クロス集計 年齢別

単位: %		飲酒できる年齢は、20歳	喫煙できる年齢は、20歳	公営競技（競馬・競輪・オートレース・モーターボート競走）の投票券を購入できる年齢は、20歳以上	養子を迎えることができる年齢は、20歳以上	国民年金の加入義務が生ずる年齢は、20歳以上	10年間有効なパスポートを取得できる年齢は、18歳以上に引き下げられる	家庭裁判所において、性別の取扱いの変更の審判を受けることができる年齢は、18歳以上に引き下げられる	無回答
年齢別	15歳(n=10)	100.0	90.0	60.0	20.0	30.0	30.0	20.0	0.0
	16歳(n=59)	93.2	89.8	61.0	10.2	22.0	16.9	11.9	3.4
	17歳(n=63)	96.8	95.2	61.9	15.9	27.0	19.0	12.7	1.6
	18歳以上(n=38)	100.0	100.0	76.3	13.2	36.8	18.4	15.8	0.0

問25 その他、ご意見などがあればご自由にお書きください。

13人の方から、13件のご意見をいただきました。

「環境の整備・要望について」が6件と最も多く、次いで「アンケートについて」と「相談できる場所の確保について」がそれぞれ2件となっています。

以下にカテゴリごとに代表的な意見を掲載します。

カテゴリ	件数
<b>環境の整備・要望について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○最低賃金を上げてほしい。</li> <li>○歩道の整備をお願いしたい。</li> <li>○コロナ禍で今の子どもたちの楽しむ場がなくなっている（お祭りやどこかに遊びに行くなど）。</li> <li>○北本市民活動センターがあればうれしい。それに相当する空間でもよい。</li> <li>○友達同士でお茶をしたり、テスト前に勉強しながらいられる場所がほとんどない。北本図書館は利用しているが、土日は3時間の利用時間制限があり、席もコロナで縮小されているため、不便。北本駅の中、2Fの多目的室的な部屋を自習室のように開放するなどはどうか。</li> </ul>	6
<b>アンケートについて</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○このアンケートそのものがあまり意味がないと思う。高校生でこれを記入する人がどのくらいの割合か。これを書く高校生そのものが少数ではないのか。わざわざ催促の手紙まで送らないでほしい。</li> <li>○質問がわかりにくい部分がある。「言うことができない」とはその行為が仕組みの上で可能であるということか、それとも自分でその行為を行うのに至ることが可能なのか。</li> </ul>	2
<b>相談できる場所の確保について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○中学校にスクールカウンセラーがいるということは知っているが、実際にその存在を感じたことはない。子どもがもっと相談しやすい環境にするために、スクールカウンセラーの方はもっと校内を出歩いたり顔を出したりしてほしい。また、相談するには予約が必要であり、一度他の人を通さなければならなかった記憶がある。この制度のせいで相談させにくくしているのでやめたほうが良い。</li> <li>○家出した時に受け入れてくれる家がほしい。</li> </ul>	2
<b>市政・地域での取組について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○北本が大好きであり、何か北本のためになりたいと思っている。ただ、ボランティア募集などをネットで検索しても、何回も続ける前提で登録するものばかりに思う。これだと若者が自主的に市の活動に参加、というのは難しい状況である。市のPRなどを中心に、若者ならではの技術・アイデアで、それぞれの忙しさに合わせて活動できる、そんなチームがあってもいいと思う。</li> </ul>	1

カテゴリ	件数
学校教育の充実・改善について	1
○もし北本市政の子どもの権利条約が十分行われているのであればいま学校生活を送っている中で不登校やいじめがなくなっていないという現状はおかしいと思う。さらに、勉学に関わりのない校則(ツープロック禁止や、下着の色指定など)があることもおかしいと思う。もし本当に子どもの権利を尊重したいのであればそういったところの改善につとめてほしい。中途半端に子どもの権利を尊重したいというのはやめてほしい。いつか子ども達がのびのびと勉学に励めることを望んでいる。	
その他	1
○わからないことが多かった。	
合 計	13

## V 大人調査結果

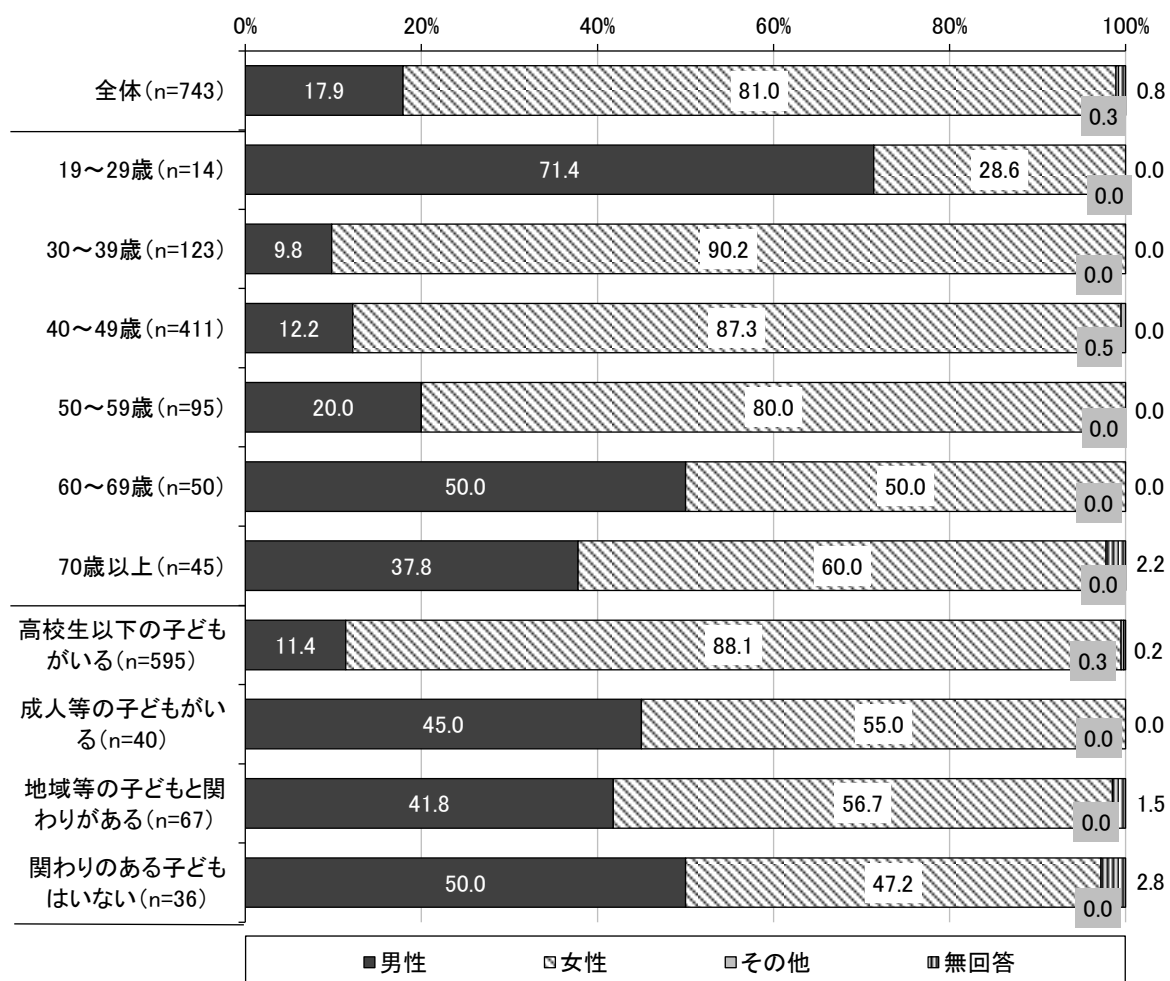
### 1 あなた自身についておたずねします

問1 あなたの性別について、教えてください。(○は1つ)

性別については、「女性」が81.0%と、「男性」の17.9%を上回っています。

年齢別にみると、30～69歳で年齢が上がるにつれて「男性」の割合が高く、60～69歳では「男性」と「女性」がいずれも50.0%となっています。

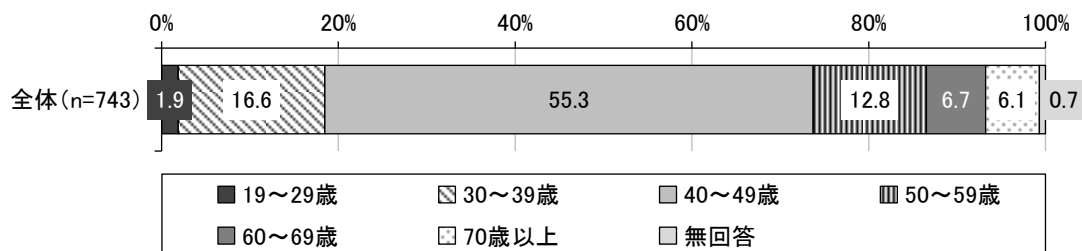
関わりのある子ども別にみると、【関わりのある子どもはいない】では「男性」が50.0%と、「女性」を上回っています。また、【高校生以下の子どもがいる】では「女性」が88.1%と、特に多くなっています。



問2 あなたの年齢（令和4年10月1日現在）について、教えてください。

（○は1つ）

年齢については、「40～49歳」が55.3%と最も多く、次いで「30～39歳」が16.6%、「50～59歳」が12.8%となっています。

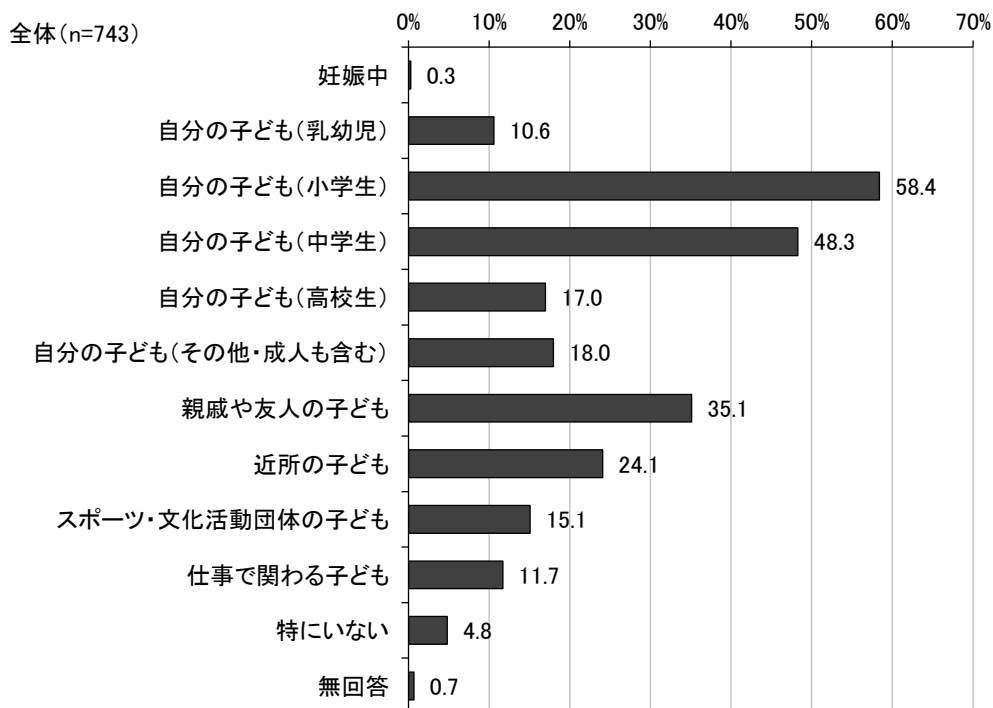




## 2 子どもの状況についておたずねします

問3 あなたには、お子さんや身近に関わりのある子どもがいますか。(○はいくつでも)

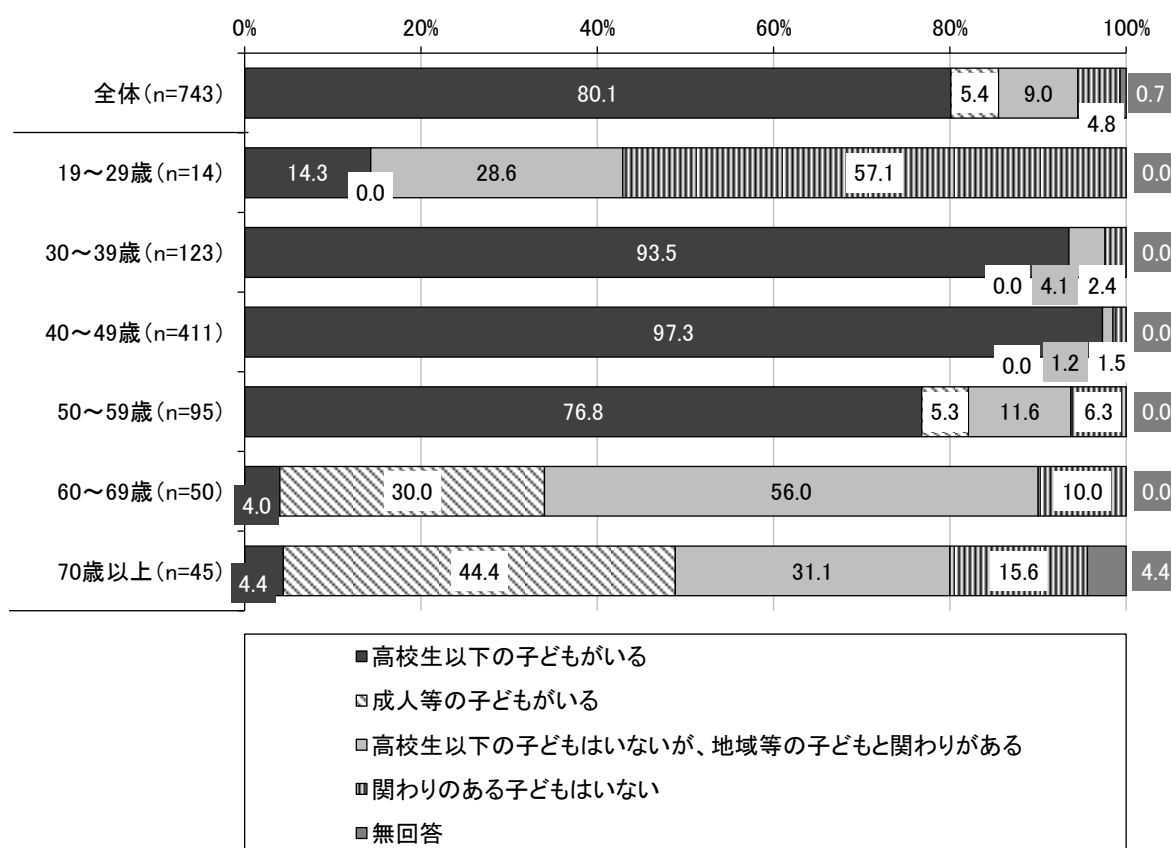
身近に関わりのある子どもがいるかについては、「自分の子ども(小学生)」が58.4%と最も多く、次いで「自分の子ども(中学生)」が48.3%、「親戚や友人の子ども」が35.1%となっています。



★関わりのある子どもについて、教えてください。(○は1つ)

関わりのある子どもについては、「高校生以下の子どもがいる」が80.1%と最も多く、次いで「高校生以下の子どもはいないが、地域等の子どもと関わりがある」が9.0%、「成人等の子どもがいる」が5.4%となっています。

年齢別にみると、30～59歳では「高校生以下の子どもがいる」が7割半ばを超えて、特に多くなっています。また、60～69歳では「高校生以下の子どもはいないが、地域等の子どもと関わりがある」が、70歳以上では「成人等の子どもがいる」が最も多くなっています。



【関わりのある子どもの定義】 問3

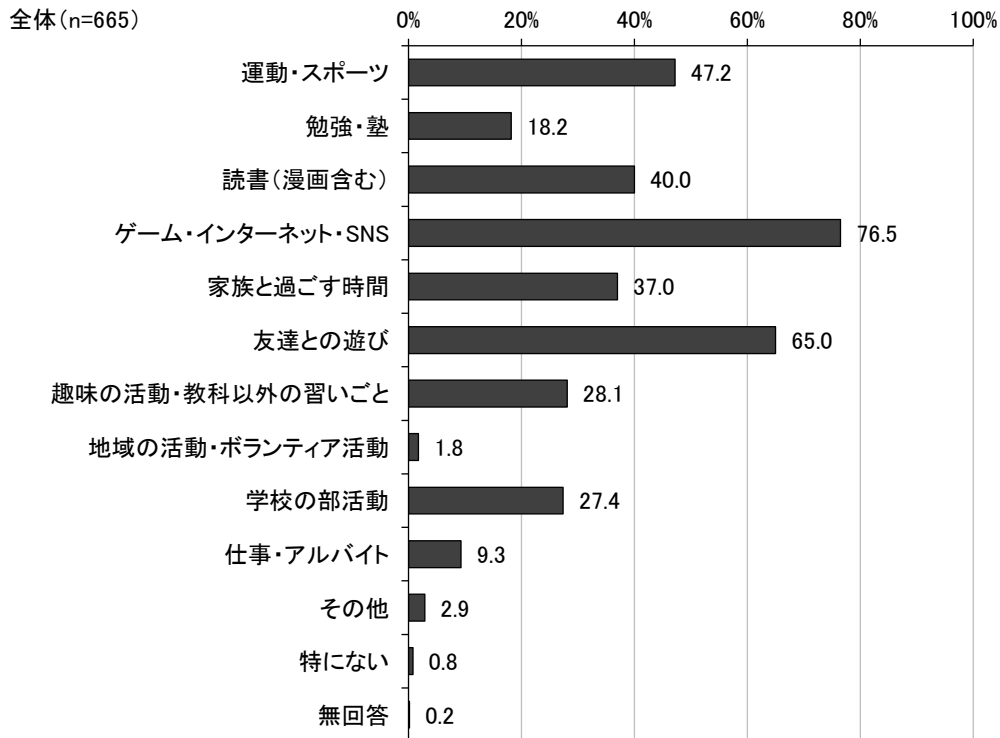
- 高校生以下の子どもがいる  
⇒「自分の子ども（乳幼児）」・「自分の子ども（小学生）」・「自分の子ども（中学生）」・「自分の子ども（高校生）」のいずれかを選択した方
- 成人等の子どもがいる  
⇒「自分の子ども（その他・成人も含む）」を選択した方
- 高校生以下の子どもはいないが、地域等の子どもと関わりがある  
⇒「自分の子ども（乳幼児）」～「自分の子ども（高校生）」を未選択で、「親戚や友人の子ども」・「近所の子ども」・「スポーツ・文化活動団体の子ども」・「仕事で関わる子ども」のいずれかを選択
- 関わりのある子どもはいない  
⇒「特にない」を選択

【問3で「2」「3」「4」「5」「6」のいずれか（自分の子どもがいる）を選択した方のみ】

問3-1 あなたのお子さんが、夢中になれることは何ですか。（○はいくつでも）

お子さんが夢中になれることについては、「ゲーム・インターネット・SNS」が76.5%と最も多く、次いで「友達との遊び」が65.0%、「運動・スポーツ」が47.2%となっています。

年齢別にみると、70歳以上では「仕事・アルバイト」が最も多くなっています。



■クロス集計 年齢別

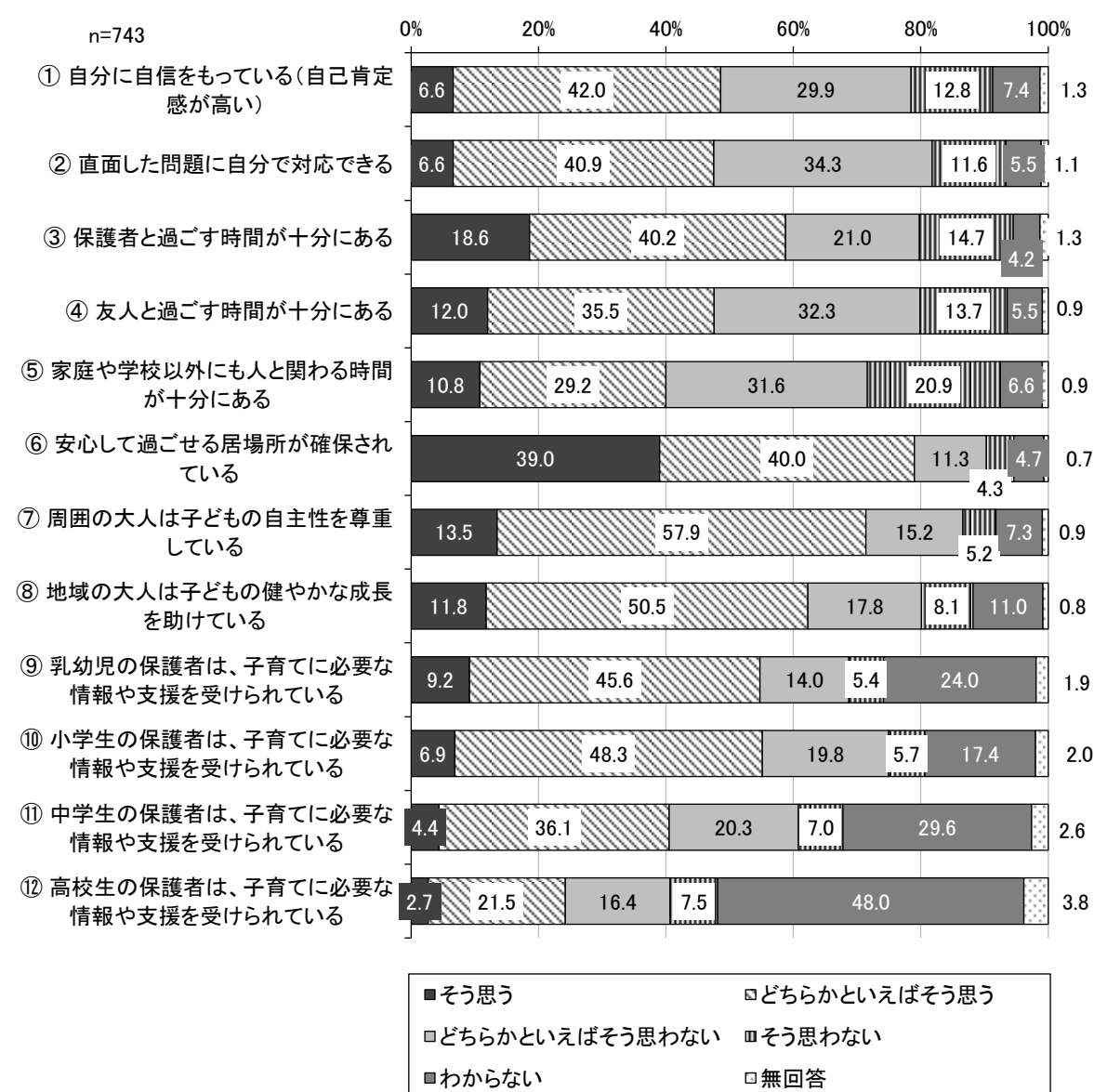
単位: %		運動・スポーツ	勉強・塾	読書(漫画含む)	ゲーム・インターネット・SNS	家族と過ごす時間	友達との遊び	趣味の活動・教科以外の習いごと	地域の活動・ボランティア活動	学校の部活動	仕事・アルバイト	その他	特にない	無回答
年齢別	19~29歳 (n=2)	0.0	0.0	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30~39歳 (n=115)	50.4	16.5	44.3	80.9	48.7	75.7	28.7	2.6	23.5	1.7	1.7	0.0	0.0
	40~49歳 (n=400)	52.3	20.3	43.3	82.5	38.0	69.8	30.0	1.5	30.8	4.0	3.0	0.0	0.0
	50~59歳 (n=82)	36.6	23.2	39.0	76.8	22.0	58.5	30.5	1.2	35.4	13.4	2.4	0.0	0.0
	60~69歳 (n=33)	33.3	3.0	15.2	48.5	36.4	33.3	12.1	6.1	6.1	42.4	6.1	3.0	0.0
	70歳以上 (n=32)	18.8	3.1	12.5	12.5	21.9	15.6	15.6	0.0	3.1	59.4	3.1	12.5	3.1

### 問4 あなたは、最近の子どもを取り巻く状況をどのように感じていますか。 (○はそれぞれ1つ)

最近の子どもを取り巻く状況をどのように感じているかについては、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”が、<⑥安心して過ごせる居場所が確保されている>と<⑦周囲の大人は子どもの自主性を尊重している>で7割台、<⑧地域の大人は子どもの健やかな成長を助けている>で6割台となっています。

一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”が<⑤家庭や学校以外にも人と関わる時間が十分にある>が5割台となっています。

また、「子育てに必要な情報や支援を受けられているか」という質問では、子どもの年齢が低くなるにしたがって、“そう思う”の割合が高くなる傾向にあります。

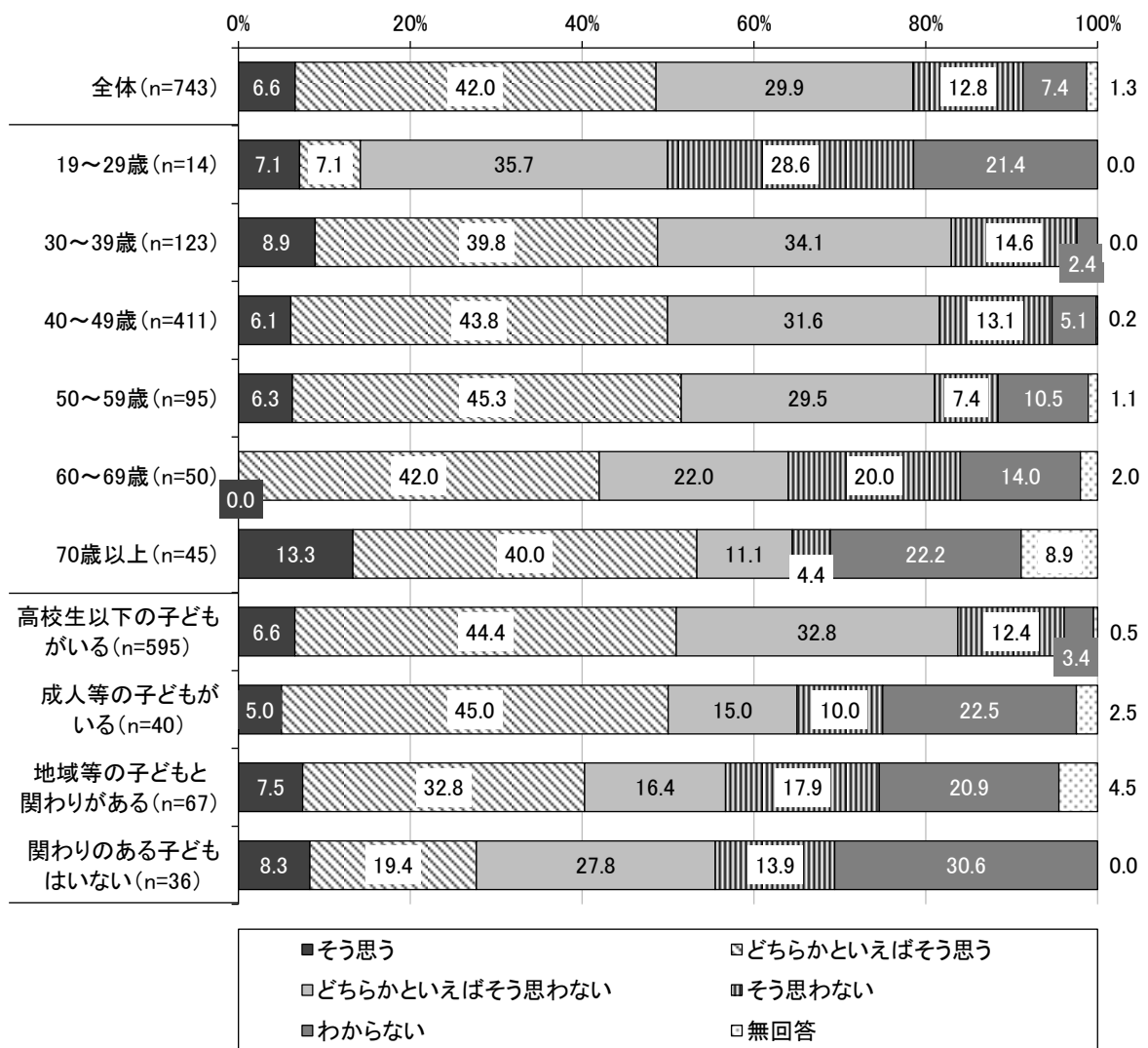


① 自分に自信をもっている（自己肯定感が高い）

自分に自信をもっている（自己肯定感が高い）については、「どちらかといえばそう思う」が42.0%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が29.9%となっています。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”が48.6%と、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の42.7%を5.9ポイント上回っています。

年齢別にみると、30～59歳と70歳以上で“そう思う”が5割前後と他の年齢に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】と【成人等の子どもがいる】で“そう思う”が5割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。

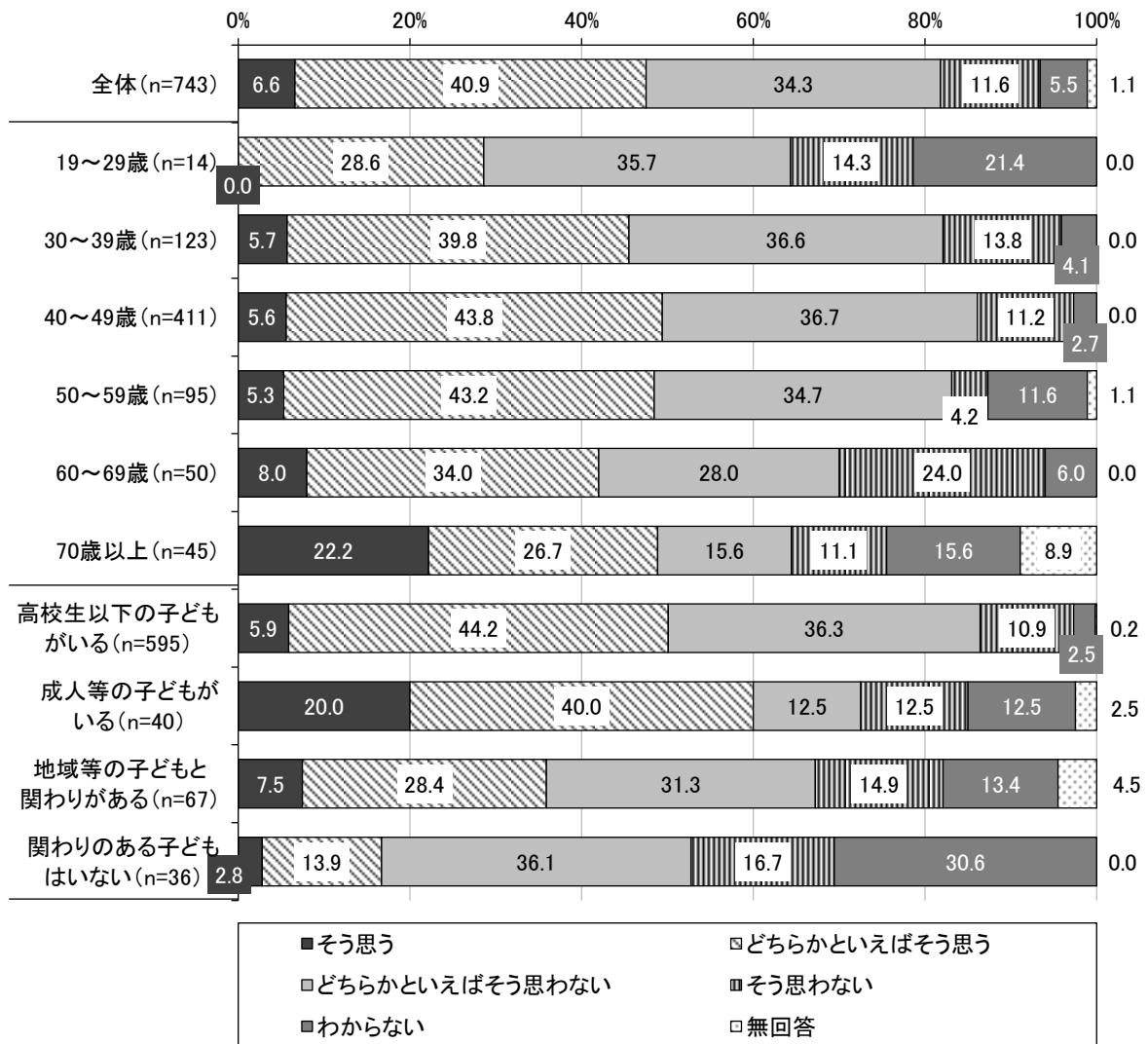


## ② 直面した問題に自分で対応できる

直面した問題に自分で対応できるかについては、「どちらかといえばそう思う」が40.9%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が34.3%となっています。また、「そう思う」が47.5%、「そう思わない」が45.9%となっています。

年齢別にみると、70歳以上では「そう思う」が22.2%と2割を超え、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【成人等の子どもがいる】では「そう思う」が6割と他の項目に比べて割合が高くなっています。

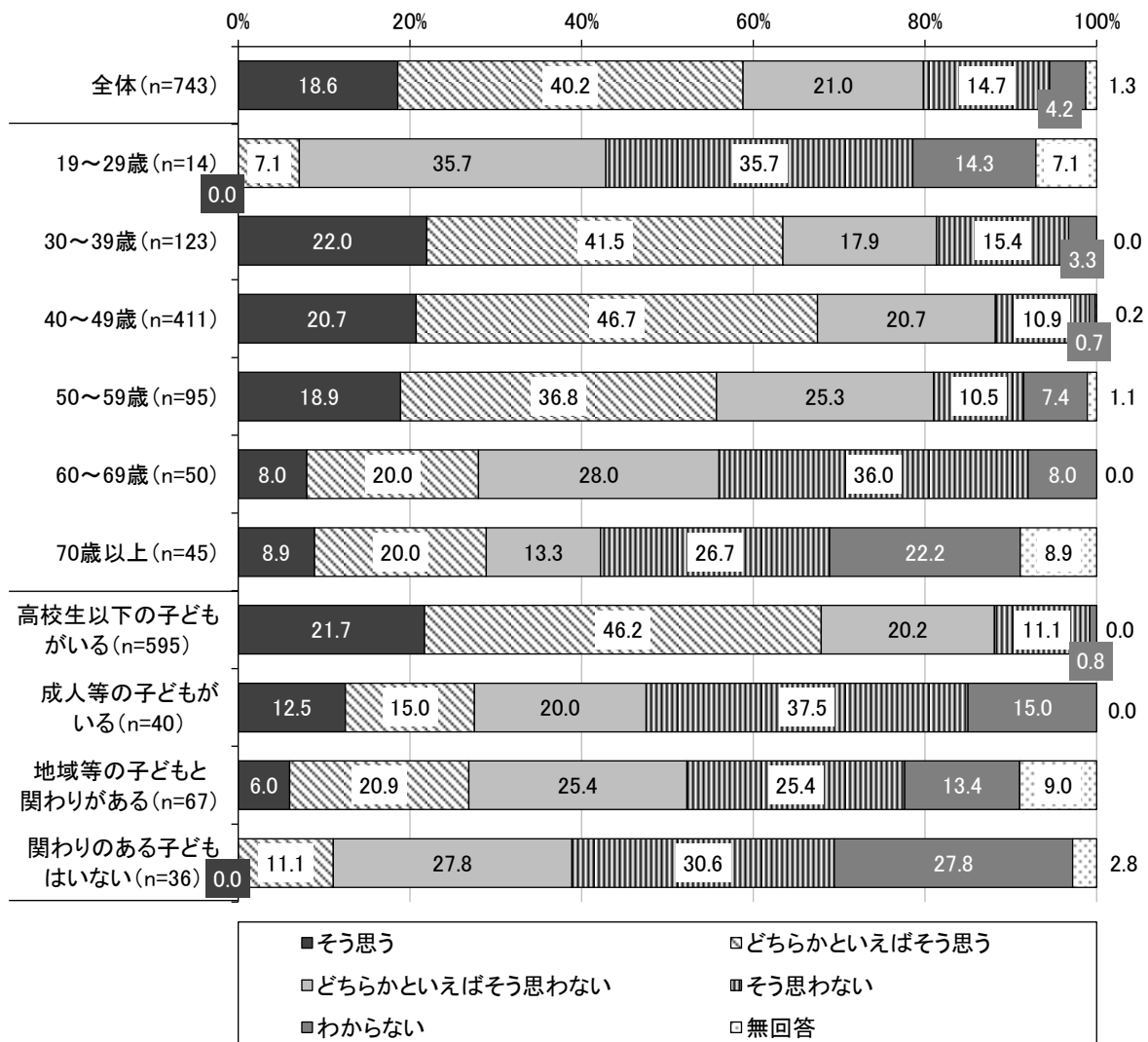


### ③ 保護者と過ごす時間が十分にある

保護者と過ごす時間が十分にあるかについては、「どちらかといえばそう思う」が40.2%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が21.0%となっています。また、「そう思う」が58.8%と、「そう思わない」の35.7%を23.1ポイント上回っています。

年齢別にみると、60歳以上では「そう思う」が3割台と他の年代に比べて割合が低くなっています。また、70歳以上では「わからない」が22.2%と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で「そう思う」が6割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。一方、【成人等の子どもがいる】、【地域等の子どもと関わりがある】と【関わりのある子どもはいない】では、「そう思わない」が5割台と高くなっています。

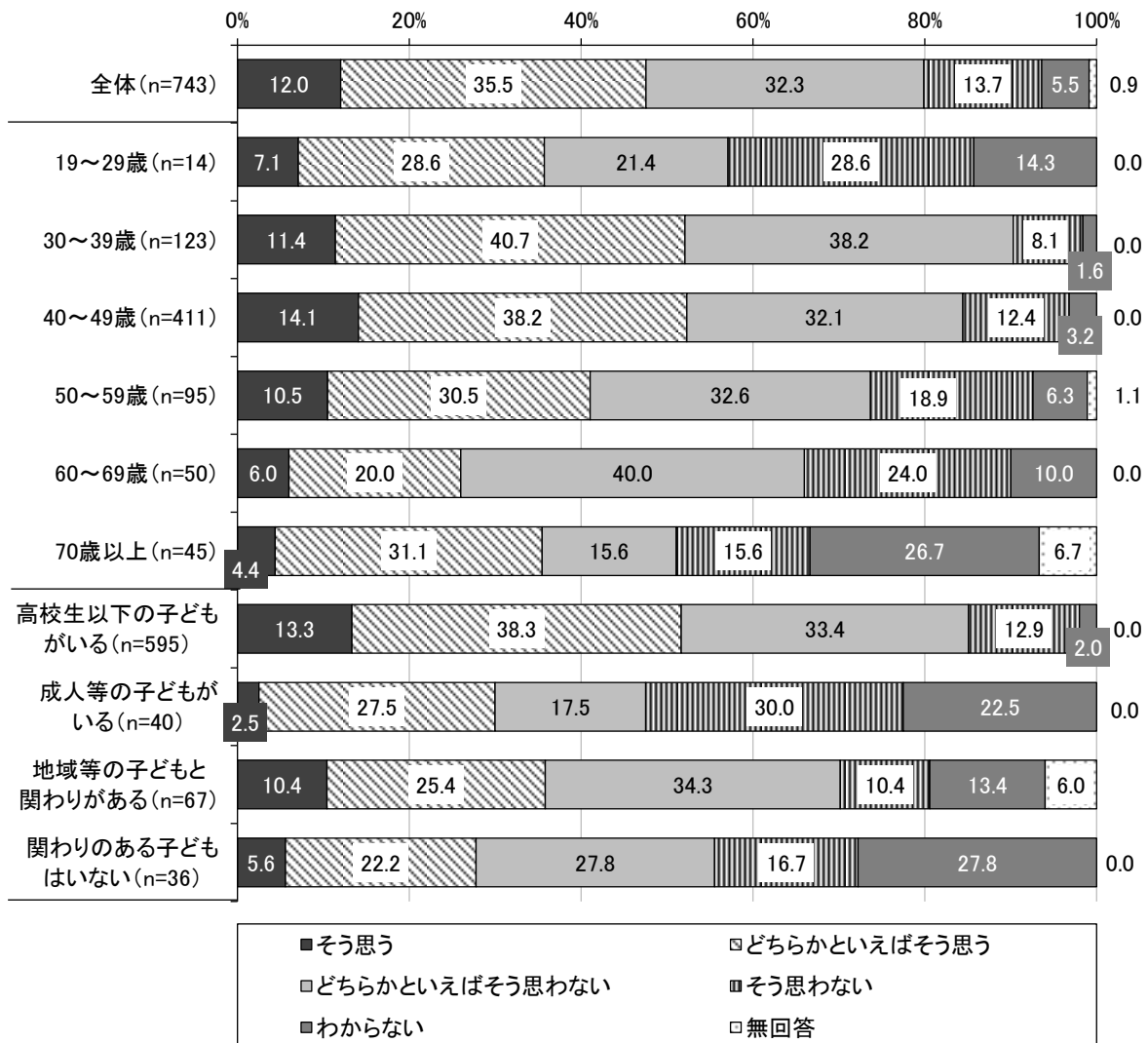


#### ④ 友人と過ごす時間が十分にある

友人と過ごす時間が十分にあるかについては、「どちらかといえばそう思う」が35.5%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が32.3%となっています。また、“そう思う”が47.5%、“そう思わない”が46.0%となっています。

年齢別にみると、30～49歳で“そう思う”が5割台と他の年齢に比べて割合が高くなっています。また、70歳以上では「わからない」が26.7%と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で“そう思う”が5割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。



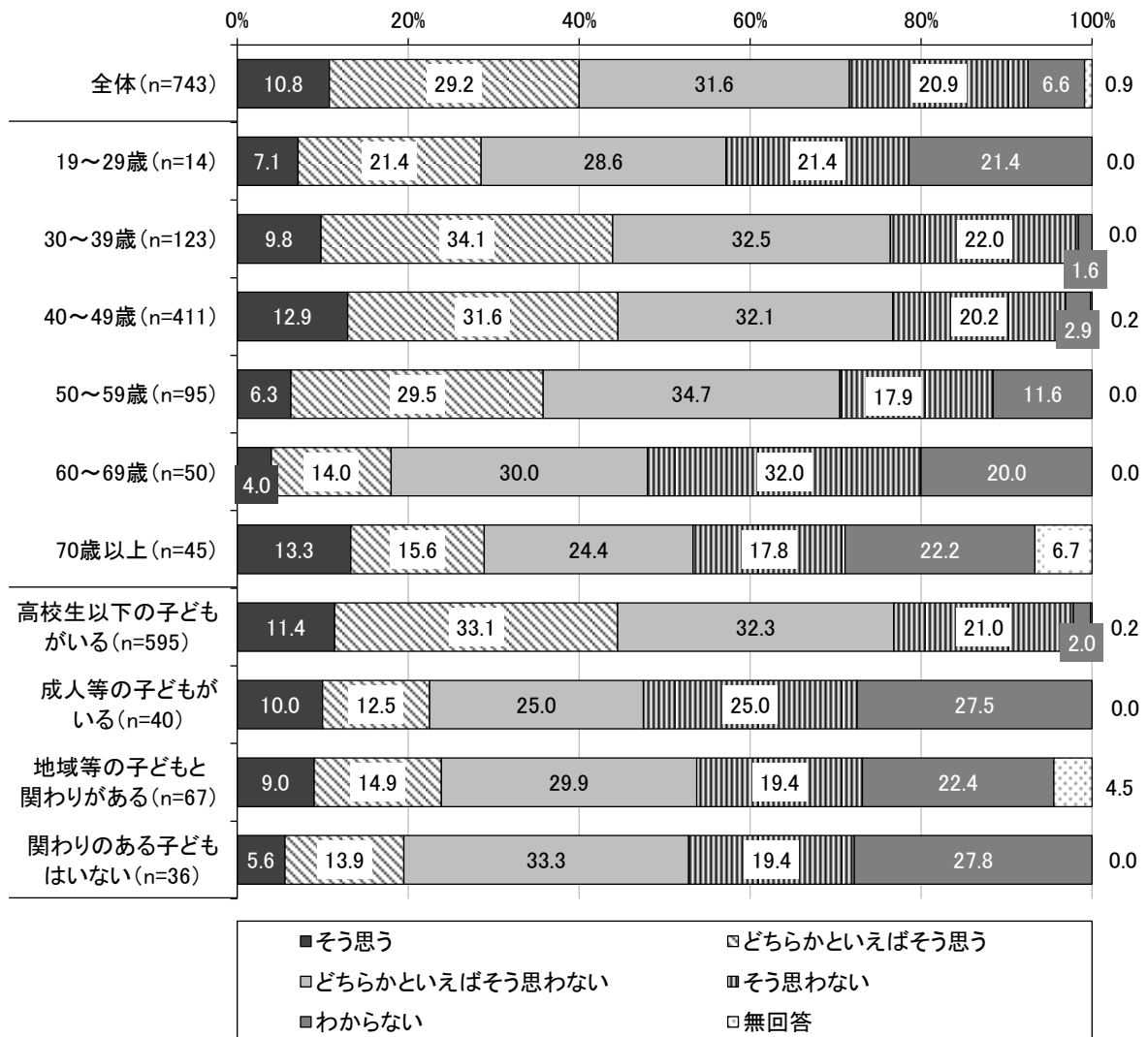


⑤ 家庭や学校以外にも人と関わる時間が十分にある

家庭や学校以外にも人と関わる時間が十分にあるかについては、「どちらかといえばそう思わない」が31.6%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が29.2%となっています。また、「そう思わない」が52.5%と、「そう思う」の40.0%を12.5ポイント上回っています。

年齢別にみると、30～49歳で「そう思う」が4割台と他の年齢に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で「そう思う」が4割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。

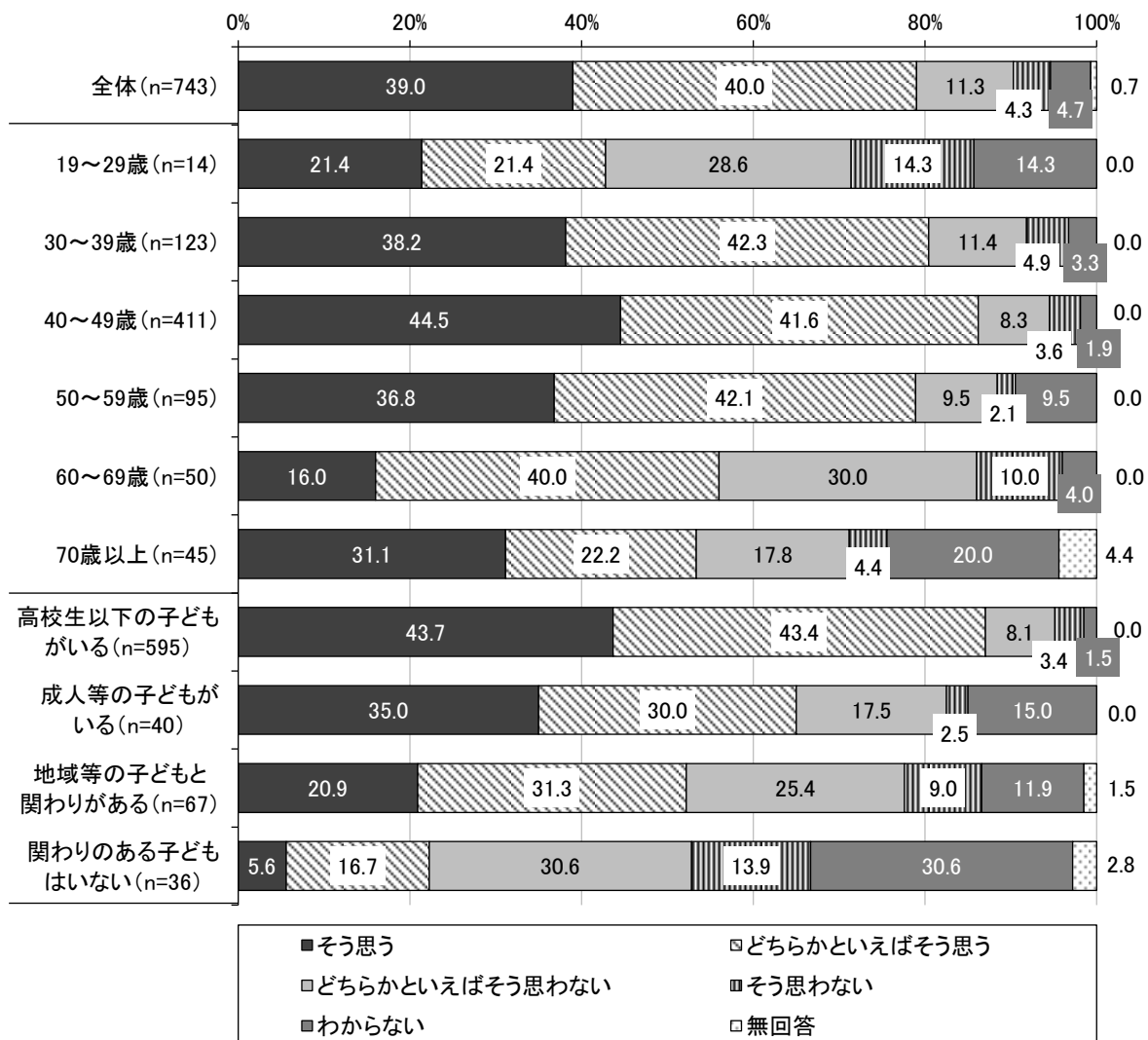


⑥ 安心して過ごせる居場所が確保されている

安心して過ごせる居場所が確保されているかについては、「どちらかといえばそう思う」が40.0%と最も多く、次いで「そう思う」が39.0%となっています。また、“そう思う”が79.0%と、“そう思わない”の15.6%を63.4ポイント上回っています。

年齢別にみると、30～59歳で“そう思う”が7～8割台と他の年齢に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で“そう思う”が8割台、【関わりのある子どもはいない】では「わからない」が30.6%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

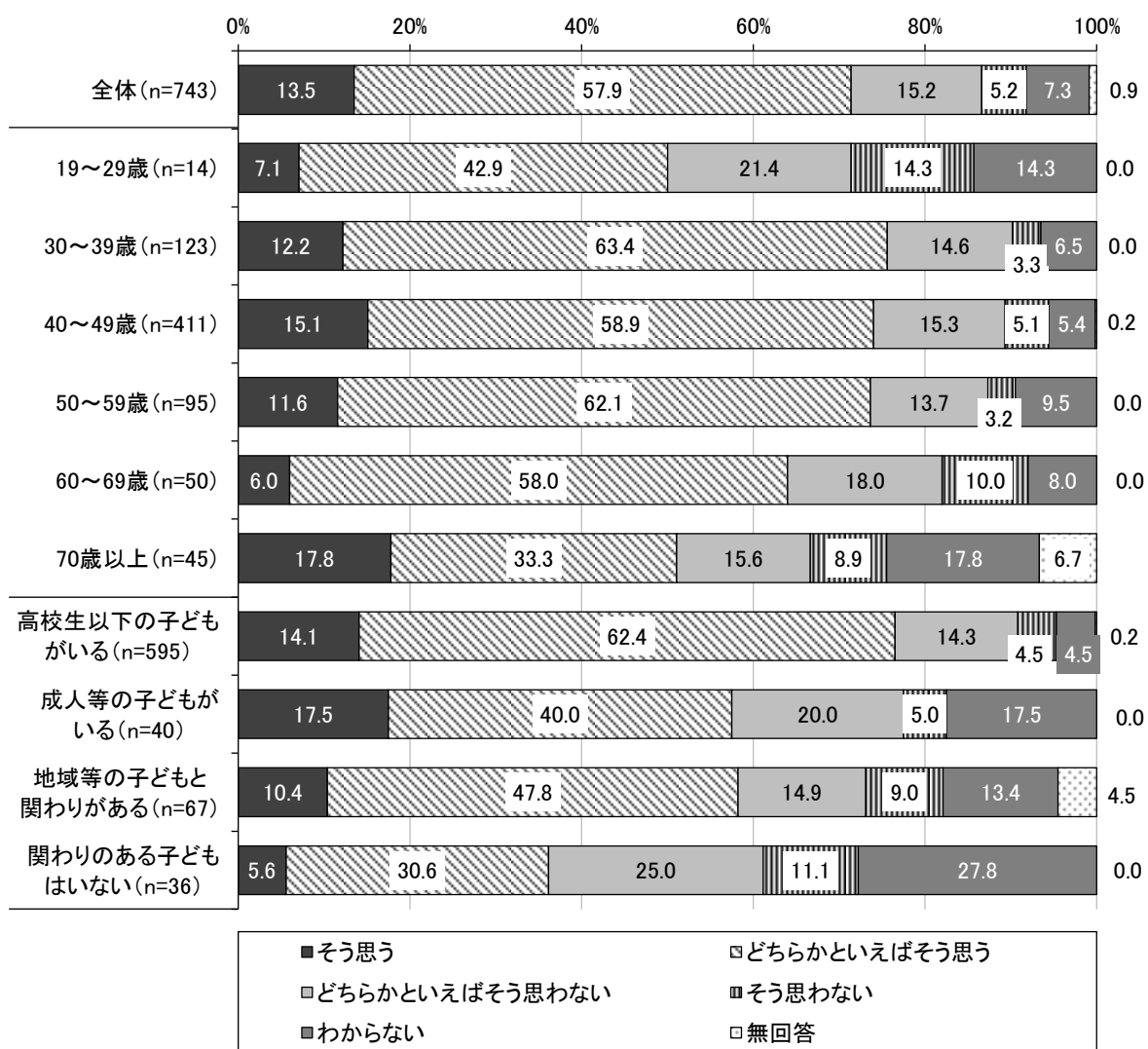


⑦ 周囲の大人は子どもの自主性を尊重している

周囲の大人は子どもの自主性を尊重しているかについては、「どちらかといえばそう思う」が57.9%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が15.2%となっています。また、「そう思う」が71.4%と、「そう思わない」の20.4%を51.0ポイント上回っています。

年齢別にみると、30～59歳で「そう思う」が7割台と他の年齢に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で「そう思う」が7割台、【関わりのある子どもはいない】では「わからない」が27.8%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

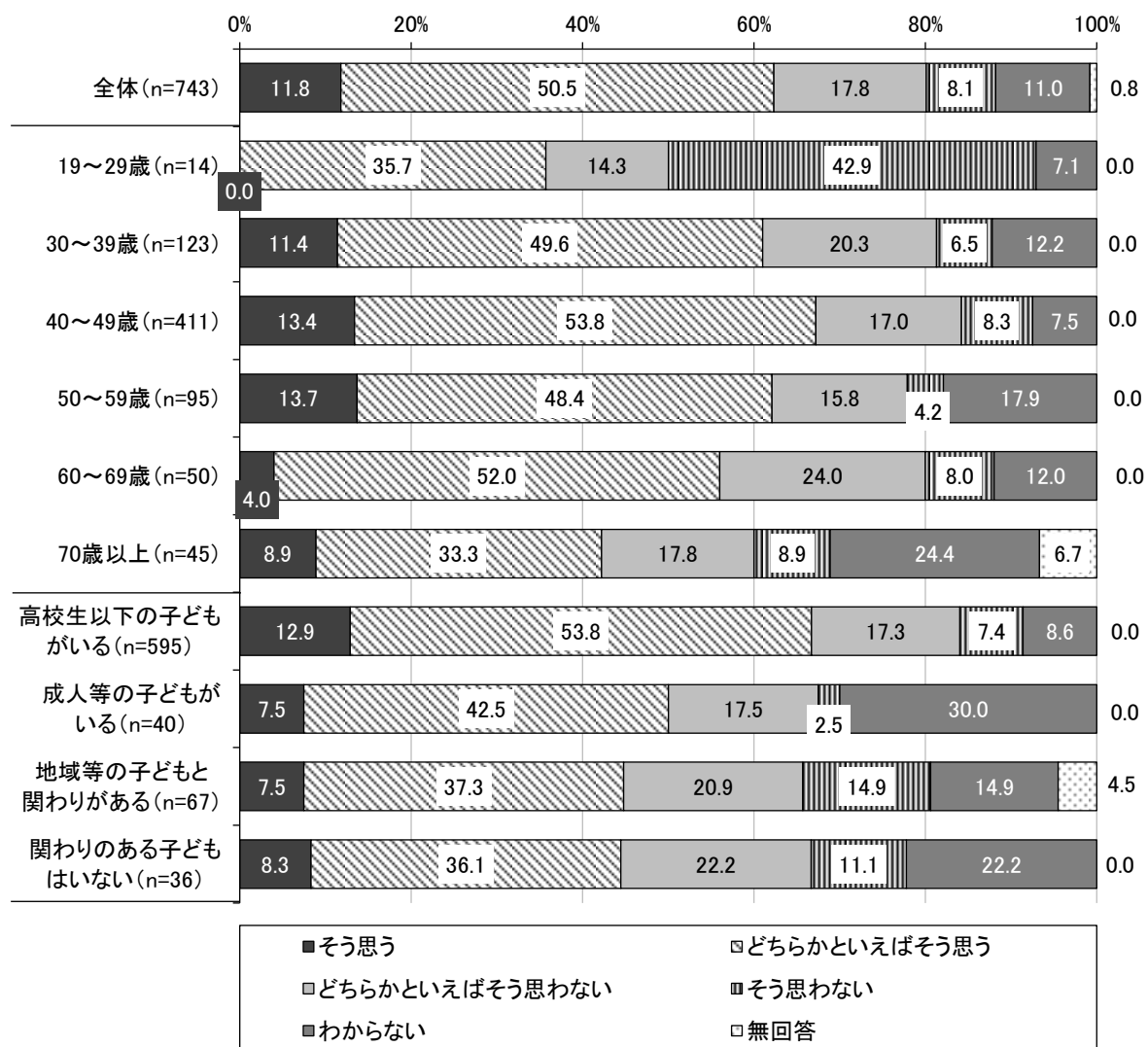


⑧ 地域の大人は子どもの健やかな成長を助けている

地域の大人は子どもの健やかな成長を助けているかについては、「どちらかといえばそう思う」が50.5%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が17.8%となっています。また、「そう思う」が62.3%と、「そう思わない」の25.9%を36.4ポイント上回っています。

年齢別にみると、40～49歳で「そう思う」が6割台後半と他の年齢に比べて割合が高くなっています。また、70歳以上では「わからない」が24.4%と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で「そう思う」が6割台と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

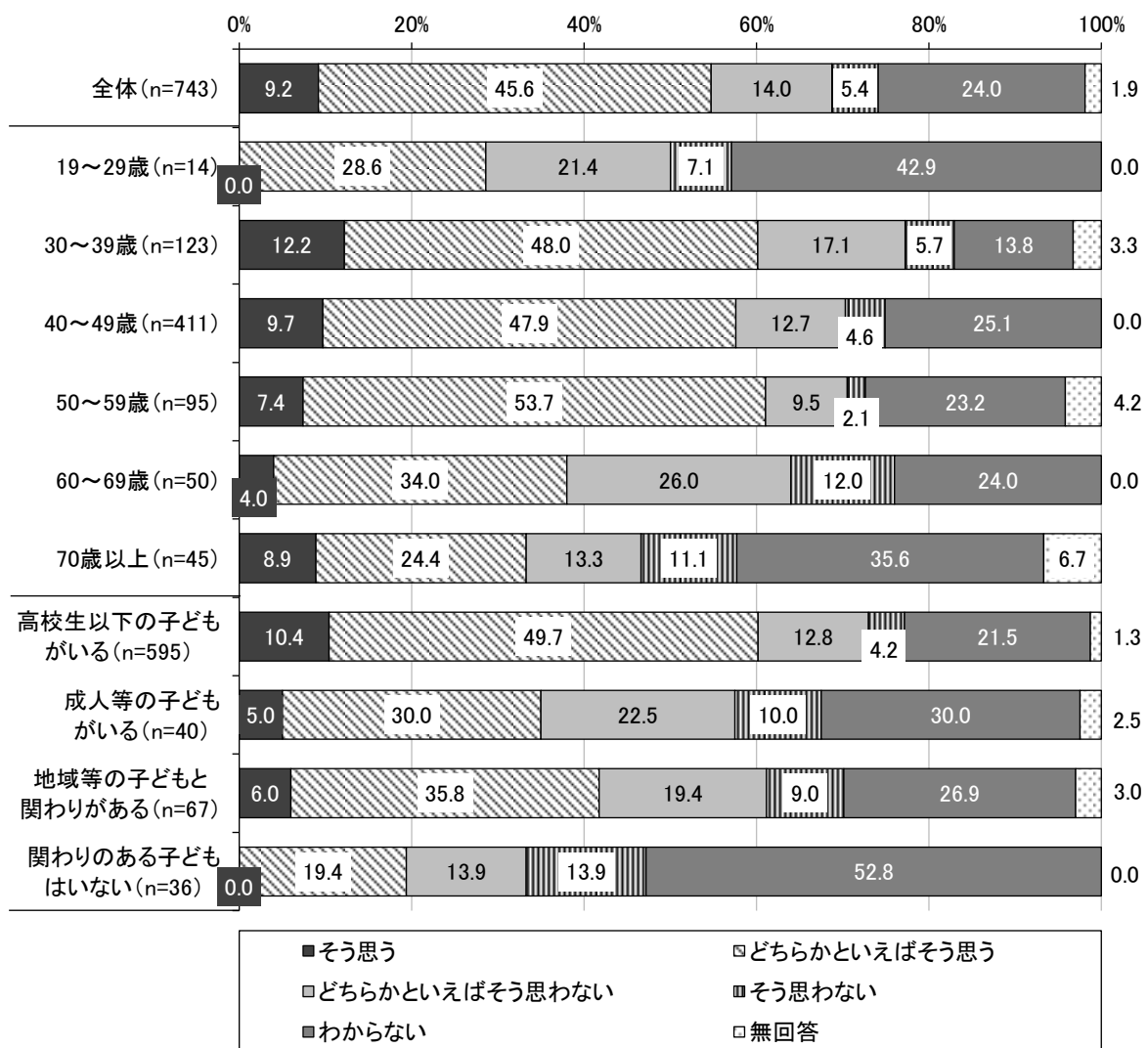


⑨ 乳幼児の保護者は、子育てに必要な情報や支援を受けられている

乳幼児の保護者は、子育てに必要な情報や支援を受けられているかについては、「どちらかといえばそう思う」が45.6%と最も多く、次いで「わからない」が24.0%となっています。また、“そう思う”が54.8%と、“そう思わない”の19.4%を35.4ポイント上回っています。

年齢別にみると、30～59歳で“そう思う”が5～6割台と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で“そう思う”が6割台、【関わりのある子どもはいない】では「わからない」が52.8%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

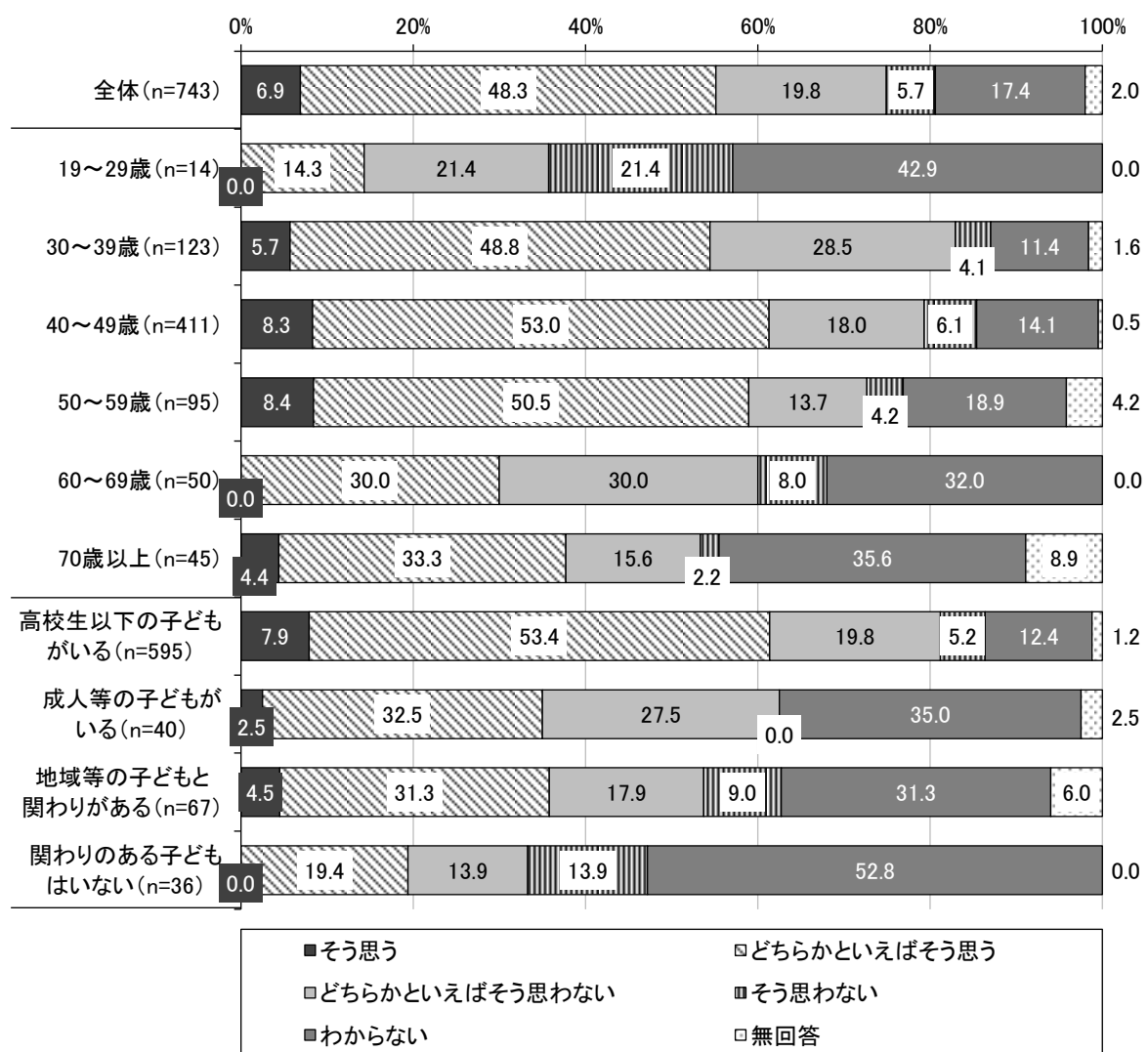


⑩ 小学生の保護者は、子育てに必要な情報や支援を受けられている

小学生の保護者は、子育てに必要な情報や支援を受けられているかについては、「どちらかといえばそう思う」が48.3%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が19.8%となっています。また、「そう思う」が55.2%と、「そう思わない」の25.5%を29.7ポイント上回っています。

年齢別にみると、30～59歳で「そう思う」が5～6割台と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で「そう思う」が6割台、【関わりのある子どもはいない】では「わからない」が52.8%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

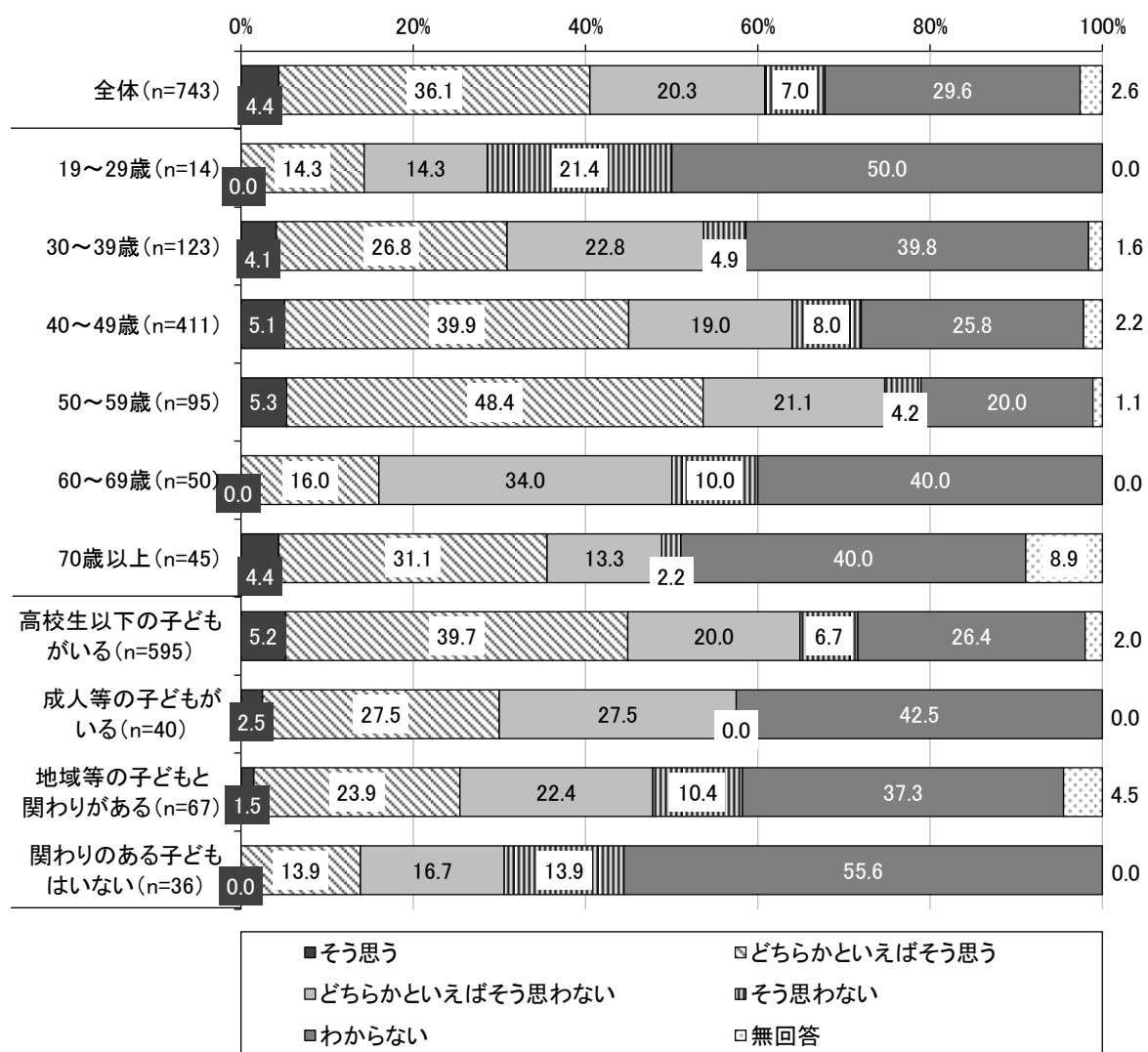


⑪ 中学生の保護者は、子育てに必要な情報や支援を受けられている

中学生の保護者は、子育てに必要な情報や支援を受けられているかについては、「どちらかといえばそう思う」が36.1%と最も多く、次いで「わからない」が29.6%となっています。また、「そう思う」が40.5%と、「そう思わない」の27.3%を13.2ポイント上回っています。

年齢別にみると、40～59歳で「そう思う」が4～5割台、30～39歳と60歳以上で「わからない」が4割前後と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で「そう思う」が4割台、【関わりのある子どもはいない】では「わからない」が55.6%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

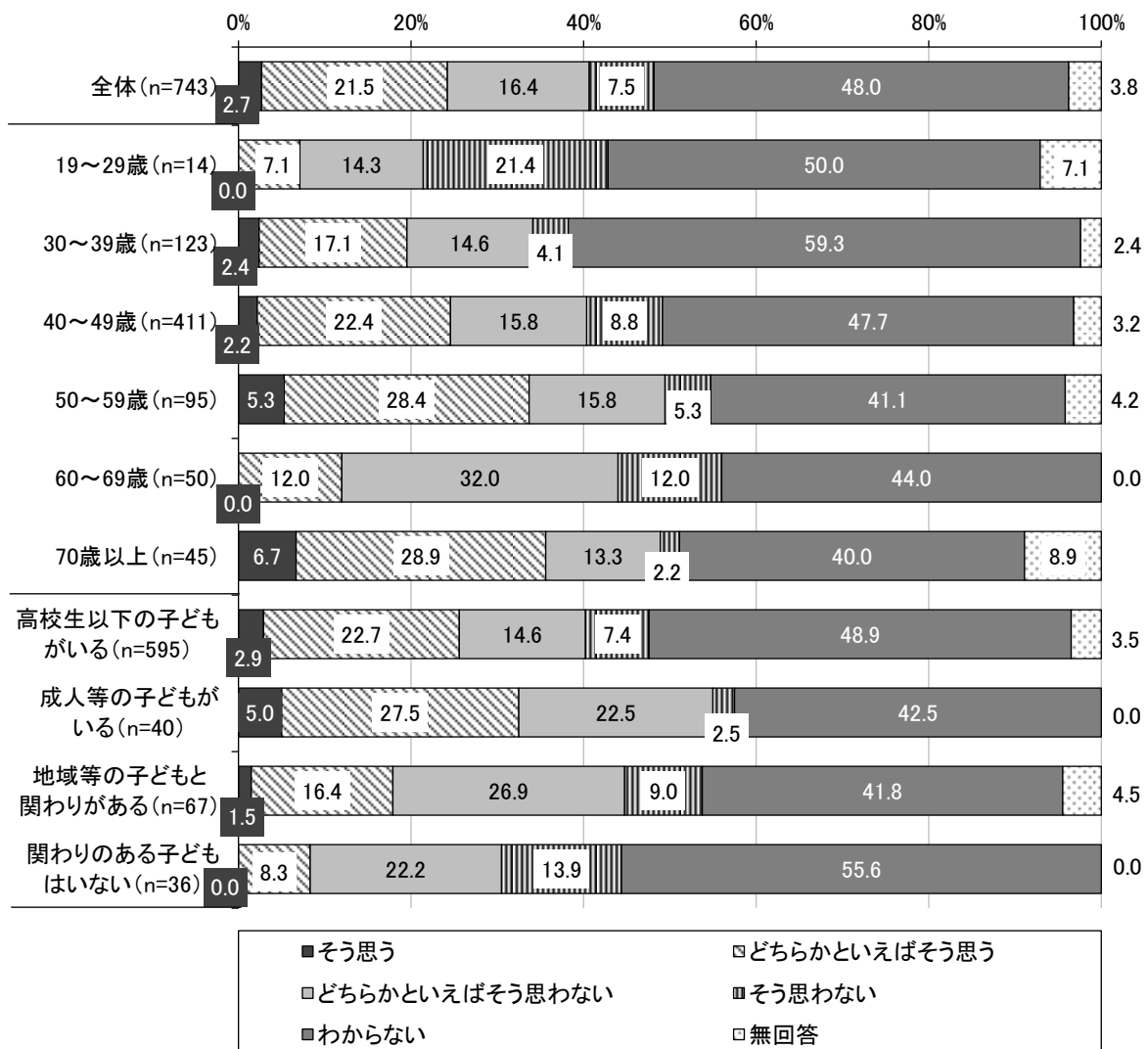


⑫ 高校生の保護者は、子育てに必要な情報や支援を受けられている

高校生の保護者は、子育てに必要な情報や支援を受けられているかについては、「わからない」が48.0%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が21.5%となっています。また、「そう思う」が24.2%、「そう思わない」が23.9%となっています。

年齢別にみると、50～59歳と70歳以上で「そう思う」が3割台、30～39歳で「わからない」が約6割と、他の年齢に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【成人等の子どもがいる】で「そう思う」が3割台、【関わりのある子どもはいない】では「わからない」が55.6%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。





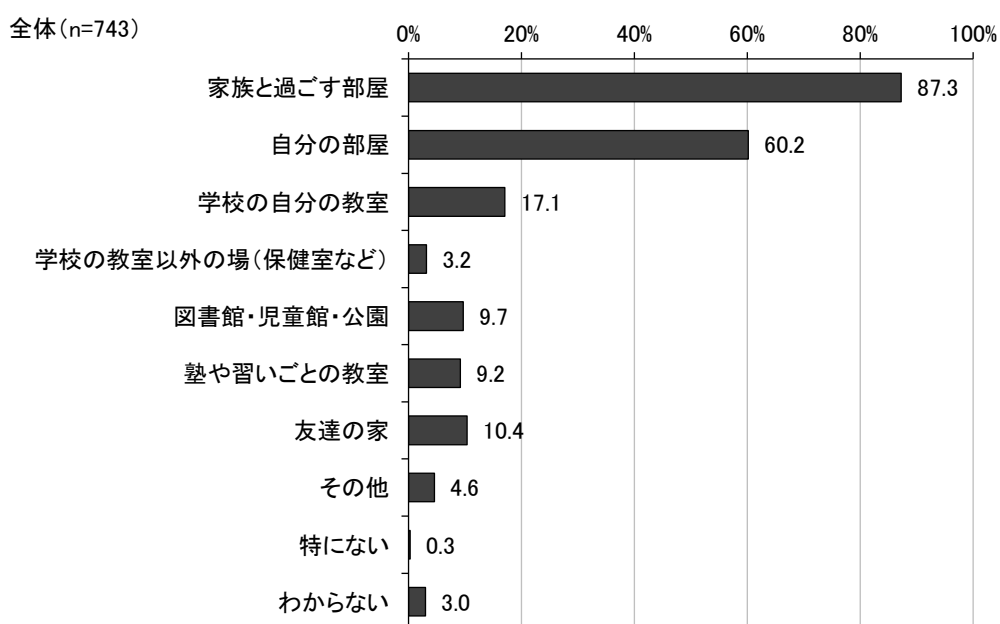
### 3 子どもの生活の場についておたずねします

問5 あなたは、子どもたちが、普段の生活の中で、ホッとでき、安心していられる場所はどこだと感じていますか。(〇はいくつでも)

大人が感じる、子どもたちが、普段の生活の中で、ホッとでき、安心していられる場所については、「家族と過ごす部屋」が87.3%と最も多く、次いで「自分の部屋」が60.2%、「学校と自分の教室」が17.1%となっています。

年齢別にみると、30～59歳では「家族と過ごす部屋」が8～9割で最も多くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【地域等の子どもと関わりがある】で「図書館・児童館・公園」が2割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。



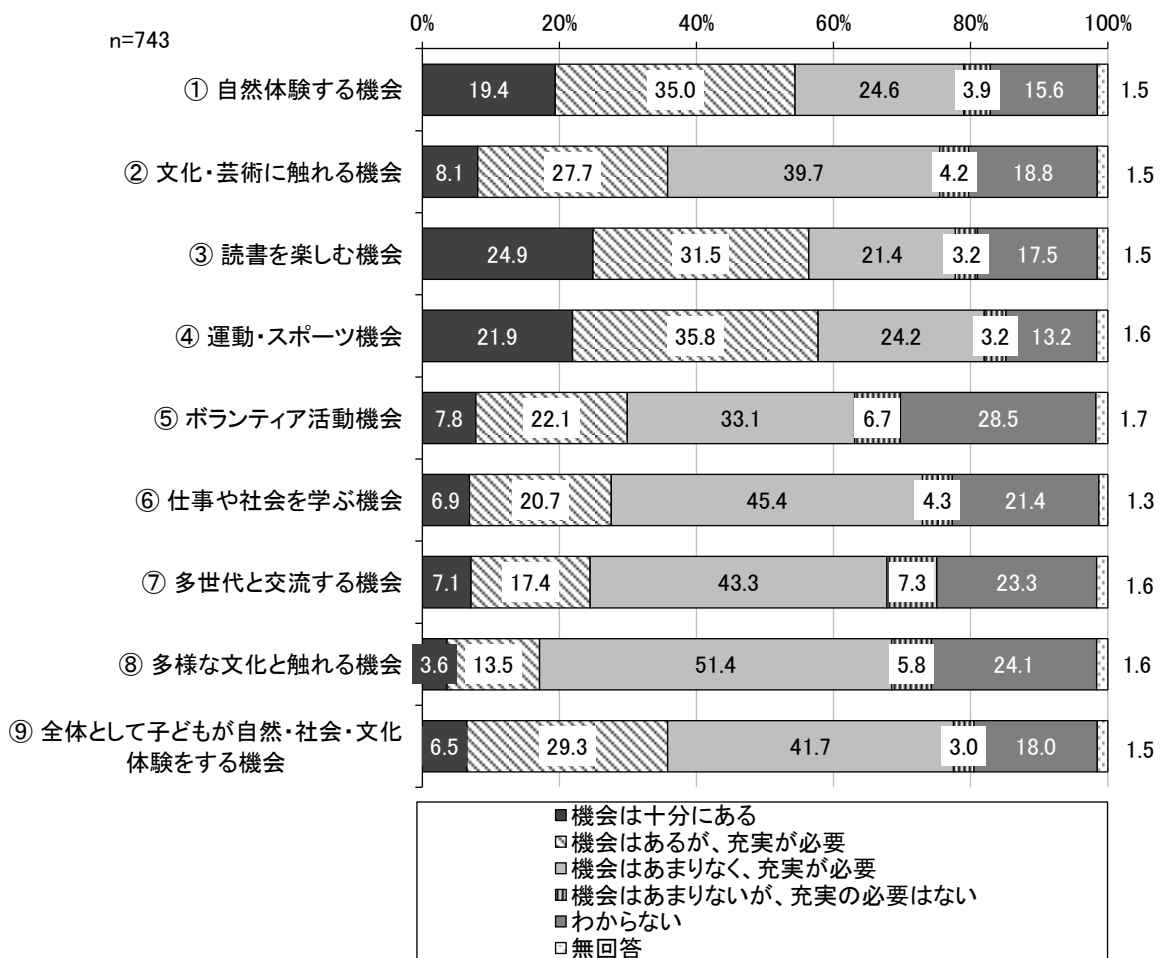
#### ■ クロス集計 年齢別・関わりのある子ども別

単位: %		家族と過ごす部屋	自分の部屋	学校の自分の教室	学校の教室以外の場 (保健室など)	図書館・児童館・公園	塾や習いごとの教室	友達の家	その他	特にない	わからない	無回答
年齢別	19～29歳 (n=14)	57.1	64.3	7.1	7.1	14.3	7.1	14.3	7.1	0.0	14.3	0.0
	30～39歳 (n=123)	89.4	60.2	23.6	5.7	11.4	13.8	5.7	4.1	1.6	1.6	0.0
	40～49歳 (n=411)	93.2	59.1	18.0	2.2	6.8	9.5	10.5	4.9	0.0	0.2	0.2
	50～59歳 (n=95)	88.4	61.1	16.8	3.2	9.5	6.3	9.5	8.4	0.0	3.2	0.0
	60～69歳 (n=50)	68.0	70.0	8.0	4.0	18.0	4.0	16.0	0.0	0.0	8.0	0.0
	70歳以上 (n=45)	64.4	62.2	6.7	4.4	22.2	6.7	17.8	0.0	0.0	20.0	2.2
関わりのある子ども	高校生以下の子どもがいる (n=595)	92.9	58.7	18.3	2.4	8.1	9.6	8.9	5.0	0.3	0.3	0.2
	成人等の子どもがいる (n=40)	67.5	82.5	7.5	10.0	10.0	2.5	15.0	2.5	0.0	12.5	0.0
	高校生以下の子どもはいないが、地域等の子どもと関わりがある (n=67)	70.1	65.7	14.9	7.5	20.9	9.0	20.9	4.5	0.0	9.0	1.5
	関わりのある子どもはいない (n=36)	61.1	58.3	13.9	2.8	13.9	11.1	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0

問6 あなたは、北本市の暮らしの中で、子どもが以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分にあると思いますか。(○はそれぞれ1つ)

子どもが以下の自然・社会・文化体験をする機会が十分にあると思うかについては、「機会は十分にある」で<③ 読書を楽しむ機会>と<④ 運動・スポーツ機会>が2割台と高くなっています。また、「機会はあるが、充実が必要」と「機会はあまりなく、充実が必要」を合わせた“充実が必要”が<⑨ 全体として子どもが自然・社会・文化体験をする機会>が7割台、<② 文化・芸術に触れる機会>と<⑥ 仕事や社会を学ぶ機会>で6割台後半となっています。

また、<⑤ ボランティア活動機会>で「わからない」が約3割と他の項目に比べて割合が高くなっています。

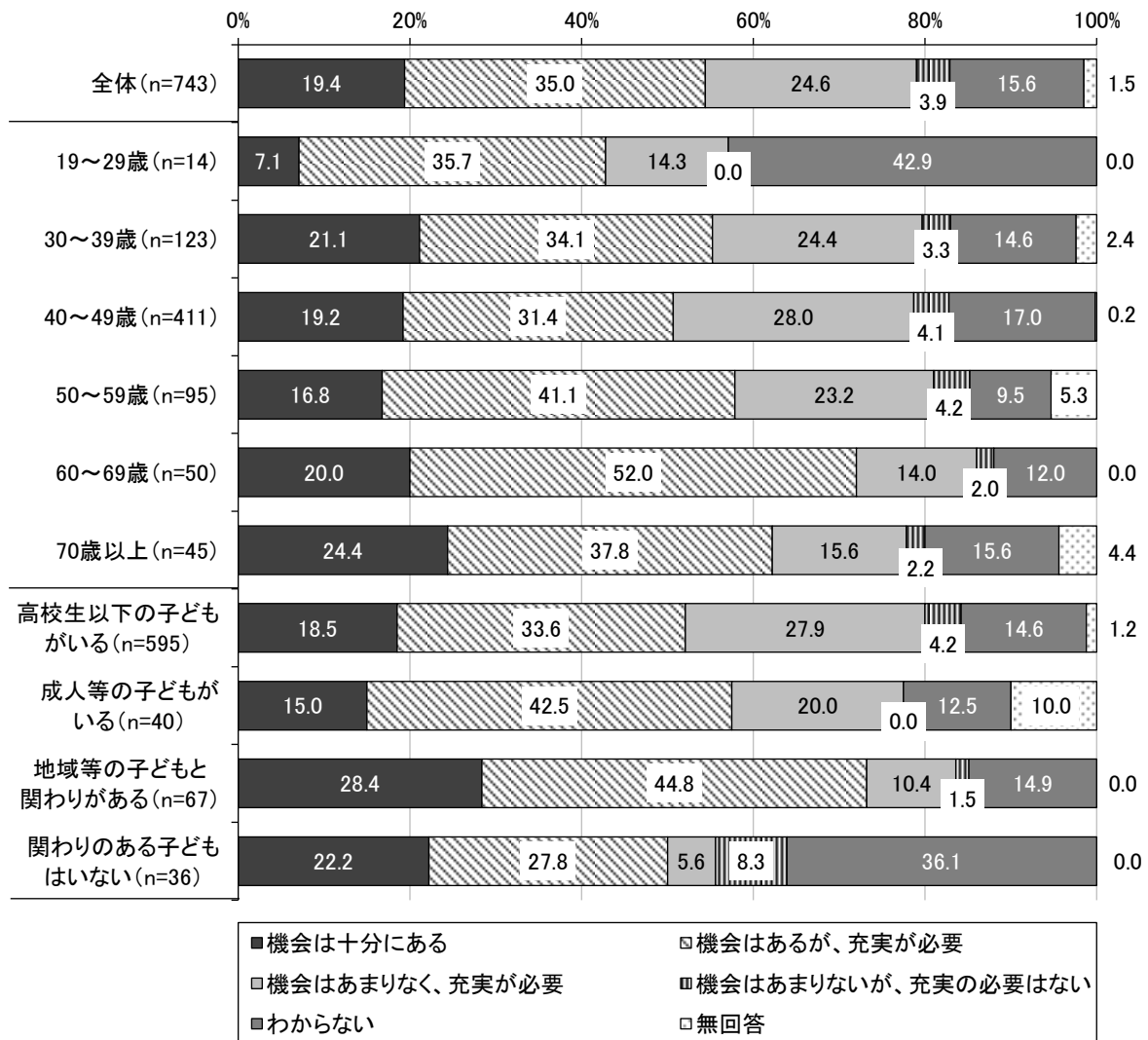


① 自然体験する機会

自然体験する機会が十分にあると思うかについては、「機会はあるが、充実が必要」が35.0%と最も多く、次いで「機会はありません、充実が必要」が24.6%となっています。また、「機会はあるが、充実が必要」と「機会はありません、充実が必要」を合わせた“充実が必要”が59.6%となっています。

年齢別にみると、50～69歳で“充実が必要”が6割台と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【地域等の子どもと関わりがある】と【関わりのある子どもはいない】で「機会是十分にある」が2割台と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

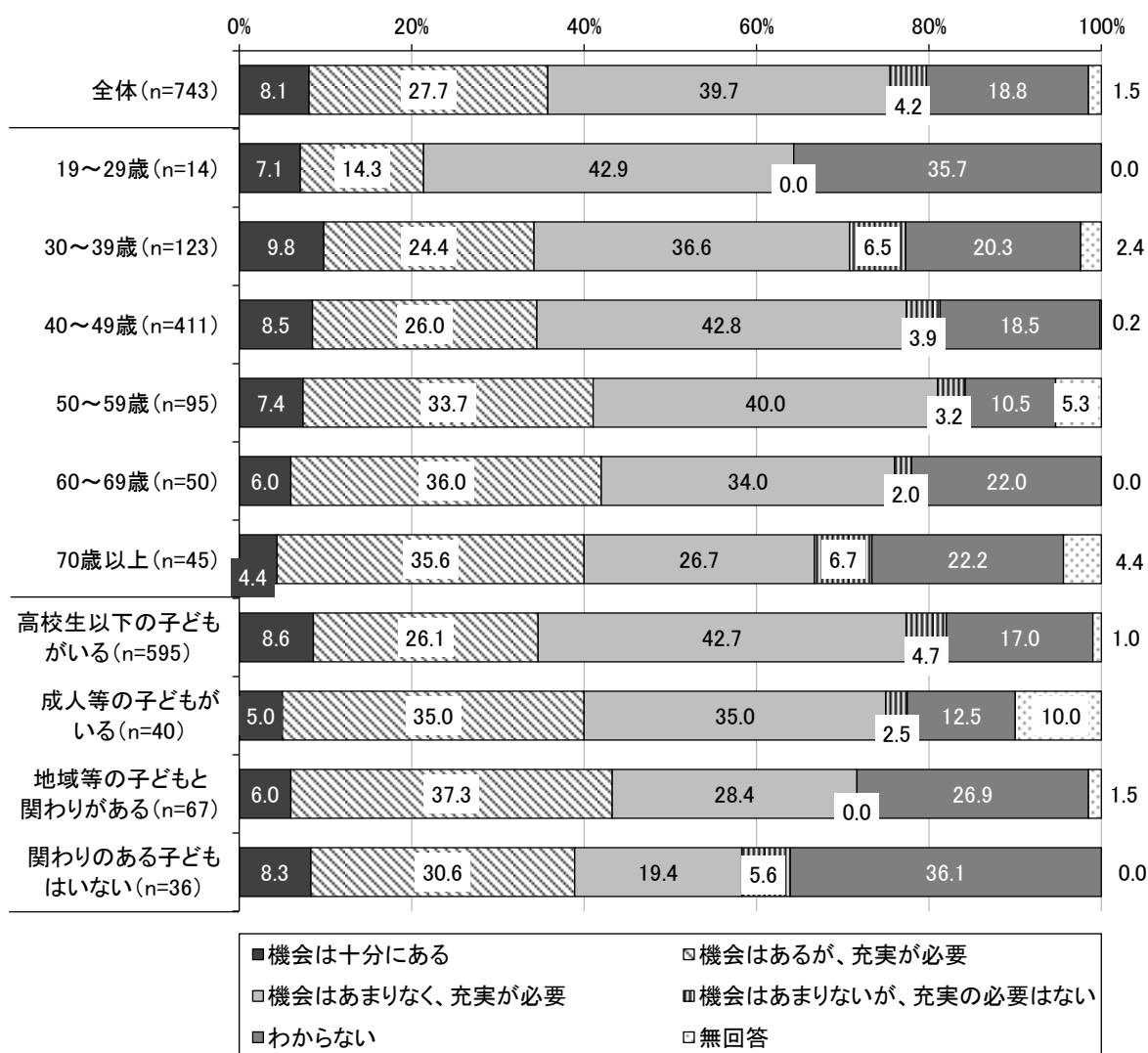


## ② 文化・芸術に触れる機会

文化・芸術に触れる機会が十分にあるかについては、「機会はありません、充実が必要」が39.7%と最も多く、次いで「機会はあるが、充実が必要」が27.7%となっています。また、「充実が必要」が67.4%となっています。

年齢別にみると、50～69歳で「充実が必要」が7割台と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【成人等の子どもがいる】で「充実が必要」が7割と他の項目に比べて割合が高くなっています。

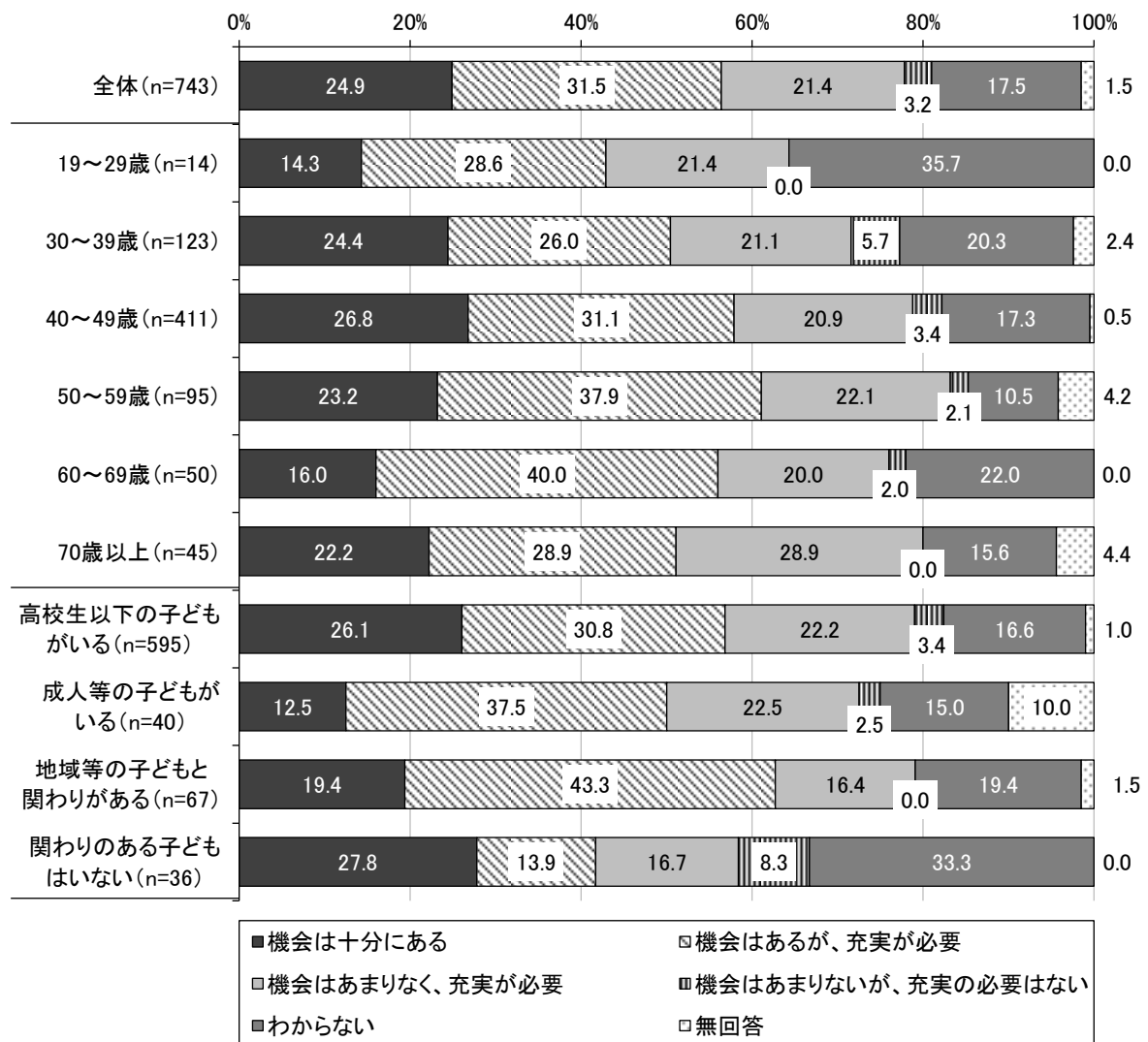


### ③ 読書を楽しむ機会

読書を楽しむ機会が十分にあると思うかについては、「機会はあるが、充実が必要」が31.5%と最も多く、次いで「機会は十分にある」が24.9%となっています。また、「充実が必要」が52.9%となっています。

年齢別にみると、40～49歳で「機会は十分にある」が2割後半、50～69歳で「充実が必要」が6割と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】と【関わりのある子どもはいない】で「機会は十分にある」が2割後半と他の項目に比べて割合が高くなっています。

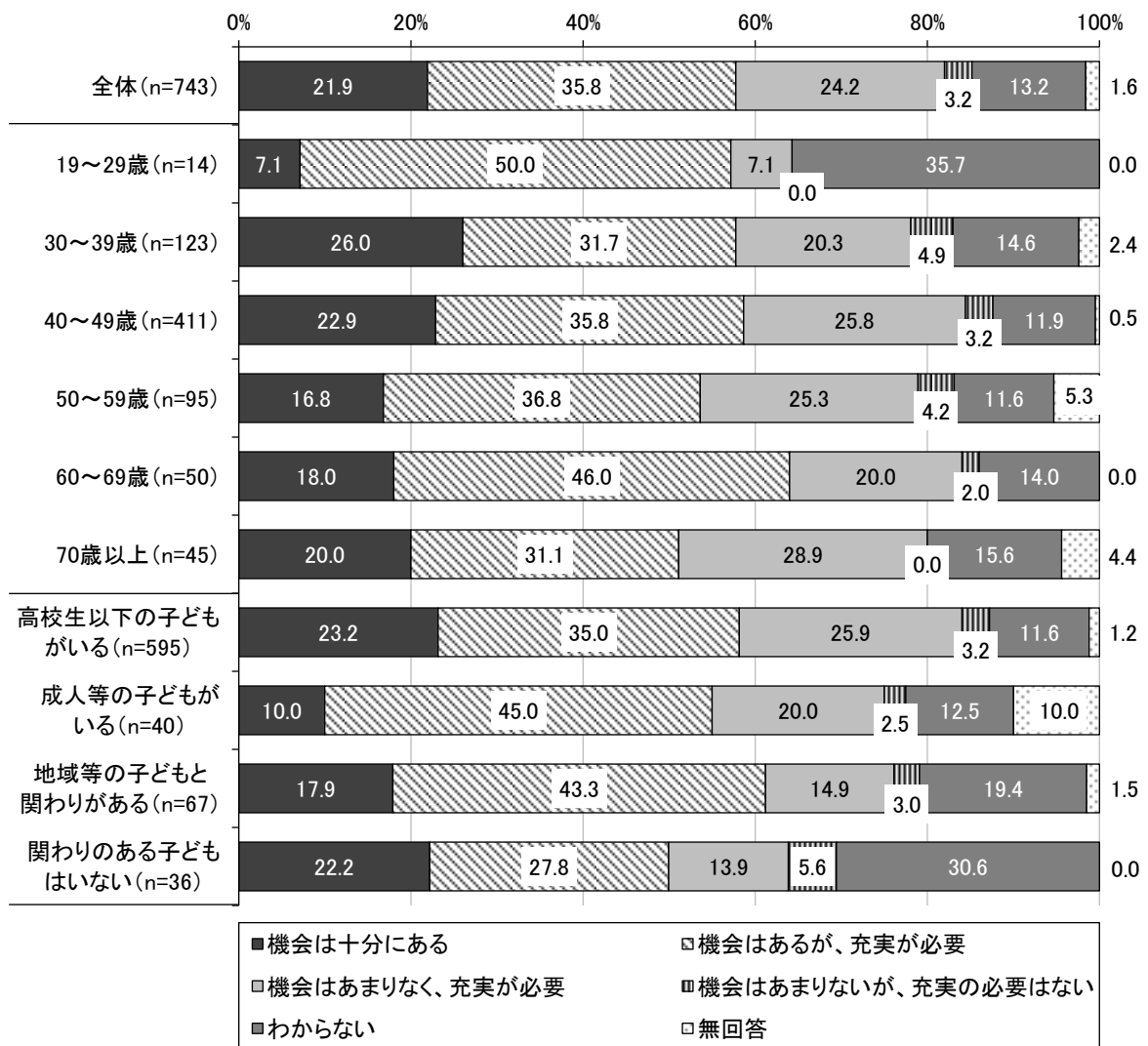


#### ④ 運動・スポーツ機会

運動・スポーツの機会が十分にあると思うかについては、「機会はあるが、充実が必要」が35.8%と最も多く、次いで「機会があまりなく、充実が必要」が24.2%となっています。また、「充実が必要」が60.0%となっています。

年齢別にみると、60～69歳で“充実が必要”が6割後半と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】と【関わりのある子どもはいない】で「機会は十分にある」が2割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。

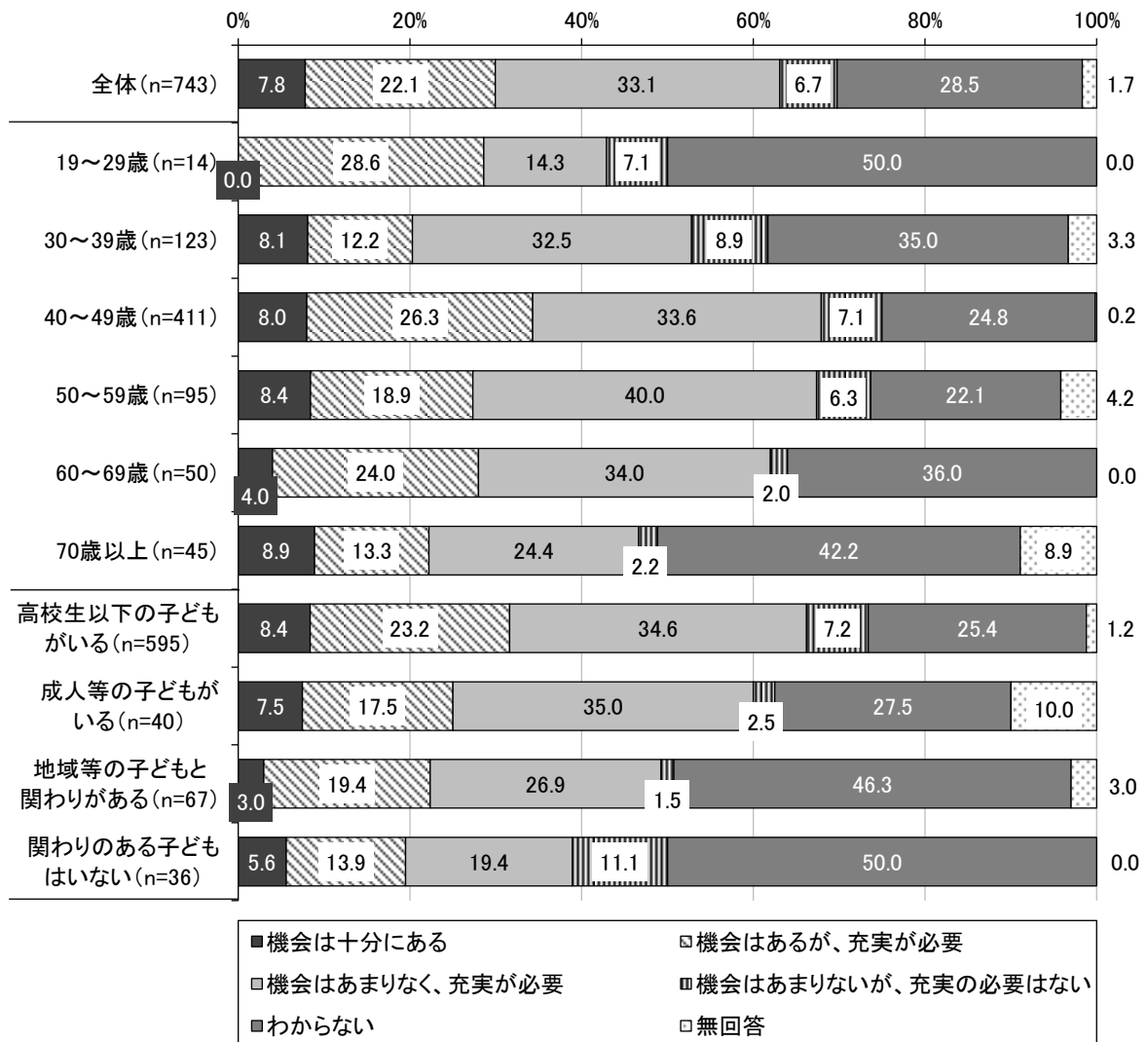


### ⑤ ボランティア活動機会

ボランティア活動の機会が十分にあると思うかについては、「機会はありません、充実が必要」が33.1%と最も多く、次いで「わからない」が28.5%となっています。また、「充実が必要」が55.2%となっています。

年齢別にみると、40～69歳で「充実が必要」が約6割と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】と【成人等の子どもがいる】で「充実が必要」が5割台、【地域等の子どもと関わりがある】と【関わりのある子どもはいない】で「わからない」が4～5割と他の項目に比べて割合が高くなっています。

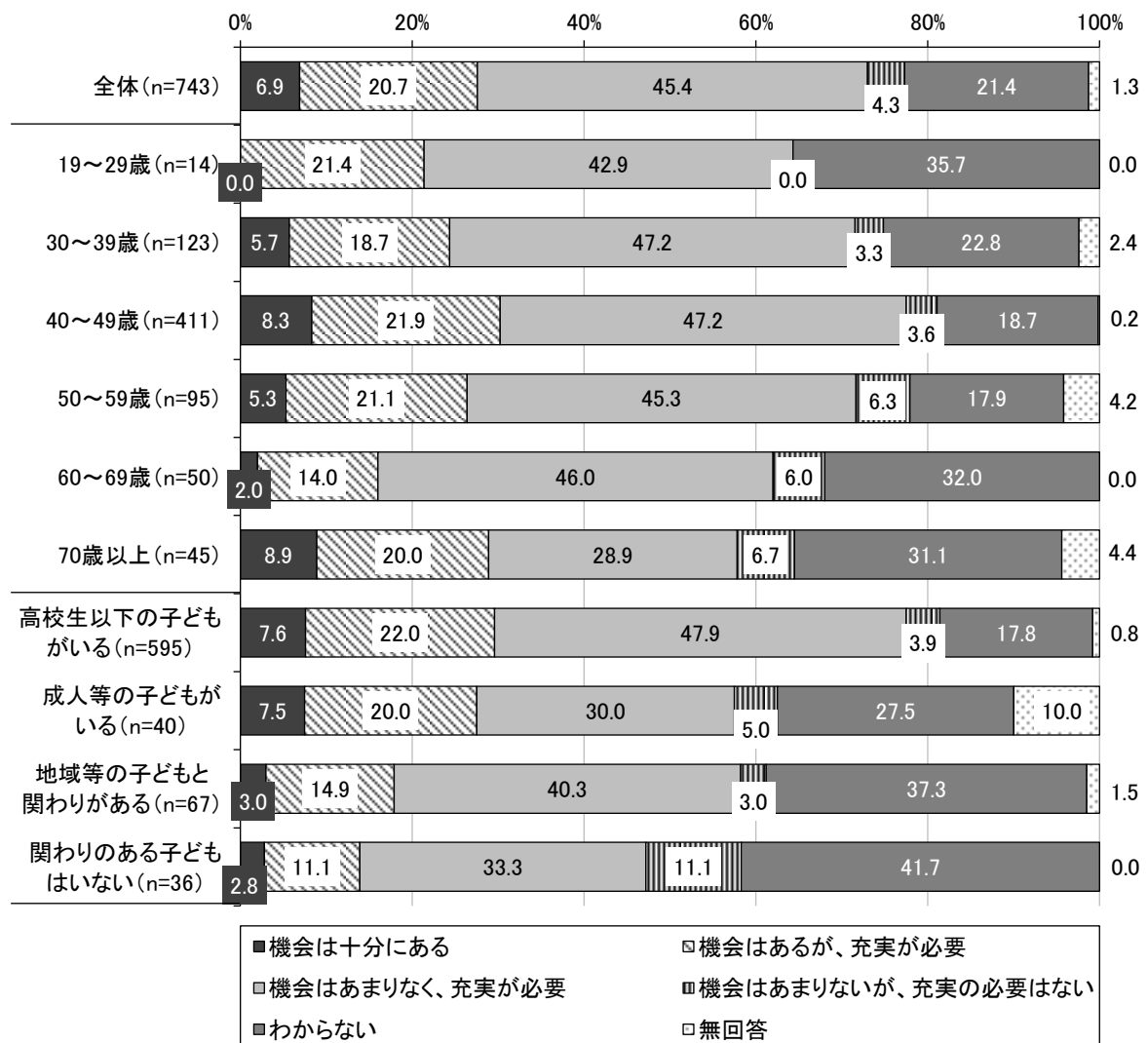


## ⑥ 仕事や社会を学ぶ機会

仕事や社会を学ぶ機会が十分にあると思うかについては、「機会はありません、充実が必要」が45.4%と最も多く、次いで「わからない」が21.4%となっています。また、「充実が必要」が66.1%となっています。

年齢別にみると、70歳以上で「充実が必要」が4割後半と他の年代に比べて割合が低くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で「充実が必要」が約7割、【地域等の子どもと関わりがある】と【関わりのある子どもはいない】で「わからない」が3～4割と他の項目に比べて割合が高くなっています。



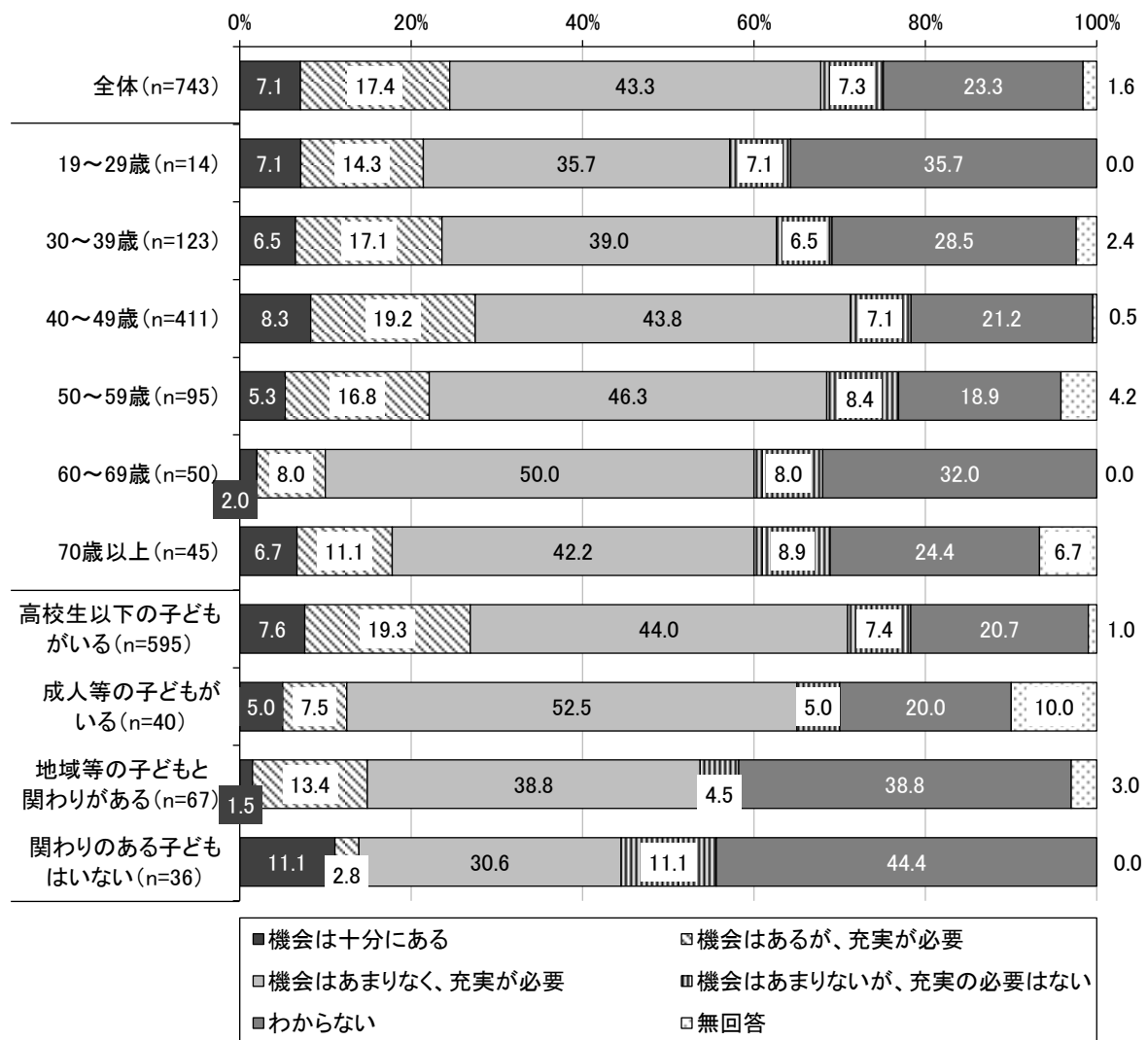


### ⑦ 多世代と交流する機会

多世代と交流する機会が十分にあると思うかについては、「機会はありません、充実が必要」が43.3%と最も多く、次いで「わからない」が23.3%となっています。また、「充実が必要」が60.7%となっています。

年齢別にみると、40～59歳で「充実が必要」が6割台と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】と【成人等の子どもがいる】で「充実が必要」が6割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。

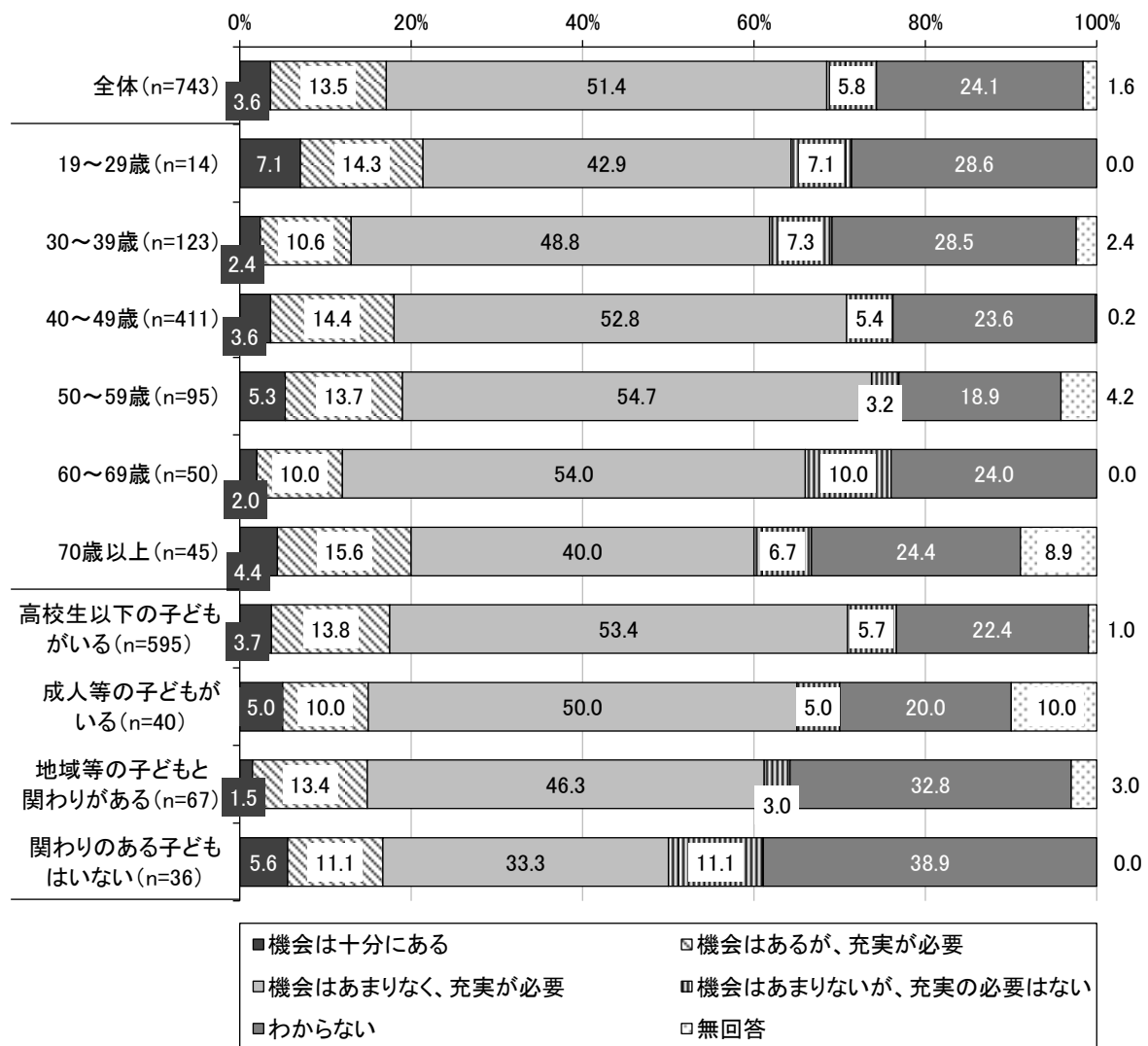


⑧ 多様な文化と触れる機会

多様な文化と触れる機会が十分にあると思うかについては、「機会はありません、充実が必要」が51.4%と最も多く、次いで「わからない」が24.1%となっています。また、「充実が必要」が64.9%となっています。

年齢別にみると、40～69歳で“充実が必要”が6割台と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で“充実が必要”が6割後半と他の項目に比べて割合が高くなっています。

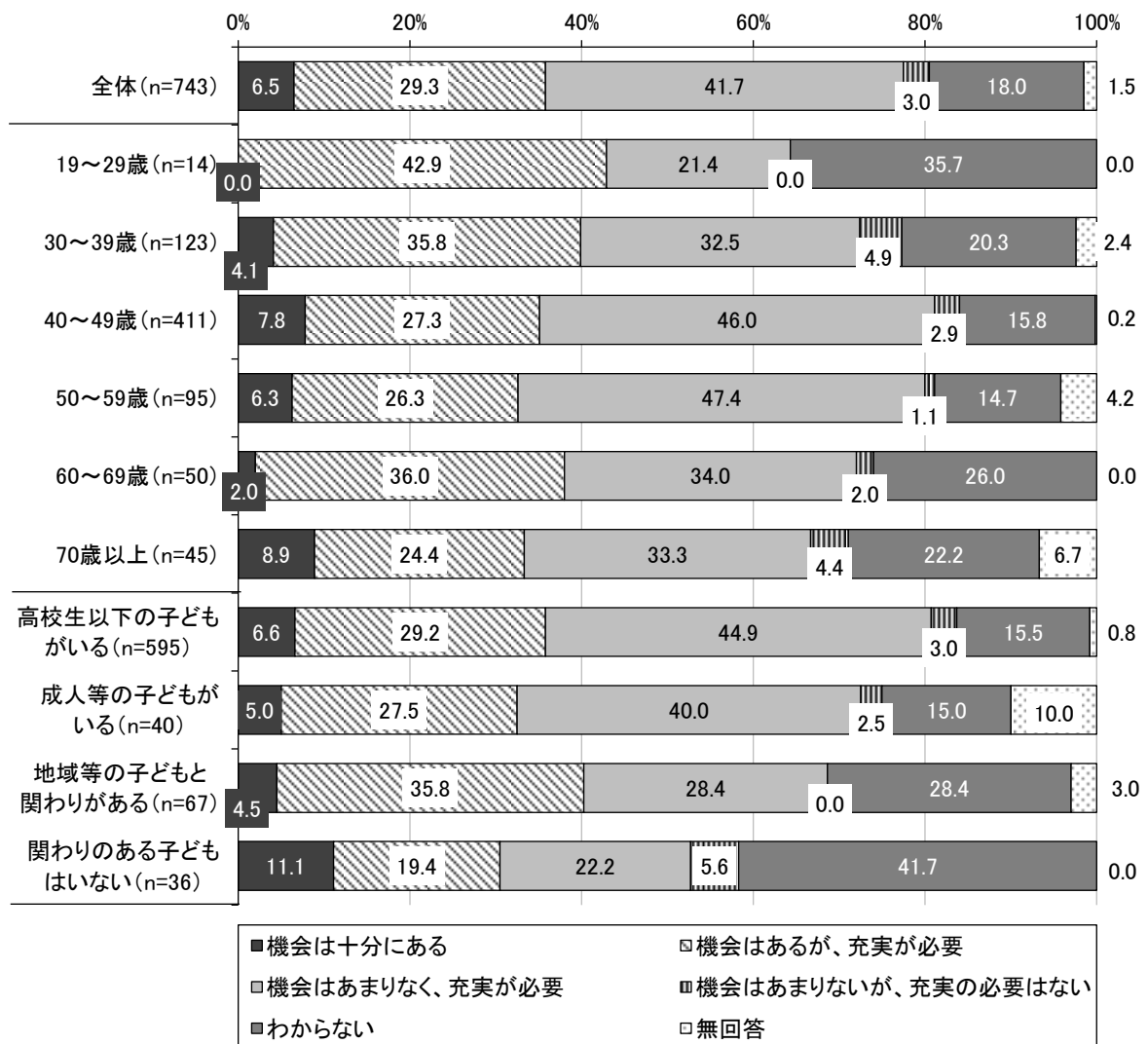


⑨ 全体として子どもが自然・社会・文化体験をする機会

全体として子どもが自然・社会・文化体験をする機会が十分にあると思うかについては、「機会はありません、充実が必要」が41.7%と最も多く、次いで「機会はあるが、充実が必要」が29.3%となっています。また、「充実が必要」が71.0%となっています。

年齢別にみると、40～69歳で“充実が必要”が7割台と他の年代に比べて割合が高くなっています。

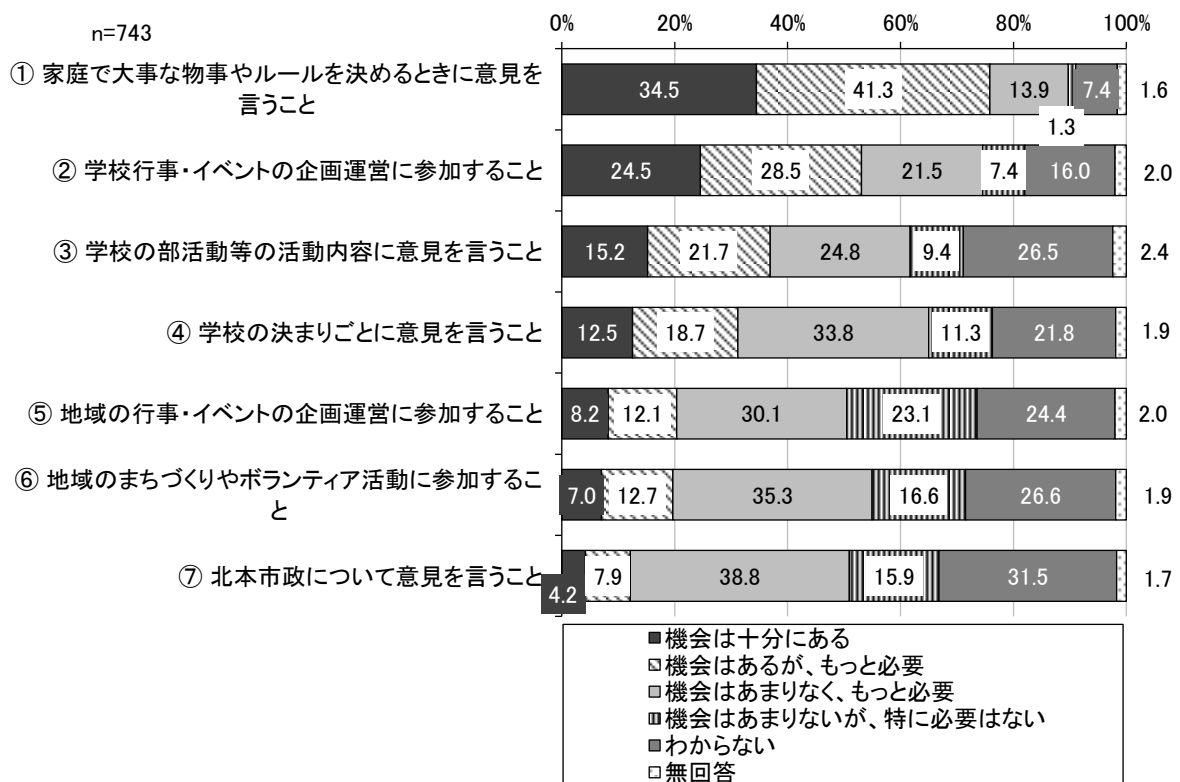
関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で“充実が必要”が7割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。



問7 あなたは、子どもが自分の考えを言うことや様々な活動に参加する機会について、どのような状況だと思いますか。(○はそれぞれ1つ)

子どもが自分の考えを言うことや様々な活動に参加する機会が十分にあると思うかについては、「機会は十分にある」で<① 家庭で大事な物事やルールを決めるときに意見を言うこと>が3割台と高くなっています。また、「機会はあるが、もっと必要」と「機会はあまりなく、もっと必要」を合わせた“もっと必要”が<① 家庭で大事な物事やルールを決めるときに意見を言うこと>、<② 学校行事・イベントの企画運営に参加すること>と<④ 学校の決まりごとに意見を言うこと>で5割台となっています。

また、<⑦ 北本市政について意見を言うこと>で「わからない」が約3割と他の項目に比べて割合が高くなっています。

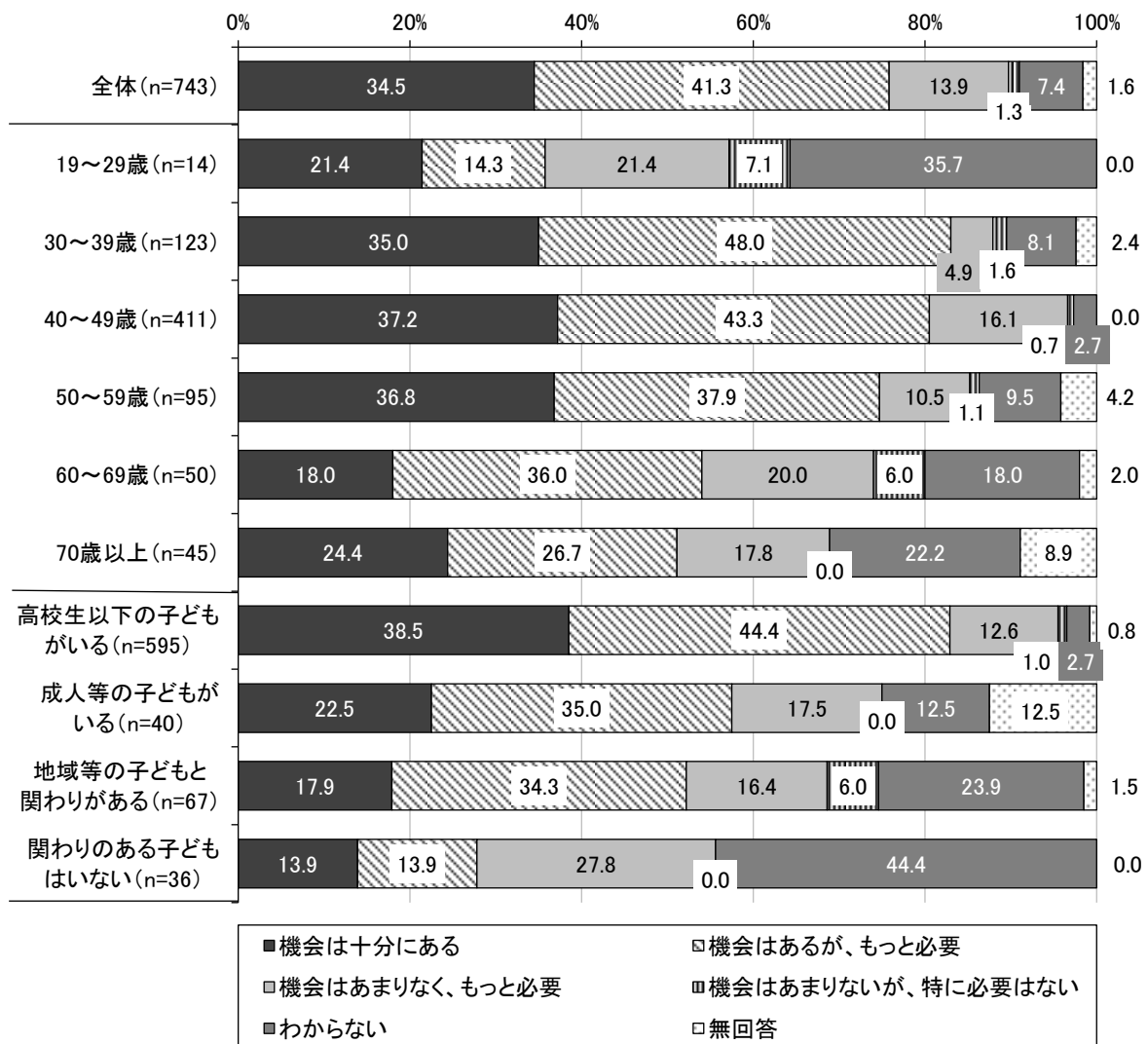


① 家庭で大事な物事やルールを決めるときに意見を言うこと

子どもが、家庭で大事な物事やルールを決めるときに意見を言う機会については、「機会はあるが、もっと必要」が41.3%と最も多く、次いで「機会は十分にある」が34.5%となっています。また、「機会はあるが、もっと必要」と「機会はあまりなく、もっと必要」を合わせた“もっと必要”が55.2%となっています。

年齢別にみると、30～59歳で「機会は十分にある」が3割台、40～49歳で“もっと必要”が約6割と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で「機会は十分にある」が3割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。

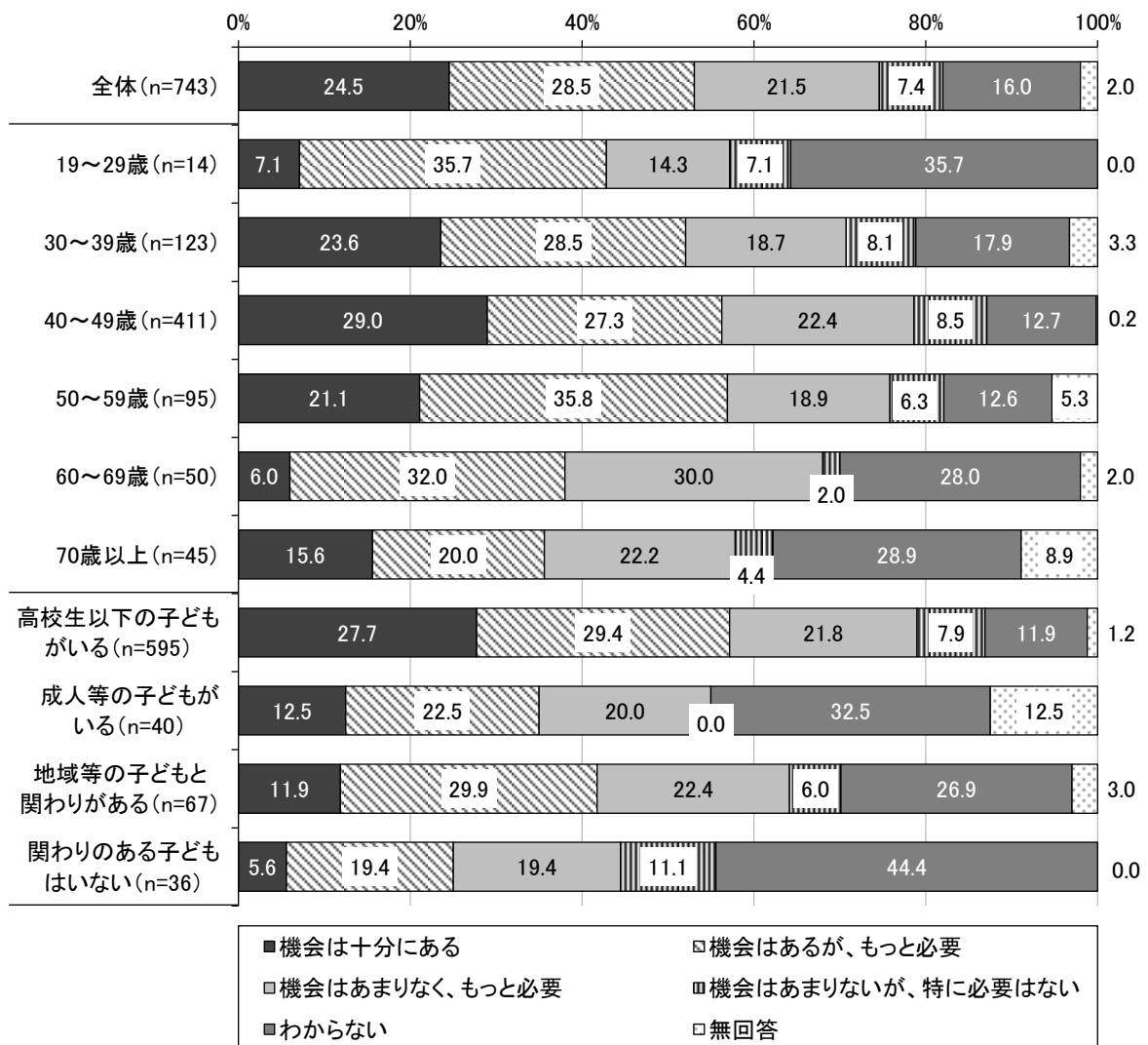


## ② 学校行事・イベントの企画運営に参加すること

子どもが、学校行事・イベントの企画運営に参加する機会については、「機会はあるが、もっと必要」が28.5%と最も多く、次いで「機会は十分にある」が24.5%となっています。また、「もっと必要」が50.0%となっています。

年齢別にみると、30～59歳で「機会は十分にある」が2割台、60～69歳で「もっと必要」が6割台と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】で「機会は十分にある」が2割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。

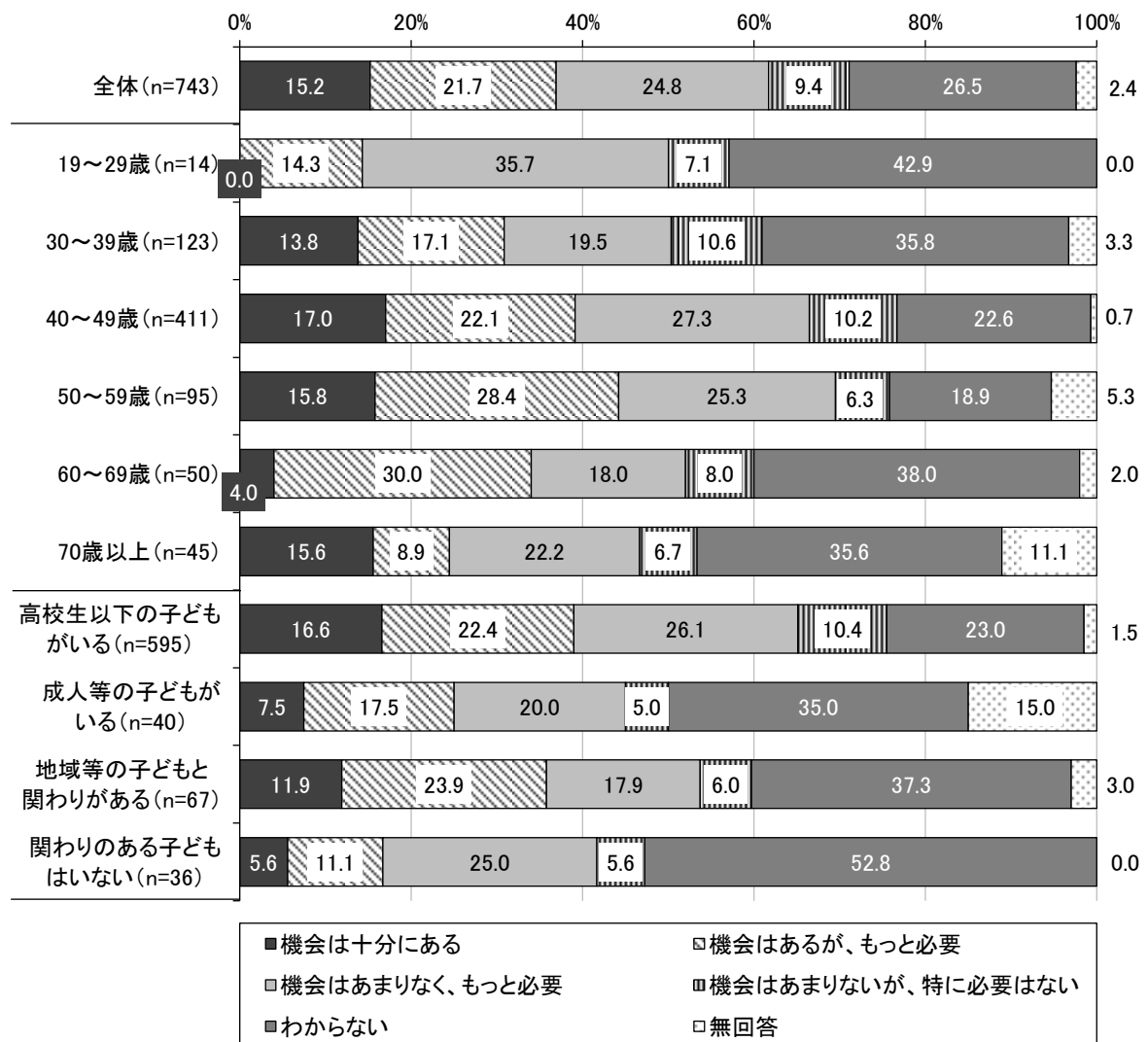


### ③ 学校の部活動等の活動内容に意見を言うこと

子どもが、学校の部活動等の活動内容に意見を言う機会については、「わからない」が26.5%と最も多く、次いで「機会はまだなく、もっと必要」が24.8%となっています。また、「もっと必要」が46.5%となっています。

年齢別にみると、50～59歳で「もっと必要」が5割台と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】以外で「わからない」が3～5割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。

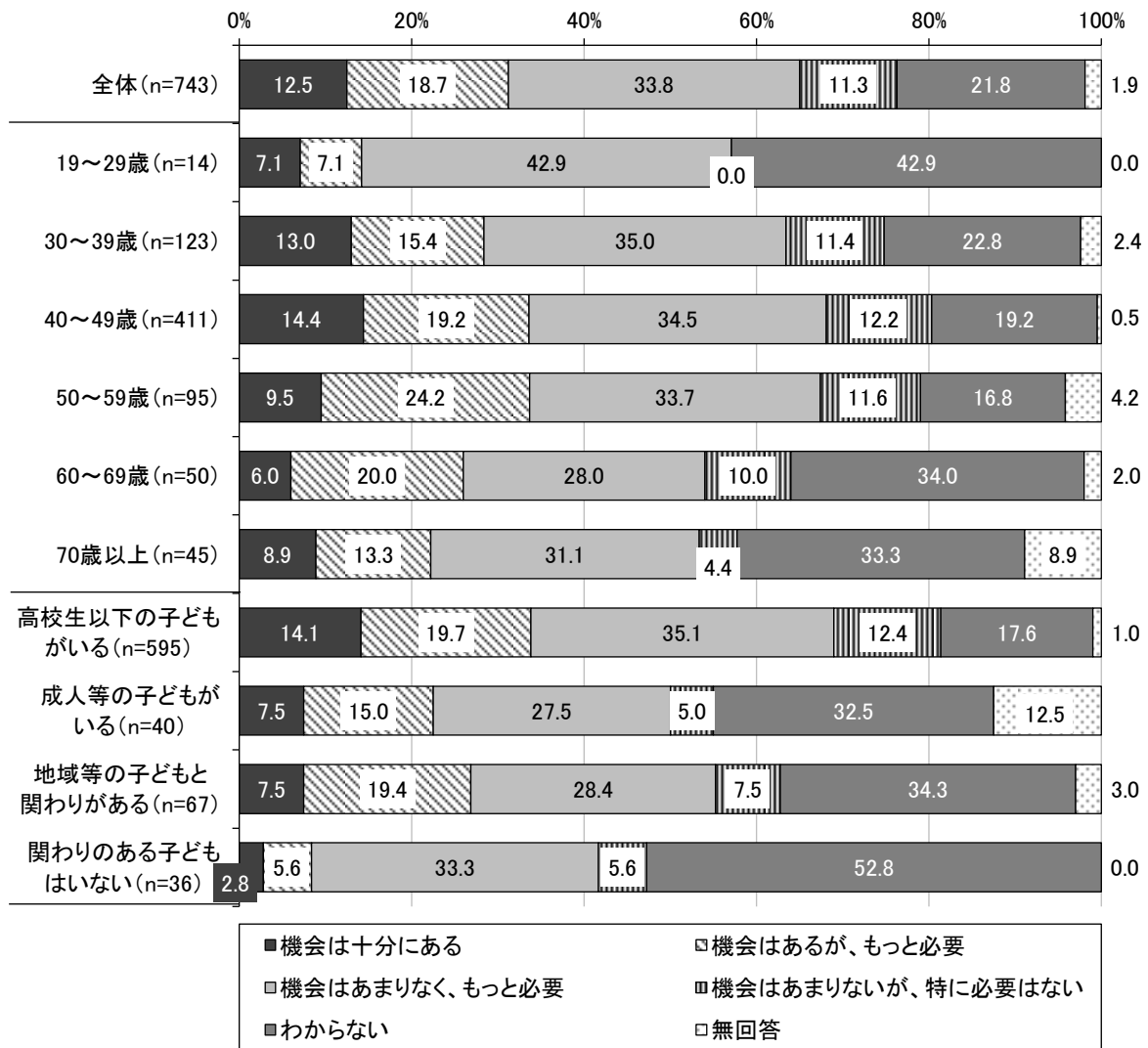


#### ④ 学校の決まりごとに意見を言うこと

子どもが、学校の決まりごとに意見を言う機会については、「機会はありません、もっと必要」が33.8%と最も多く、次いで「わからない」が21.8%となっています。また、「もっと必要」が52.5%となっています。

年齢別にみると、50～59歳で「もっと必要」が5割後半と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】以外で「わからない」が3～5割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。



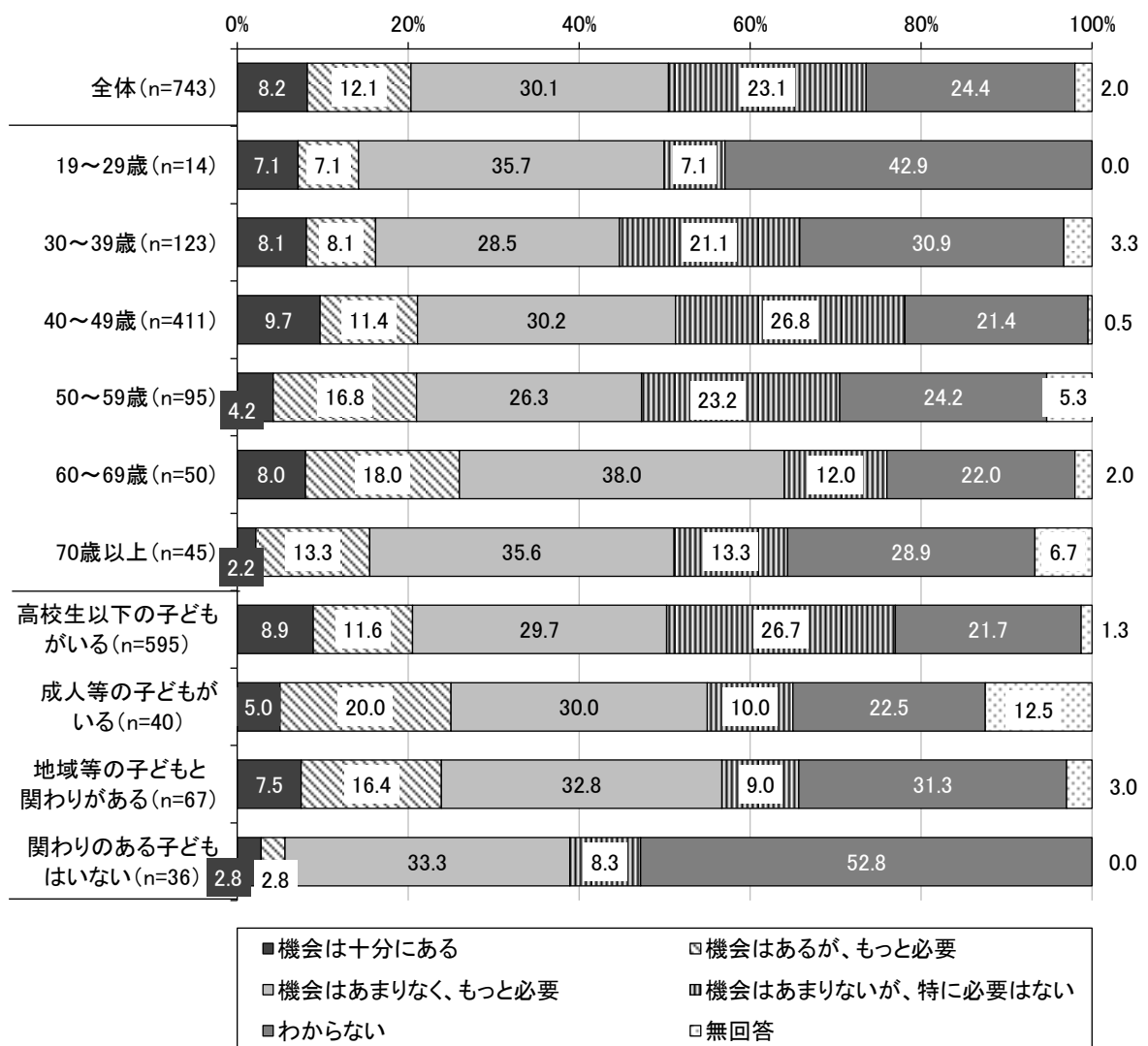


⑤ 地域の行事・イベントの企画運営に参加すること

子どもが、地域の行事・イベントの企画運営に参加する機会については、「機会はあまりなく、もっと必要」が30.1%と最も多く、次いで「わからない」が24.4%となっています。また、「もっと必要」が42.2%となっています。

年齢別にみると、60～69歳で「もっと必要」が5割後半と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【関わりのある子どもはいない】で「わからない」が5割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。また、【高校生以下の子どもがいる】で「機会はあまりないが、特に必要はない」が26.7%と他の項目に比べて割合が高くなっています。

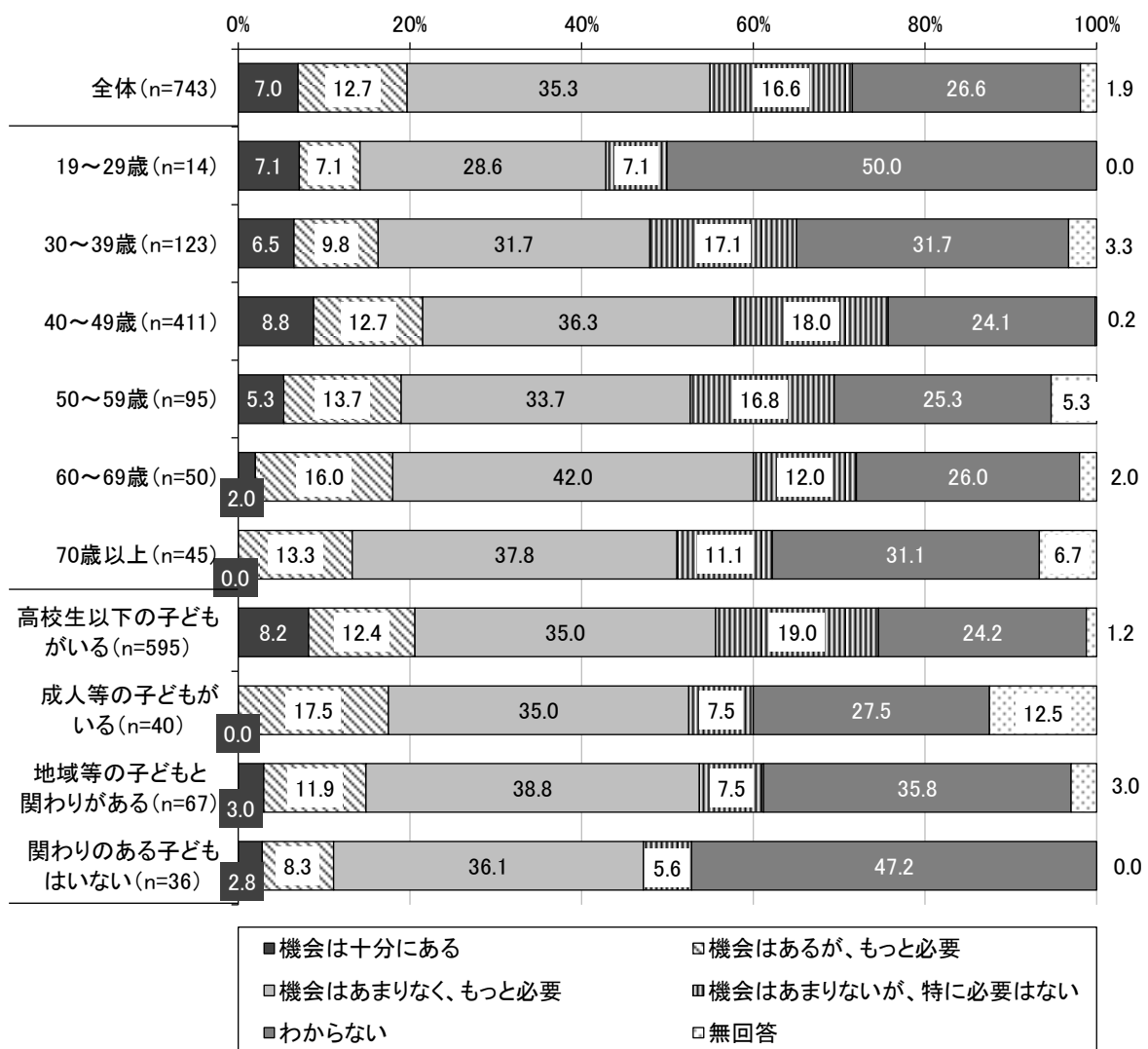


⑥ 地域のまちづくりやボランティア活動に参加すること

子どもが、地域のまちづくりやボランティア活動に参加する機会については、「機会はありません、もっと必要」が35.3%と最も多く、次いで「わからない」が26.6%となっています。また、「もっと必要」が48.0%となっています。

年齢別にみると、60歳以上で「もっと必要」が5割台と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【関わりのある子どもはいない】で「わからない」が約5割と他の項目に比べて割合が高くなっています。また、【高校生以下の子どもがいる】で「機会はありません、特に必要はない」が19.0%と他の項目に比べて割合が高くなっています。

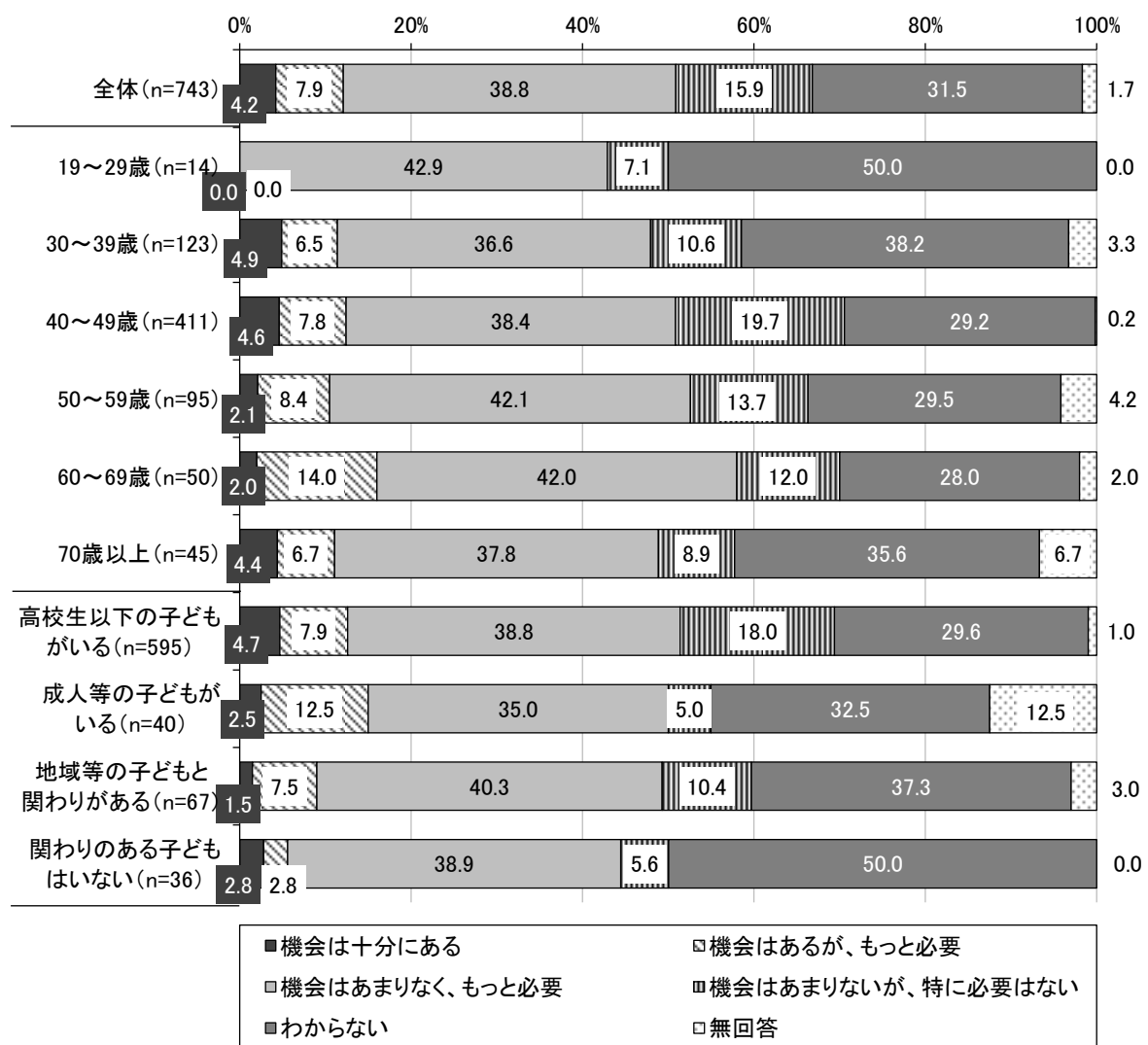


⑦ 北本市政について意見を言うこと

子どもが、北本市政について意見を言う機会については、「機会はありません、もっと必要」が38.8%と最も多く、次いで「わからない」が31.5%となっています。また、「もっと必要」が46.7%となっています。

年齢別にみると、60～69歳で「もっと必要」が5割後半と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【関わりのある子どもはいない】で「わからない」が50.0%と他の項目に比べて割合が高くなっています。また、【高校生以下の子どもがいる】で「機会はありません、特に必要はない」が18.0%と他の項目に比べて割合が高くなっています。



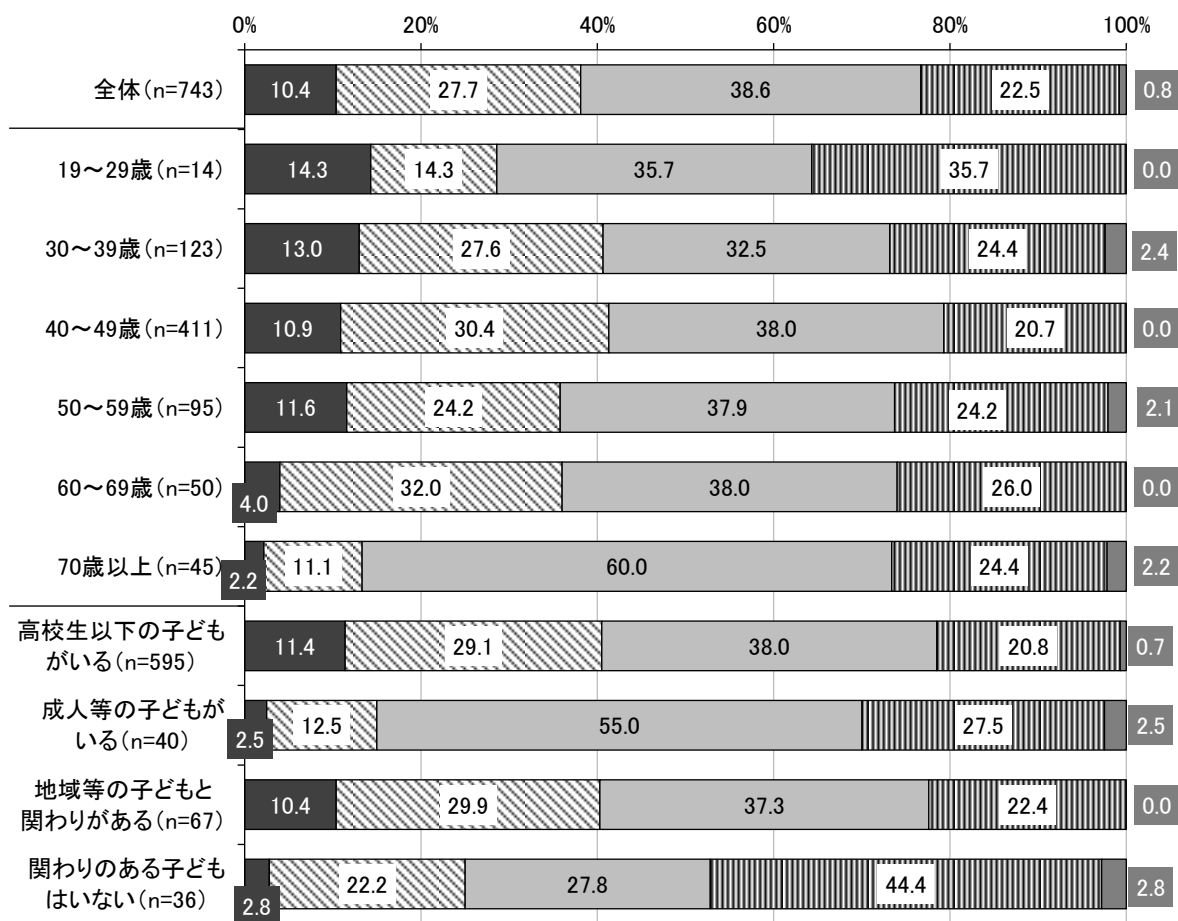
## 4 「子どもの権利」についておたずねします

問8 あなたは、「子どもの権利」について聞いたことがありますか。また、内容をどの程度知っていますか。(○は1つ)

「子どもの権利」について聞いたことがあるかについては、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が38.6%と最も多く、次いで「聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている」が27.7%となっています。また、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と「聞いたことはない」を合わせた“内容を知らない”が61.1%と、「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」と「聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている」を合わせた“内容を知っている”の38.1%を23.0ポイント上回っています。

年齢別にみると、“内容を知らない”は70歳以上で8割台と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】と【地域等の子どもと関わりがある】で“内容を知っている”が4割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。



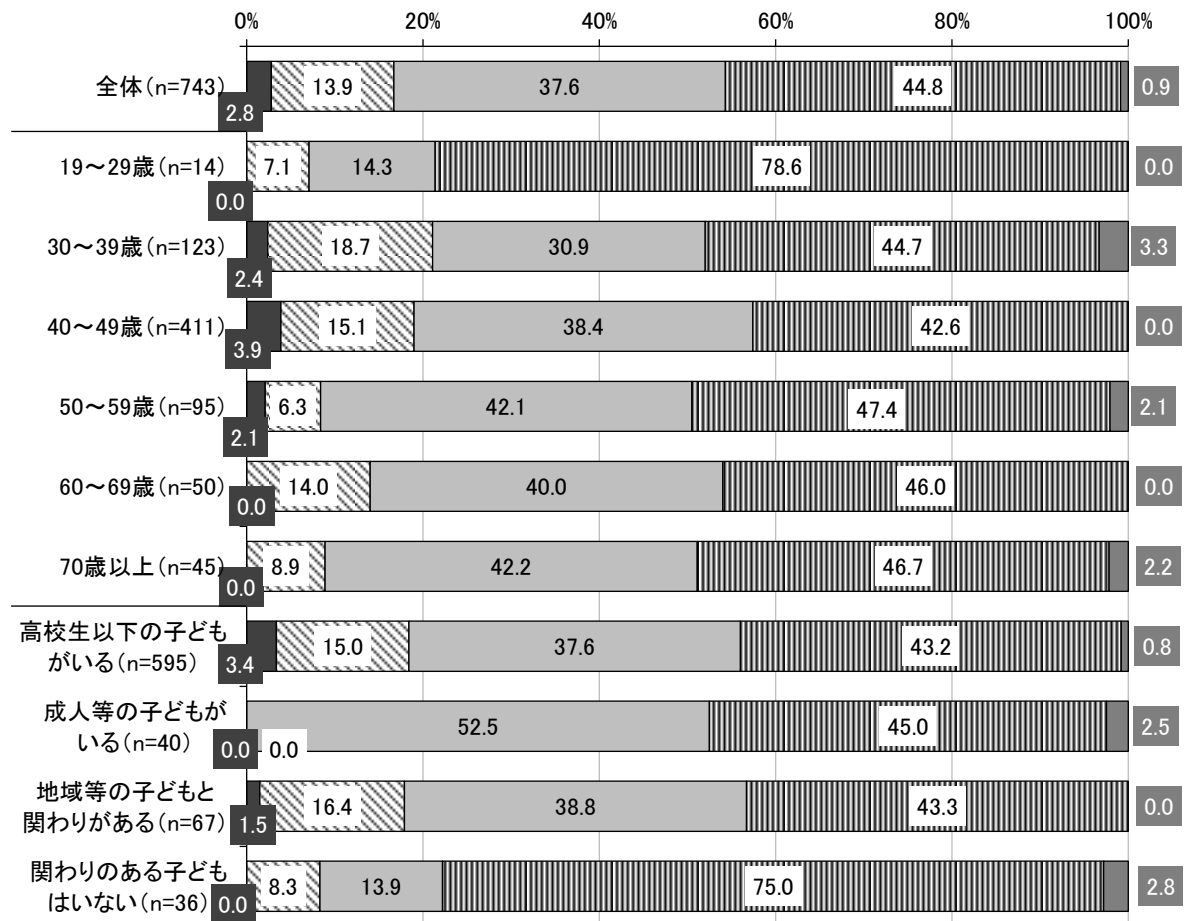
- 聞いたことがあり、内容もある程度知っている
- ▨ 聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている
- 聞いたことはあるが、内容は知らない
- ▩ 聞いたことはない
- 無回答

問9 あなたは、北本市が令和3年度に制定した「子どもの権利条例」について聞いたことがありますか。また、内容をどの程度知っていますか。(〇は1つ)

北本市が令和3年度に制定した「子どもの権利条例」について聞いたことがあるかについては、「聞いたことはない」が44.8%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が37.6%となっています。また、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と「聞いたことはない」を合わせた“内容を知らない”が82.4%と、「聞いたことがあり、内容もある程度知っている」と「聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている」を合わせた“内容を知っている”の16.7%を65.7ポイント上回っています。

年齢別にみると、「内容を知っている」は30～39歳で2割台と他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【成人等の子どもがいる】で“内容は知らない”が9割台と他の項目に比べて割合が高くなっています。

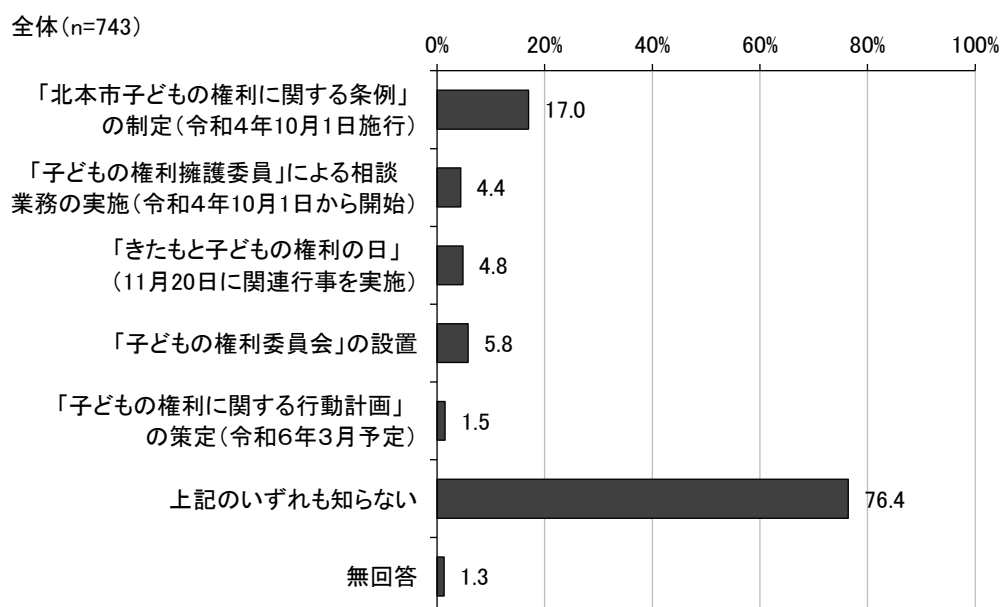


- 聞いたことがあり、内容もある程度知っている
- ▣ 聞いたことがあり、内容を少しだけ知っている
- 聞いたことはあるが、内容は知らない
- ▤ 聞いたことはない
- 無回答

問10 北本市では「子どもの権利」の保障と普及啓発に向けて、様々な取組を実施しています。あなたは、市が実施している取組のうち、どれを知っていますか。(〇はいくつでも)

あなたが知っている、北本市が実施している「子どもの権利」の保障と普及啓発については、「上記のいずれも知らない」が76.4%と最も多く、次いで「『北本市子どもの権利に関する条例』の制定(令和4年10月1日施行)」が17.0%、「『子どもの権利委員会』の設置」が5.8%となっています。

年齢別にみると、いずれの年代も、「上記のいずれも知らない」が最も多くなっています。関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】と【地域等の子どもと関わりがある】では「『北本市子どもの権利に関する条例』の制定(令和4年10月1日施行)」が1～2割台と、他の項目に比べて割合が高くなっています。



■クロス集計 年齢別・関わりのある子ども別

単位：%		1 日 施 行 ）	「北 本 市 子 ど も の 権 利 に 関 す る 制 定 （ 令 和 4 年 1 月 1 日 か ら 開 始 ）	「子 ど も の 権 利 擁 護 委 員 会 」 に よ る 相 談 業 務 の 実 施 （ 令 和 4 年 1 月 1 日 か ら 開 始 ）	「ぎ た も と 子 ど も の 権 利 の 日 」 （ 1 月 2 0 日 に 関 連 行 事 を 実 施 ）	「子 ど も の 権 利 委 員 会 」 の 設 置	「子 ど も の 権 利 に 関 す る 行 動 計 画 」 の 策 定 （ 令 和 6 年 3 月 予 定 ）	上 記 の い ず れ も 知 ら な い	無 回 答
年 齢 別	19～29歳 (n=14)	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	92.9	0.0	
	30～39歳 (n=123)	18.7	7.3	6.5	8.9	4.1	69.9	2.4	
	40～49歳 (n=411)	18.2	3.9	6.1	6.8	1.2	76.4	0.0	
	50～59歳 (n=95)	11.6	3.2	0.0	3.2	1.1	80.0	3.2	
	60～69歳 (n=50)	18.0	6.0	2.0	2.0	0.0	82.0	0.0	
	70歳以上 (n=45)	13.3	2.2	4.4	0.0	0.0	77.8	6.7	
関 わ り の あ る 子 ど も	高校生以下の子どもがいる (n=595)	17.3	4.4	5.4	6.4	1.7	75.8	1.0	
	成人等の子どもがいる (n=40)	7.5	0.0	2.5	2.5	0.0	82.5	5.0	
	高校生以下の子どもはいないが、地域等の子どもと関わりがある (n=67)	23.9	10.4	4.5	1.5	1.5	76.1	0.0	
	関わりのある子どもはいない (n=36)	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	83.3	2.8	

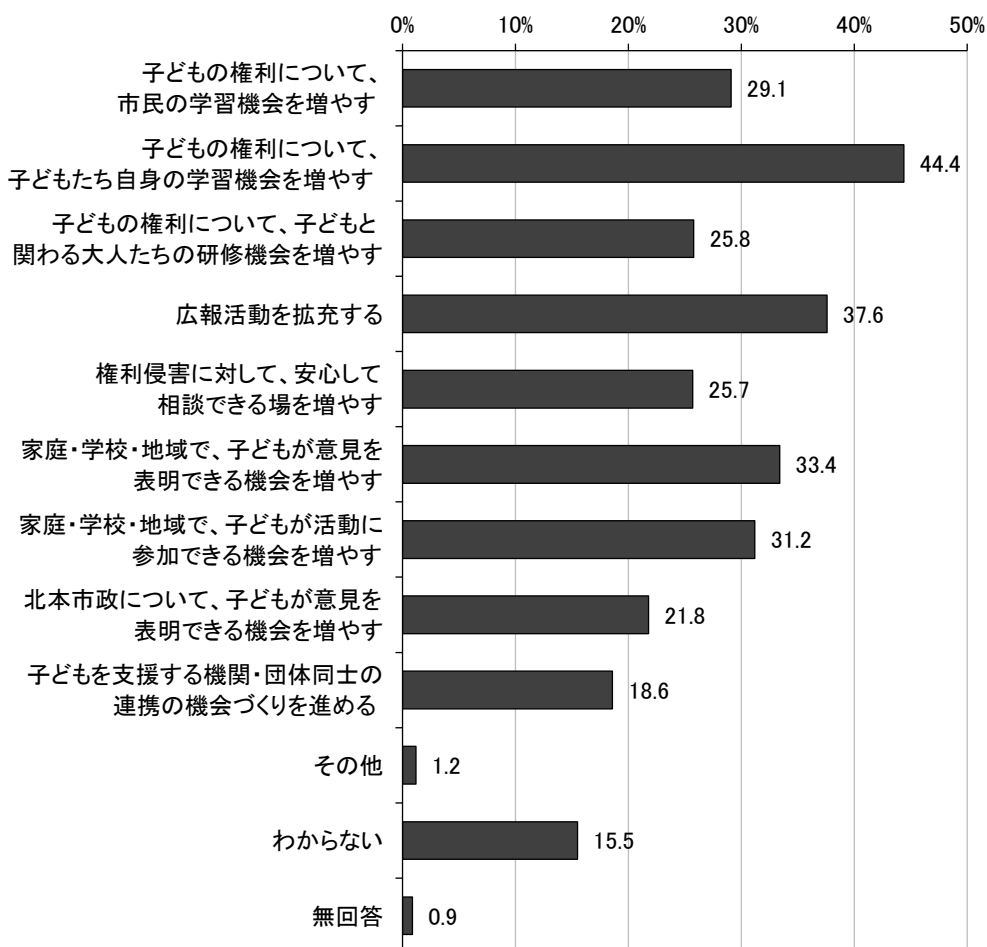
問 1 1 あなたは、「子どもの権利」の普及と子どもの社会参加促進に向けて、今後どのような取組が必要と思いますか。(〇はいくつでも)

「子どもの権利」の普及と子どもの社会参加促進に向けて、今後必要だと思う取組については、「子どもの権利について、子どもたち自身の学習機会を増やす」が44.4%と最も多く、次いで「広報活動を拡充する」が37.6%、「家庭・学校・地域で、子どもが意見を表明できる機会を増やす」が33.4%となっています。

年齢別にみると、30～59歳では「子どもの権利について、子どもたち自身の学習機会を増やす」、60歳以上では「広報活動を拡充する」が最も多くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【成人等の子どもがいる】と【関わりのある子どもはいない】では「広報活動を拡充する」が、【地域等の子どもと関わりがある】では「子どもの権利について、市民の学習機会を増やす」「広報活動を拡充する」「家庭・学校・地域で、子どもが意見を表明できる機会を増やす」がそれぞれ46.3%と、最も多くなっています。

全体(n=743)





■クロス集計 年齢別・関わりのある子ども別

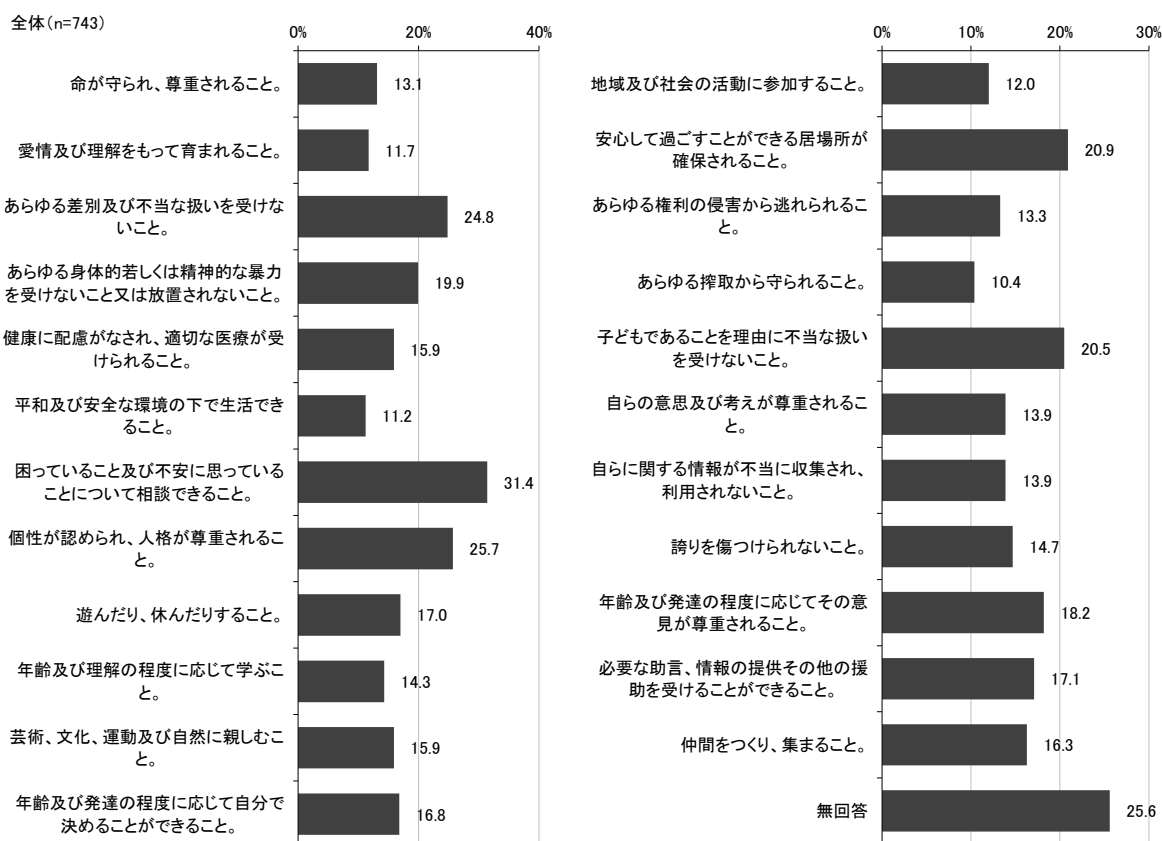
単位：%		子どもの学習機会を増やす	子どもの権利について、子どもたち自身の学習機会を増やす	子どもの権利について、の研修機会を増やす	子どもの権利について、の研修機会を増やす	広報活動を拡充する	権利侵害に対して、安心して相談できる場を増やす	機会を増やす	家庭・学校・地域で、子どもが意見を表明できる機会を増やす	家庭・学校・地域で、子どもが活動に参加できる機会を増やす	北本市政について、子どもが意見を表明できる機会を増やす	子どもを支援する機会・団体同士の連携の機会づくりを進める	その他	わからない	無回答
年齢別	19～29歳 (n=14)	35.7	21.4	35.7	35.7	35.7	50.0	42.9	42.9	21.4	0.0	14.3	0.0		
	30～39歳 (n=123)	28.5	48.8	25.2	33.3	22.8	32.5	34.1	23.6	17.9	0.0	17.1	2.4		
	40～49歳 (n=411)	27.7	44.5	24.1	37.0	23.8	36.0	31.6	22.1	17.8	1.7	13.6	0.0		
	50～59歳 (n=95)	31.6	50.5	25.3	42.1	32.6	28.4	25.3	17.9	17.9	0.0	16.8	2.1		
	60～69歳 (n=50)	26.0	36.0	30.0	42.0	38.0	26.0	26.0	24.0	22.0	2.0	16.0	0.0		
	70歳以上 (n=45)	40.0	33.3	37.8	44.4	20.0	28.9	31.1	13.3	26.7	2.2	24.4	4.4		
	関わりのある子ども	高校生以下の子どもがいる (n=595)	27.2	47.1	24.4	36.3	24.4	33.8	30.8	21.0	17.6	1.2	14.6	0.8	
	成人等の子どもがいる (n=40)	27.5	37.5	25.0	45.0	22.5	20.0	22.5	10.0	15.0	2.5	20.0	2.5		
	高校生以下の子どもはいないが、地域等の子どもと関わりがある (n=67)	46.3	35.8	38.8	46.3	38.8	46.3	38.8	32.8	32.8	1.5	13.4	0.0		
	関わりのある子どもはいない (n=36)	27.8	25.0	27.8	36.1	27.8	22.2	30.6	27.8	13.9	0.0	27.8	2.8		

問12 「子どもの権利条例」では、保障されなければならない大切な子どもの権利として「安心して生きる権利」「自分らしく育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」の4つの権利と、23の項目を挙げています。あなたは、これらの中で、北本市でまだ十分ではないと感じるものはありますか。(〇はいくつでも)

「子どもの権利条例」で挙げられる、北本市でまだ十分でないと感じる項目については、「困っていること及び不安に思っていることについて相談できること」が31.4%と最も多く、次いで「個性が認められ、人格が尊重されること」が25.7%、「あらゆる差別及び不当な扱いを受けないこと」が24.8%となっています。

年齢別にみると、30～39歳では「あらゆる差別及び不当な扱いを受けないこと」、70歳以上では「安心して過ごすことができる居場所が確保されること」が、最も多くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【関わりのある子どもはいない】では、「自らの意見を表明することができ、その年齢及び発達の程度に応じてその意見が尊重されること」が33.3%と、最も多くなっています。



■クロス集計 年齢別・関わりのある子ども別

単位: %		命が守られ、尊重されること。	愛情及び理解をもって育まれること。	あらゆる差別及び不当な扱いを受けないこと。	あらゆる身体的若しくは精神的な暴力を受けないこと又は放置されないこと。	あらゆる権利の侵害から守られること。	健康に配慮がなされ、適切な医療が受けられること。	平和及び安全な環境の下で生活できること。	困っていること及び不安に思っていることについて相談できること。	個性が認められ、人格が尊重されること。	遊んだり、休んだりすること。	年齢及び理解の程度に応じて学ぶこと。	芸術、文化、運動及び自然に親しむこと。	年齢及び発達の程度に応じて自分で決めることができること。
年齢別	19～29歳 (n=14)	7.1	7.1	7.1	21.4	0.0	0.0	42.9	28.6	21.4	14.3	28.6	14.3	
	30～39歳 (n=123)	17.1	13.8	30.9	17.9	21.1	16.3	28.5	29.3	15.4	15.4	17.9	11.4	
	40～49歳 (n=411)	9.5	11.4	21.9	19.0	13.9	10.2	28.0	23.1	19.5	12.4	15.1	15.8	
	50～59歳 (n=95)	14.7	10.5	25.3	17.9	17.9	11.6	37.9	21.1	9.5	20.0	12.6	26.3	
	60～69歳 (n=50)	14.0	10.0	30.0	32.0	10.0	4.0	40.0	40.0	20.0	16.0	22.0	20.0	
	70歳以上 (n=45)	33.3	15.6	35.6	26.7	28.9	17.8	44.4	33.3	11.1	15.6	15.6	20.0	
関わりのある子ども	高校生以下の子どもがいる (n=595)	11.4	10.9	23.4	17.8	15.8	11.6	28.6	23.9	17.3	13.8	15.1	15.8	
	成人等の子どもがいる (n=40)	17.5	15.0	25.0	30.0	12.5	7.5	37.5	30.0	10.0	12.5	20.0	22.5	
	高校生以下の子どもはいないが、地域等の子どもと関わりがある (n=67)	25.4	14.9	38.8	35.8	20.9	11.9	50.7	40.3	22.4	20.9	22.4	25.4	
	関わりのある子どもはいない (n=36)	11.1	16.7	22.2	16.7	11.1	5.6	30.6	22.2	11.1	11.1	13.9	13.9	
単位: %		と地域及び社会の活動に参加すること。	が安心して過ごすことができる居場所が確保されること。	あらゆる権利の侵害から逃れられること。	あらゆる権利の侵害から守られること。	子どもであることを理由に不当な扱いを受けないこと。	自らの意思及び考えが尊重されること。	自らに関する情報が不当に収集され、利用されないこと。	誇りを傷つけられないこと。	年齢及び発達の程度に応じてその意見が尊重されること。	必要な助言、情報の提供その他の援助を受けることができること。	仲間をつくり、集まること。	無回答	
年齢別	19～29歳 (n=14)	21.4	0.0	7.1	21.4	21.4	14.3	0.0	0.0	7.1	14.3	35.7	21.4	
	30～39歳 (n=123)	7.3	17.9	13.0	12.2	22.8	13.0	10.6	14.6	13.0	13.8	17.9	21.1	
	40～49歳 (n=411)	11.9	19.5	11.9	8.8	19.2	12.9	13.6	14.6	16.8	16.3	15.3	25.5	
	50～59歳 (n=95)	13.7	18.9	11.6	7.4	15.8	13.7	14.7	14.7	22.1	17.9	12.6	29.5	
	60～69歳 (n=50)	16.0	26.0	22.0	20.0	26.0	22.0	20.0	18.0	24.0	22.0	20.0	24.0	
	70歳以上 (n=45)	15.6	48.9	24.4	13.3	31.1	17.8	22.2	17.8	35.6	28.9	20.0	26.7	
関わりのある子ども	高校生以下の子どもがいる (n=595)	11.1	18.2	11.3	8.7	19.3	12.6	12.6	14.6	15.5	15.1	15.0	25.5	
	成人等の子どもがいる (n=40)	17.5	22.5	20.0	15.0	22.5	12.5	22.5	7.5	22.5	25.0	15.0	37.5	
	高校生以下の子どもはいないが、地域等の子どもと関わりがある (n=67)	14.9	43.3	26.9	19.4	31.3	26.9	20.9	23.9	31.3	26.9	28.4	14.9	
	関わりのある子どもはいない (n=36)	16.7	22.2	13.9	16.7	19.4	13.9	13.9	8.3	33.3	25.0	19.4	30.6	

### **【安心して生きる権利】**

1. 命が守られ、尊重されること。
2. 愛情及び理解をもって育まれること。
3. あらゆる差別及び不当な扱いを受けないこと。
4. あらゆる身体的若しくは精神的な暴力を受けないこと又は放置されないこと。
5. 健康に配慮がなされ、適切な医療が受けられること。
6. 平和及び安全な環境の下で生活できること。
7. 困っていること及び不安に思っていることについて相談できること。

### **【自分らしく育つ権利】**

8. 個性が認められ、人格が尊重されること。
9. 遊んだり、休んだりすること。
10. 年齢及び理解の程度に応じて学ぶこと。
11. 芸術、文化、運動及び自然に親しむこと。
12. 自らに関係することについて、必要な助言、情報の提供その他の援助を受け、年齢及び発達に応じて自分で決めることができること。
13. 地域及び社会の活動に参加すること。
14. 安心して過ごすことができる居場所が確保されること。

### **【守られる権利】**

15. あらゆる権利の侵害から逃れられること。
16. あらゆる搾取から守られること。
17. 子どもであることを理由に不当な扱いを受けないこと。
18. 自らの意思及び考えが尊重されること。
19. 自らに関する情報が不当に収集され、利用されないこと。
20. 誇りを傷つけられないこと。

### **【参加する権利】**

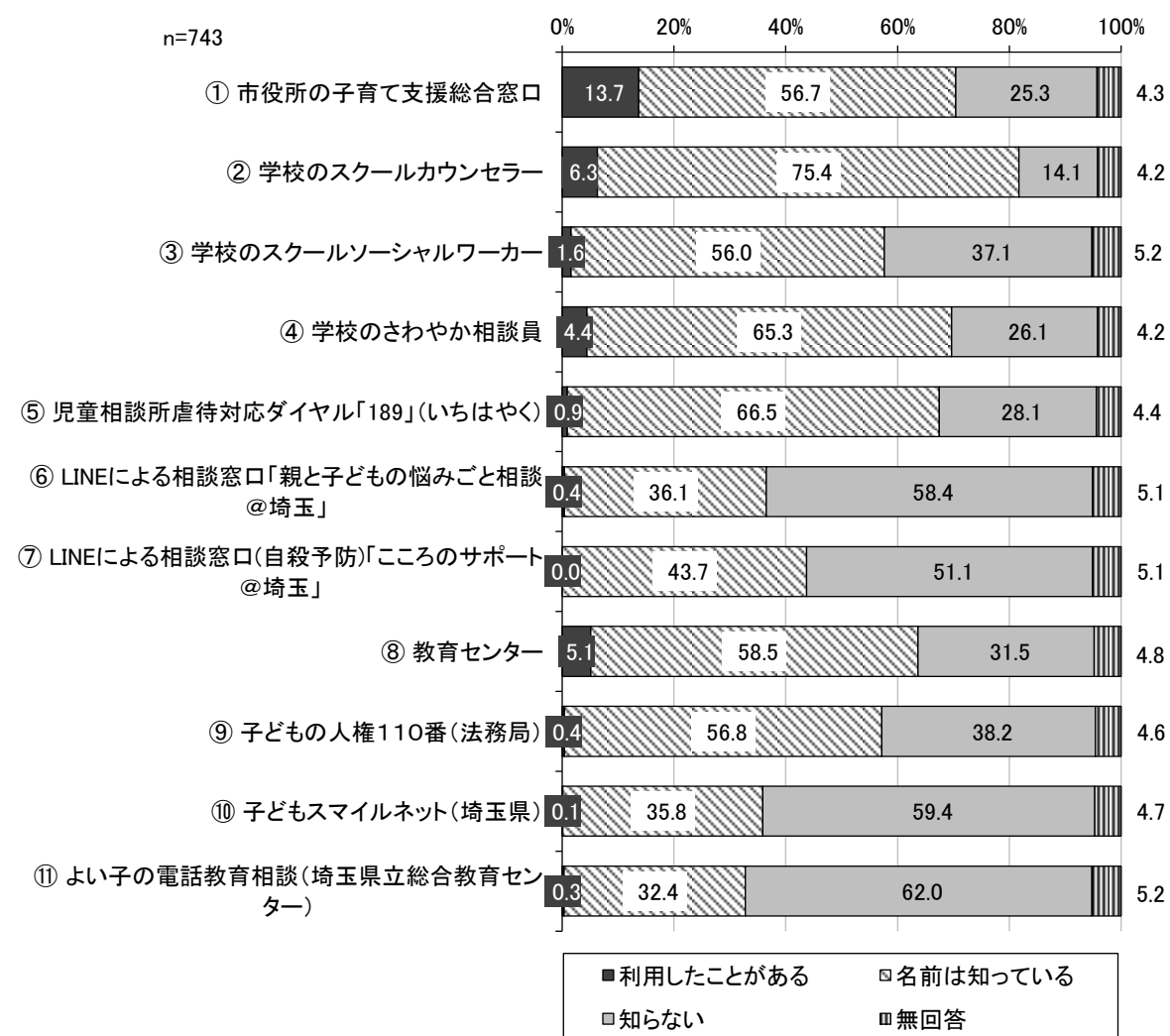
21. 自らの意見を表明することができ、その年齢及び発達に応じてその意見が尊重されること。
22. 自らの意見を表明するために、必要な助言、情報の提供その他の援助を受けることができること。
23. 仲間をつくり、集まること。

### 問13 次の子どもに関する相談機関のうち、あなたが知っているところはどこですか。(○はそれぞれ1つ)

知っている相談機関については、「利用したことがある」で① 市役所の子育て支援総合窓口>が1割台と高くなっています。また、「名前は知っている」が② 学校のスクールカウンセラー>で7割台、④ 学校のさわやか相談員>と⑤ 児童相談所虐待対応ダイヤル「189」(いちはやく)>で6割台となっています。

また、⑥ LINEによる相談窓口「親と子どもの悩みごと相談@埼玉」>、⑩ 子どもスマイルネット(埼玉県)>と⑪ よい子の電話教育相談(埼玉県立総合教育センター)>で「知らない」が5割後半から6割前半と他の項目に比べて割合が高くなっています。

さらに、⑫ その他>では「名前は知っている」に2.8%、「利用したことがある」に0.8%の回答がありました。(図省略)

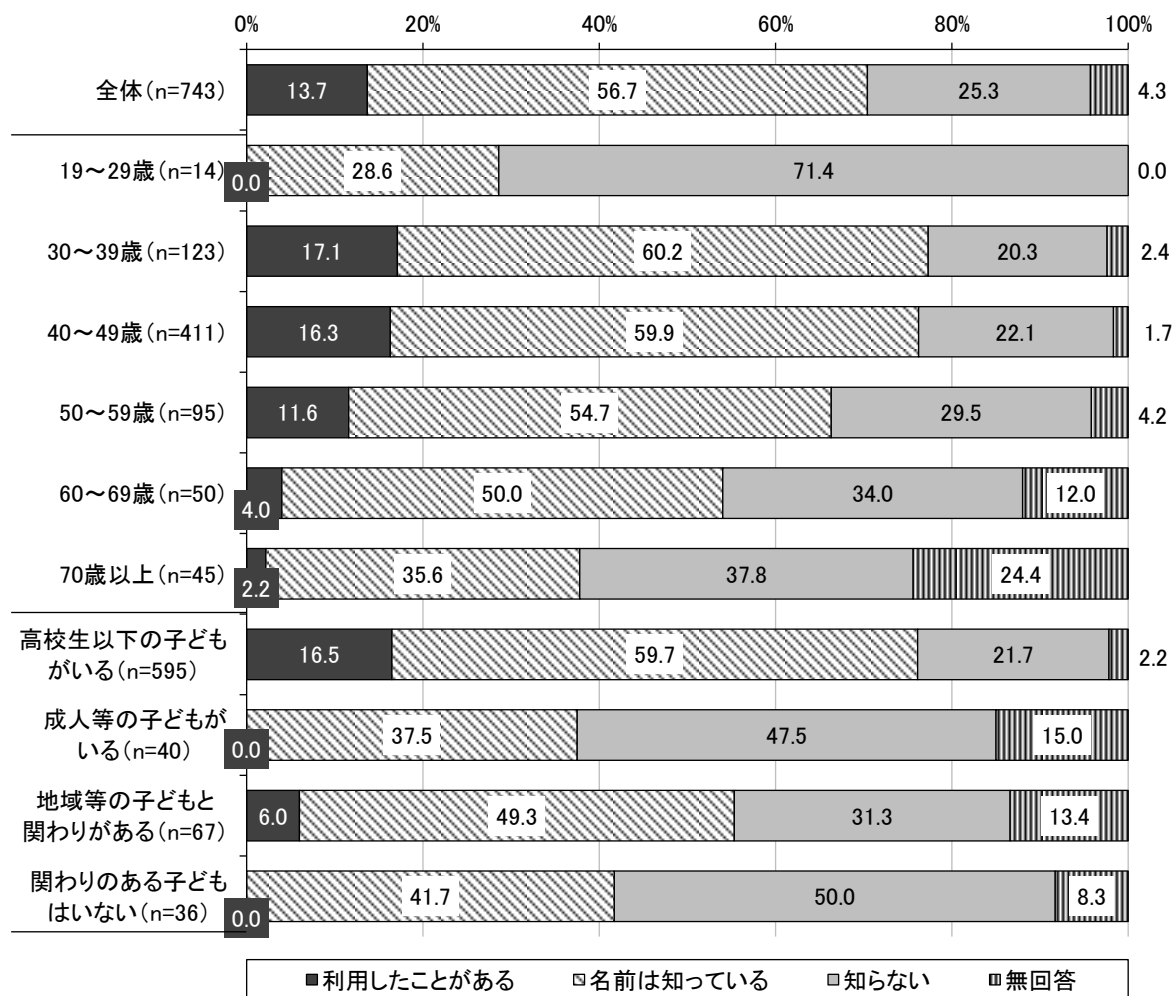


① 市役所の子育て支援総合窓口

市役所の子育て支援総合窓口については、「名前は知っている」が56.7%と最も多く、次いで「知らない」が25.3%、「利用したことがある」が13.7%となっています。

年齢別にみると、30～59歳で「利用したことがある」が1割台と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【成人等の子どもがいる】と【関わりのある子どもはいない】では「知らない」が4割半ばを超えて、他の項目に比べて割合が高くなっています。

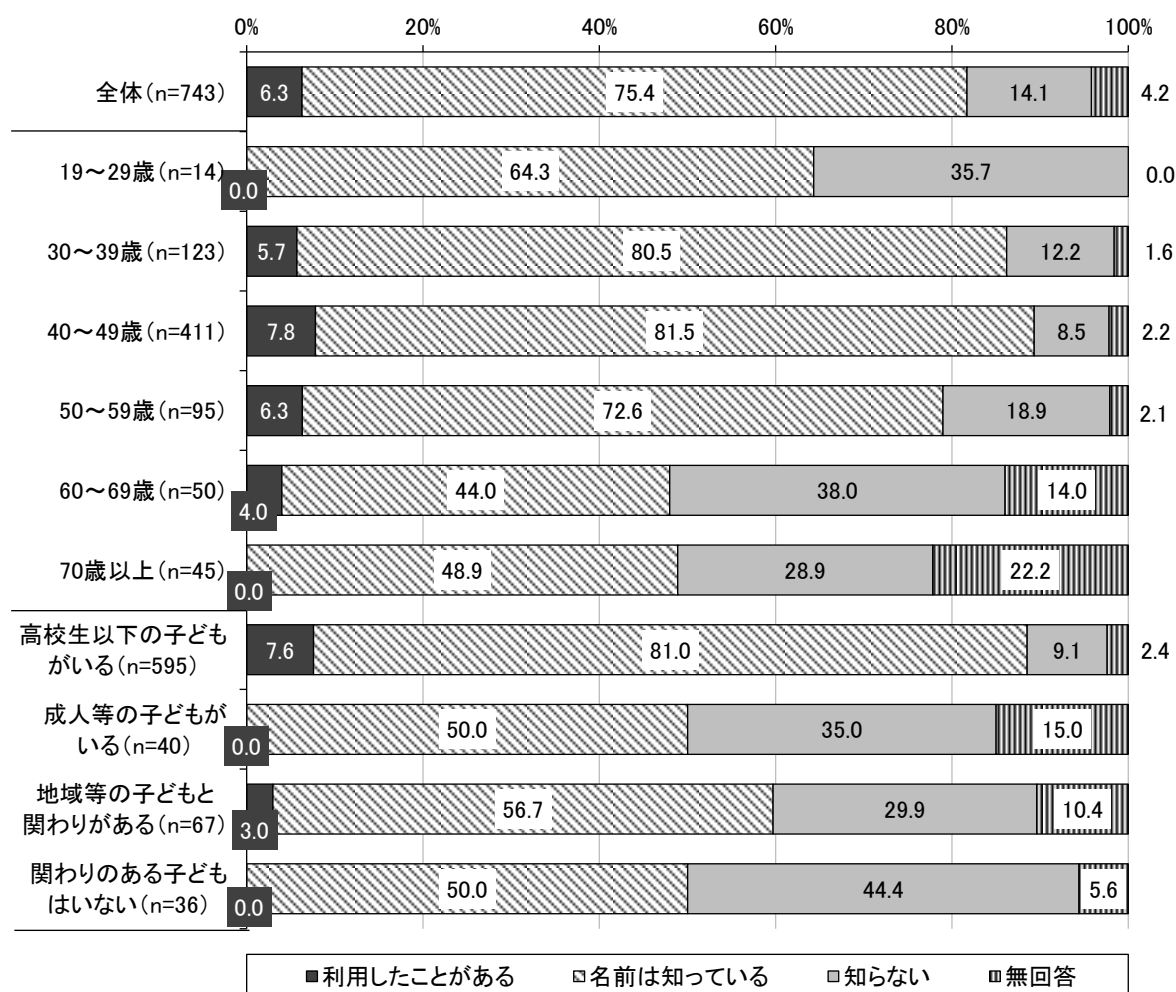


## ② 学校のスクールカウンセラー

学校のスクールカウンセラーについては、「名前は知っている」が75.4%と最も多く、次いで「知らない」が14.1%、「利用したことがある」が6.3%となっています。

年齢別にみると、60歳以上では「知らない」が2～3割台と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では「名前は知っている」が81.0%、【成人等の子どもがいる】【地域等の子どもと関わりがある】【関わりのある子どもはいない】では「知らない」が2割後半を超えて、他の項目に比べて割合が高くなっています。

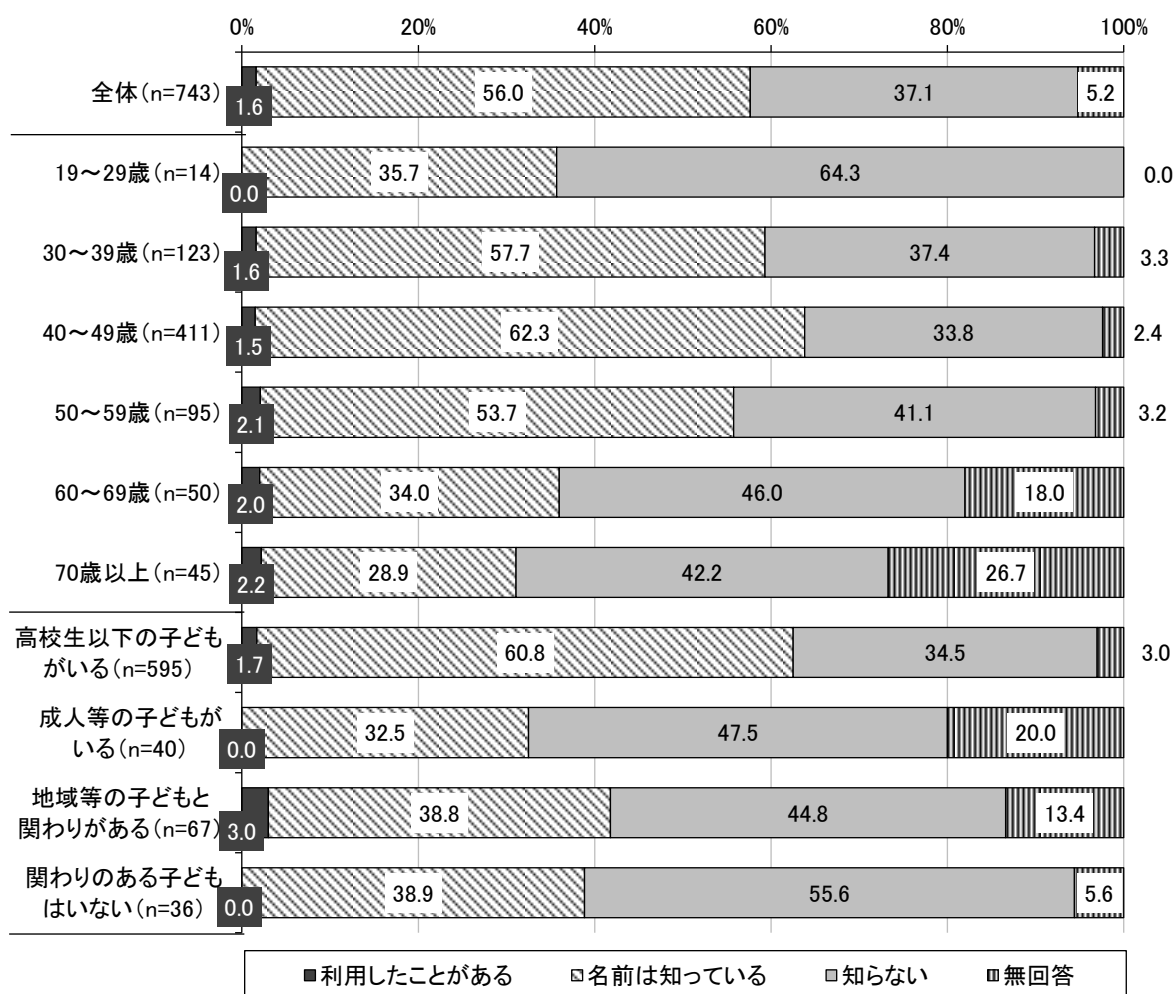


### ③ 学校のスクールソーシャルワーカー

学校のスクールソーシャルワーカーについては、「名前は知っている」が56.0%と最も多く、次いで「知らない」が37.1%、「利用したことがある」が1.6%となっています。

年齢別にみると、30～59歳では「名前は知っている」が5～6割台と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では「名前は知っている」が60.8%、【関わりのある子どもはいない】では「知らない」が55.6%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。



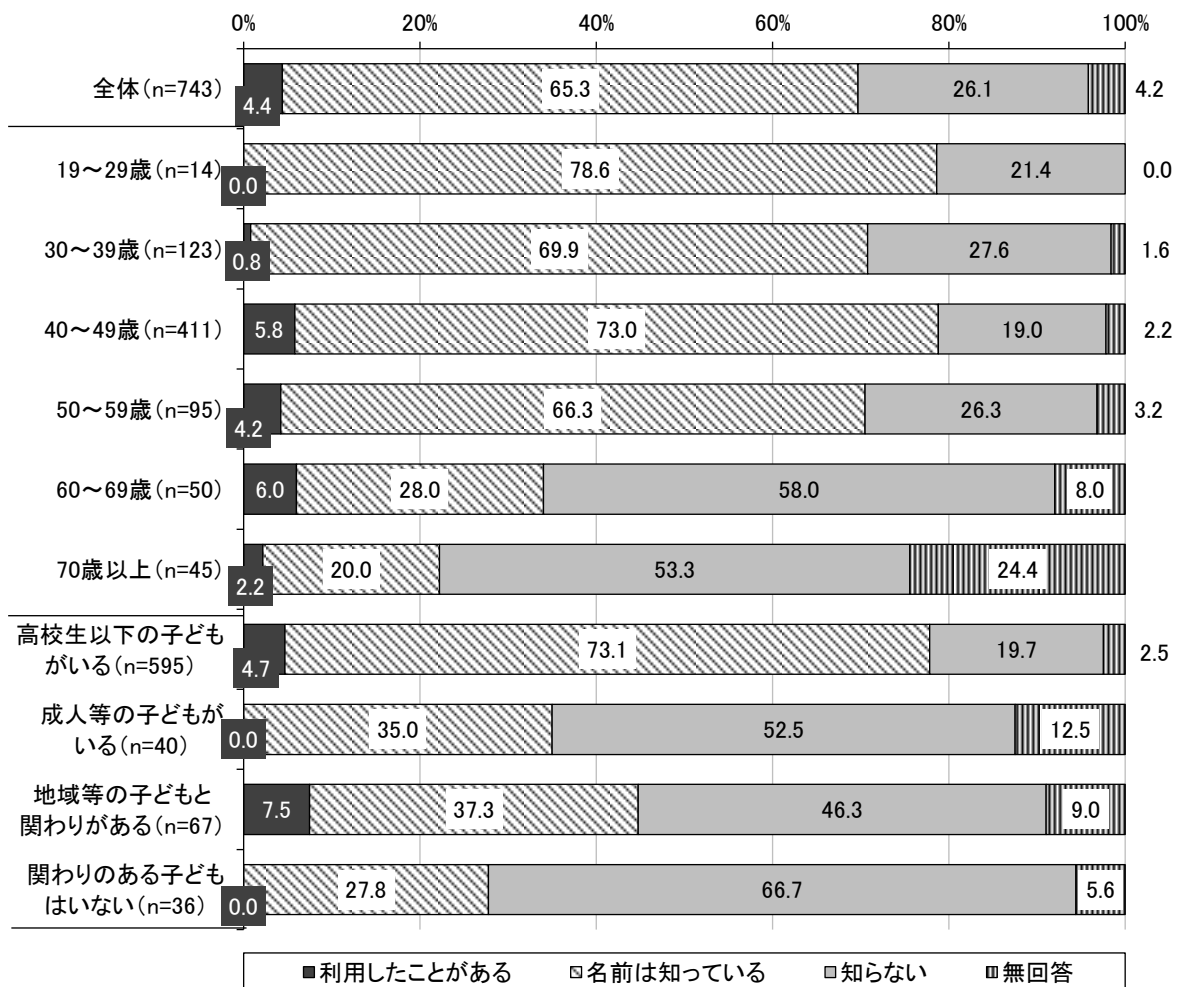


#### ④ 学校のさわやか相談員

学校のさわやか相談員については、「名前は知っている」が 65.3%と最も多く、次いで「知らない」が 26.1%、「利用したことがある」が 4.4%となっています。

年齢別にみると、60歳以上では「知らない」が5割を超えており、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では「名前は知っている」が 73.1%と、他に比べて割合が高くなっています。また、【成人等の子どもがいる】【地域等の子どもと関わりがある】【関わりのある子どもはいない】では「知らない」が4割半ばを超えて、他の項目に比べて割合が高くなっています。

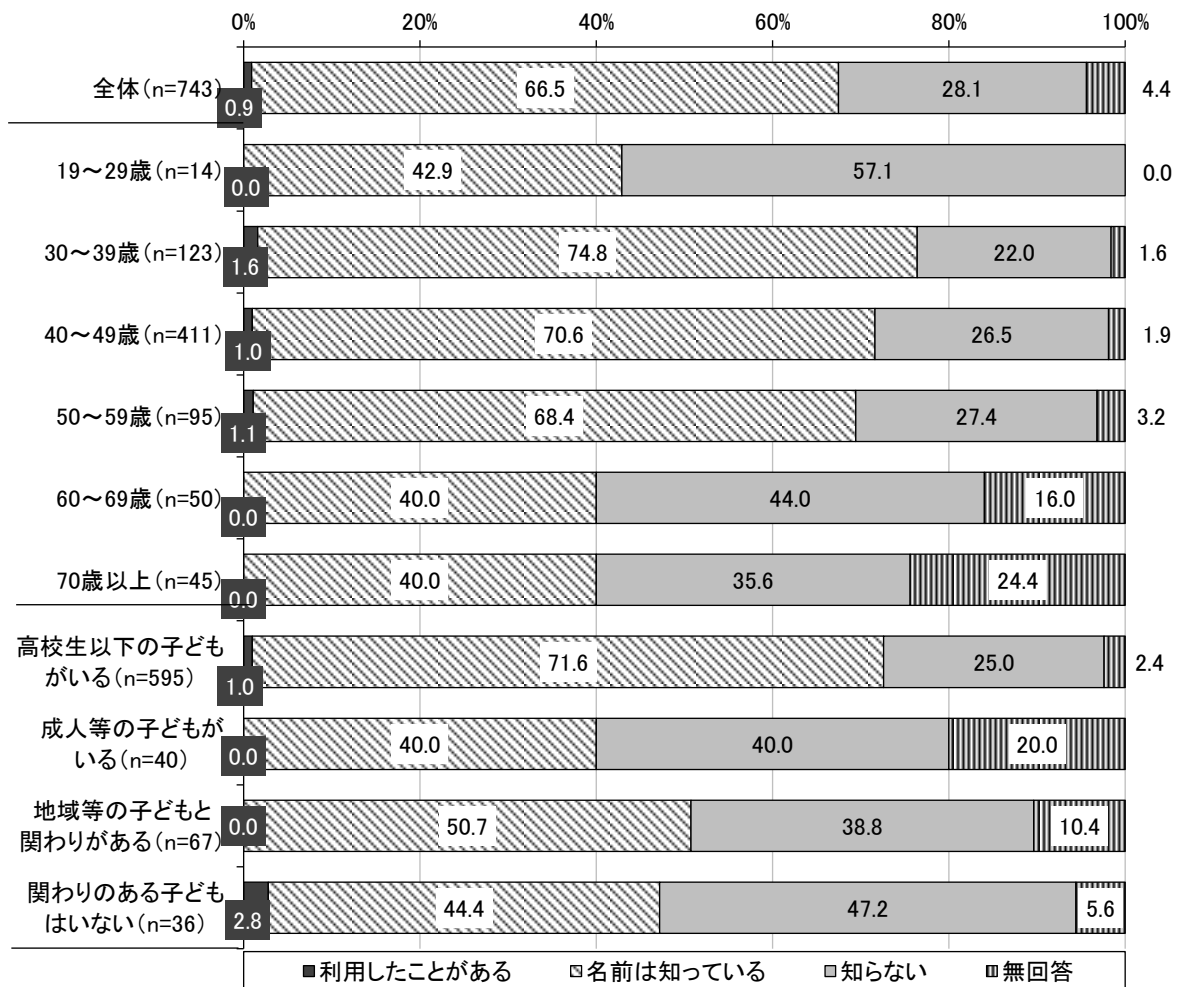


⑤ 児童相談所虐待対応ダイヤル「189」（いちはやく）

児童相談所虐待対応ダイヤル「189」（いちはやく）については、「名前は知っている」が66.5%と最も多く、次いで「知らない」が28.1%、「利用したことがある」が0.9%となっています。

年齢別にみると、60～69歳では「知らない」が4割半ばと、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では「名前は知っている」が71.6%と、他に比べて割合が高くなっています。また、【成人等の子どもがいる】【地域等の子どもと関わりがある】【関わりのある子どもはいない】では「知らない」が3割後半を超えて、他の項目に比べて割合が高くなっています。

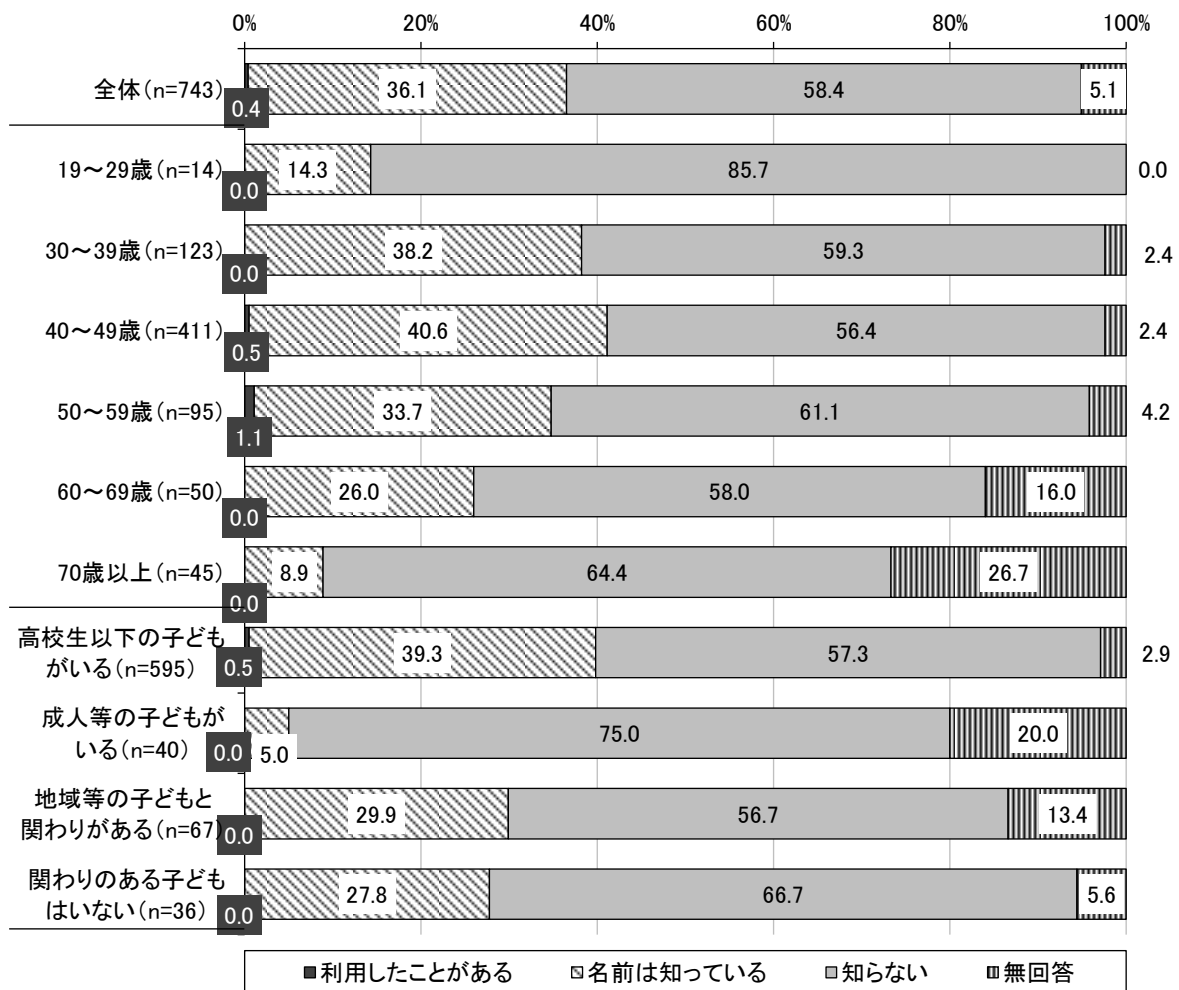


⑥ LINE による相談窓口「親と子どもの悩みごと相談@埼玉」

LINE による相談窓口「親と子どもの悩みごと相談@埼玉」については、「知らない」が 58.4%と最も多く、次いで「名前は知っている」が 36.1%、「利用したことがある」が 0.4% となっています。

年齢別にみると、30～59 歳では「名前は知っている」が 3～4 割台と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【成人等の子どもがいる】と【関わりのある子どもはいない】では「知らない」が 6 割半ばを超えており、他の項目に比べて割合が高くなっています。

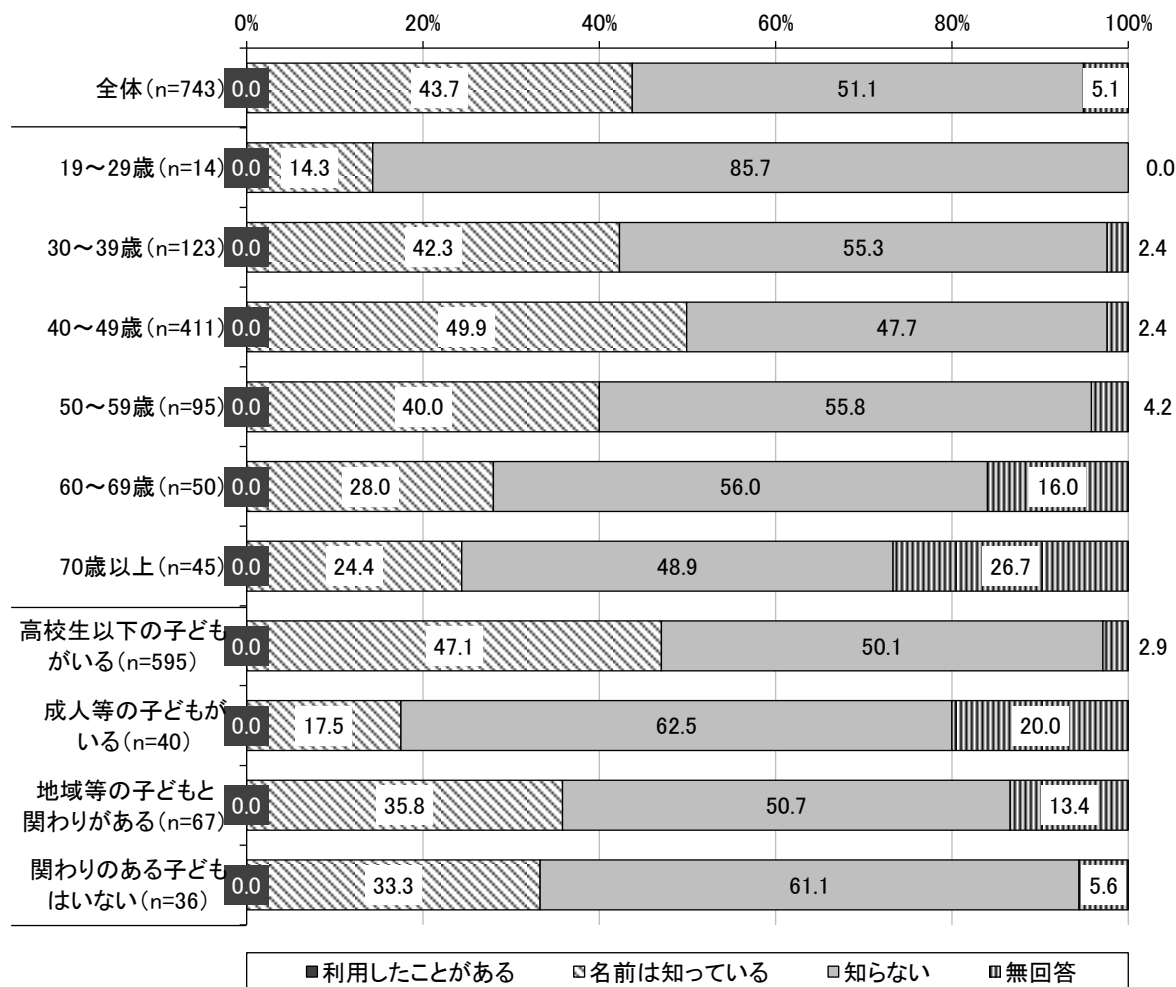


⑦ LINE による相談窓口（自殺予防）「こころのサポート@埼玉」

LINE による相談窓口（自殺予防）「こころのサポート@埼玉」については、「知らない」が 51.1%と最も多く、次いで「名前は知っている」が 43.7%となっています。

年齢別にみると、30～59 歳では「名前は知っている」が 4 割台と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では「名前は知っている」が 47.1%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

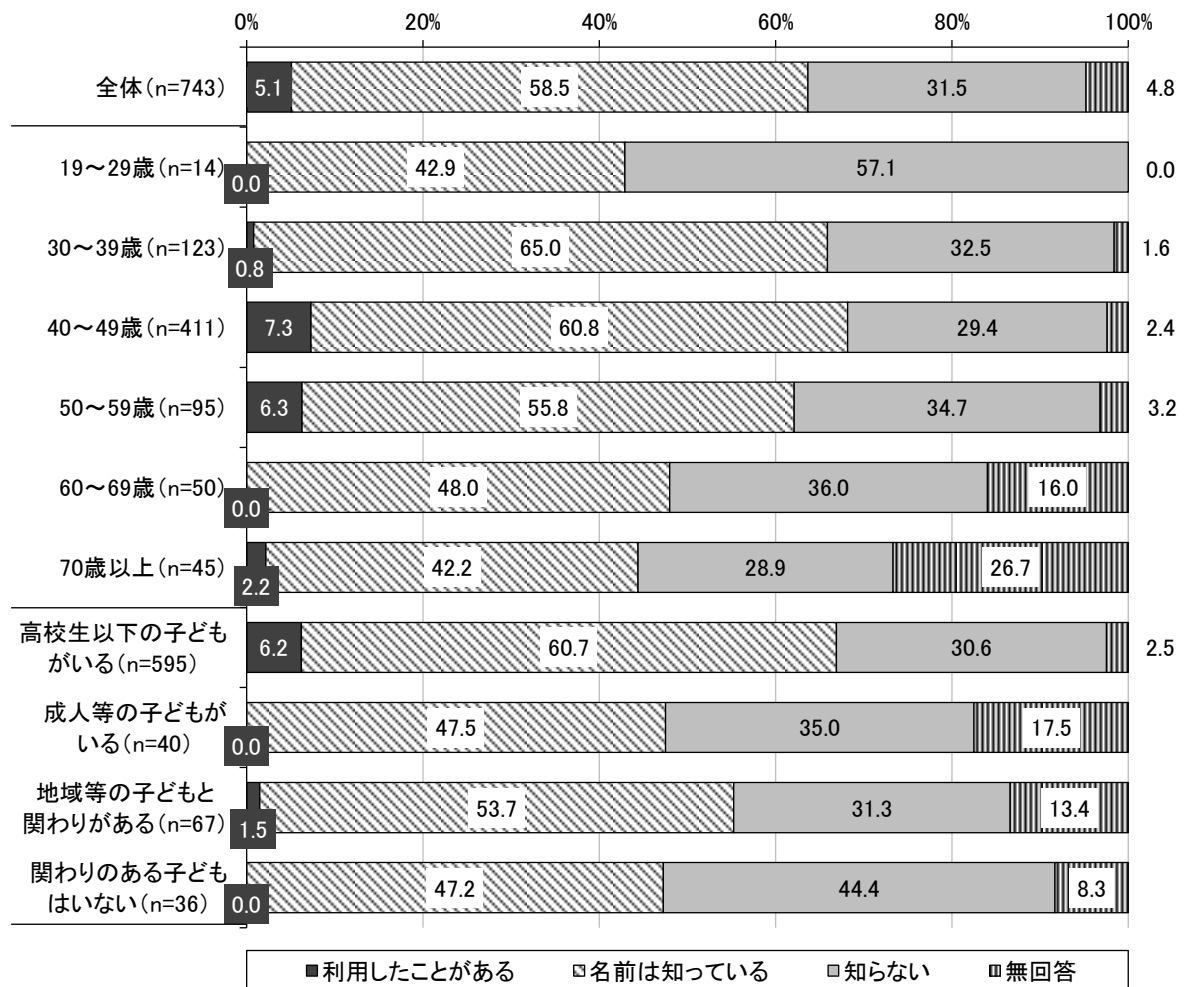


## ⑧ 教育センター

教育センターについては、「名前は知っている」が58.5%と最も多く、次いで「知らない」が31.5%、「利用したことがある」が5.1%となっています。

年齢別にみると、30～59歳では「名前は知っている」が5～6割台と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では「名前は知っている」が60.7%と、他に比べて割合が高くなっています。また、【関わりのある子どもはいない】では「知らない」が44.4%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

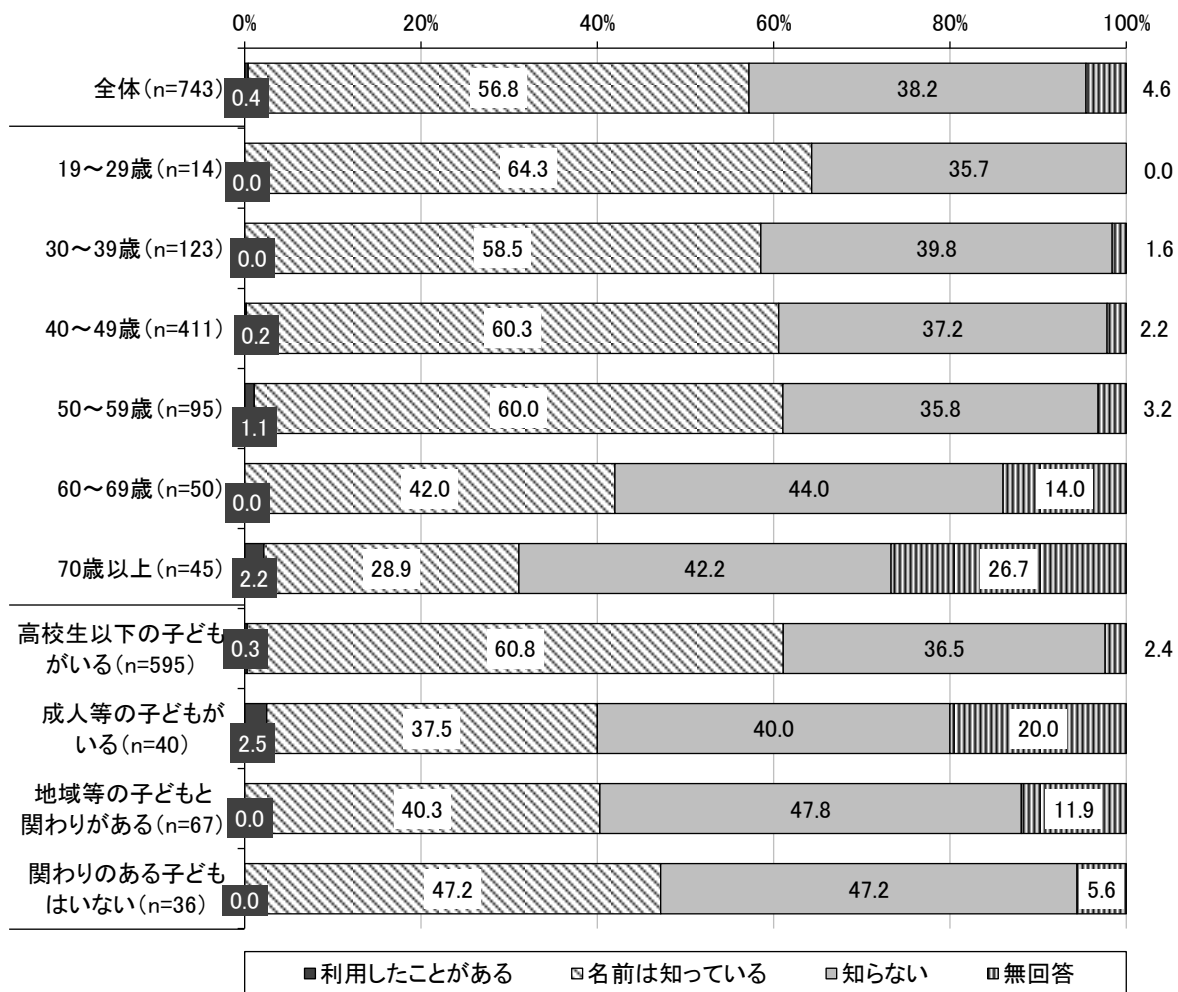


### ⑨ 子どもの人権110番（法務局）

子どもの人権110番（法務局）については、「名前は知っている」が56.8%と最も多く、次いで「知らない」が38.2%、「利用したことがある」が0.4%となっています。

年齢別にみると、60歳以上では「名前は知っている」が、他の年代に比べて割合が低くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では「名前は知っている」が60.8%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

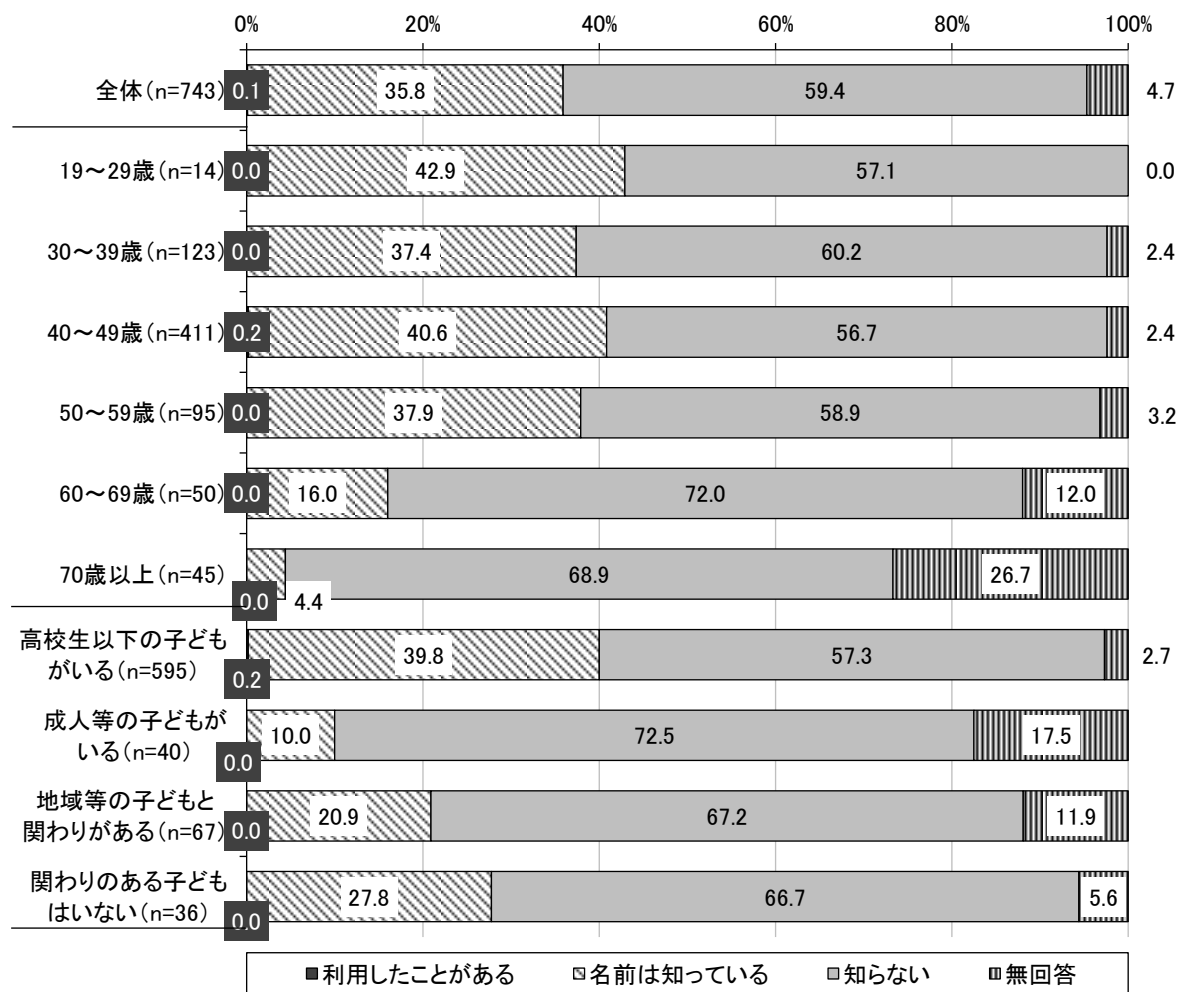


### ⑩ 子どもスマイルネット（埼玉県）

子どもスマイルネット（埼玉県）については、「知らない」が59.4%と最も多く、次いで「名前は知っている」が35.8%、「利用したことがある」が0.1%となっています。

年齢別にみると、60歳以上では「知らない」が6割後半を超えており、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では「名前は知っている」が39.8%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

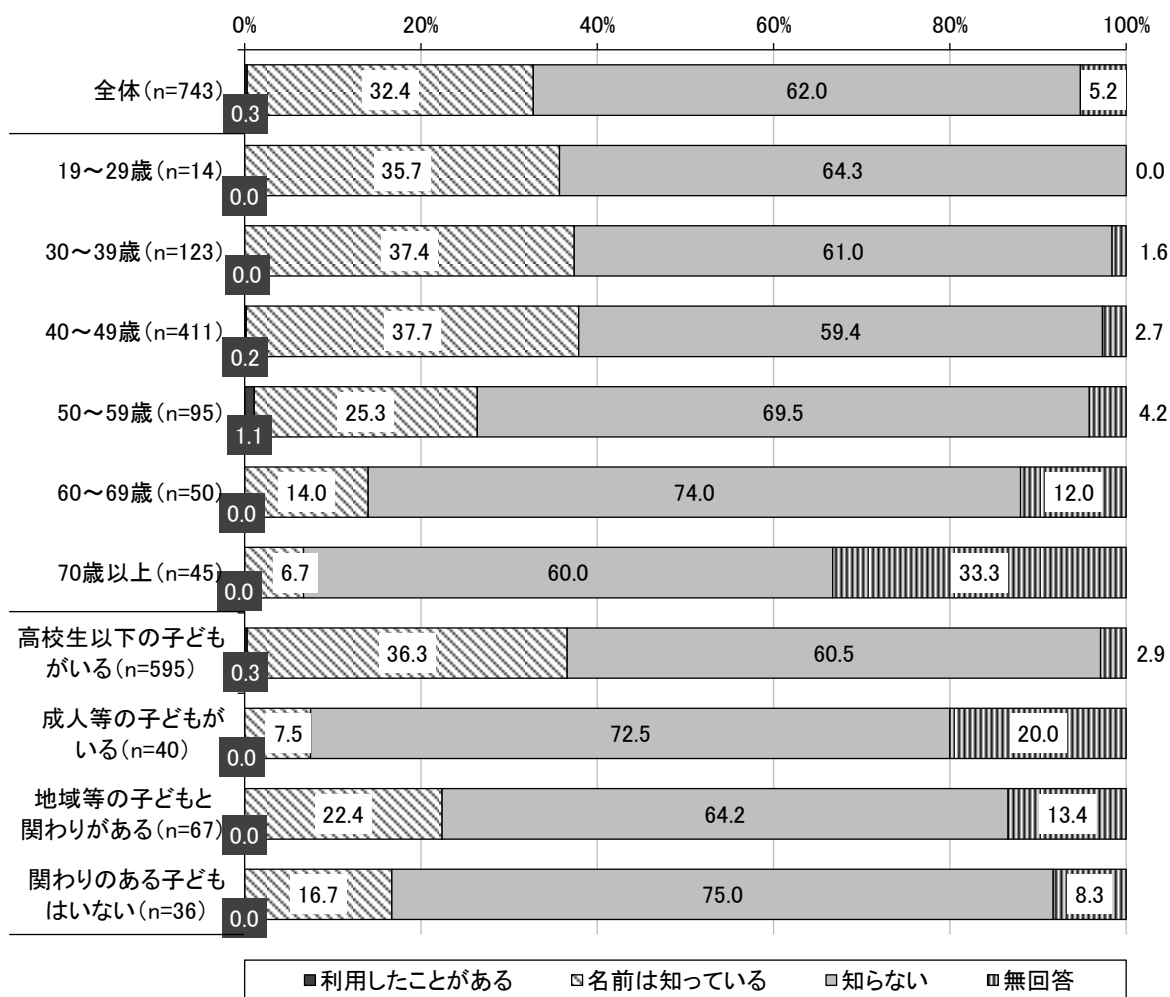


⑪ よい子の電話教育相談（埼玉県立総合教育センター）

よい子の電話教育相談（埼玉県立総合教育センター）については、「知らない」が62.0%と最も多く、次いで「名前は知っている」が32.4%、「利用したことがある」が0.3%となっています。

年齢別にみると、50～69歳では「知らない」が6割後半を超えており、他の年代に割合が比べて割合が高くなっています。

関わりのある子どもも別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では「名前は知っている」が36.3%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。



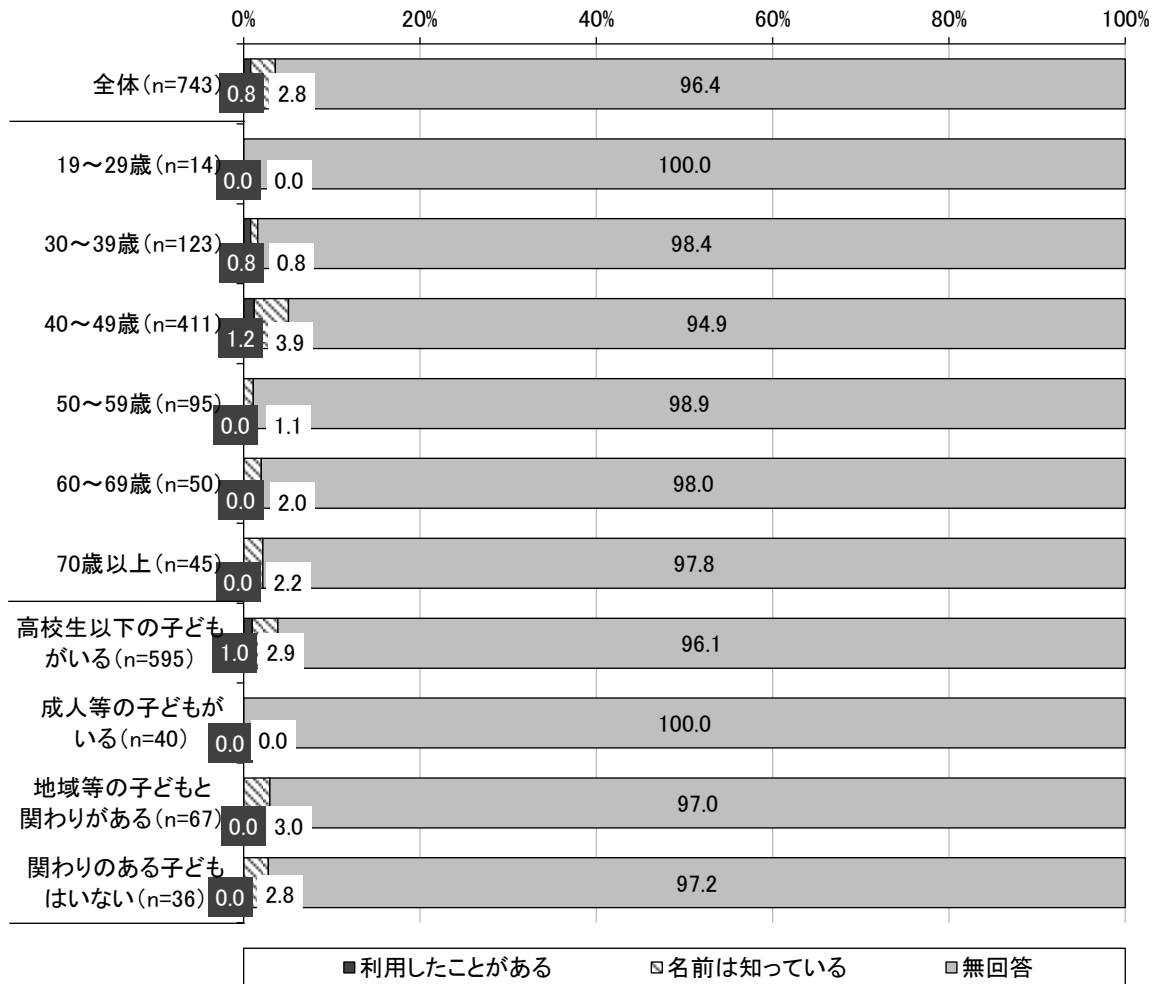


⑫ その他

その他については、「名前は知っている」が2.8%と最も多く、次いで「利用したことがある」が0.8%となっています。

年齢別にみると、大きな違いは見られません。

関わりのある子ども別にみると、大きな違いは見られません。



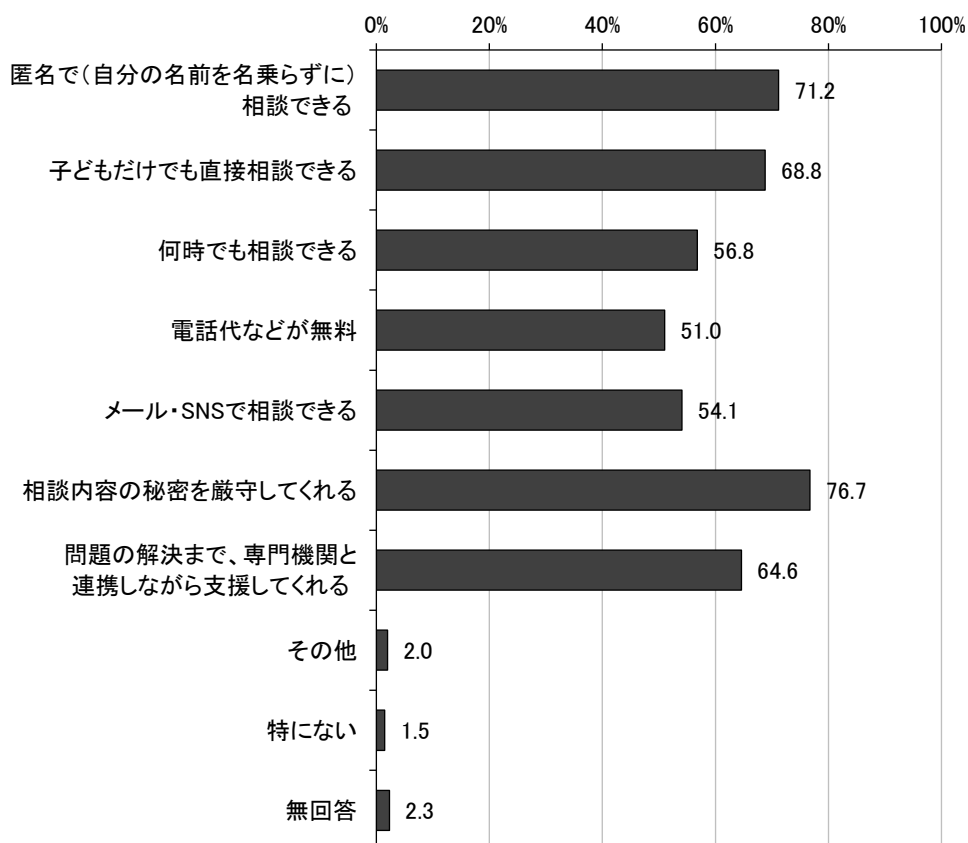
## 問14 子どもやご自身が相談する際に大事だと思うことは何ですか。(〇は いくつでも)

子どもや自身が相談する際に大事だと思うことについては、「相談内容の秘密を厳守してくれる」が76.7%と最も多く、次いで「匿名で（自分の名前を名乗らずに）相談できる」が71.2%、「子どもだけでも直接相談できる」が68.8%となっています。

年齢別にみると、50～59歳では、「匿名で（自分の名前を名乗らずに）相談できる」が、30～49歳と60歳以上では「相談内容の秘密を厳守してくれる」が最も多くなっています。また、30～39歳と50～59歳で「子どもだけでも直接相談できる」が7割台と、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【成人等の子どもがいる】では「問題の解決まで、専門機関と連携しながら支援してくれる」と「相談内容の秘密を厳守してくれる」ともに最も多くなっています。

全体(n=743)



■クロス集計 年齢別・関わりのある子ども別

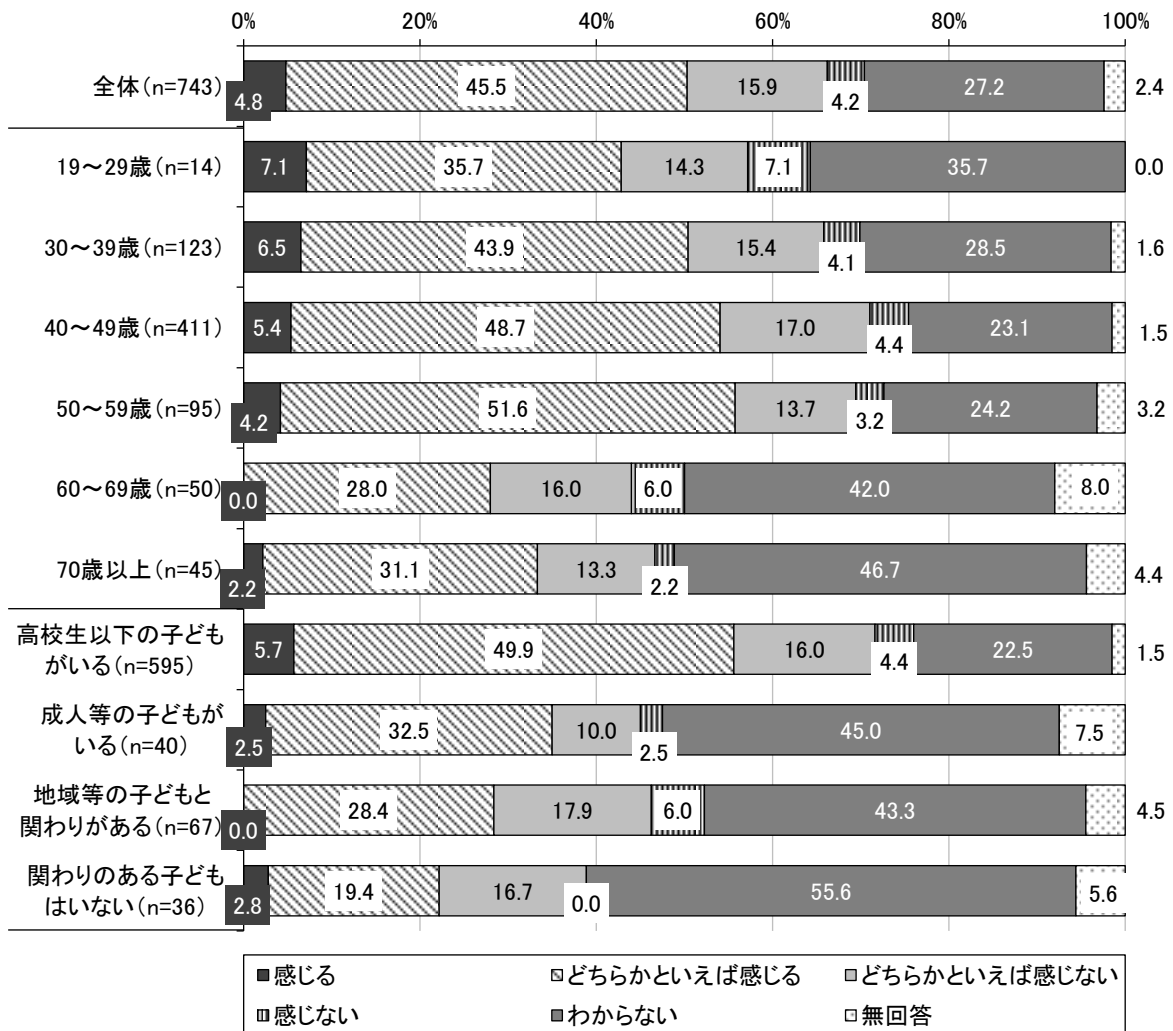
単位：%		匿名で（自分の名前を 乗らずに）相談でき る	子どもだけでも直接相 談できる	何時でも相談できる	電話代などが無料	メール・SNSで相談 できる	相談内容の秘密を厳守 してくれる	問題の解決まで、専門 機関と連携しながら支 援してくれる	その他	特にな い	無回 答
年 齢 別	19～29歳(n=14)	78.6	<b>85.7</b>	78.6	50.0	71.4	<b>85.7</b>	64.3	0.0	0.0	0.0
	30～39歳(n=123)	67.5	<b>73.2</b>	62.6	51.2	52.0	<b>74.8</b>	68.3	2.4	0.8	0.8
	40～49歳(n=411)	<b>72.5</b>	69.1	55.5	53.3	56.7	<b>80.0</b>	64.2	2.2	1.7	1.2
	50～59歳(n=95)	<b>80.0</b>	<b>73.7</b>	54.7	52.6	54.7	<b>73.7</b>	68.4	0.0	1.1	2.1
	60～69歳(n=50)	<b>58.0</b>	54.0	52.0	42.0	44.0	<b>64.0</b>	54.0	4.0	2.0	8.0
	70歳以上(n=45)	<b>62.2</b>	55.6	53.3	35.6	40.0	<b>68.9</b>	<b>62.2</b>	0.0	2.2	8.9
関 わ り の あ る 子 ど も	高校生以下の子どもがいる(n=595)	<b>72.4</b>	70.3	56.3	52.9	55.6	<b>78.0</b>	65.2	2.2	1.5	1.3
	成人等の子どもがいる(n=40)	65.0	62.5	55.0	42.5	47.5	<b>70.0</b>	<b>70.0</b>	2.5	2.5	7.5
	高校生以下の子どもはいないが、地域等 の子どもと関わりがある(n=67)	<b>64.2</b>	61.2	61.2	47.8	50.7	<b>71.6</b>	62.7	1.5	0.0	4.5
	関わりのある子どもはいない(n=36)	<b>75.0</b>	69.4	58.3	38.9	44.4	<b>77.8</b>	55.6	0.0	2.8	2.8

問15 あなたは、普段の生活の中で、子どもの権利が十分に守られていると感じますか。(○は1つ)

普段の生活の中で、子どもの権利が十分に守られていると感じるかについては、「どちらかといえば感じる」が45.5%と最も多く、次いで「わからない」が27.2%、「どちらかといえば感じない」が15.9%となっています。また、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合わせた“感じる”が50.3%と、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合わせた“感じない”の20.1%を30.2ポイント上回っています。

年齢別にみると、30～59歳で“感じる”が5割台、60歳以上では「わからない」が4割を超えており、他の年代に比べて割合が高くなっています。

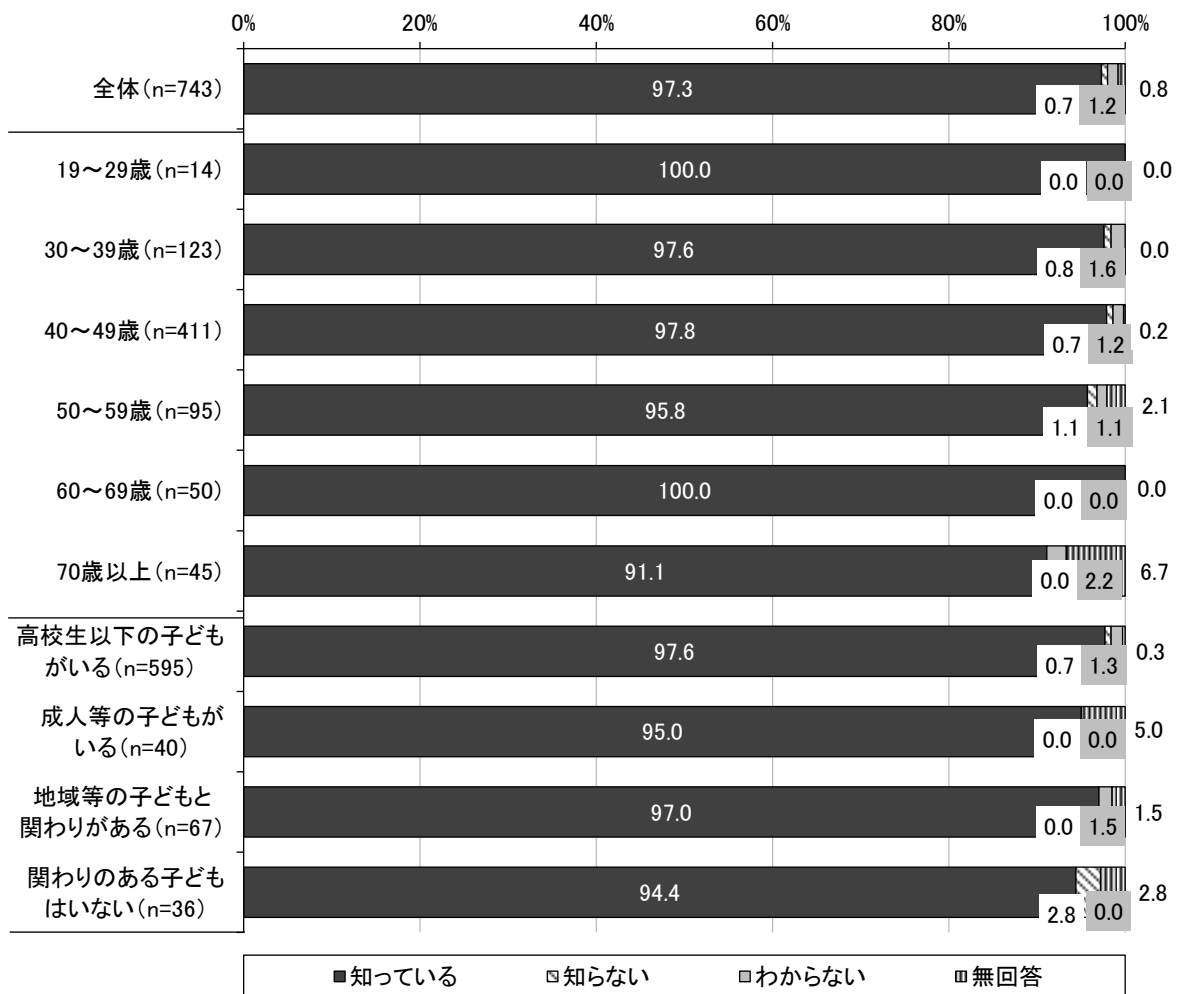
関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では“感じる”が55.6%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。



民法の一部改正により、令和4（2022）年4月1日から、日本の成年年齢が20歳から18歳に引き下げられました。

問16 あなたは、成年年齢が18歳に引き下げられたことを知っていますか。  
（○は1つ）

成年年齢が18歳に引き下げられたことを知っているかについては、「知っている」が97.3%と最も多く、次いで「わからない」が1.2%、「知らない」が0.7%となっています。  
年齢別にみると、大きな差は見られません。  
関わりのある子ども別にみると、大きな差は見られません。

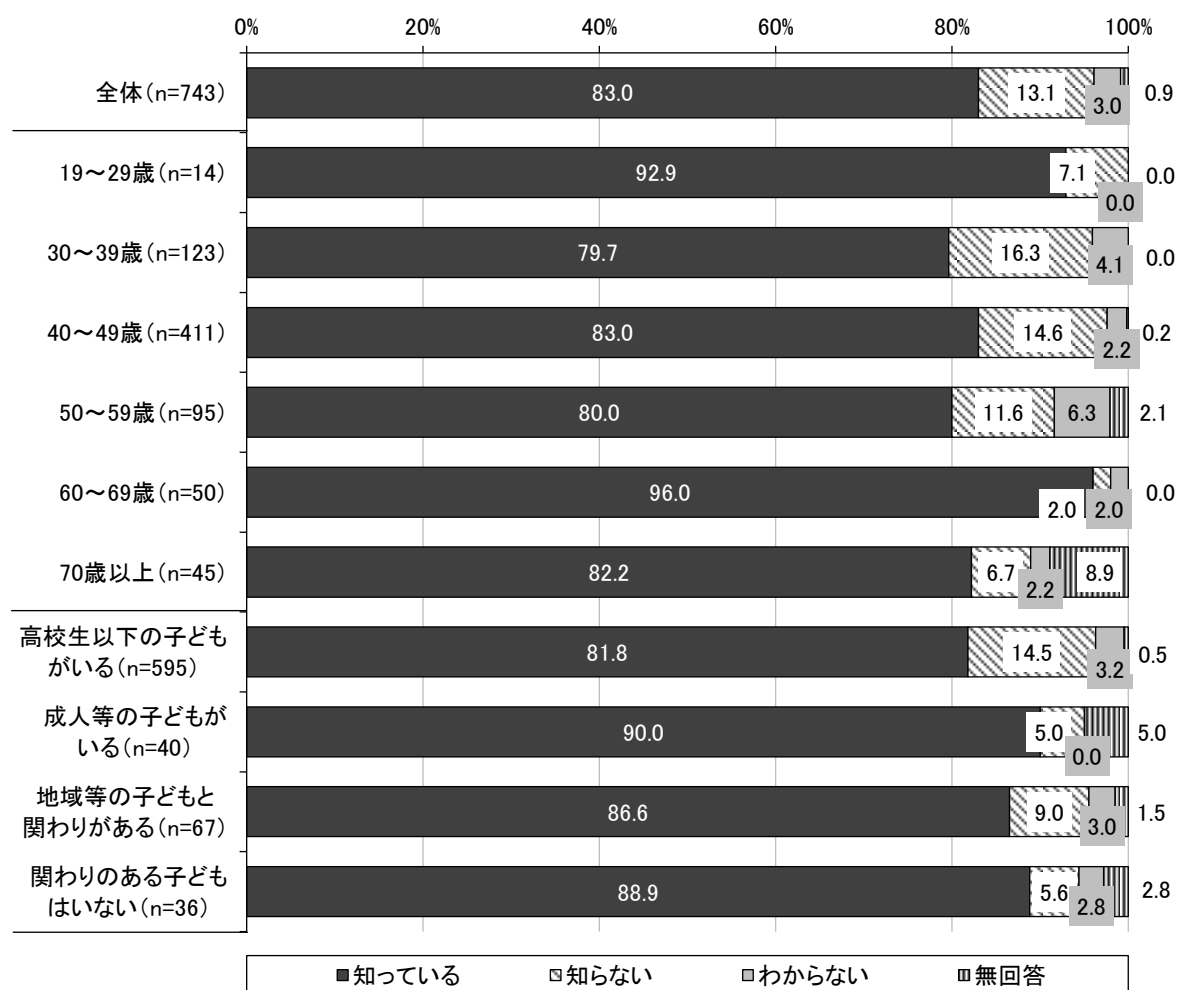


## 問17 あなたは、成年年齢に達すれば、父母などの同意なく一人で契約できることを知っていますか。(○は1つ)

成年年齢に達すれば、父母などの同意なく一人で契約できることを知っているかについては、「知っている」が83.0%と最も多く、次いで「知らない」が13.1%、「わからない」が3.0%となっています。

年齢別にみると、30～59歳では「知らない」が1割を超えており、他の年代に比べて割合が高くなっています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では、「知らない」が14.5%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

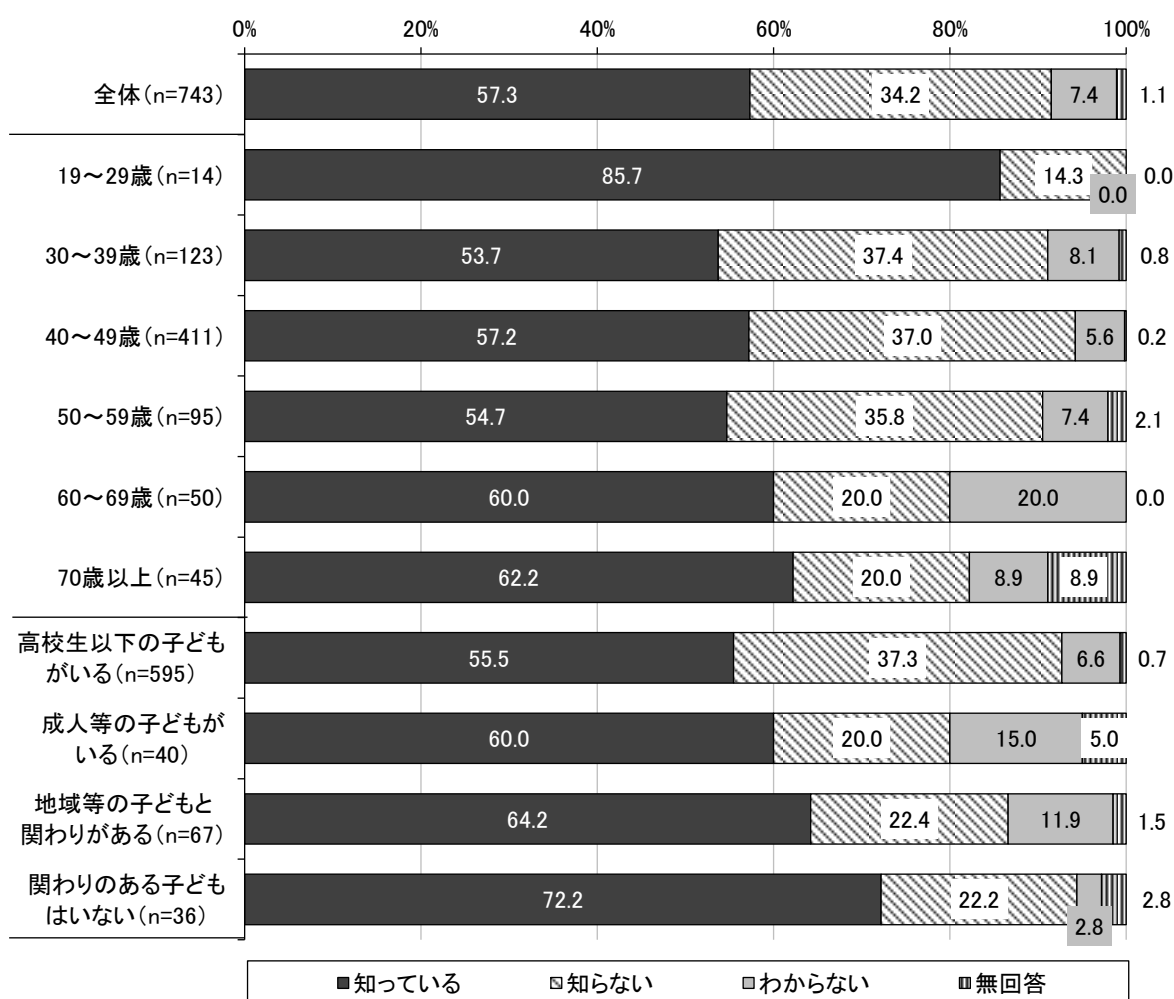


問18 あなたは、成年年齢が18歳に引き下げられた後、18歳、19歳の人が契約した場合は、未成年という理由では取り消せなくなることを知っていますか。(〇は1つ)

成年年齢が18歳に引き下げられた後、18歳、19歳の人が契約した場合は、未成年という理由では取り消せなくなることを知っているかについては、「知っている」が57.3%と最も多く、次いで「知らない」が34.2%、「わからない」が7.4%となっています。

年齢別にみると、30歳以上のいずれの年齢でも「知っている」が「知らない」を上回っています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では、「知らない」が37.3%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。

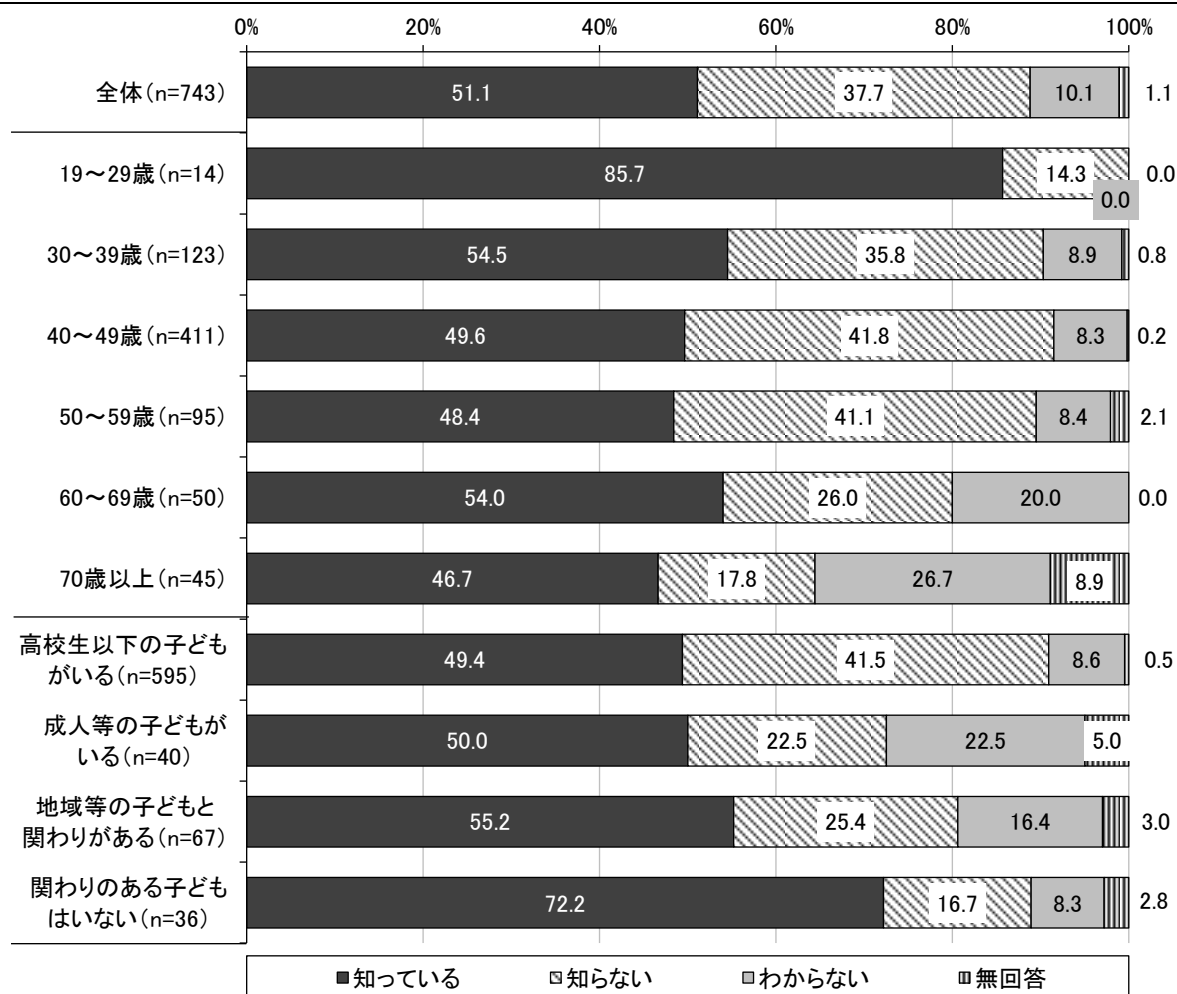


問19 あなたは、成年年齢に達すれば、父母などに従わなくても進学や就職を自分で決められ、財産も管理できることを知っていますか。(○は1つ)

成年年齢に達すれば、父母などに従わなくても進学や就職を自分で決められ、財産も管理できることを知っているかについては、「知っている」が51.1%と最も多く、次いで「知らない」が37.7%、「わからない」が10.1%となっています。

年齢別にみると、30歳以上のいずれの年齢でも「知っている」が「知らない」を上回っています。

関わりのある子ども別にみると、【高校生以下の子どもがいる】では、「知らない」が41.5%と、他の項目に比べて割合が高くなっています。





問20 その他、ご意見などがあればご自由にお書きください。

79人の方から、延べ93件のご意見をいただきました。

「学校教育の充実・改善について」が17件と最も多く、次いで「市政・地域での取組について」が16件、「子どもの権利について」が11件となっています。

以下にカテゴリごとに代表的な意見を掲載します。

カテゴリ	件数
<b>学校教育の充実・改善について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援学級の先生には、特別支援学級に在籍する子への関わり方など正しい知識や技術を学んでから担当になってもらいたい。</li> <li>○1学級当たりの児童・学生の人数を減らし、1クラスに関わる先生の数を増やしてもっとインクルーシブ教育を進めるべきだと思う。</li> <li>○給食の黙食をいち早く終えてほしい。</li> <li>○各家庭の生活環境によって学力の差や低下が生じている。</li> <li>○“責任”という部分を小学生の内から学期に一回ではなく何回も教えて、染み込ませる事が重要。</li> <li>○子どもたちにとって親の次に深く関わるのが学校の先生。まずは北本市で勤務する教職員の先生方がしっかり学び、実践して行ってほしい。</li> <li>○北本市は、同じ市内にも関わらず、それぞれの小学校の差が大きい。</li> </ul>	17
<b>市政・地域での取組について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○現在の状況がどの様になっているのかを多くの市民に周知して、実態を知る事が先で、それによって必要な事をするべきだと思う。</li> <li>○民法の一部改正による成年年齢の引き下げについて、広報等に詳しく知らせてほしい。</li> <li>○お金に関する教育を受ける場を設けてほしい。</li> <li>○多子世帯には手当を支給してほしいです。その家庭の判断で子の出産をしますが、多子世帯になるほど子どもへの生活費や学費がかかります。一人っ子世帯と同じように学力のサポートができるように手当の支給を求めます。</li> <li>○北本市はネットの発信が弱い。公式ホームページをもっと見直し、使いやすくし、催し物の案内やスポーツ教養、ボランティアなど、すべてのジャンルを充実し掲載してほしい。</li> <li>○相談する窓口がいくつかあって、切羽詰まった子どもがどこに連絡すれば良いかアンケート記入しながら難しいと感じた。</li> <li>○北本市は高齢者優先のような感じがする。</li> <li>○教育委員会にもっと若いホットな声を取り入れるべきではないか。</li> </ul>	16
<b>子どもの権利について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの権利条例について広報等に連載し、もっと啓発に努めてほしい。</li> <li>○子どもの権利も大切だが、心身の健やかな状態にすることがまずは考えることではないか。</li> <li>○教職員のモラルの低下が目立つ。教職員への教育を徹底的にしてほしい。</li> <li>○学校等の指導が、従来であり、まったく今時代に沿っていない。人権もなにもないと感じる。市政がもっと介入し、これを正すべきである。</li> </ul>	11

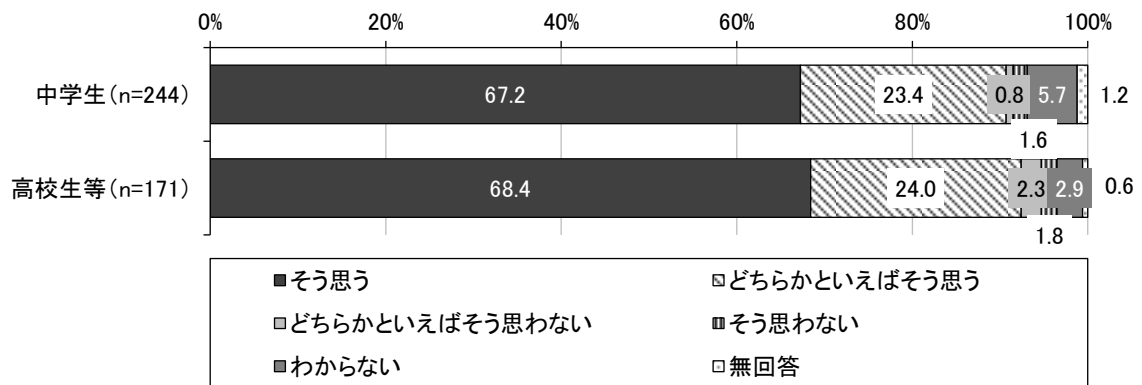
カテゴリ	件数
<b>環境の整備・要望について</b> ○公園で自由に遊べないことにとっても制約を感じる。(ボール遊びなど) ○公園が少ない。 ○子どもたちが夜遅くでも安心して歩けるよう、市内道路の電灯を確認してほしい。 ○中丸小学校の通学路の途中の歩道橋の老朽化が激しく、穴も開いている。大地震があれば崩れそう。補強だけだと不十分だと思う。新しくしてもらいたい。 ○学ぶ機会(大学進学など)を様々な理由(費用面など)で奪わない社会になってほしい。 ○子ども達の通学路歩行者用自転車用と分けてほしい。色々な事件が起きているので防犯カメラの設置をお願いしたい。	9
<b>アンケートについて</b> ○文章が難しすぎてアンケートの内容がよくわからない。 ○子どもに関する子育て支援のアンケートは出来たら今現在子育て中の方にアンケート調査して頂いた方が良いのではないか。 ○アンケートは形式だけでなく、形にしてほしい。	6
<b>相談できる場所の確保について</b> ○もっと身近に子どもの事を相談出来る場所があればと思います。役所の中ではなく、別に場所を設置やLINEで対応など。 ○相談できるところがあるのでありがたく思っている。 ○子どもの相談窓口をもっと有名に気軽に利用できるキャンペーンがほしい。 ○学校とのトラブルを解決しようと幾つかの場所に相談したが、解決されなかった。	5
<b>子どもが意見を言える場の確保について</b> ○十分な訓練や背景知識が無ければ、子どもが意見を物おしせず言う事が出来るのは昔も今も限られた一部の子だけだと思う。それをどのように変えていくかが課題ではないか。	2
<b>その他</b> ○周りに子どもがいないため回答ができない。 ○私は子どもがいないのであまりいい回答はできないが、将来、自分に子どもができた時のことを想像して回答した。 ○子どもがどの程度知識があって判断しているのかが心配だと思うが、見守ることしか出来ないのが親だと思う。	27
合 計	93

## VI 調査間比較

■あなたは、自分自身についてどのように感じていますか。(○はそれぞれ1つ)

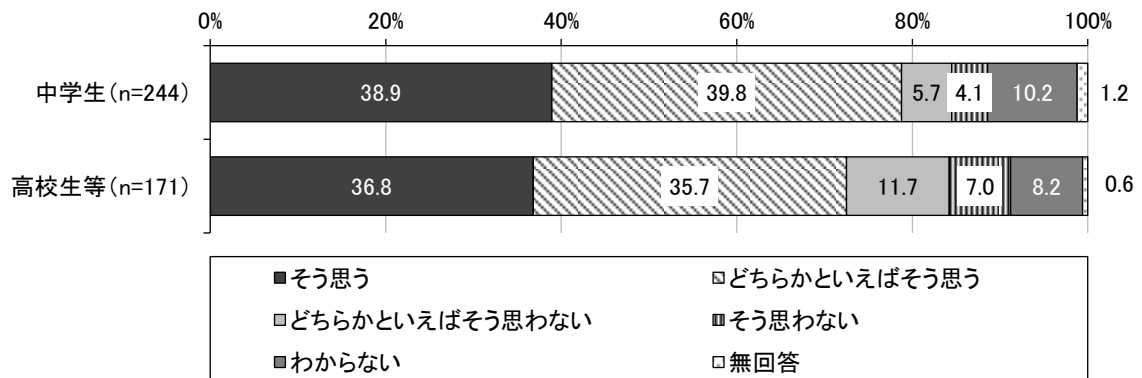
### ① 自分を大切に思ってくれる人がいる

自分を大切に思ってくれる人がいると感じているかについてを比較すると、“そう思う”がいずれも9割を超えており、大きな差は見られません。



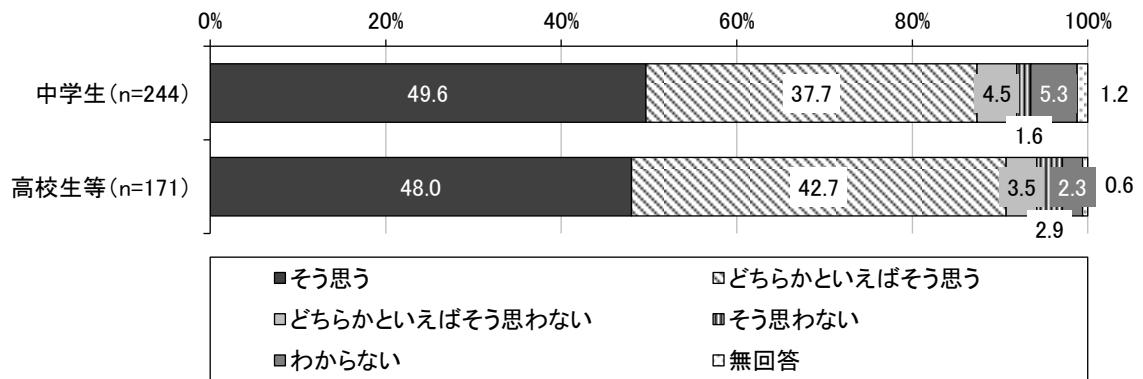
### ② 自分は人から必要とされている

自分は人から必要とされていると感じているかについてを比較すると、“そう思う”が高校生等で72.5%、中学生で78.7%と中学生が高校生等を6.2ポイント上回っています。



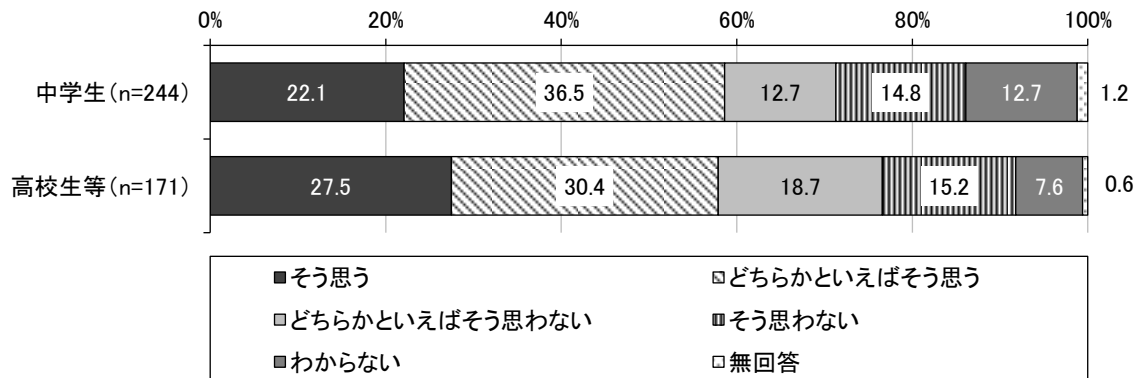
③ ほかの誰かや社会のために、何かをしてあげたい

ほかの誰かや社会のために、何かをしてあげたいと感じているかについてを比較すると、“そう思う”が高校生等で90.7%、中学生で87.3%と大きな差は見られません。



④ 自分のことが好き

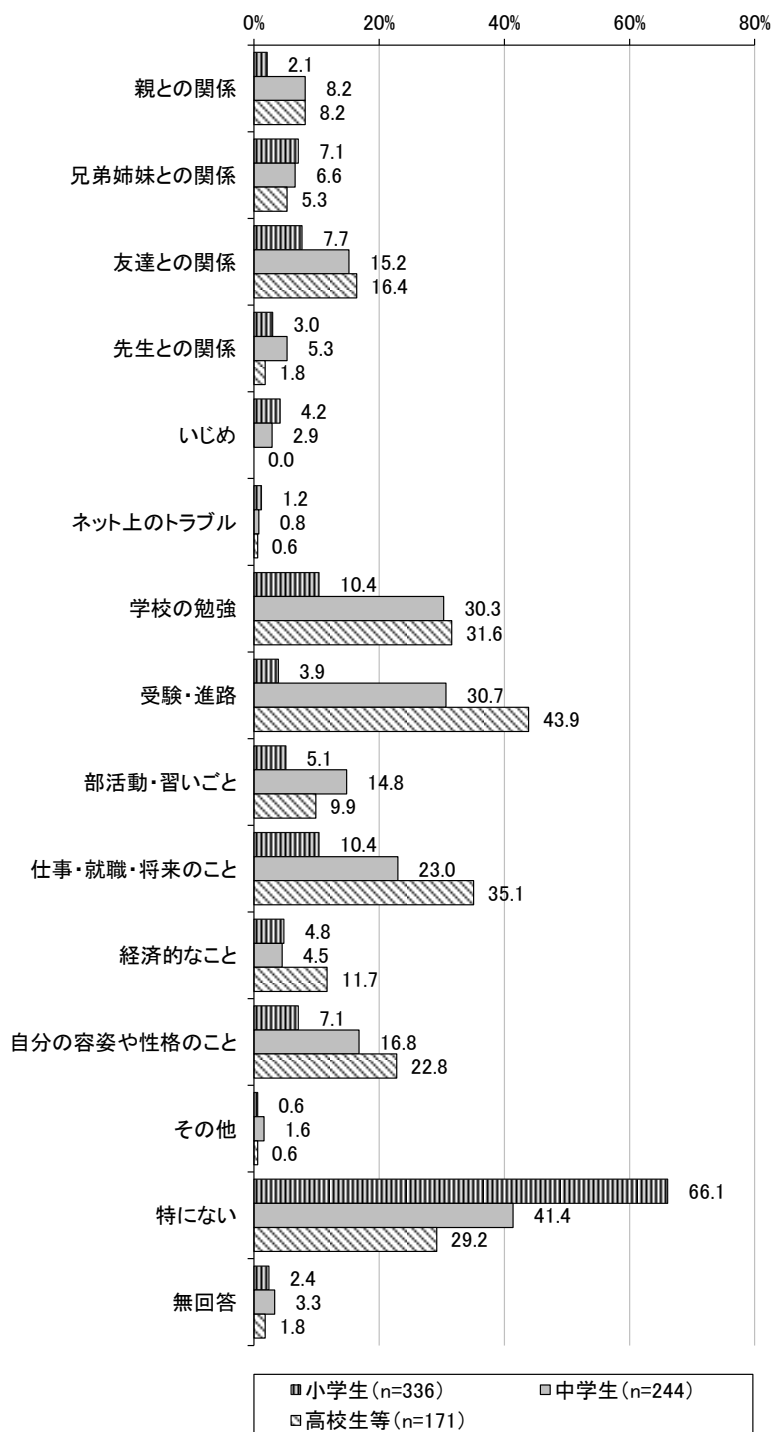
自分のことが好きと感じているかについてを比較すると、“そう思わない”が高校生等で33.9%、中学生で27.5%と高校生等が中学生を6.4ポイント上回っています。また、中学生で「わからない」が12.7%とやや割合が高くなっています。



■あなたは、普段の生活の中で何か困りごとや悩みごとはありますか。(〇はいくつでも)

普段の生活の中での困りごとや悩みごとについては、小学生・中学生では「特にない」、高校生等では「受験・進路」がそれぞれ最も多くなっています。

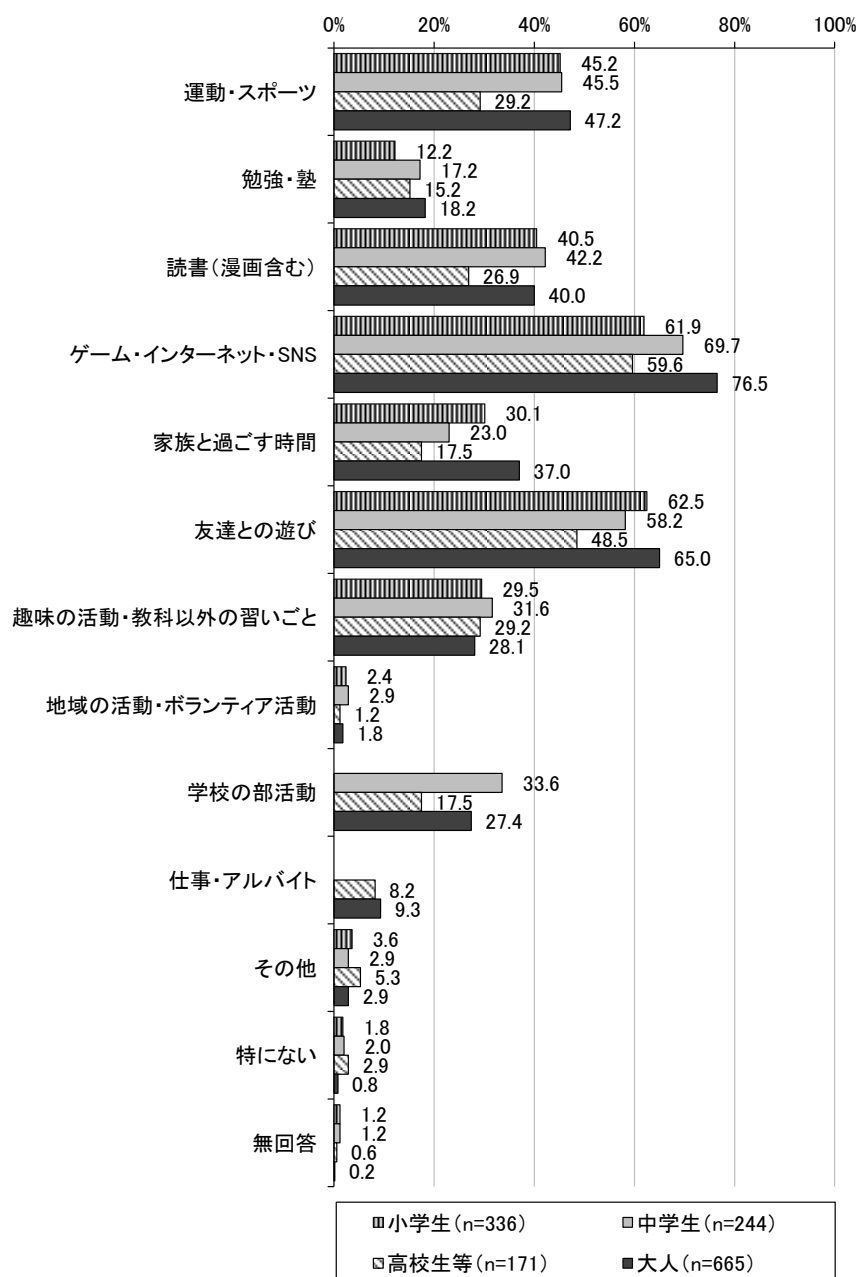
また、年齢が高くなるほど、「学校の勉強」、「受験・進路」、「仕事・就職・将来のこと」、「自分の容姿や性格のこと」への回答が高くなる傾向となっています。



■あなた（あなたのお子さん）が、今夢中になれることは何ですか。（○はいくつでも）

夢中になれることについては、小学生で「友達との遊び」、それ以外の調査で「ゲーム・インターネット・SNS」が最も多くなっています。

また、「運動・スポーツ」、「読書（漫画含む）」、「友達との遊び」では、大人と小学生・中学生の回答割合に差が見られませんが、高校生等でやや低くなっています。また、「家族と過ごす時間」は大人で約4割となっているものの、中学生と高校生等で約2割、小学生で約3割と若干ですが差が見られます。

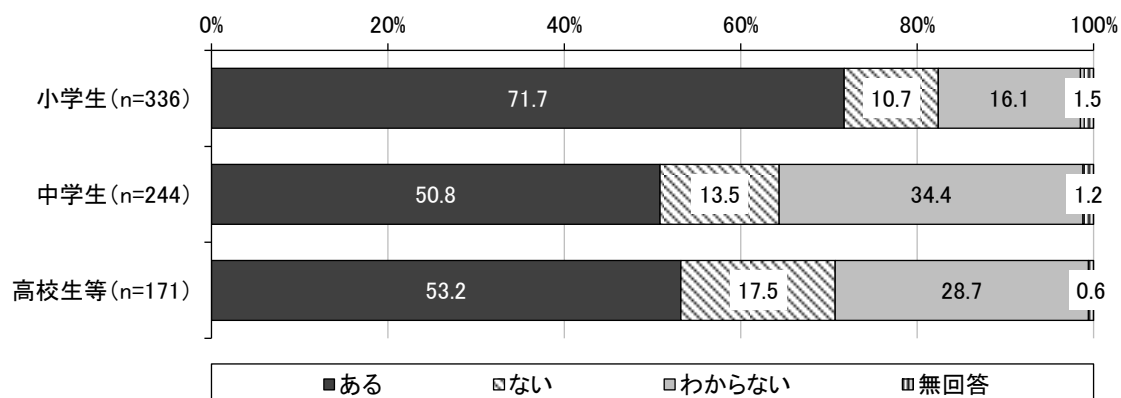


\*「学校の部活動」は中学生・高校生等・大人、「仕事・アルバイト」は高校生等・大人のみを選択肢です。

■あなたは、将来なりたいものはありますか。(○は1つ)

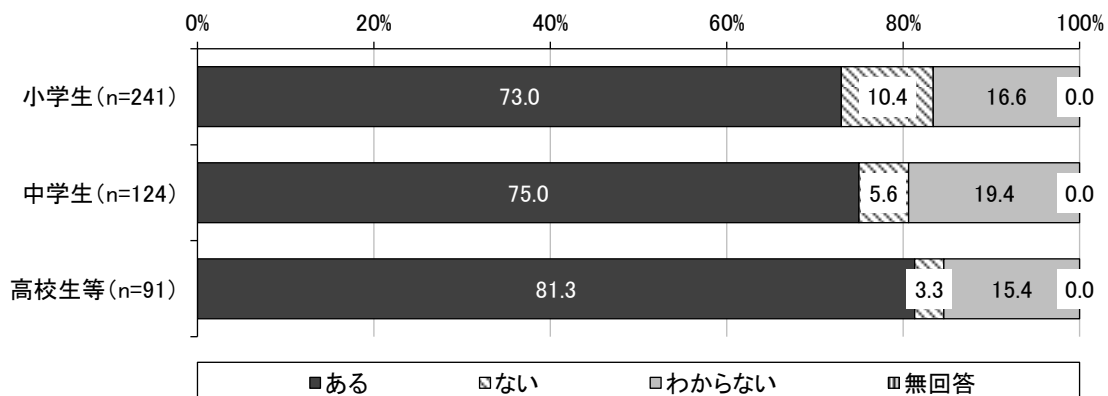
将来なりたいものについては、「ある」が小学生で7割台、中学生と高校生等で5割台と、小学生が約20ポイント上回っています。

また、中学生と高校生等では「わからない」が2割台から3割台と小学生に比べて割合が高くなっています。



■あなたは、将来なりたいもののために、努力していることはありますか。(○は1つ)

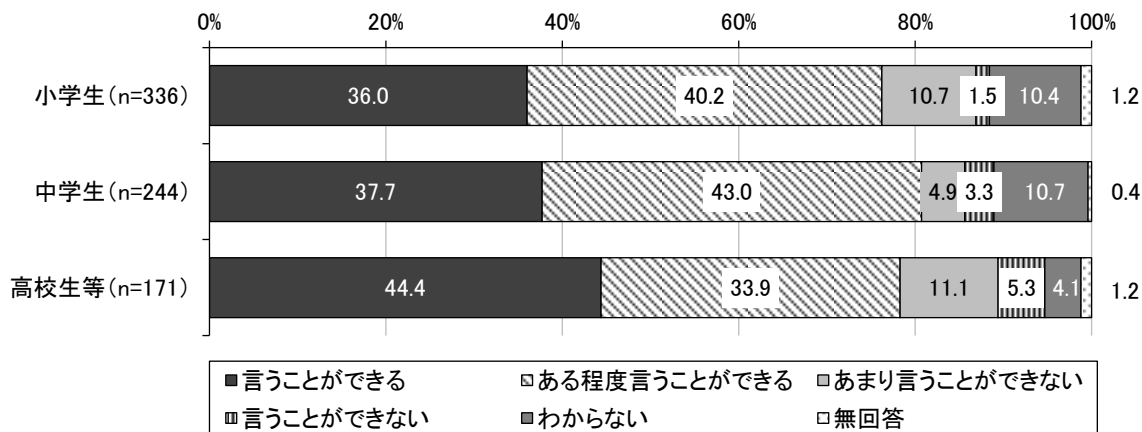
将来なりたいもののために、努力していることがあるかについては、「ある」が高校生等で81.3%と、小学生・中学生に比べて5ポイント以上高くなっています。



■あなたは、次のことについて自分の考えや思いがあるときに、それを言うことができますか。(○はそれぞれ1つ)

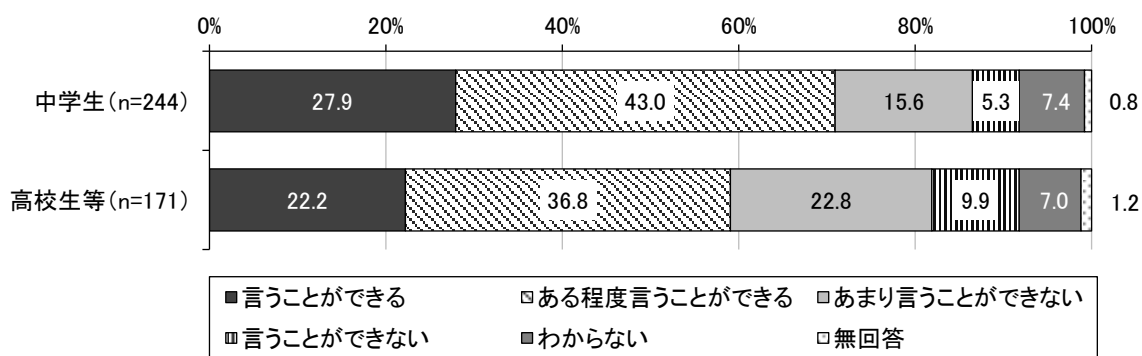
① 家庭における大事な物事やルールについて

家庭における大事な物事やルールについて、自分の考えや思いを言うことができるかを比較すると、“言うことができる”が小学生で76.2%、中学生で80.7%、高校生等で78.3%と、大きな差は見られません。



② 学校行事・イベントの企画や運営について

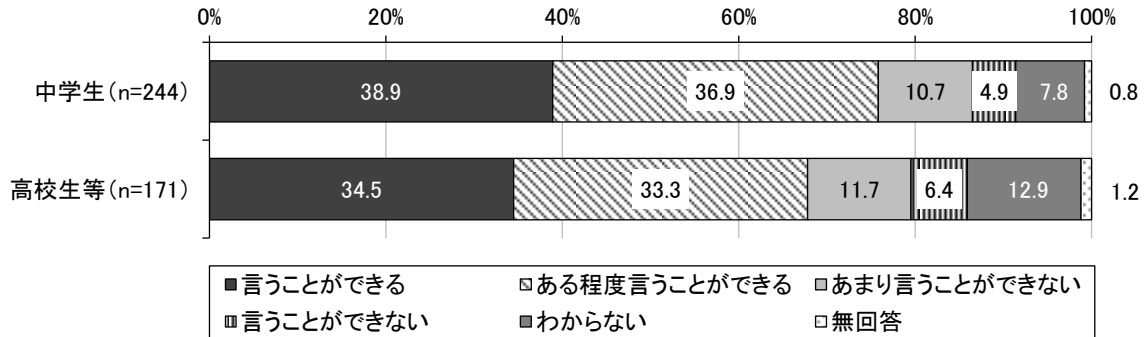
学校行事・イベントの企画や運営について、自分の考えや思いを言うことができるかを比較すると、“言うことができる”が中学生で70.9%、高校生等で59.0%と、中学生が高校生等を11.9ポイント上回っています。





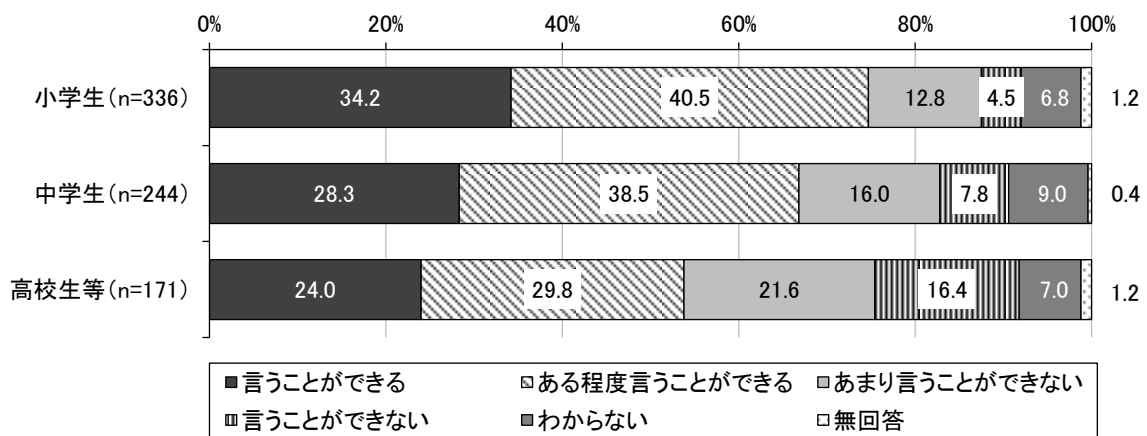
### ③ 学校の部活動の活動内容について

学校の部活動の活動内容について、自分の考えや思いを言うことができるかを比較すると、“言うことができる”が中学生で75.8%、高校生等で67.8%と、中学生が高校生等を8ポイント上回っています。



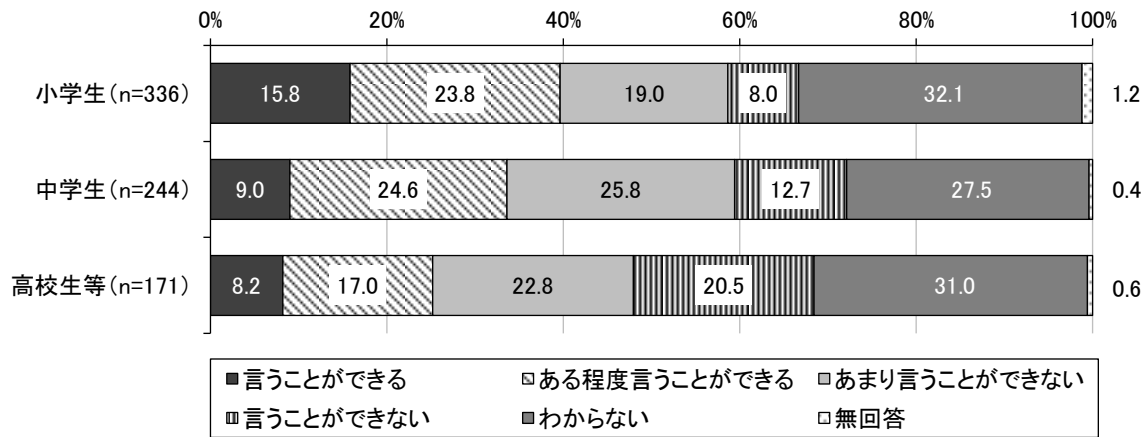
### ④ 学校の決まりごとについて

学校の決まりごとについて、自分の考えや思いを言うことができるかを比較すると、“言うことができる”が小学生で74.7%、中学生で66.8%、高校生等で53.8%と小学生で7割を超えています。また、高校生等で“言うことができない”が38.0%と他の調査に比べて割合が高くなっています。



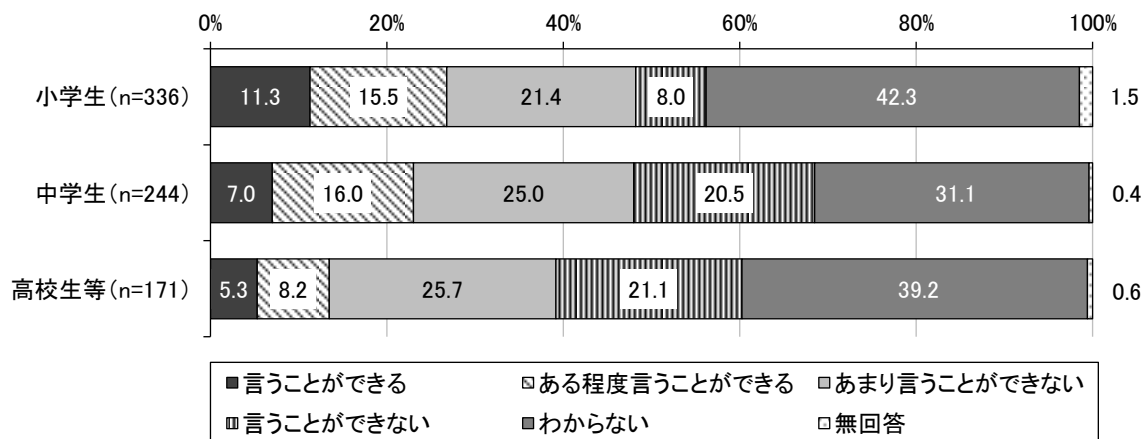
⑤ 地域で行われている行事などの取組について

地域で行われている行事などの取組について、自分の考えや思いを言うことができるかを比較すると、“言うことができる”が小学生で39.6%、中学生で33.6%、高校生等で25.2%と小学生と中学生で3割台となっています。また、高校生等で“言うことができない”が43.3%と他の調査に比べて割合が高くなっています。



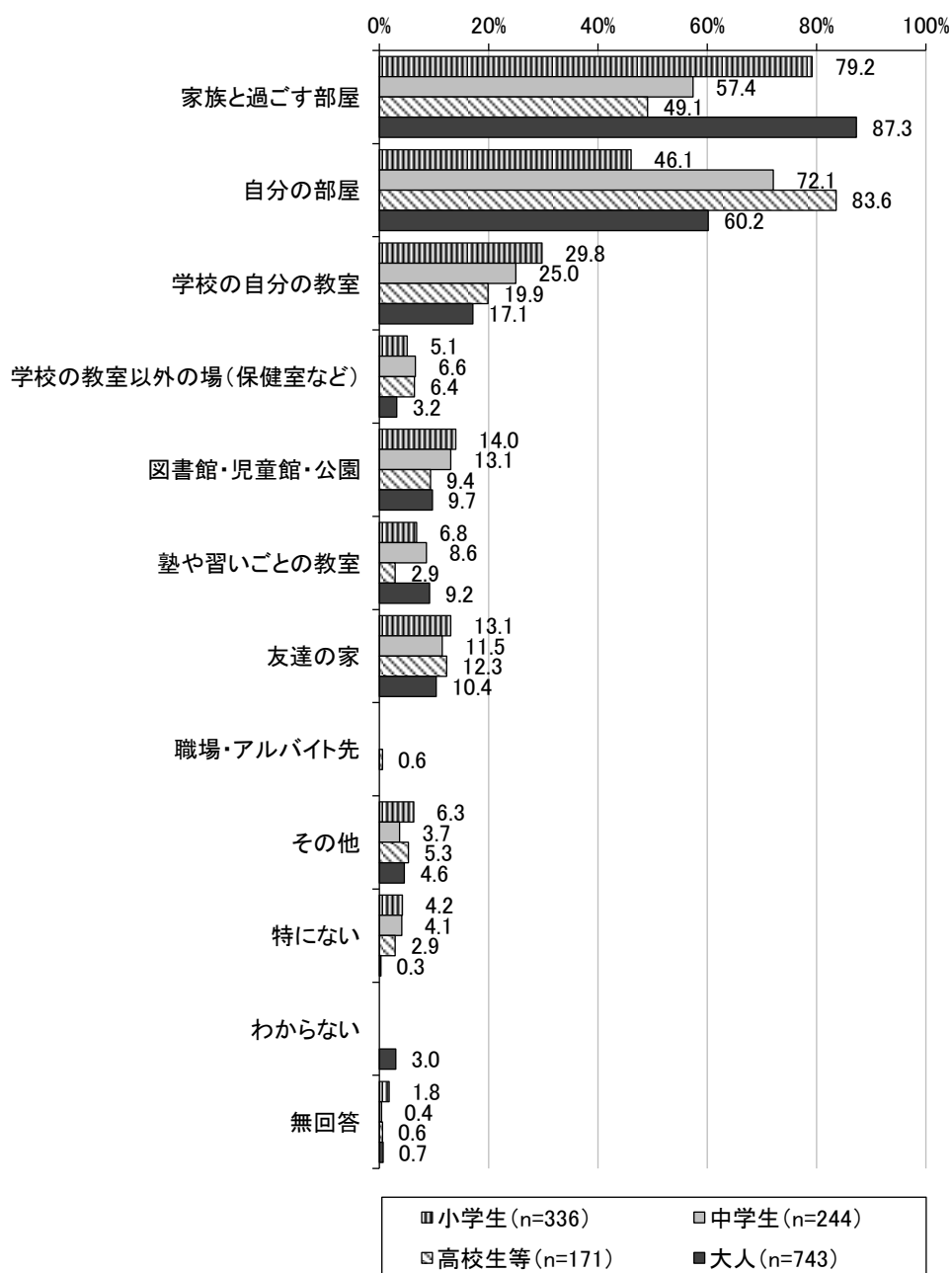
⑥ 北本市政（北本市のまちづくりや市役所の仕事）について

北本市政（北本市のまちづくりや市役所の仕事）について、自分の考えや思いを言うことができるかを比較すると、“言うことができる”が小学生で26.8%、中学生で23.0%、高校生等で13.5%と小学生と中学生で2割台となっています。また、中学生と高校生等で“言うことができない”が4割台と小学生に比べて割合が高くなっています。さらに、「わからない」が小学生と高校生等で約4割となっています。



■あなたが、普段の生活の中で、ホッとでき、安心していただける場所はどこだと感じていますか。(〇はいくつでも)

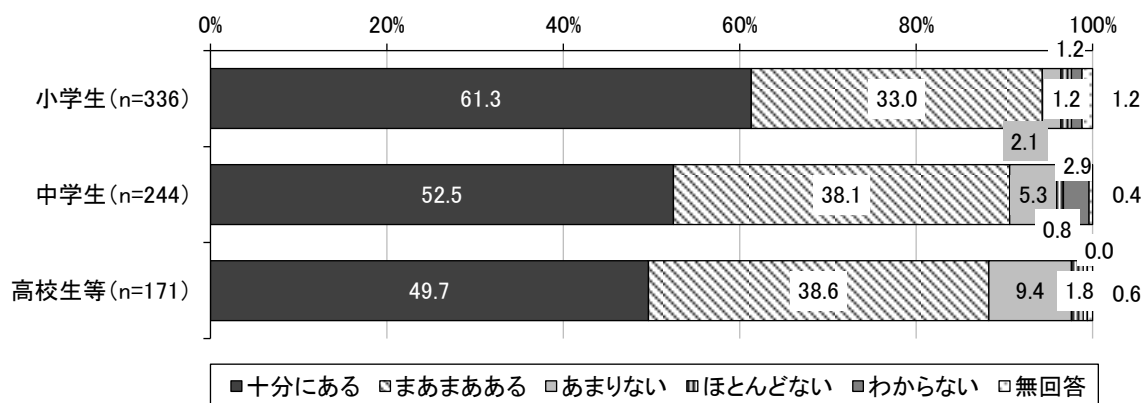
普段の生活の中で、ホッとでき、安心していただける場所については、大人と小学生では「家族と過ごす部屋」、中学生と高校生等では「自分の部屋」がそれぞれ最も多くなっています。また、小学生では「学校の自分の教室」が約3割と他の調査に比べて割合が高くなっています。



\*「職場・アルバイト先」は高校生等、「わからない」は大人のみを選択肢です。

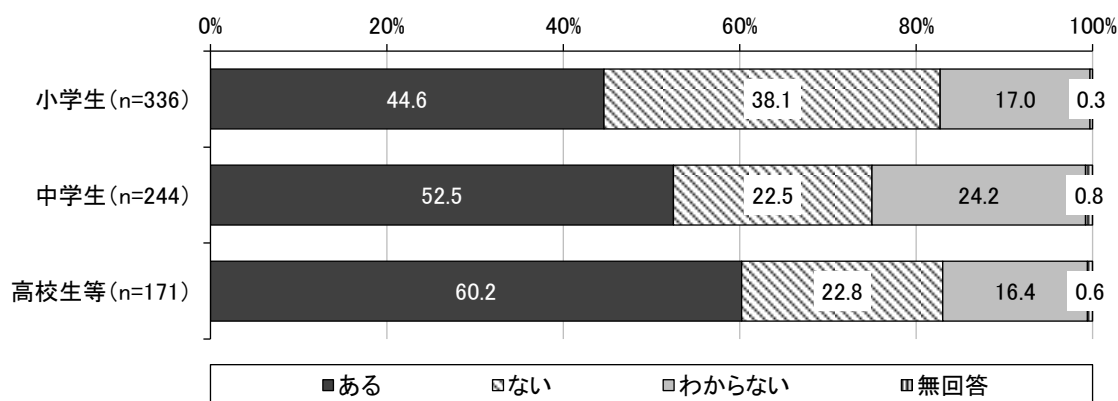
■ 普段の生活の中で、遊び、休息など、自分の好きなことをする時間や場所が十分にあると思いますか。(○は1つ)

普段の生活の中で、遊び、休息など、自分の好きなことをする時間や場所については、“ある”が小学生で94.3%、中学生で90.6%、高校生等で88.3%と大きな差は見られません。一方で、「あまりない」が高校生等で約1割と他の調査に比べて割合が高くなっています。



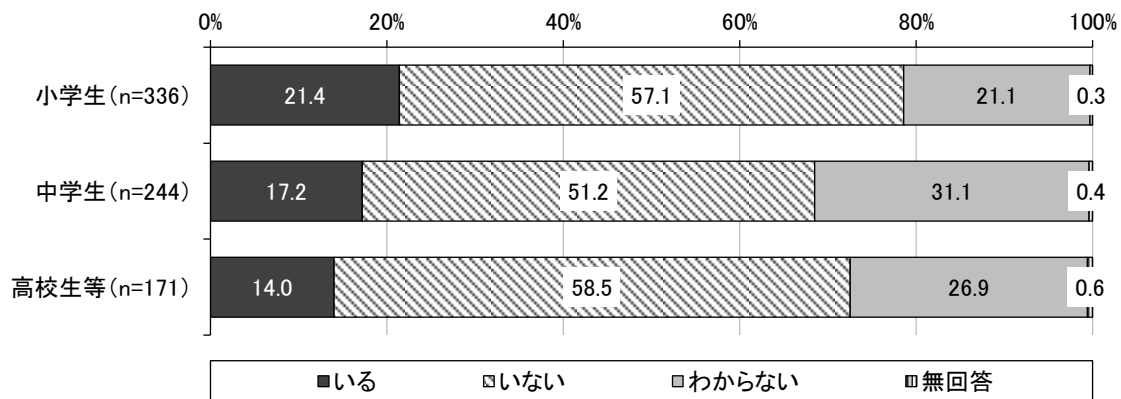
■ あなたは、これまで、人からされたことで「とてもいやな思い」をしたことがありますか。(○は1つ)

人からされたことで、「とても嫌な思い」をしたことがあるかについては、「ある」が小学生で44.6%、中学生で52.5%、高校生等で60.2%と最も多く、年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向にあります。



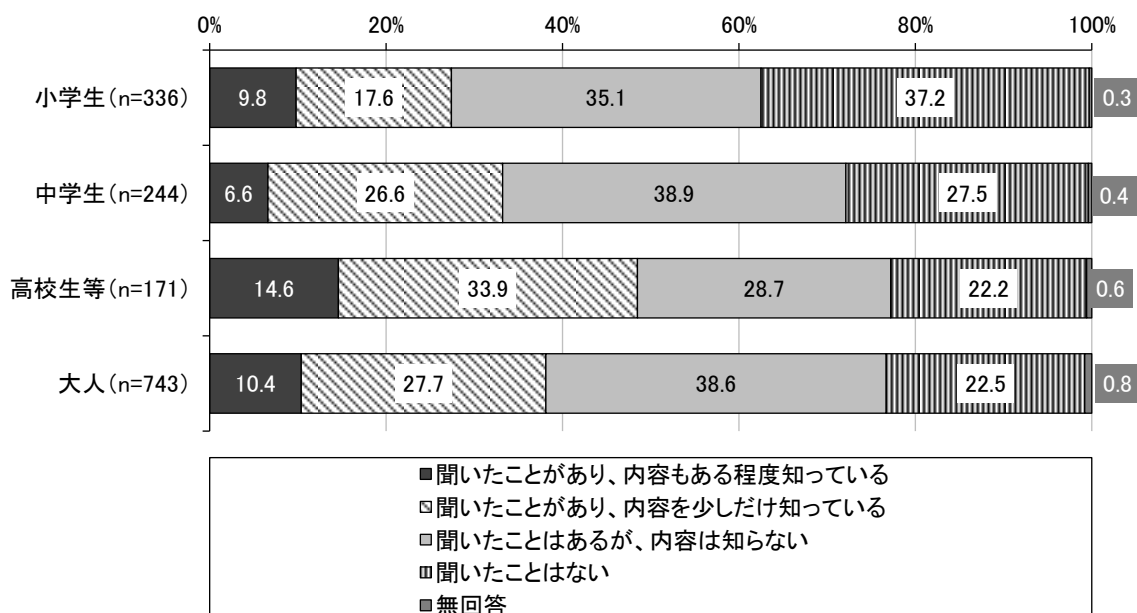
■あなたを、言葉や力で傷つける人はいますか。(○は1つ)

言葉や力で傷つける人がいるかについては、いずれの調査でも「いない」が最も多くなっているものの、小学生で「いる」が21.4%と他の調査に比べて割合が高くなっています。



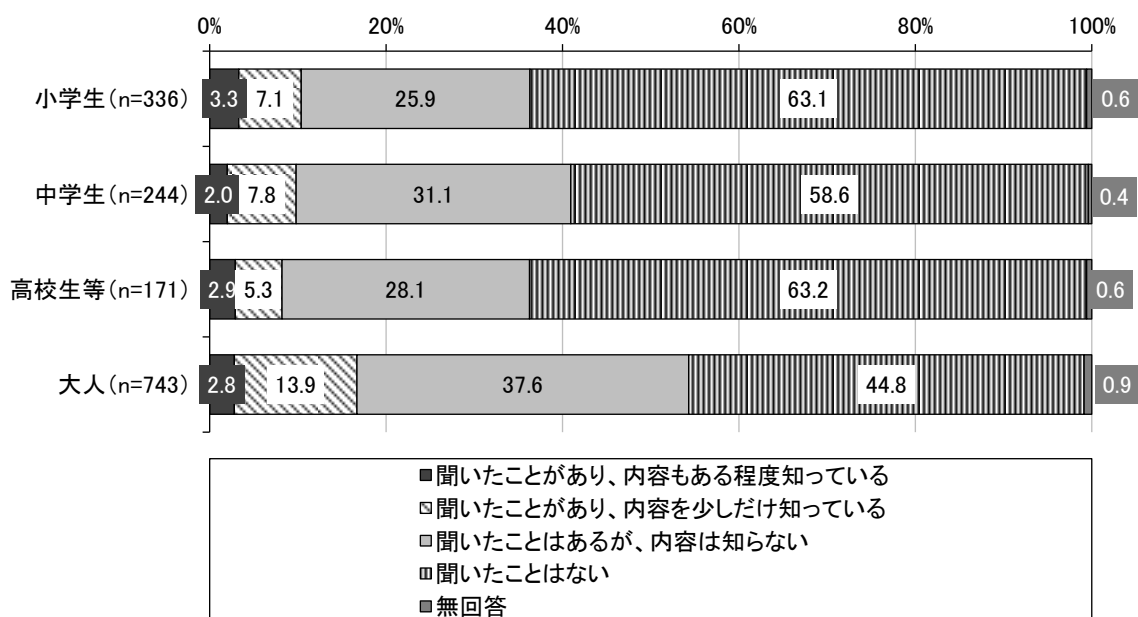
■あなたは、「子どもの権利」について聞いたことがありますか。また、内容をどの程度知っていますか。(○は1つ)

「子どもの権利」について聞いたことがあるかについては、「内容を知っている」が高校生等で48.5%と他の調査に比べて割合が高くなっています。また、年齢が下がるにつれて「聞いたことはない」の割合が高くなる傾向にあります。



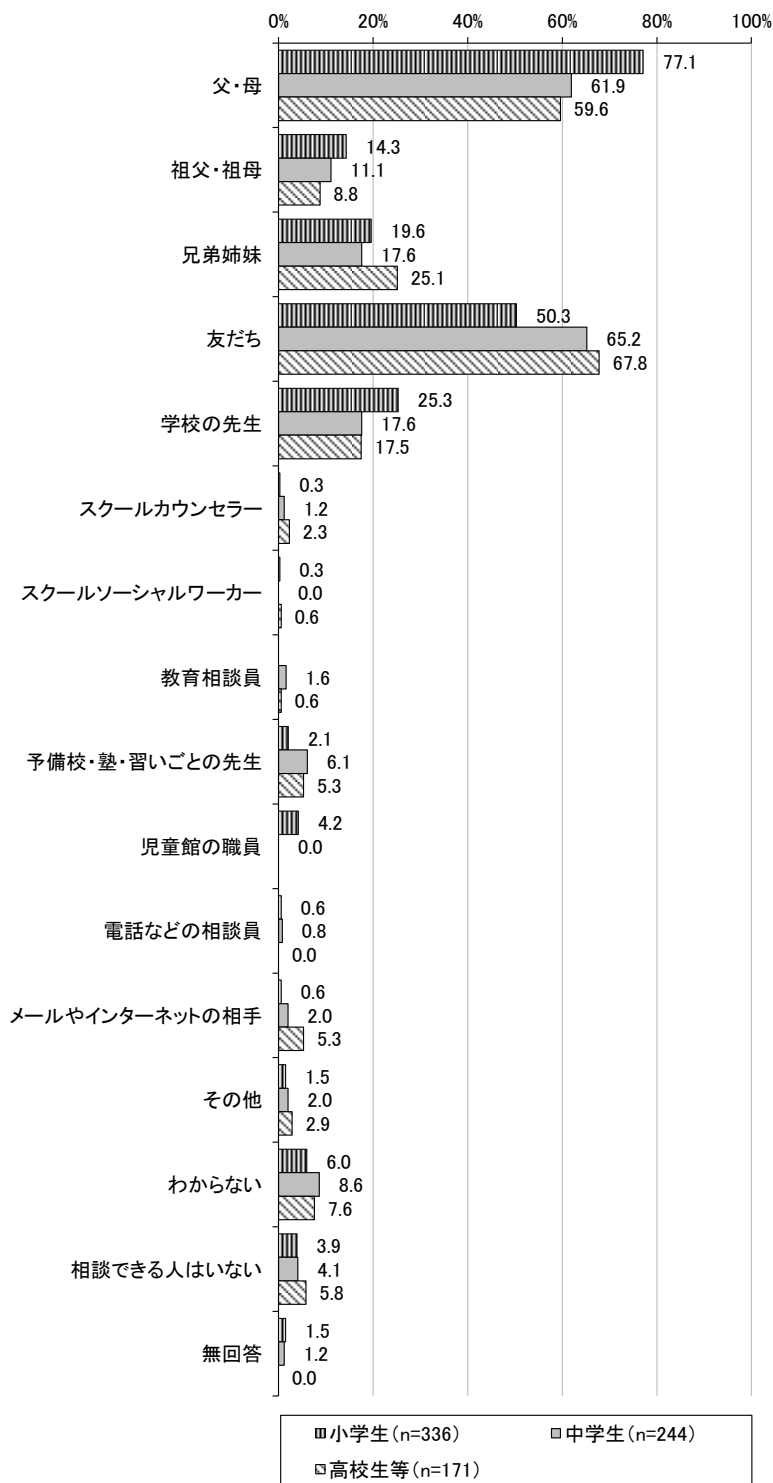
■あなたは、北本市が令和3年度に制定した「子どもの権利条例」について聞いたことがありますか。また、内容をどの程度知っていますか。(○は1つ)

北本市が令和3年度に制定した「子どもの権利条例」について聞いたことがあるかについては、いずれの調査でも「聞いたことはない」が最も多くなっており、小学生と高校生等では6割台となっています。一方、“内容を知っている”は大人で16.7%と他の調査に比べて割合が高くなっています。



■あなたは、悩みごとを誰に相談しますか。(〇はいくつでも)

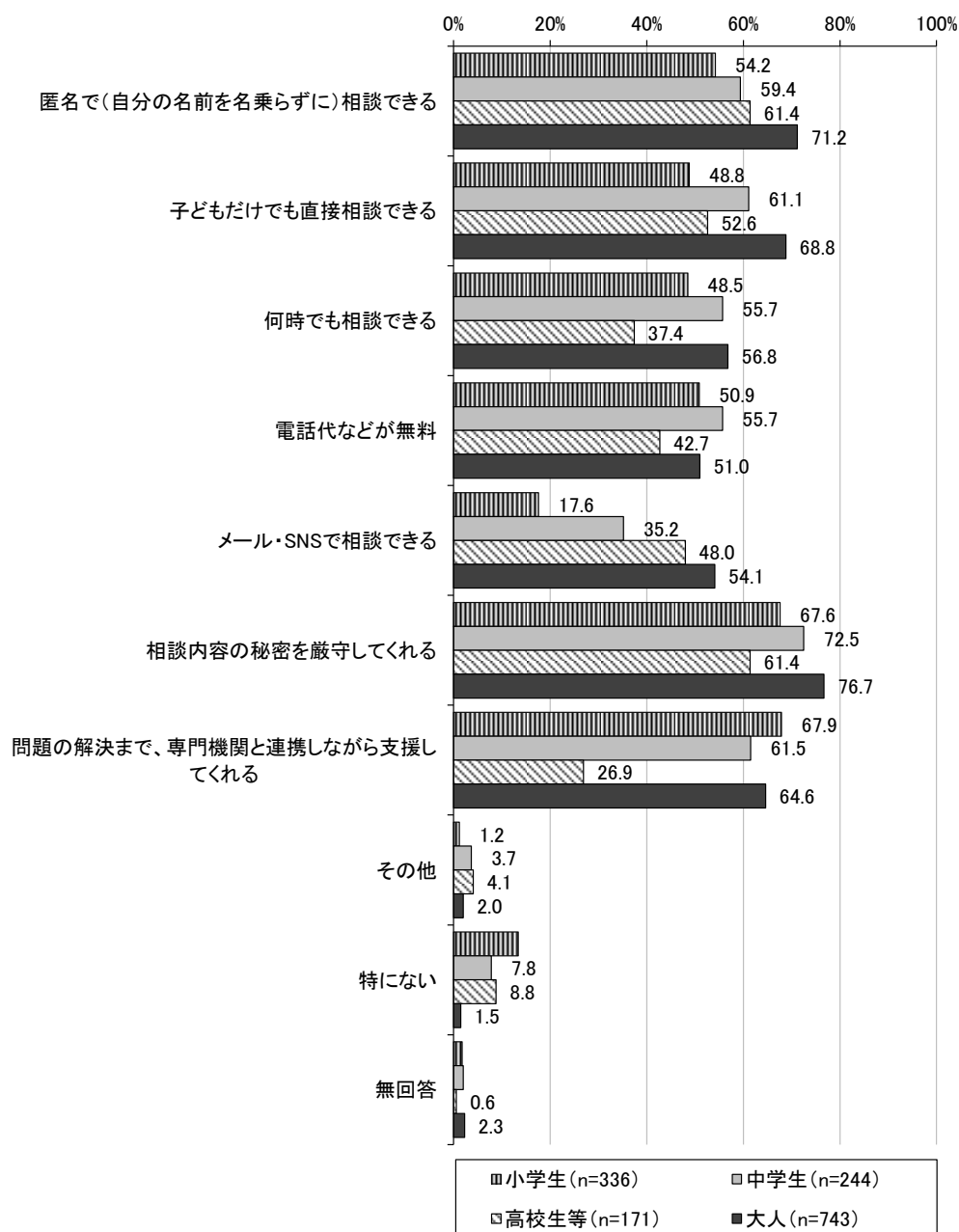
悩みごとの相談相手については、小学生で「父・母」、中学生と高校生等で「友だち」がそれぞれ最も多くなっています。また、年齢が上がるにつれて「父・母」の割合が低く、「友だち」の割合が高くなる傾向にあります。



\*「児童館の職員」は小学生・中学生、「教育相談員」は中学生・高校生等のみの選択肢です。

## ■あなたが相談するときに大事だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

相談するときに大事だと思うことについては、大人と中学生で「相談内容の秘密を厳守してくれる」、高校生等で「匿名で（自分の名前を名乗らずに）相談できる」と「相談内容の秘密を厳守してくれる」、小学生で「問題の解決まで、専門機関と連携しながら支援してくれる（問題が解決するまで、しっかりと味方になってくれる）」がそれぞれ最も多くなっています。また、年齢が上がるにつれて「メール・SNSで相談できる」の割合が高くなる傾向にあります。さらに、「問題の解決まで、専門機関と連携しながら支援してくれる（問題が解決するまで、しっかりと味方になってくれる）」では高校生等が26.9%と他の調査に比べて割合が低くなっています。

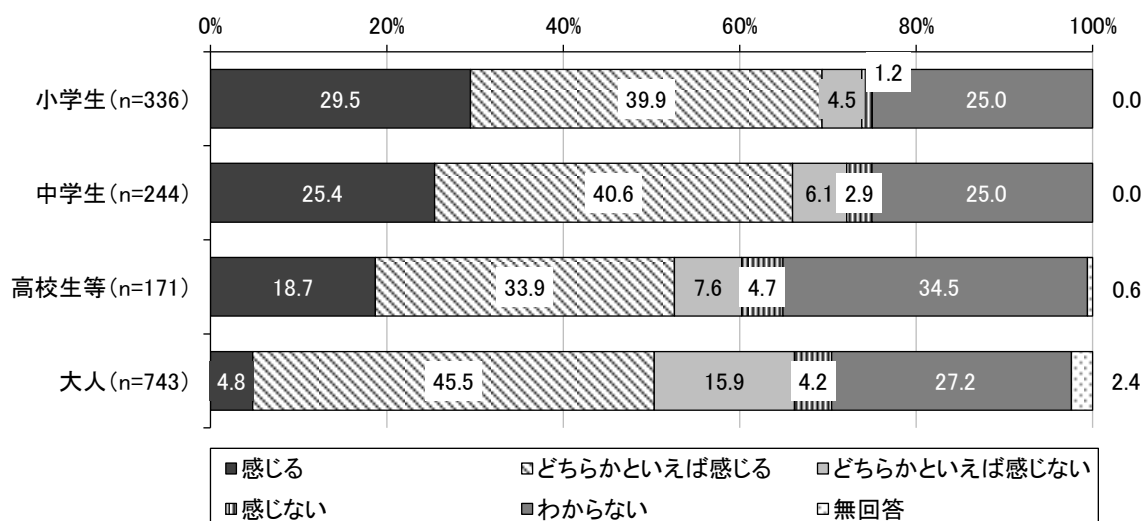




■あなたは、普段の生活の中で、子どもの権利が十分に守られていると感じますか。(○は1つ)

普段の生活の中で、子どもの権利が十分に守られていると感じるかについては、“感じる”が大人で50.3%、高校生等で52.6%、中学生で66.0%、小学生で69.4%と、年齢が下がるにつれて“感じる”との回答が高くなる傾向にあります。

一方で、“感じない”が大人で20.1%、「わからない」が高校生等で34.5%と、それぞれ他の調査に比べて割合が高くなっています。



北本市子どもの権利に関する市民意識調査  
報告書

令和5年3月発行

編集：北本市福祉部子育て支援課

〒364-8633

埼玉県北本市本町 1-111

TEL：048-591-1111

FAX：048-592-5997